嚶鳴雜誌 自第二十壹號至第三十五號

河本文庫

寧
45
2

寧7
45
2

下茂

定時刊行

明治十三年第九月廿七日刊行

○日本ニ殖民多キヲ歎ス　肥塚龍

○興雲降雨ノ術　伊庭豐長

○何ニ依テ人民ハ政府ニ服從スルカ（第二稿）草間時福　田口卯吉

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯

嚶鳴雜誌

第廿壹號

嚶鳴雜誌第二十一號

肥塚龍演說
伊庭豐長筆記

○日本ニ殖民多キヲ歎ス

概シテ云ヘハ同シク是レ民ナリ然レトモ之ガ分別ヲ爲ストキハ其類ヤ頗フル多シ曰ク殖民曰ク國民曰ク府民是レナリ而シテ今一々之ガ解釋ヲ下セハ吾人ノ如ク輦轂ノ下ニ住シ其籍ノ東京府ノ簿冊ニ在ルモノヲ府民ト云ヒ其他京都府大阪府等ノ戸籍ニ在ルモノ皆ナ然ラザルハ無シ又縣民トハ唯タ某ノ縣ノ管轄ニ在ルヲ以テ僅カニ府民ト其名稱ヲ異ニセルノミ敢テ他ノ理由アルニ非ス而シテ國民トハ即チ府民縣民ノ一大團結シテ一國ヲ成セルモノニシテ英國ニ於テハ之ヲネーショント云フ抑モ此ノ國民ナル者ハ天理ヲ以テ之ヲ云ヘハ自國ノ經濟ノ爲メニ各自應分

ノ租稅ヲ出タスノ義務ヲ負ヒ又自身ヲ保護ス可キ所ノ法律ヲ定メ及ヒ外交財政等ノ政治ニ參スルノ權利ヲ有スルモノニシテ苟モ此ノ人民ニシテ其權利義務ヲ忘失シ自ラ怠惰ニシテ國事ヲ憂ヘザルトキハ忽チ其國ノ衰頽ヲ招キ終ニ亡滅ニ至ルヤ決シテ疑フ可カラザル所ナリ斯ク說キ來レハ諸君ハ必ス云ハン我國人民多ト雖モ悉ク是レ國民ナリ其他如何ナルモノカ殖民ト云フカト而シテ我ガ日本國ノ如キ其人民無慮三千四百餘万アリ之ヲ細別スレハ所謂ル府民タリ縣民タリ之ヲ合スレハ則チ各々其國ニ人籍ヲ載スルヲ以テ日本國民ト云フ可キノミ然ルニ余輩ガ日本ニ殖民ノ多キヲ歎スルハ抑モ何事ソヤ請フ仔細ニ之ヲ說カン夫レ我カ三千四百餘万ノ人民ハ其人籍ハ則チ其國

ニ載スルト雖モ自國ノ治亂興廢ニ至テハ之ヲ憂フル者少シ是レ國民タルノ義務ヲ盡サヽル者ナレハ決シテ國民ニ非ズシテ即チ殖民ナリ故ニ余輩ハ此ノ日本人民ヲ目シテ國民ト稱スルハ甚タ溢美ノ言ナリト斷言シ去ラントスルナリ夫レ然リ實ニ農ハ來耜ヲ携ヘテ土地ヲ耕スヲ知ルモ而モ其ノ權利義務ノ何者タルヲ解セズ商ハ牙籌ヲ取ツテ巨利ヲ瞬間ニ射ルニ巧ミナレモ毫モ社會ノ事理ヲ辨ゼズ又顧ミテ學士社會ヲ見レハ亦其研究シ得タル所ノ知識ヲ活用シ進ンテ社會ノ爲メニ義務ヲ盡スヿヲ欲セス其年齒未タ壯ニモ及ザルニ早ク已ニ隱遁セントスルカ如キノ所爲アリ何トナレハ其身曾テ修學シテ聊カ學ヒ得タル所アリ以爲ラク我ノ才能此ノ如シ苟モ余ヲ扳擢シテ要路ニ置

ク者アラバ大ニ爲ス所アラン否ラザルモ民間ニ立ツテ世間ヲ指揮シ輿論ノ羅針盤タルヲ得可シト然ルニ其事ニ當ルニ及テヤ目算悉ク齟齬シ反テ新聞記者若クハ論士書生等ノ爲メニ其說ヲ挫折セラルヽニ至ル故ニ其退隱ヲ好ムカ如キノ所爲ハ盍シ自ラ謀ル所アリ特ニ其一身ノ嘗テ得タル僅少ナル榮譽ヲ失ハンコヲ懼ルヽノミ果シテ然ラハ其些少ノ智識經驗アルモ亦均シク殖民タルヲ免レザルナリ其レ斯ノ如シ然ラハ則チ我邦ニ於テ眞誠ノ國民ト稱シテ愧ツルコナキノ人民ハ其ノ三千四百餘万中僅カニ三四百万ニ過キズ西南九州ノ邊ヨリ東北々海道ノ陬ニ至ルマテ其殖民タル者陸續トシテ充滿セリ豈ニ慨歎ニ堪ユ可ケンヤ然リト雖モ其此ニ至ル所以ノモノハ蓋シ一ノ至大ナ

ル原因アルヲ以テナリ原因トハ何ゾ他ナシ我邦ハ一ノ外國人ノ如キ者アリテ全國ノ理事者ト爲リ人民ヲシテ毫モ政治ニ參與セシメザルヲ以テナリ何ヲカ外國人ノ如キ者ト云フ即チ政府是ナリ何トナレバ我邦ハ政府ト人民トノ關係極メテ疎ニシテ恰モ其人種全タ相異ナルガ如ク法律財政軍事ハ勿論其他百般ノ事項一々政府ノ獨斷スル所ニシテ人民ハ毫モ之ヲ與リ知ルヲ得ザレハナリ其レ斯クノ如シ之ヲ如何ゾ陷ツテ殖民タラザルヲ得ンヤ

現今我ガ政府ハ酒造稅則醫麴營業稅則及ビ自家飲料酒類製造定限ノ議案ヲ起草シ既ニ元老院ノ議定ヲ經テ其發布將ニ近キニアラントスト云ヘリ而シテ此ノ稅ハ決シテ獨リ酒造家ノミ之ヲ出ダスニ非ズ苟モ之ヲ飲用スル者ハ皆

ナ之ニ與カラザルヲ得ズ而シテ今清酒ノミニ付テ之ヲ考フルニ舊來清酒釀造ハ壹石ニ付壹圓ノ稅ヲ課セシニ今回之ハ增シテ貳圓ノ收稅ト爲スノ意ナリト云ヘリ是ニ由テ之ヲ觀レバ其釀造惣額ハ之ヲ五百万石ト假定スルニ壹石ニ付二圓ノ稅ヲ課スレハ則チ一千万圓ノ巨額ト爲ル然ルニ吾人ハ此ノ如ク重キ負擔ト雖ヒ現ニ其頭上ニ落來ルマデハ其如何ナル議案ニシテ如何ナル事ニ支辨スルガ爲メナルヤ毛頭之ヲ知ルヲ得ズ其發布アルニ及デ始メテ其徵收ノ額ヲ知リ驚愕出ル所ヲ知ラザルモ亦決シテ之ガ可否ヲ爲ス能ハズ夫レ此ノ如シ故ニ政府ハ外國人ノ如キ狀ニシテ人民ハ殖民ニ非スシテ何ソヤ其他近クハ集會條例ノ如キハ吾人ノ權利自由ニ關係スル果シテ幾許ソヤ斯ク重

大ナル法律ト雖ヒ亦其頒布ニ及テ現ニ吾人ノ自由ヲ束縛スルニ非ザレハ決シテ其如何ナル法律タルヲ知ル能ハズ其出テ實地ニ行ハルヽニ及ヒ始メテ審知シ唯タ其ノ不幸ヲ嘆スルノミ而シテ横濱ニ在ル西字新聞ノ如キハ吾人カ不幸抑屈ハ固ヨリ痛痒ト爲ザル外國人ナルヲ以テ我邦ノ事ニ於テハ一々口ヲ極メテ之ヲ罵詈嘲笑シ毫釐モ之ヲ憂フルヿ無キナリ

又頃ロ聞ク所ニ據レハ我政府ノ内閣ニ於テ將ニ外債二千万傍ヲ起サントスルノ議アリト是レ亦最トモ畏コキ九重ノ御評議ニシテ固ヨリ余輩ノ得テ窺フ可キニ非スト雖ヒ此說ヲシテ果シテ信ナラシメハ實ニ吾人ノ不幸是ヨリ大ナルハ無カラントス然リ而シテ十二年度ノ豫算ニ據レハ

我が三千四百餘万ノ人民ヨリ出ス所ノ租税ハ五千万餘圓トス盖シ是レ其徴収ノ極點ニシテ之ヲ目シテ日本人民ノ膏血ナリト云フモ余輩ハ決シテ其誣言ニ非ザルヲ信スルナリ左レハ今回起サントスル所ノ外債二千万傍ハ一傍ヲ以テ五圓ト假定スルモ尚ホ一億万圓ノ巨額ト爲ル故ニ我人民カ二年強ノ間血汗ノ勞力ヲ以テセザレハ此ノ金額ヲ得ル能ハス然ルニ此ノ如キ重大ナル議案ハ如何ナル場所ニ於テ運動ヲ爲スヤト考フルニ恰モ外國人ノ如キ有樣アル政府ノ内閣ニ於テ之ヲ評決シ余輩人民ニ於テハ毫モ之ヲ干知スルヲ得ズ而シテ其隱密ナル特リ余輩人民ノ之ヲ知ルヲ得ザルノミナラズ一般ノ官吏ト雖モ亦之ヲ知ル者少シ故ニ余輩ガ日本人民ハ國民ニ非ズ即チ殖民ナル人ミ

ト云フモ決シテ偶然ニアラザルナリ其レ然リ斯ノ如ク我ガ日本國ハ一種ノ外國人ト殖民トノ集合ヨリ成レル所ノ邦國ニ類スルノ狀アリ焉ンゾ權利義務ノ確定セル所ノ歐米各國ニ向テ之ト衡ヲ爭ヒ彼ノ東洋ニ跋扈スルヲ禁止スルヿヲ得ンヤ噫苟モ國事ヲ憂フルノ志士ニシテ誰カ之ヲ痛嘆セザランヤ然リト雖モ今此ノ最大因難ヲ濟ハント欲セバ決シテ其法無ニ非ズ他ナシ外國人ト殖民ノ如キ境界ヲ破碎シ上下一致シテ以テ國ヲ富マシ兵ヲ强クシ其同以テ國家ヲ守ラバ庶ハクハ儼然タル一ノ獨立國タルヿヲ失ハザル可キナリ

○興雲降雨ノ術　田口卯吉

雨滴のポタ〳〵と落つるを見れば水の分子の相引く力い

自ら疎密あるとを知るべし若し果して疎密なからんよりも
軒端の滴り球を爲さずして細く長く一番よ落べき理なり
惑星の行道楕圓あるとを思へば遠心力と吸心力と相引く
の兼合り均一ならざるとを知るべし若し果して均一あら
んにり地珠の行道り正圓あらざるを得ず夫の物質に含有
する熱に於けるも蓋し亦た此の如きものある乎
蓋し宇内の萬物熱を得るの多少よ從て其形狀を發成する
ものなり例へば水の如きり華氏三十二度よ至りて氷結し
二百十二度ゟ至りて沸蕩す故に地上の温度をして常よ三
十二度以上に上らざらしめば世人必ず氷の世よ成立つを
知りて水のあるとを知らざるべし若し又地上の温度をし
て二百十二度以下に下らざらしめば世人り常に蒸氣の天

空を包むを知り氷氷の世にあるとを知らざるべしされば
地上の萬物今日の形狀を保つものり今日の温度あればな
り若し大旱よして金石流を土山焦るの時に至りるば草木
禽獸皆今日の狀形を保つ能りずして別に其温度よ堪へる
の生物を生ずべきを疑ふべからざるなり熱の性たる此の
如し故よ一熱物を以て他の冷物に對すれば熱者り温を分
ち冷者り之を受けて兩者の熱相平得するゟ至るとり世人
の日常よ目擊する所なり然れども其熱の分かるゝ常よ平
均するよ止まるか
彼の冬日の晨よ出でゝ河流の上を望めば水烟の上るを見
るべし此水烟なるものり二百十二度の温度を得ざれば上
ぼり難きものあり蓋し大地の温度を得て以て斯く上るも

のゐるべし然れども河流の水い冷かゐるに何ゆゑ此分子のみ獨り二百十二度の温度を占めて蒸發するや又た夏日に氷を作るの法あり其法「アルコール」と水とを背合せよ容を置きて「アルコール」の熱そるときい蒸氣とゐりて飛散せんが爲めよ水の温度までも奪ふて去るゐり今「アルコール」と水とを比ぶきい水の方一層冷かなるよ水の温度を奪ひ之をして氷結せしむるに至るといさて〳〵酷き所業かゐされば熱の分かるゝい平均そるに止まらずして更に過度よ至るものゐりと思いれさり斯て理のゐるを思へば天地の温度を攪亂そるの方法さへ考へなば何でふ雨の降らざるべきや彼の小野小町が天の川戸の歌晋其角が三圍の句よて斯る感應のあるや否やい

知らねども大火を起し大氣を温むるときい之を行ふと容易ゐりと思いるゝなり其い如何ふとゐれい余數々東京よて大火ある時雲の其上を蔽ふとを見たり又た大火の後日數々驟雨の下るとを知れり又た近頃田舍人の説話を聞くよ山火事のゐりし後い其邊ふ雨の降ると其例多しと云へり是れ蓋し空氣の温度を攪亂するよ因るならん夫れ火の物たるや酸炭の二素相和して而して其隱熱を發するものゐり然れども其熱や唯だに其隱熱を發するに止らそして空氣よ散布する水氣の熱をも奪ふく熱そるものなり故に空中の水氣其熱を失ひ凝りて而して雲となり更に熱を失ひ結んて而して雨となるゐり雪ふる夜半の温かなるとを思へば水氣一たび熱を吐くとき世間を温めても熱を吐か

んとするの勢あると見えさり解くる朝の寒きを思へゝ雪塊一たび熱を吸ふとき世間を冷めても熱を吸ゝんとするの質あるゆされば雨を降らそのゝ術さる唯た水瀛の一分をして熱を吐くの勢を得せしめば足らんのみ東京ゆて九段坂日本ゆてゝ富士山世界ゆてゝヒマラヤ山の上ゆ材木を積ミ重ゆて之を燒くときゝ雲を起し雨を降らすと自由自在ありと思ゝるされども是きゝ費用多し田舍人の行ふゆる雨請ころ廉法なれ夫を人ゝ天地間の一形体にして數多の分子を占有せり此物ゆして變動する時いかで天地の温度ゆ感動せざらんや彼の雨請の法ゝ炎天ゆ帽子も冠らずして數多の人民群を爲して騷ぎ立てるとなり其熱きと云ゝん方なし故に

天地の温度を体中に吸ふて而して水瀛をして冷結せしむるもの也人民騷ぎて而して天地の感動すること其證おきゆらず古來の歴史に就て考ふるに戰爭のありしときゝ多く雨の降りし樣ゆ思ゝるゝなり余が幼時上野の戰をも見さりしが此日の如きゝ前々の長雨ゆて當朝にゝ雨も上がらんゝと思ゝれたりしが戰の始まると同時に雨の降ること篠を束ねて衝が如くゆて夕方ゆ至り戰の止みし後ゝ雨も止み翼日にゝ晴れ渡りたり全く戰の爲ゆ一日降り延びし事と見えさり又た奥羽地方の戰爭ゆも雨ゝ多く降りしと云へり抑も戰爭ゝ數多の人數相集まりて身体を働らし熱氣を發そるものあり故ゆ自ら空中の水瀛の熱を奪ふゆ至るなり水瀛の一部分熱を吐くときゝ他の水瀛も靡然

として慈を吐き天を包む程の雲をも生ずる事あり今や太平なれば戰爭して雨を降らす事も出來まじ就ては雨請ひこそ至當の良法あれと考へらる然きども歌を咏み俳諧を作りて雨降ることわらば是ほどの便法はなし其は後人の考究に讓るべきなり

我國窮理學の開けざるが爲にや近日各地より雨請の事を禁するは往々之ある由に聞けり抑も雨の降ると降らざると人民の生命に關し國の貧富に關する大事なれば余默す能はず即ち記して以て其理由を示すと云ふ

草間時福

○何ニ依テ人民ハ政府ニ服從スルカ第二稿

余輩ハ前論ニ於テ人民ノ政府ニ服從スルノ意想ヲ種別シ人々此ノ意想アルカ爲メ人民ノ强者タリ衆者タルノ位地

ニ在ルニ拘ラズ却テ弱者タリ寡者タルノ政府ニ服從シ而メ此ノ意想ハ自ラ人民ノ政府ニ服從セザルベカラサルノ義務ニ同シカラザル所以ヲ論シ畧ホ讀者ヲメ論旨ノ在ル所ヲ知ラシメタリト信スルヲ以テ此レヨリ進ンデ人民ノ政府ニ服從スル義務ハ抑モ如何ナル理由アリテ之ヲ生スルカヲ講究セントス

然リ而シテ此ノ論題ニ關シ古來ヨリ數多學者ハ國政服從(シビルヲビディンス)ヲ以テ人民ノ義務ト做サントシテ其道理ヲ看破スル能ズ種々牽强附會ノ說ヲ主張セリ而メ其中最モ妄迷憶測ノ說タルニ關セズ多ク社會ニ勢勢力ヲ有シ人ヲ惑溺セシ者ハ契約(コンパクト)說ヨリ甚タシキハ無シ此ノ契約說ハ國家ト人民ノ關係ハ契約ヨリ形立シ其狀タル私約ノ各互人民ノ關係ヲ支配

スルニ異ナラズ故ニ人民ノ政府ニ服從スルノ義務アルハ畢竟此ノ原始ノ契約（ナルジナルコムパクト）アリテ之レガ約束ヲ履行スルノ責アルガ爲ナリト言ヘリ此ノ說ノ荒唐不稽ナルハ余輩ノ呶々之レヲ辨スルヲ俟ズト雖モ昔時ノ碩學鴻儒ニシテ其非ヲ悟ラズ其害ヲ知ラズ契約說ヲ主唱セシ者鮮少ナラズ現時開明ノ社會ニ在リテ復タ此ノ說ノ爲メニ誤マラルヽ者無カルベシト雖モ天下愚人ノ夥多タル或ハ猶ホ此ノ迷妄憶測ノ說ヲ遵奉スル者無ト謂ヘカラズ故ニ余輩ハ先ツ契約說ヲ唱ヘシ二三學者ノ所說ヲ記シ然ル後ヲ其說ノ之ヲ事實ニ証スルモ道理ニ照スモ共ニ據ル所ナクシテ徒ラニ學者一個ノ想像ニ過キザル所以ヲ述ブベシ

ホブスハ英國有名ノ理學者ニシテ一千六百五十一年ニ著

明ナル「リウアザン」ト題セル書ヲ著シ總テ國家ノ基礎ハ君主ト人民ノ契約ヨリ成ル者ナリ元來天然ノ自由（ナチユラルリバーチー）ハ唯ダ害アリテ利ナキ者ナレバ人民之レヲ君主ニ放棄シ百般ノ權力ヲ擧ケテ總テ君主一人ノ掌中ニ委托セリ斯クノ如クナレバ君主ノ意想ハ即チ一國人民ノ意想ニシテ君主ノ好ム所ハ一國ノ好ム所ナリ君主ノ爲ス所ハ人民ノ爲ス所ニ異ナラズ故ニ若シ人民ニシテ君主ニ抵抗セントセバ是レ己レ自ラニ抵抗スル者ナリト是レホブスガ契約論ノ一理ナリ後世ノ人專裁政治ヲ主張スル者ヲ擧グレバ必ラズ先ヅ指ヲホブスニ屬スルハ蓋シ此說アルガ爲ナリ

ロツクハホブスニ反シ全ク自由ヲ愛慕スルノ老儒ナルガ其政事ノ基礎ヲ論ジテハ君民契約ノ說ヲ主張スルノ一段

ハホブスニ異ナラズ然レトモ其ノ契約ノ說タル大ニホブスノ說ト同シカラザル者アリロックノ說ニ依レバ君主ハ元來公益ヲ目的トシ法律ニ從ツテ人民ヲ統治スベシト約束シタル者ナレバ苟モ君主ニシテ此ノ約束ヲ履行シ敢テ公益ヲ害スルノ「ナク又法律ニ背馳スル「ナキ間ハ人民ハ服從ノ義務ヲ盡サヾルベカラズト是レロックノ君民契約說ノ大意ナリ

然ルニ蘆騷一タビ出ルニ至ツテ大ニホブスロック兩人ノ契約說ヲ排擊シ更ラニ一機軸ヲ出シ社會契約論ヲ唱張セリ此說タル人民ト君主トノ契約ヲ云フニアラズ人民自ラ人民ト約束シ社會自ラ社會ト盟約スル者ニテ社會原始ノ時ニ當リ人民悉ク相會シ自ラ約ヲ立テ法ヲ制シ彼レハ此

レヲ以テ治者タレ此レハ此レヲ以テ被治者タレト契約シタル者ニシテ政府ノ正當ナル基礎ト云ヘキハ只此ノ社會契約ノ一事アルノミト是レ蘆騷カ唱張セシ社會契約論ノ概畧ナリ

此ノ三學者ノ所說ハ各々同シカラズト雖モ國家ノ基礎即チ政府人民ノ關係ハ契約ヨリ形立スルト云フニ至テハ互ニ其軌ヲ同ヒセリ自餘契約說ヲ唱フルノ學者モ鮮少ナラズト雖モ概ヲ此ノ三氏ノ說ヲ祖述セシ者ニテ且ツ此ノ契約說ニ自ラ種別アレトモ之ヲ要スルニ明約說ト默約說トノ二種アルニ過キザルカ如シ何ナカ明約說ト云フヤ國家創建ノ時ニ當リ其開基ノ諸人ガ社會組織ノ約束ヲ定メ將來政府ノ憲法ヲ議サンカ爲メ會合シテ此ノ契約ヲ明言シタリ

トノ想像ニ基キタル者ナリ此說ニ依レハ先ツ(第一)ニハ其國人民一般ハ悉ク皆多數ノ決議ニ服從スルニ一致シ一人モ之レヲ非トスル者ナカリシト思惟セザルヲ得ズ(第二)ニハ此ノ多數ガ先ツ國家ノ大法ヲ確立シ後ヲ一個人一君政若クハ一議會(民政)ヲ以テ國家恒久ノ主權者ト定メ併セテ此ノ主權者ノ相續選擧ニ關スル諸法ヲモ設ケ其主權者ヲシテ一定ノ制限內ニ於テ一國ノ政務ヲ施行セシメ其命令法律ノ如キハ人民皆之レニ服從セント契約セシ者ナリト思惟セザルヲ得ズ是レ明約說ノ依テ起ル所ノ想像ニシテ彼ノ今日國家ノ憲法トシ大法トスルカ如キ者又ハ王室ノ無限權ノ如キモノハ人民ノ生來權ノ如キモノハ皆此ノ社會原始ノ契約視則ニ外ナラズトスル者ナリ蘆騷ノ主唱セシ

社會契約論ハ即チ是レナリ

余輩ハ姑ラク筆ヲ閣キ第三稿ニ至リ默約說ノ大意ヲ記シ而後ヲ契約ノ明默ヲ問ハズ均ク事實ニ反シ道理ニ違フ所以ヲ論シ以テ國民ガ政府ニ服從スル義務ノ由テ生スル所以ノ本題ニ入ル可シ

(以下次号)

東京本所區横網町二丁目二番地
東京府平民
編輯主任　吉田次郎

同日本橋區元柳町十四番地寄留
青森縣士族
持主兼印刷　根津親德

東京々橋區新肴町十壹番地
假本局　求友社

弊社雜誌ノ儀ハ代價並ニ遞送税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價五錢　五冊前金二十二錢五厘　十冊前金四十三錢　二十冊前金八十錢

但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同日本橋區元大坂町　法本德兵衛
同淺草區元鳥越町廿一番地　共致社
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏
同神田區雉子町三十二番地　巖々堂
同虎ノ門外琴平町　霞堂
同芝區三田同朋町　靜海堂
同芝源助町　春陽堂

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同麹町區三番町　杉田秀之助
同牛込神樂坂壹丁目十番地　積善堂
同表神保町九番地　大黑屋金之助
同赤坂裏壹丁目十六番地　赤川五平
同本郷區本郷四丁目十番地　橋屋
同淺草並木町二十六番地　湊屋小兵衛
同日本橋區室町三丁目　秋山茂左衛門
同兩國吉川町二番地　大黑屋平吉
横濱野毛町二丁目　鈴木糸吉
石川縣金澤尾張町　牧野作平
大坂堂島中壹丁目　靜雲堂
岐阜大田町　春陽舍
信州松本南深志町　篠田重平
大坂本町四丁目　岡島眞七
相州横須賀旭町　大塚靜喜
西京新京極蛸藥師下ル　太田權七
下總千葉　内國通運會社

定時刊行

明治十三年第十月十一日刊行

○自由國ト專制國トノ顯象

○保護ノ政略

○保護金ノ弊害

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯
嚶鳴雜誌　第廿二號

堀口昇
乘竹孝太郎
末廣重恭

自由國ト專制國トノ顯象

堀口昇演說

諺ニ曰ク人ハ病ノ器ナリト抑モ疾病ノ物タルヤ其ノ種類極メテ夥多ニシテ古人ハ之ヲ四百四病ト爲セリ然レ𪜈方今學藝ノ進歩ニ因リ醫術モ亦大ニ其面目ヲ改メタレバ往昔ニ於テ同症ナリト誤認セシ所モ今日ニ至ツテハ確然ト其ノ區別アルヲ覺知シ各々其ノ適宜ノ療法ヲ用テ之ヲ治癒スルニ至レリ左レバ現時ニ於テ精密ニ之ガ計算ヲ爲サハ其ノ數必ズヤ數千ヲ超ヘ四百四病ニ止マラザル可シ而シテ疾病ハ其ノ種類ニ因ツテ緩急輕重ノ異同アリ其ノ外部ハ極メテ劇烈ナルモ決シテ憂慮スルニ足ラザル者アリ或ハ風丰眹麗ナルモ二豎ハ膏肓ニ浸漸シ遂ニ死ヲ免カル

ハ能ハザル者アリ例ヘバ腫物ノ如キ其劇烈ナル一時人ヲシテ煩悶セシメ甚シキニ當テヤ紅脹熱痛シテ其外見ヤ實ニ驚駭ニ堪ヘザルノ狀アリト雖ヒ其患タル特ニ一部分ニ止マリ他部ヲ惱マシムルヿ無ク且其癒ユルヤ期シテ待可キナリ又之ニ反シ肺病若シクハ癆症ノ如キハ外面ヨリ之ヲ見ルヒハ特ニ少シク疲勞セルガ如キノミナレヒ之ガ治療ヲ怠レバ遂ニ危篤ニ至ル決シテ腫物ト同一視ス可カラズ眞醫ヲシテ之ヲ診セシメハ必ズ眉ヲ顰メテ匕ヲ投スルヤ昭々タリ

抑モ自由國ハ國ニ憲法アリテ上下各々其權利ヲ守リ其義務ヲ盡シ絶テ其分ヲ僭越セズ又決シテ他ノ抑壓ヲ甘受セズ法律ハ論ナク其他凡百ノ事項ニ至ルマテ苟モ之ヲ不條

理ナリト認定スル所ノモノ有レハ忽チ之ヲ演說ニ擧ケ之ヲ新聞紙ニ筆スヲ得ベク甚タ自由ナリ故ニ一朝斯ノ如キ場合ニ立至ルヒハ志士野ニ橫議シ新聞世ニ極論シ洶々囂々恰モ一大騷亂ノ如クナレヒ是レ決シテ憂フ可キモノニ非ス處分其ノ適當ヲ得レハ忽チ鎭靜ニ歸シ毫モ社會ノ安全ヲ失ハズ專制國ノ如キハ則チ然ラス其人民ヲ箝束スル所ノ法律甚タ苛刻ナルヲ以テ假令ヒ如何ナル不公平ノ事アルモ決シテ人民ハ進ンテ之ヲ乞願スルヿヲ得ス集會シテ正理ヲ論議セントスレハ集合ノ禁制アリ新聞紙上ニ就テ論究セントスレハ其ノ條例アルヲ如何セン人々止ダ血涙ヲ飲ミ默シテ其不幸ヲ歎スルノミ故ニ外部ハ甚タ靜穩ノ如クナレヒ其實タル最モ危險ノ極點ニ登レルナリ

何トナレハ人民ガ知識ノ進歩スル程度ヲモ量ラス飽マテ威力ヲ以テ之ヲ壓制セハ焉ンソ其怨望ナキヲ得ンヤ而シテ其積怨ノ一大團結シテ暴發スルニ至ラハ其勢恰モ洪水ノ堤防ヲ決スルカ如ク之ヲ禦クノ術無カラントスルナリ而シテ其國ノ內訌ヲ釀シ上下離叛シテ國力ノ疲弊スルニ及ヘハ遂ニ一國ノ獨立ヲ失ヒ外人ノ爲メニ制壓セラルヽニ至ル豈ニ戒愼セザル可ケンヤ

其レ斯ノ如ク自由國ト專制國ヲ以テ之ヲ疾病ニ比較スルトキハ自由國ハ猶ホ腫物ノ外部ニ劇狀ヲ形セルカ如クニシテ專制國ハ恰モ肺病若クハ瘧症ニシテ其大患ハ外面ニ顯レズシテ却テ心腹ニ在ルカ如シ然ラハ則チ專制國ノ外見ハ安全ノ如クナレトモ其ノ實ハ甚タ危險ナリ試ミニ思ヘ今

醫者ヲシテ肺病若クハ瘧症ヲ診察セシメ若シ之ヲ以テ敢テ憂フルニ足ラザル疾病ナリトセハ諸君ハ此醫ヲ以テ如何ナルモノト爲スヤ必ズ之ヲ目スルニ國手ヲ以テセズシテ之ヲ藪醫ナリト云ハン而シテ若シ腫物ノ外象甚タ劇烈ナルヲ見テ驚駭ヲ投スルノ醫アラハ諸君ハ亦之ヲ目シテ藪醫ト云ンノミ自由專制二國ノ安危ヲ察スルモ亦然リ故ニ今若シ自由國ノ外部ニ現ハルヽ所ノ劇烈ナルヲ厭忌シ却テ專制國ノ外面ノ靜穩ナルヲ欽羨スル政治家アラハ諸君ハ之ヲ何ト評スルヤ蓋シ之ニ與フルニ藪政治家ノ目ヲ以テスルナラン然リ而シテ現時我邦ノ狀況ハ自由國ノ位置ニ立ツカ抑モ亦專制國タルヲ免ル、能ハザルカ又其ノ政治家ハ國手ナルカ將タ藪ナルカ余輩ハ今之ヲ明言セ

ソト欲シテ充分ニ其ノ意見ヲ吐露スルヲ得ス否ナ自ラ決斷スル能ハザルナリ故ニ之ヲ諸君ニ問ヒ以テ其垂示ヲ請ハソト欲スルナリ

保護ノ政略

乘竹孝太郎演說

保護稅說ト自由貿易論トハ已ニ久シク社會ノ問題ト爲リ學士論者各々熱心シテ其意見ヲ吐露シ以テ其利害得失ヲ論究ス蓋シ其極メテ重大ナル論題タルヲ以テノ故ナリ而シテ余輩ノ如キモ亦實ニ自由貿易論者ノ一人ナルヲ以テ今ヤ茲ニ保護政畧ノ甚ダ失策タルヿヲ論述シ以テ保護稅論者ノ迷夢ヲ攪破セントスルナリ

夫レ社會ハ道理ヲ以テ成立セルモノナリ故ニ苟モ道理ヲ措テ問ハスシハ社會ハ忽チ顚倒潰亂シテ一日モ安寧ヲ保

ツヿ能ハザルヤ明々白々タリ而シテ夫ノ保護主義ハ甚ダ正理ニ乖戻セル者ニテ例ヘハ一ノ商社ヲ保護センガ爲メニ數百千人ノ膏血ヨリ出ル所ノ租稅金ヲ費スガ如キハ是レ其ノ最モ見易キモノニシテ之ヲ三尺ノ兒童ニ問フモ必ズ其ノ不條理ナルヲ知ラン而シテ就レ中余輩ノ最モ疾ム所ノ者ハ則チ自國ノ工業ヲ保護センガ爲メニ外國ヨリ極メテ廉價ヲ以テ輸入シ來ル所ノ物品ニ重稅ヲ課シ自國物品ノ價直ト同位ニ至ラシムル者是ナリ此事タル其結果ヲ問ヘハ特ニ廉價ノ物品ナシテ强テ其價ヲ騰貴セシメ人民ノ便益ヲ妨害スルニ過ギズ決シテ其目的トスル國家ノ利益ヲ保護スルノ効ナキハ得テ之ヲ知ルベキナリ

蓋シ說ノ眞理ニ合ヘル者ハ之ヲ論スル自ラ秩然トシテ順

序アルベシト雖モ其迷謬ニ出ツル者ニ至リテハ論旨ノ漠然タル恰モ雲烟ヲ攫ムト一般ナルハ亦自然ノ理ナリ何ソ怪ムニ足ラシヤ諸君試ミニ見ヨ今日ニ在ツテ保護税ノ説ヲ唱フル者ノ論旨トスル所果シテ何レニアリト爲スベキカ理論ヲ以テ之ヲ攻撃スレハ自ラ明言シテ曰ク論理上ニ於テハ自由貿易論者ノ言フ所固トヨリ理アリ敢ヘテ爭フベカラザルナリト夫ノ米國保護税論者ノ巨魁ト呼レタルケーリー氏ノ如キモ實ニ嘗テ此説ヲナセリ其ノ論スル所ノ邪僻妄誕タルヲ免レスト雖モ各國商業ノ事實ヲ調査スルノ精細ナルニ至リテハ余輩ノ常ニ感服スル所ナリ故ニ理論ヲ捨テヽ經驗ノ事實ニ立ツケーリー氏ノ如キハ以テ保護税論者ト稱スベシ若シ彼レヲシテ現時ノ日本ニ在

ラシメハ眞ニ自由貿易ノ好敵手ナリト雖モ惜ムベシ我邦ノ保獲税論者ノ如キハ理論上ニ一歩ヲ讓ルニ於テハ巧ミニケーリー氏ノ論法ヲ學フモ未ダ嘗テ内外製産入費ノ差ヲ示サズ如何ナル物品ニ保護ヲ要スルカヲ論セズ凡ソ商業ノ事實ヲ擧クルノ一段ニ至リテハ更ニ之ヲ顧慮セズ何ゾ之ヲ稱シテ眞誠ノ保護税論者ナリトナスベケンヤ然レモ説ノ迷ヘル者ハ其本旨ノ漠然タルニ利アリ若シ明カニ之ヲ示スガ如キアラハ其妄説ヲ維持スルノ術ニ非スト云ハヽ余輩ハ嗚呼復タ何ヲカ言ハンヤ

往昔英國ニ於テ「コルンローリー」ト云ヘル法律アリ抑モ此目的タルヤ自國ノ小麥ヲ保護スル所ノ法律ニシテ外來ノ米穀ニ重税ヲ課シ之ガ輸入ヲ防禦セント欲スルモノナリ然レ

ヒ此法律タル啻ニ其目的ヲ達スル能ハサルノミナラス終ニ之ニ因テ甚タシキ弊害ヲ生シ如何ソトモス可カラサルニ至レリ如何トナレハ其ノ重税ヲ課セラルヽノ故ヲ以テ英國ニテ穀價ノ拂底ニメ騰貴セルトキニ當テハ寂トシテ其ノ片影ヲダモ見ル能ハズ而シテ其下落スルヤ忽チ八方ヨリ之ヲ輸入シ來ル其レ此ノ如ク之ヲ必用トシテ望ムトキハ壹粒ノ小麥ダモ見ル能ハズシテ敢テ之ヲ要セザルニ當テハ續々トシテ入リ陳々トシテ積ムニ至ル之ニ加フルニ其ノ後英國ニ於テ大饑饉アリシ時ノ如キ偏ニ此ノ法律アリシガ故ニ助ケヲ外國ノ穀物ニ仰ク能ハザリキ此時ニ當テ英國人民ノ困難實ニ勝ケテ言フ可カラズ故ニ人民ガ其知識ノ進歩スルニ從ヒ各々黨派ヲ結ビ潛カニ此ノ法律ヲ破

碎センコトヲ謀レリ左レハコブデン等ノ演説ノ如キハ大ニ人心ヲ感動セシメ衆人爭フテ金ヲ醵シ以テ其黨ヲ助クルニ至レリ於レ是乎英吉利全國ノ輿論略ボ一定セリ故ニ宰相ロベルトピールハ大ニ悟ル所アリ國會ニ於テ舊來ノ法律ヲ廢棄シ自由貿易ヲ許サンコトヲ建議シ其ノ演説ノ痛切ナル語中ニ余ハ從來ノ説ヲ一變ス故ニ是迄言ヘル所ノ語ハ悉皆之ヲ取消シ更ニ熱心シテ自由貿易ヲ主張スト云々セリ然ルニ當時國會ニ於テハ頗フル反對論者アリ就レ中コルシホンノ如キハ大ニ之ヲ咎メ責ムルニ大丈夫タル者ノ其ノ既ニ口外セル言語ヲ取消ス能ハザルヲ以テシ之ヲシテ速ニ舊説ニ復セシメント欲シ容易ニ全會ノ一致ヲ得ル能ハザリキ然レトモロベルトピールハ鋭意シテ其説ヲ主張シ

百折屈セズ而シテ此說タル實ニ之ヲ道理上ニ質スモ之ヲ實際上ニ推スモ極メテ至當ナルヲ以テ漸ク其勢ヲ得ルニ至レリ且ツコブデンノ如キハ若シ宰相ニシテ保護稅ヲ主張スルガ如キアラハ立トコロニ其職ヲ斥ケヨト極メテ劇烈ナル言語ヲ發セリ而シテ此二人ノ說ノ如キハ正理ニシテ奪フ可カラズ辨論討議十有餘日ヲ經テ遂ニ全勝ヲ占ムルヲ得タリ

其レ斯クノ如ク英國ハ一朝ノ失策ニ因リ此ノ惡法律ヲ布キ爲メニ人民ノ其困苦ヲ受クルハ數百年ノ久シキニ及ヒ漸ク志士ノ盡力ニ賴リテ之ヲ改良スルヲ得タリ故ニ我邦ノ如キモ若シ不幸ニシテ保護稅說ノ勢力ヲ得ルヿアラハ其ノ之ヲ廢棄改良スルハ決シテ容易ニ非ザル可キナリ斯

ク論シ來ラハ反對論者ハ必ス米國ヲ引用シ來リテ其ノ今日ノ富强ハ即チ保護稅ノ爲ス所ト云フ可シ吁嘆惑ヘル哉抑モ米國ヲシテ若シ保護稅說ヲ行ハザラシメハ其富强ハ何ゾ今日ノ如クニシテ止マンヤ又我邦ノ貿易ニ就キ口ニ任カセテ金貨濫出ト云フカ如キモ是レ思ハザルノ甚シキモノト云ツ可キノミ要スルニ反對論者カ論據トスル所ノモノハ實ニ茫漠トシテ雲烟ノ如ク故ニ余輩ハ論者カ其論旨ヲ明ナラシメンヿヲ冀望ス若シ然ラスシテ其今日ニ論辨スル所ニ止マラシメハ余輩ハ之ヲ評シテ我邦ノ保護稅論者ハ決シテ眞誠ノ保護稅論者ニ非ス即チ是レ鎖港ヲ好ミ且ツ其事實ヲモ顧ミスシテ濫リニ金銀貨ノ外出ヲ吝ムノ論者ナリトハ云ンノミ

保護金ノ弊害

末廣重恭演説
伊庭豐長筆記

諸君ヨ余ハ保護金ノ弊害ニ就キ精細ノ演説ヲ爲サント欲セシガ先キニ乘竹君以下數名ハ既ニ政府ガ民間ノ事業ニ干渉スルノ不可ナル理由ヲ陳述セラレタルニ因リ余ハ單ニ事實ノミヲ舉ケテ之ヲ辨明セントスルナリ而シテ今日余ガ演説ノ目的トスル所ハ夫ノ政府ノ保護ヲ受ケ航海ノ全權ヲ專有スル三菱會社ニ在リ其ノ進ンテ本題ニ入ラントスルニ先キタチ敢テ一言ヲ述ベ諸君ニ向フテ自ラ辨釋セザル可カラザル者アリ諸君ノ已ニ知ラルヽガ如ク近來商法社會ニ於テ一ノ大軋轢ヲ生出シ互ニ計畧ヲ設ケテ相陷擠スルノ有樣アリ今余ガ其ノ一方ノ巨魁タル三菱會社

ヲ駁擊スルヲ視レハ或ハ其反對黨ノ教唆ニ出テ又ハ其ノ依賴ヲ受ケタルカノ嫌疑ヲ容ルヽモノ有ル可シ然レトモ是ヲ是トシ非ヲ非トシ毫モ偏頗ノ意見ナキハ余ノ自ラ信スル所ナリ且ツ余ハ筆ニ耕シ讀書ニ耽リ身ヲ商業社會ノ外ニ置ケリ何ノ求ムル所アッテカ他人ノ囑託ヲ受ケ以テ其ノ論鋒ヲ左右センヤ又一人アリ來ッテ余ニ告ゲテ曰ク子ハ熱心シテ保護金ノ弊害ヲ論ゼントスルカ三菱會社ハ政府ニ應援アッテ其ノ黨與ノ多キ勢力ノ盛ナル與ニ比ス可キ者ナシ子ハ一枚ノ舌ヲ以テ之ニ抵抗セントス亦危險ナラズヤト余ハ謂ラク止ダ其ノ此ノ如シ是レ余ノ愈ヨ默々ス可カラザル所以ナリ夫レ三菱會社ナシテ委靡シテ振ハズ其ノ危キヿ風前ノ燈火ノ如クナラシムレハ亦何ゾ余輩

ガ其ノ隙ニ乘シテ舌ヲ鼓シ辯ヲ費ヤスヲ要センヤ今ヤ然ラズ彼社ノ盛大ナル朝日ノ昇ルカ如ク世ノ商業ヲ營ムモノハ之ト競爭ヲ試ムル能ハザルノミナラズ能ク記者ヲシテ其ノ筆ヲ投シ演說家ヲシテ其ノ舌ヲ鉗セシムルノ勢アリ豈ニ一二予輩ノ如ク忠正公平ノ意見ヲ以テ之ヲ刺衝シ社會ノ平均ヲ萬一ニ求ムル者無カル可ケンヤ

諸君ヨ情ノ愛憎ニ涉ルモノハ即チ社會ノ不平均ヲ生出スルノ基ナリ當局者ハ何ゾ茲ニ注意セザル可ケンヤ例ヘハ茲ニ數株ノ矮松アランニ其ノ主人ハ特ニ中間ノ一株ノミヲ愛撫シ之ニ肥料ヲ與ヘ力ヲ培養ニ盡シテ他ノ數株ヲ問ハザルニ置カシムレハ其ノ愛スル所ノ一株ハ忽チ鬱翳トノ雲霄ヲ摩スルニ至ルモ其ノ餘ハ之ガ爲メニ隱屏セラレ

テ風露ノ養ヲ缺キ遂ニ自ラ枯レ死スルニ至ル可シ又一罍中ニ三隻ノ小蛇ヲ畜フルモノ有リト假定セヨ其ノ一頭ニ向フテ日ニ糯米ヲ與フレハ彼レ獨リ漸次ニ長大ト爲リ遂ニ他ノ二隻ナル己ノ同類ヲ嚙ミ殺スニ至ル可シ何トナレハ偏頗ノ原因アレハ茲ニ偏頗ノ結果ヲ生セザルヲ得ザレハナリ蓋シ社會ノ事ハ各己ノ競爭ニ成ル而シテ商業ノ如キ最モ然リトス茲ニ一ノ豆腐屋ヲ開イテ利益ヲ得ルモノアレハ隣街ノ權兵衛モ八兵衛モ皆ナ資本ヲ卸シテ豆腐ノ製造ニ着手シ以テ互ニ競爭ヲ試ムルナル可シ酒屋ナリ醬油屋ナリ皆ナ然ラザルハ無シ然レトモ商賣ナルモノハ決シテ濡手ヲ粟ヲ握ムガ如キモノニ非ズ仕入ニ費用ヲ掛ケ番當手代ニ給料ヲ與ヘ地代ヲ拂ヒ營業稅ヲ出ザル可カラズ而

シテ得意先キハ皆ナ品ノ精コシテ價ノ廉ナランヲ欲ス是ニ於テカ各商互ニ資本ヲ入レテ相競爭シ以テ營業ノ盛昌ヲ計ルニ至ル然ルニ今ヤ政府ハ豆腐屋一般ヨリ運上ヲ取リ立テ其ノ金ヲ以テ一軒ノ豆腐屋ヲ保護スルヿアラシムレハ此ノ豆腐屋ハ製造ヲ大ニシ賣捌ヲ廉ニシ得意ヲ一軒ニ引キ受クルヲ以テ近邊ノ豆腐屋ハ盡ク之ガ爲メニ壓倒セラレテ破產閉店ニ至ル可シ其ノ結果タル前ニ揭ゲル矮松小蛇ノ比喩ト一般ナリ保護ノ弊害タル豈ニ亦明々白々ニ非ズヤ

諸君ヨ抑モ我ガ日本帝國ハ四圍皆ナ海ナルヲ以テ旅客ノ往來ヨリ貨物ノ運輸ニ至ルマデ槳子船舶ニ賴ラザルハ無ク貿易ノ盛衰ハ一ニ航海事業ノ盈縮ニ係レリ然ルニ維新

ノ始メニ至ルマデ我ガ邦海路運送ノ權ハ一ニ外人ノ爲メニ占取セラレ政府又ハ人民ノ設立スル滊船會社アリト雖モ其ノ勢力微々トシテ外人ト與ニ競爭ヲ試ムル能ハザリキ是時ニ當リ恰モ好シ三菱會社ノ振起スルニ會シ政府ハ之ト契約ヲ結ビ數十隻ノ滊船ヲ下附シ年々二十五萬ノ金額ヲ給與シ以テ其ノ事業ヲ贊成セラレタリ是ニ於テ該社ハ夫ノ米ノ泰平海滊船會社英ノ「ピーナー」會社ト競爭シテ全勝ヲ占メ遂ニ沿海ノ航權ヲ我ガ國人ノ手ニ恢復スルニ至レリ政府ハ保護ノ目的ヲ誤マラズシテ三菱會社ハ保護ヲ受クルノ義務ヲ盡セルモノト謂フ可シ故ニ政府ハ十ケ年ノ契約ヲ延ハシ明治九年ヨリ更ニ十五ケ年間ヲ期シ年々二十五萬圓ヲ給與スルニ決セリ然レ𪜈保護ノヿタル一

方ニ益アルモ一方ニ害アリ今日政府ガ三菱會社ヲ保護スルハ稍ヤ夫ノ一軒ノ豆腐屋ニ向フテ特別ノ保護ヲ下タスモノト相類似スルナラズヤ而シテ該社員ノ言ヲ聞ケハ曰ク是レ保護金ニ非ズシテ郵便ヲ運輸スルノ報酬ナリト政府ト三菱會社トノ契約ハ或ハ然ラン然レモ吾輩ハ其ノ實跡ニ就イテ之ヲ保護金ナリト斷言セントスルナリ諸君試ミニ思ヘ三菱會社ハ二十五萬圓ノ保護金ヲ得テ航海ニ從事セハ他ニ一人又ハ數人ノ連合シテ航海ノ事業ニ着手セントスルモ何ゾ能ク三菱會社ト競爭ヲ試ムルヲ得ンヤ故ニ政府カ三菱會社ト契約ヲ解ク迄ハ我ガ邦ニ於テ他ニ漕船會社ノ成立ヲ望ムヿ可カラサルナリ已ニ一社ヲシテ諸線路ノ運輸ヲ專取セシムレハ運賃ノ高下荷物ノ取

扱ヒハ止タ三菱會社ノ勝手次第ニシテ之ガ爲メニ不便利ヲ感スルモノ有リト雖モ其ノ不平ヲ訴フル所ナキヲ如何シ余ハ今春歸着ノ際ニ於テ大阪ノ商人ヨリ聞キシコアリ該地ニ紙砂糖等ヲ取扱フ大問屋十軒アリ東京ヘ廻漕スル爲メ之ヲ三菱ノ漕船ニ托スル時ハ運賃ノ過當ナルヲ以テ自ラ西洋形帆前船會社ヲ起セシガ三菱會社ハ直チニ社員ヲ土佐阿波等ニ派遣シ其ノ問屋ノ得意先キヲ說キ紙砂糖ヲ買ヒ占メ自ラ東京ヘ廻漕スルニ因リ諸問屋ハ殆ント困難ノ有樣ト爲ルニ至レリト然レモ是レハ三菱會社ガ營業上ニ於テ然ラザルヲ得ザル所ナレハ未ダ之ヲ以テ保護ノ弊害ヲ證明スルニ足ラザルナリ世人ハ三菱會社ガ起業公債ノ募リニ應シテ數十萬金ヲ出ダセシヿヲ喋々シ或ハ該

社長ガ木石ヲ諸國ヨリ運輸セシメテ壯大ノ家宅ヲ深川ニ營ムヲ誹毀シ又ハ江戸橋ニ高壯ナル煉化ノ倉庫ヲ建築スルヲ視テ其ノ瓦色ノ赭赤ナルハ即チ人民ノ膏血ナルヲ評スル者アリ是レ妬者ノ言ノミ政府ト契約ヲ結ンデ其ノ保護ヲ受ケ營業上ヨリ生スル所ノ利益ヲ以テ自ラ轉遷消費ヲ爲スニ於テ何ゾ他人ノ口ヲ其ノ間ニ挿ムヲ許サンヤ故ニ余ノ三菱會社ニ憂フル所ハ茲ニ在ラズシテ該社ガ其ノ保護金ヲ以テ世間ノ商業上ニ立チ入リ以テ利益ヲ壟斷スルニ在リ頃日東京ニ貿易商社ノ設立アリ二十萬圓ノ資本ヲ以テ海外ト直キ取引キヲ爲スモノナリ世人ハ之ヲ評シテ曰ク其ノ資本ハ多ク三菱ヨリ出ツ蓋シ或ル會社ガ多ク西洋形ノ帆船ヲ所持シテ運輸ノ利益ヲ奪フニ因リ之ヲ

以テ其ノ會社ヲ壓倒セントスルノ目的ニ出ルナリト頃日或ル取引所ニ一大葛藤アリ遂ニ其ノ頭取以下ノ退職ヲ爲スニ至レリ世人ハ之ヲ評シテ曰ク是レ三菱會社ノ煽動ニ出デ之ヲ以テ風帆船會社ヲ設立セント試ミタル黨與ヲ排斥シタルナリト頃日或ル雜誌ノ發行アリ其ノ主義トスル所ハ保護ニ在リ世人ハ之ヲ評シテ曰ク其ノ資本ハ三菱ヨリ出デ之ヲ以テ世ノ反對黨ヲ攻擊スルノ器械ト爲スナリト此等ノ諸說ハ固ヨリ余輩ノ信用セザル所ナリト雖モ苟モ實際上ニ於テ此事アリト假定セハ其ノ保護ノ政畧ニ因ツテ妨害ヲ社會ニ及ホスハ果シテ幾許ゾヤ政府ハ二十五萬圓ヲ擧ケテ三菱ヲ保護シ而シテ三菱ハ其ノ保護金ヲ移シテ私立ノ諸商會ト競爭ヲ試ムレハ利益アル各種ノ商業

ハ盡ク三菱一社ノ爲メニ占奪セラルヽニ至ル可シ之ヲ如何ゾ保護ノ弊害ト謂ハザル可ケンヤ夫レ政府ガ二十五萬圓ヲ擧ゲテ一社ヲ保護シ航海權ヲ外人ノ爲メニ專有セラレザルヲ要スルスラモ之ヲ認メテ己ムヲ得ザルノ下策ナリト謂ハザル可カラズ之ヲシテ各種ノ商業ニ干渉セシメテ之ヲ問ハザルニ置クガ如キアラハ是レ人民ノ膏血ヲ以テ商業ノ發達ヲ妨害スルモノニ非ズシテ何ゾヤ故ニ余ハ一方ニ於テ政府ガ三菱ニ向フテ十分ノ監督ヲ爲シ一方ニ於テハ三菱會社ガ十分ニ自ラ警戒シ政府ガ優渥ナル保護ニ背イテ以テ妨害ヲ社會ニ及ホス勿ランコヲ希望セザル可カラザルナリ

東京本所區横網町二丁目二番地
東京府平民
編輯主任　吉田次郎

同日本橋區元柳町十四番地寄留
青森縣士族
持主兼印刷　根津親德

東京々橋區新肴町十壹番地
假本局
求友社

弊社雜誌ノ儀ハ代價並ニ遞送税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價五錢　五冊前金二十二錢五厘　十冊前金四十三錢　二十冊前金八十錢

但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同日本橋區元大坂町　法木德兵衛
同淺草區元鳥越町廿一番地　共致社
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏
同神田區雉子町三十二番地　巖々堂
同虎ノ門外琴平町　靄靜堂
同芝區三田同朋町　海靜堂
同芝源助町　春陽堂

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同麹町區三番町　杉田秀之助
同牛込神樂坂壹丁目十番地　積善堂
同表神保町九番地　大黑屋金之助
同赤坂裏壹丁目十六番地　赤川五平
同本郷區本郷四丁目十番地　高橋屋
同淺草並木町二十六番地　湊屋小兵衛
同日本橋區室町三丁目　秋山茂左衛門
同兩國吉川町二番地　大黑屋平吉
横濱野毛町二丁目　鈴木糸吉
石川縣金澤尾張町　牧野作平
大坂堂島中壹丁目　靜雲堂
岐阜大田町　春陽舍
信州松本南深志町　窪田重平
大坂本町四丁目　岡島眞七
相州横須賀旭町　大塚靜喜
西京新京極蛸藥師下ル　太田權七
下総千葉　内國通運會社

定時刊行

下茂

明治十三年第十一月二日刊行

○府縣會規則第五條ハ如何樣ニ解釋スベキ乎　津川雄雌

○國會開設ヲ猶豫スルノ理由如何　北村雪

○贋物ノ説　益田克德

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯
嚶鳴雜誌　第廿三號

嚶鳴雜誌第二十三号

○府縣會規則第五條ハ如何樣ニ解釋スベキ乎

津川雄雌

府縣會規則第五條ニ府縣會ノ議決シテ府知事縣令ノ認可スベカラズト認メタルモノナ内務卿ニ具狀シテ其指揮ヲ乞フヘキ明文ヲ掲ケタルヨリ本年ハ諸府縣ニ於テ行政官ト議會トノ間ニ紛糾ヲ生シタルコハ吾人ノ共ニ知ル所ナリ而シテ世人ハ内務卿ガ指揮スル所ノ區域ニ付テ種々ノ見解ヲ下スニ至レリ其甚シキモノハ云ク内務卿ハ議決ヲ認可スルトセサルトヲ指揮スルニ止ラズ之ヲ認可セサルキハ原案ノ儘ニ施行セシムルモ又其意ノ定ムル所ニヨリテ施行セシムルモ第五條ノ許ス所ナリト

吾人ノ見ニ據レバ此說最モ非ナリ請フ簡略ニ其非ヲ辨セン論者ハ府縣會規則ノ第一條ヲ讀ミタル乎第一條ニ云ハズヤ府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スベキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スト我日本帝國ノ立法官ガ該條ヲ議定シテ天皇陛下ノ批准ヲ得タル日ハ如何ナル日ゾ即チ地方ノ政府ニ於テ判然行政官ト人民議會トノ權限ヲ定メ地方稅ヲ以テ支辨スベキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スルノ權ヲ議會ニ與ヘタル日ニアラズヤ故ニ是ヨリ以後行政官ハ議會ノ權內ニ在ル事ヲ爲スヲ得ザルナリ議會ニ代テ其豫算及ヒ其徵收方法ヲ決スルヲ得ザルナリ論者ヨ府縣會規則ノ精神ハ此ニ在ルヿヲ知ル乎論者ニシテ苟モ通常ノ腦髓ヲ具ルモノトセハ豈ニ之ヲ知ラザルヲ得ンヤ已

ニ之ヲ知ラハ此精神ヲ以テ該規則ノ全体ニ及ボセヨ忽チ第五條ノ意ヲ了解スルヲ得ベキナリ實ニ該條ハ府知事縣令ニ議決ヲ認可スルノ權ヲ與ヘタリ然リト雖モ府知事縣令ハ唯其議決ヲ認可スルトセザルトニ止マリ其議決ヲ認可セザルトキハ議決ヲ以テ烏有ニ屬セシムルト雖モ第一條ノ精神ニ戾リ已レ議會ニ代テ議會ノ權內ニ在ル所ノ經費豫算及ビ其徵收方法ヲ決スルヲ得サルベシ故ニ內務卿モ亦府知事縣令ニ認可スベカラザルヿヲ指揮スルヲ得レ𪜈之ヲシテ原案ノ儘ニ施行セシムルヲ得ザルナリ何トナレバ原案ハ行政官ノ作ル所ナルヲ以テ若シ之ヲ議會ノ再議ニ附セズシテ之ヲ行ヘバ行政官ガ議會ニ代テ議會ノ事ヲ爲スニ歸着スベケレバナリ

又之ヲ歐米各國ノ例ニ問ハハン乎論者ノ說ヲ助クベキモノヲ見ザルナリ第五條ノ不認可權ハ西語ニ之ヲ「ビートー」ト云フ「ビートー」ノ語タル「余ハ之ヲ妨グル」ノ義ニシテ羅馬ノ保民官(ドリビューン)ガ議院ノ議決ヲ施行スルヲ拒ムノ權ニ起レリ英國其他ノ立憲國ニ於テハ此權ヲ行政官ニ與ヘテ立法行政二權ノ間ニ權力ノ平均ヲ保タンヿヲ計レリ何レノ場合ニ於テモ其權タル立法官ガ議決シタルモノヲ施行スルヿヲ妨クルニ止マレリ議院ノ議決ヲ認可セズシテ已レ別ニ法律ヲ出スノ權ニアラザルナリ故ニ保民官或ハ行政官若シ立法官ノ議決ヲ認可セザルトキハ其原案モ修正案モ共ニ消滅シテ討論ヲ開カザル前ニ同シキモノトナルベキナリ我府縣會規則モ豈之レト異ナランヤ若シ之ヲ然ラズト云ハヾ

該規則ハ不備ト云ハン乎寧ロ不條理ノ團結ナリト云フベキナリ

吾人ハ府縣會規則ノ精神ト歐米ノ例トニヨリテ已ニ論者ヲ論破シ得タリト信ズ然リト雖モ尙ホ吾人ハ論ヲ茲ニ止メズ直チニ第五條ノ文章ヲ分拆シテ之ヲ論者ニ示シ論者ガ根據トナス所ノ指揮ノ二字ハ認可不認可ノ指揮ニ止マルヿヲ辨シ以テ論者ノ迷夢ヲ攪セントス第五條ハ之ヲ分拆シテ二トナスヲ得ベシ即チ「府縣會ノ議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トス」トノ文ハ本條ノ正文ナリ「若シ府知事縣令其議決ヲ認可スベカラズト思慮スルトキハ其事由ヲ內務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フベシ」トノ文ハ本條ノ但書トモ云フベキモノナリ何故ニ但書ト云フカ本條

ハ議會ノ議決ヲ認可スルノ權ヲ府知事縣令ニ與ヘタルモノナリ若シ以下ノ文ナキモ府知事縣令ハ認可セザルヲ得ベシ何トナレバ認可スルノ權アレバ認可セザルノ權アルハ理ノ然ル可キ所ニメ認可セザルノ權ナケレバ認可スルノ權アリト云フヲ得ザレバナリ故ニ若シ以下ノ文ハ日本帝國ノ立法官ガ認可セザル場合ヲ重クセンガ爲メニ加ヘタル第五條ノ但書ニ過ギサルベシ言ヲ更ヘテ言ヘハ認可セザルノ事タル必ス行政官ト議會トノ間ニ軋轢ヲ生スベキモノナレバ立法官ハ之ヲ府知事縣令一己ノ思考ニ任スルヲ危ブミ此場合ニ限リ内務卿ニ具狀セシメ之ヲ調理シテ果シテ認可スベカラサル理由アレバ之ヲ認可セザルヲ得ルトノ用心ニ過キサルベシ立法官ニシテ若シ此用心ヲ

必要トセサレバ此但書ヲ加ヘサルベシ此但書ナケレバ指揮ノ文字ナキハ固リ論ヲ待タザルナリ果シテ然ラバ行政官ハ何ノ律文ニ據テ原案ノ儘ニ施行センヿヲ命スルヲ得ルカ是ニ由テ之ヲ觀レバ指揮ノ二字タル認可スベキカ認可スベカラザルカヲ指揮スルニ止マルヿハ亦明白ナラズヤ

以上吾人ハ第五條ノ指揮ノ區域ニ付テ誤謬ヲ懷クノ論者ニ向テ三方ヨリ攻擊シタレバ論者ハ已ニ之ニ答戰スルノ彈丸ナカルベシト信スルナリ若シ之レアレバ請フ之ヲ放テ吾人ノ障壁ノ堅脆ヲ試ミヨ

○國會開設ヲ猶豫スルノ理由

北村雪

如何

夫レ我邦ハ畏コクモ我ガ天皇陛下ノ明治戊辰ノ歳ヲ以テ維新ノ鴻業ヲ建テ給ヒシヨリ爾來其ノ星霜ヲ閲スル僅カニ十有三ニ過キスト雖ヒ氣運ノ然ラシムル所其人文ノ進歩甚ダ迅速ニシテ實ニ吾人ノ意外ニ出ル所ノモノアリ左レハ我ガ邦民ハ權利義務ノ本源ヲ辨知シ且ツ明治初年ノ御誓文及ヒ同八年四月ノ聖詔ニ基キ各地方ヨリ總代ヲ撰任シ國會開設ヲ闕下ニ請願スル者陸續踵ヲ接セリ而シテ其總代タル者ハ自ラ其負擔ノ極メテ重キヲ知リ之ヲ要請スルヤ亦甚タ勉メリ或ハ雨ニ衝門ノ外ニ沾濕シ門者小吏ノ侮蔑ヲ受ケ或ハ意見ヲ貴ブモ亦充分ニ其言ヲ尽スヲ得ザル等ノ不幸ニ際會シ幾多ノ艱苦ヲ嘗メリ而シテ其ノ他ノ有志者モ或ハ其趣旨ヲ新聞

紙上ニ掲載シ或ハ之ヲ公衆ノ前ニ演説シ以テ其愛國心ヲ振起セシメント欲スヽ已ニ某政談社員ノ如キモ亦各地ノ招聘ニ應シ毫モ其勞力ト時間トヲ吝マズ山川ヲ跋渉シテ四方ニ演説ス嗚呼今日志士ノ黽勉ハ實ニ至レリト謂ツ可キナリ然ルニ政府ハ毫モ之ヲ聞カザルガ如ク其ノ何故ニ國會設立ヲ猶豫スルヤ實ニ余輩ナシテ雲烟ヲ攫ムノ感アラシムルナリ是ニ由テ余輩ハ如何ニモシテ此ノ疑團ヲ氷解セシメント欲シ百方其原因ヲ探知セントヽ勉メシカ其ノ聞キ得ル所ノモノハ概テ人民ノ知識ニ乏シク道德ヲ失フ等ノ如キ淺薄ノ口實ニ過キズ然ルニ今ヤ幸ニシテ一ノ説明委員ヲ得テ政府ガ國會開設ヲ猶豫スルノ理由ヲ聞クヽヲ得タリ因テ之ヲ諸君ニ示シ併セテ余輩ノ意見ヲ述ヘ此

ヲ駁擊セントスルナリ

余輩ノ知人ニ一ノ官吏アリ此人ヤ常ニ熱心シテ官權ヲ主張ス余輩一日之ヲ訪ヒ談國會ニ及ブ乃チ余輩ノ見ル所ヲ演ヘ之ニ質スニ政府ガ國會設立ヲ猶豫スルノ疑問ヲ以テス某曰ク子ハ其一ヲ知テ未ダ其二ヲ知ラザル者ナリ如何ニモ子ガ言ノ如ク人民ニ知識少ナク經驗ニ乏シキトテ國會ヲ開ク可カラザルノ理ナシ苟モ其知識應分ノ結果ヲ生スルヲ得ハ則チ可ナリト雖モ如何セン我邦ニハ極メテ輕進ナル論者ノ多キ今ヤ內ニシテハ財政ノ困難アリ外ニシテハ治外法權アリ此等ノ輕進論者ヲシテ容易ニ政權ニ參與セシメハ必ラズ粗暴ナル擧動ヲ爲シ以テ國利國權ヲ妨害ス可シ故ニ外債ヲ募リ稅額ヲ增シ以テ紙幣ヲ截斷シ法

律ヲ改良シテ以テ治外法權ヲ破棄シ斯ク內外ノ危急ヲ救ヒ畢リ然シテ後チ初メテ國會モ設立シ權利ヲ人民ニ付與ス可キナリト」余輩ハ之ヲ駁シテ曰ク君ガ說ノ如キハ全ク余輩ノ所見ト相反セリ君ガ所謂ル內外ノ危急ノ如キハ國會アリテコソ初メテ之ヲ救フヲ得可ケン何トナレバ人民ナシテ國家ノ經濟ニ參セシムレハ乃チ財政ノ困難モ之ヲ救フノ責任ハ人民ニアリ故ニ如何ナル重稅ヲモ甘シテ之ヲ出ス可ク又國會ハ人民ノ代議士ヨリシテ成立スル所ナリ左レハ國會ノ決議セル所ノモノハ即チ全國人民ノ輿論ナリ故ニ治外法權ノ如キモ一般人民ノ輿論ヲ以テ之ヲ請ハヽ歐米諸邦ト雖モ何ソ之ヲ許諾セザルノ理アランヤ然ラハ則チ內外ノ危急ノ如キモ其之ヲ救フノ策ハ反テ國會

開設ノ後ニ在ルヿ可キナリト某氏大ニ窮スルノ色アリ乃チ聲ヲ低フシ曰ク子ノ說ハ或ハ可ナルモノヽ如シ然レ𪜈此ニ政府ニ一ノ大ナル御都合アリ而シテ此御都合タルヤ極メテ口外シ難キヿナレ𪜈今子カ爲メニ之ヲ言ハン政府ガ國會ヲ開設セザルノ理由ハ他無シ施治者ノ權ヲ褫奪セラレンヿヲ懼ルレハナリ何トナレハ若シ國會ヲ設立セハ租稅ヲ課徵スルノ權、貨幣ヲ製造スルノ權、內外公債ヲ募ルノ權、府縣ヲ廢置スルノ權及ヒ國境ヲ改定スルノ權等悉ク之ヲ國會ニ與ヘザルヲ得ス之ヲ如何ゾ猶豫セザルヲ得ンヤト余輩此言ヲ聞キ愕然トシテ驚キ悄然トシテ歎シ遂ニ茫然トシテ言フ所ヲ知ラザリシナリ蓋シ某氏ノ言ヤ必ズ我ガ廟堂君子ノ意ニ非ズ特ニ一個ノ

臆測ニ出ルヤ決シテ疑フ可カラズ然レ𪜈若シ此言ヲシテ果シテ信實ナラシメハ余輩人民ノ不幸ハ果シテ如何ンゾヤ前ニ述フル所ハ既ニ國會ヲ猶豫スルノ口實ト爲スニ足ラズシテ後ニ述フル所ハ亦以テ國會ヲ猶豫スルノ理由ト爲ス可キニ非ザルナリ我ガ廟堂君子ノ賢明ナル何ゾ權勢ニ戀々トシテ公議輿論ヲ顧慮セザルノ事アランヤ蓋シ他ニ已ム可カラザルノ事情アリテ余輩ノ之ヲ與リ知ル能ハザルノミ余輩ハ毫モ某氏ノ言ニ取ル無シト雖𪜈世上往々此ノ如キノ臆說ヲ逞マシウスル者アルニ因リ之ヲ揭出シテ駁擊ヲ加ヘ政府ガ國會開設ヲ猶豫スル理由如何ンヲ諸君子ニ問フアラントスルナリ

贋物ノ說

益田克德演說

名實相稱ハザルハ社會ノ最モ惡ミ且ツ卑シム所ナリ其名ハ堂々トシテ衆人ヲ敬服セシムルニ足ルモ之ニ相當スルノ實ナキ者ハ吾輩之ヲ目シテ贋物ト云ハントスルナリ然レトモ社會ノ事物多ク此贋物ニシテ吾輩ヲシテ痛歎ニ堪ヘザラシム例ヘバ街頭ノ暴店ニ僅々二三ノ物品ヲ陳列シ中央ニ安置スルニ圈中ニ三葉葵ノ紋ヲ彫鐫セル銀烟管ヲ以テス蓋シ圈中三葉葵ハ舊政府德川氏ノ定紋ナレバ之ヲ一見スル者或ハ其ノ銀無垢ナルカト疑フ然レトモ是レ所謂贋物ナリ而シテ其ノ外ニ一二同穴ノ狐アリ恰モ道路ノ人ノ如ク直チニ之ヲ購求セントスル欲漢ヲ誘フ若シ不幸ニシテ田舍漢ノ一タビ該品ニ手ヲ觸ルヽアレバ或ハ騙カシ或ハ威トシ到底之ヲ買ハザルヲ得

ザラシム而シテ一タヒ其價金ヲ收取スレハ忽チ其場所ヲ轉シ復タ之ヲ踪跡ス可カラズ又茲ニ人アリ高帽ヲ戴キ絹絁ヲ纏ヒ襟ニ金鎖ヲ耀カシ鼻下ニ八字ノ鬚ヲ生ス外面ヨリ之ヲ觀レハ實ニ儼然タル一貴顯ノ如シ而シテ之ヲ認メテ是レ坊兒ナリト云フ者アラハ誰カ驚絶セザランヤ然リ而シテ一家一國ノ政事ト雖モ亦此ク贋物無キ能ハザルナリ何ヲカ一家政ノ贋物ト云フ茲ニ一商家アラン此家ヤ其主猶幼ナルヲ以テ家政ヲ番頭ニ委任セリ此番頭ヤ外面ヨリ之ヲ見レハ恰モ忠實無二ナル者ノ如シト雖モ其實ハ極メテ奸惡ニシテ主家ノ財寶ヲ私シ其幼主ヲ待遇スル甚ダ殘酷ナルガ如キ即チ是ナリ又一國ニ就テ之ヲ言ヘハ陽ニ國事ニ勤勞シ人民ノ權利ヲ保護シ今ニモ民意ニ從フテ

大ニ釐革スル所アルノ狀ヲ示スモ陰ニ私利ヲ營ミ民權ヲ抑制セントスル當局者アラハ則チ是レ一國ノ贋物ナリ夫贋物ハ人ヲ欺クモノナリ人欺カレテ之ヲ悅フ者アランヤ故ニ贋物ハ世ニ大害ヲ爲スモノト云ハサルヲ得ス吾人ハ之ヲシテ迹ヲ社會ニ絕タシメンコヲ願ハサル可ケンヤ今ヤ我邦ニ元老院アリ以テ立法ノ權ヲ占ム又地方官會議アリ以テ各地方ノ氣情ニ適スルノ施政ヲ議ス又府縣會アリ以テ人民ニ各其地方ノ經濟ヲ議定スルノ權ヲ與ヘタリ是レ實ニ吾輩カ常ニ熱望スル民權ヲ伸張スルノ階梯ナリ抑モ此ノ三者ハ全國同胞ノ深ク慶ヲ被ムル所ニシテ極メテ必用ナルモノト云ハザルヲ得ス然ルニ人アリ此三者ヲ目シテ有名無實即チ吾輩ノ所謂ル贋物ノ最モ甚シキ者ト

セリ其ノ說ニ曰ク元老院ノ如キハ外部ヨリ之ヲ觀レハ其議官タル者ハ則チ更事ノ老成人ニシテ實ニ儼然タル立法官ナレトモ其之ヲ撰ムノ權ハ則チ政府ニ在リ加レ之終身官ニモアラス又在官ノ年限アルニモ非ス故ニ政府ニ於テ某議官ノ元老院ニ居ルヲ不便トセハ忽チ之ヲ他官ニ轉シ若クハ之ヲシテ其職ヲ辭セシムルヲ得ベシ夫レ斯ノ如シ何ゾ能ク充分ニ立法官タルノ職掌ヲ盡スヲ得シヤ又地方官會議ノ如キモ之カ議決ヲ經ザルモ其事ヲ行フニ差閊ナク又其議決ト雖モ必ズシモ之ヲ採用スルニハ非サルナリ又タ府縣會ノ如キハ地方政府ニ於テ其議決ヲ以テ聊カタリトモ之ヲ不便ナリト思考スルトキハ忽チ該規則第五條ニ據テ之ヲ認可セザルニ至ル可シ故ニ此三者ハ名アツテ實ナク

徒ラニ經費ヲ要シテ世ニ利益ヲ爲サヽルモノナレバ寧ロ其無キニ若カザルナリト然レヒ吾輩ハ決シテ之ヲ信スル能ハズ將ニ之ニ答テ云ハントス我政府ノ廟堂ニ列スル人々ハ皆ナ是レ賢明ノ君子ナリ何ゾ忠鯁ナル議官ヲハ他ニ轉任セシメ以テ自己ノ便宜ヲ計リ元老院ヲシテ立法官タルノ職掌ヲ盡ス能ハザラシムルガ如キコトアランヤ又地方官會議ノ如キモ已ニ故ラニ之ヲ遠隔ノ各地方ヨリ召集セルモノナレバ何ゾ之ガ決議ヲハ毫モ介意セザルガ如キノ理アランヤ而シテ府縣會規則第五條ニ至テハ特ニ其會ノ未ダ幼稚ナルヲ以テ其或ハ過激ニ流レ粗洩ニ失スルノ弊害ヲ防ガントス欲スルニ過キザルノミト然リト雖モ萬一此論者ノ言ヲシテ信ナラシメバ吾人ノ不

幸ハ是ヨリ甚シキハ無シ果シテ然ラハ吾輩ハ此ノ如キノ政府ヲ目シテ無主義ノ政府トス如何トナレバ其主義タル自由ニモアラス壓制ニモアラス或ハ人民ノ懼心ヲ得ルヲ望ミ或ハ政府ノ便宜ヲ得ントス欲シ其ノ目的ヲ一定セバ恰モ渺茫タル水上ニ游泳スルガ如キノ所爲ナレバナリ嗚呼今日ノ政府ニ於テ何ゾ此事アランヤ故ニ吾輩ハ斷シテ云ハントス元老院ハ眞誠ノ立法官ニシテ地方官會議ハ各地方ノ民情ヲ參酌スルノ要具タリ而シテ府縣會ハ則チ民權伸張ノ階梯タルヿ固ヨリ疑ヲ容レズト然ルニ世人ノ或ハ此三者ヲ誹謗スル者アルハ抑モ何等ノ原因ニ出ルヤ吾輩以爲ラク是レ他無シ其組織ノ宜シキヲ得サル者アルヲ以テナリ左レハ吾輩カ常ニ熱心シテ其開設ヲ待ツ

所ノ國會ノ如キモ亦其組織ノ善惡ニ因ツテ利害ヲ社會ニ及ホスヤ甚タ大ナリ方今我ガ當局者ハ誠ニ賢明ノ君子ナルヲ以テ固ヨリ吾輩ガ杞憂ヲ要セスト雖モ百年ノ後ニ至リ暴戾ナル政事家ノ出テヽ人民ノ權利ヲ凌轢スルヿアラハ吾輩ハ與ツテ咎ナシト云フ可カラズ故ニ吾輩ハ後來ニ設立スル貴重ノ國會ヲシテ其組織ノ不完全ナルガ爲メニ贋物ノ譏リヲ蒙ムルヿ元老院地方官會議及府縣會ノ如クナラザランヿヲ冀望スルナリ

東京本所區横網町二丁目二番地　同日本橋區元柳町十四番地寄留
東京府平民　青森縣士族
編輯主任　吉田次郎　持主　根津親德
東京々橋區新肴町十壹番地　兼印刷
假本局　求友社

弊社雜誌ノ儀ハ代價並ニ遞送稅トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヽル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價五錢　五冊前金二十二錢五厘　十冊前金四十三錢　二十冊前金八十錢

但シ府外ノ分ハ別ニ郵稅申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同日本橋區元大坂町　法本德兵衛
同淺草區元鳥越町廿一番地　致社
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同麹町區三番地　杉田秀之助
同牛込神樂坂壹丁目十番地　積善堂
同表神保町九番地　大黑屋金之助
同赤坂裏壹丁目十六番地　赤川五平
同本郷區本郷四丁目十番地　高橋屋
同淺草並木町二十六番地　湊屋小兵衛
同日本橋區室町三丁目　秋山茂左衛門
同兩國吉川町二番地　大黑屋平吉
同神田區雉子町三十二番地　巖々堂
同虎ノ門外琴平町　靜霞堂
同芝區三田同朋町　靜海堂
同芝源助町　春陽堂
横濱野毛町二丁目　鈴木粂吉
石川縣金澤尾張町　牧野作平
大坂堂島中壹丁目　靜雲堂
岐阜大田町　春陽舍
信州松本南深志町　篷田重平
大坂本町四丁目　岡島眞七
相州横須賀旭町　大塚靜喜
西京新京極蛸藥師下ル　太田權七
下總千葉　內國通運會社

東京兩國吉川町二番地　大黒屋平吉
同美土代町一丁目七番地　關久
同牛込肴町　深野彌兵衛
同西久保櫻川町　明華堂
同芝柴井町　文明舍
同神田錦町一丁目十番地　中島幸太郎
同　表神保町　兒玉直次郎
同今川小路　大坂屋善兵衛
同南傳馬町二丁目　伊勢屋善三郎
同新シ橋通琴平町二番地　永盛堂
同飯倉三丁目　驗河屋
同淺草寺内　長尾
同並木町二十一番地　西村安次郎
同諏訪町壹番地　瀬山佐吉
同瓦町二番地　森本順三郎

靜岡池川町　杉
西京寺町御池下ル　伊藤久兵衛
名古屋本町二丁目　吉田道雄
下總水海道驛　新々讀社
神戸長狹通七丁目　弘
水戸下市根積町　勸興社
勢州津東町　淺野東助
大坂南清水上ノ町　鯰捕
尾州知多郡半田　小栗太郎兵衛
勢州山田一志町　加藤長平
播州姫路俵町　吾車堂
江州彦根旗手町　新々堂
紀州和歌山本町二丁目　平井文助
群馬縣前橋通リ町　博文堂
淡路洲本内通リ町　坂本忠平
函館地藏町　修文堂
小樽港新地町　堀井音二郎

下茂

定時刊行

明治十三年第十一月廿八日刊行

○日本ニ近眼人多シ　北村雪

○疆弱論　大石正巳

○英政府印度ノ政畧　第一稿　柴田德

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯
嚶鳴雜誌　第廿四號

嚶鳴雜誌第廿四號

北村雪

日本ニ近眼人多シ

世界萬國何レノ邦國ト雖ドモ之ヲ組織セル所ノ元素ハ則チ二ナリ曰ク政府曰ク人民故ニ我日本國ノ如キモ亦此二者ヨリシテ成立セリ然ルニ我邦ニ於テハ政府人民共ニ近眼ノモノ多クシテ通常ノ眼精ヲ有スル者ハ實ニ寥々タルガ如シ而シテ政府ハ國ノ支配人ナリ苟モ之ヲシテ近眼ナラシムレハ最モ憂フ可シ何ゾ速カニ治療ノ道ヲ講セザル可ケンヤ而シテ其ノ藥法ハスペンセル若クハリーベル等ノ配劑ヲ用フルニ在リ然レトモ吾輩ハ古人ノ云ヘル民ハ本ナリ政府ハ末ナリノ語ヲ服膺シ先ツ人民ノ近眼ナルヲ述ベ從フテ之ヲ治療スルノ方法ヲ示サントス

吾輩嘗テカツトルノ人身窮理書ヲ讀ムニ曰ク近眼ハ白膜（シロメ）虹彩（クロメヒトミ）眼精三者ノ凸凹不平均ナルニ由レリト左レハ若年ノ時ニ近眼ナリシ者モ年老テ眼ノ凹ムニ從ヒ三者相平均シテ近眼ノ癒ユルモノアリ而シテ吾輩ノ茲ニ述フル近眼ハ務メテ之ガ治療ヲ爲サヽレハ老年ニ至ルモ決シテ治癒スルヿナカラン諸君ヨ吾輩ガ目シテ近眼トスル所ノモノハ即チ目前ノ小利ノミヲ知テ永遠ノ大益ヲ知ラザルモノ是レナリ吁嗟我ガ邦人民ハ何ゾ此ノ近眼ノ多キヤ蓋シ商賈及ヒ製造者ニ近眼多キハ實ニ輸出入ノ不平均ヲ生スルノ最大原因タリ然ルニ我邦現時ノ景況ヲ見ルニ商工社會十中ノ九ハ概チ此ノ近眼ヲ病メリ今其最モ著シキモノヲ擧ケンニ例ヘハ木綿一千反ヲ製造スルニ三百圓ノ資本ヲ必

要トスルト假定セヨ然ルニ其製造者タルモノハ其ノ一時ノ貪慾ヲ逞フセントト欲スルガ爲メ僅カニ四五十圓ノ資本ヲ以テ之ヲ製造シ以テ巧ミニ購買者ヲ滿着スルモノアリ又或ル地方ニテハ茶ヲ製スルニ當テ砂ヲ入レテ其目方ヲ增加シ之ヲ名ケテ茶ノ「ホウカムリ」ト云フ生糸ノ如キモ之ニ砂糖ト石礦トヲ和シ以テ其量ヲ增ス者アリ其他諸製造者及商賈ノ如キ比々皆ナ此ノ猾智（絹物ニテハ「ダキ」『ホウカムリ』等ノ仲間ノ言アリ）ヲ用ヘリ吁嗟斯ノ如クニシテ如何ソヽ永ク需用者ヲ瞞着スルヲ得ヘケンヤ遂ニ發覺シテ其ノ花客ヲ失フハ眼前ナリ然レトモ之ヲ以テ內國ノ關係ノミトセハ尙ホ可ナリ外國トノ貿易ニシテ一タビ其信用ヲ失ヘハ豈ニ國家ノ最大不幸ニ非ズヤ余ハ一歩ヲ進メ外國ノ

事跡ヲ擧ケテ以テ其覆轍ヲ說キ示サン

耶蘇紀元一千八百五十八年ニ當リ「ジヤマイカ」島ニ於テ砂糖ニ砂ヲ交ヘテ之ヲ製造シ外國ニ輸出セシ「アリ」然ルニ忽チ需用者ノ爲メニ發見セラレ向來此ノ如キ狡黠手段ヲ爲スニ於テハ一切之ヲ購求セザル可シトマテニ譴責ヲ蒙リシガ彼等ハ尙ホ自ラ悔悟セズ箱ノ蓋ト底トヲ厚クシ下ニ麁惡ナル砂糖ヲ入レ上ニ上等品ヲ置キ以テ之ヲ輸出セシガ遂ニ再ヒ發見セラレタリ然ルニ此度ハ水ヲ注イテ其量ヲ增スカ如キ拙劣ナル詭術ヲ施シタルニ因リ遂ニ英米等ノ諸邦ニ於テ再ヒ該島ノ物品ヲ購求セザルニ決シ全ク其輸出ヲ止ムルニ至リ是ニ於テ始メテ自ラ悔悟セシモ既ニ六日ノ菖蒲十日ノ翦ト爲リ復タ其信用ヲ挽回ス可カラ

ズ全ク其ノ利益ヲ損害シタリキ又曾テ支那ニ於テモ生糸ノ輸出漸ク盛ナルニ乘シテ狡猾手段ヲ考ヘ其見本ヲ善美ニシテ其實荷ヲ麁惡ニセシノミナラズ瓦礫ヲ函中ニ入レテ其量ヲ重クセシガ故ニ英倫ニ於テ一時ハ支那產ノ生糸ヲ買ハザルニ至レリ前鑑遠カラズ豈ニ戒愼セザル可ケンヤ」

蓋シ此ノ目前ノ細利ヲ知テ永遠ノ巨益ヲ視ザル近眼ハ極メテ難症ナリト雖モ之ヲ治スルニ其良藥ナキニ非ズ然レモ伊勢ノ眞珠岸田ノ精錡水ノ如キ尋常一樣ノ眼藥ニテ毫モ功用アル無シ吾輩ノ見ル所ヲ以テスルニ良藥ニ三種アリ一ニ曰ク法律是レ極メテ劇劑ナリ然レモ法律ヲ以テ之ヲ禁スル時ニハ之ヲ輕急ニ失スルヲ免カレズ喩ヘハ黴毒ノ面部ニ吹キ出テシヲ强テ治療セントスレハ忽チ復タ他

部ニ發スルカ如キノ恐レアリ二ニ曰ク道德宗教是レハ緩漫ニ失スルノ憂アリ三ニ曰ク商業者ノ盟約此ノ真藥コソ實ニ能ク病根ヲ一掃スベケレ何トナレハ其同業中ニ於テ盟約ヲ結ヒ苟モ不正ノ手段ヲ爲ス所ノモノアレハ其ノ之ヲ惡ムヿ恰モ往昔四民ノ穢多ヲ忌ムガ如ク擧ツテ其罪ヲ數タ其罪ヲ聲サハ此ノ惡弊ヲ改真スルニ難カラザルナリ蓋シ一國ノ禍ハ貧ヨリ大ナル無シ苟モ其ノ國ノ獨立ヲ維持シ萬國ト對峙セントスルハ其國ヲ富マスヲ以テ第一トス而シテ一國人民ノ近眼ニシテ遠見ナケレハ何ゾ能ク自ラ富有ノ域ニ達スルヲ望ム可ケンヤ是レ吾輩ガ之ガ治療ノ策ヲ講スルニ汲々タル所以ナリ

印度人種ハ亞米利加ノ深林ニ消失シ狼熊ノ山ニ羊兎ノ跡ヲ絶ツハ何ソヤ强ハ弱ニ勝ツノ明證ナリ米國ニ於テハ歐人常ニ土人ヲ殺戮スルニ非レドモ歐人ノ增加スルニ從ヒ土人ハ野獵ノ道ヲ失テ饑餓ニ至リ故ニ夫妻分裂シ父子相助タル能ハズ羊兎ハ常ニ狼熊ニ喰マルヽニ非レドモ狼熊ノ横行ヲ懼ルヽガ故ニ安堵ノ同類群居スル能ハズ此ヲ以テ其ノ種類終ニ滅絶スルニ至ルナリ由レ之觀レ之邦國ノ事モ亦然ラザルヲ得ス故ニ曰ク弱ノ肉ハ强ノ食ト豈ニ警戒セザル可ケンヤ

今夫レ大洋ノ海水ヲ汲テ之ヲ方百里ノ池ニ滿タスモ大洋ニ於テハ其ノ減水ノ痕ヲ視ズ然ルニ溜池ノ水ハ大陽ノ爲メニ蒸發セラルヽ數日ナレハ忽チ石出デ魚背現ハルヽニ

至ル富士ノ山嶽ハ百千人ノ愚公アリト雖ドモ輒チ之ヲ移ス能ハザルモ庭前ノ築山ハ半日ノ强雨ノ爲メニ其ノ形態ヲ變ス何トナレハ減水ハ寡ナキニ非レ共海水ノ大ナルガ故ニ見ル可カラズ百千人ノ勞力ハ多シト雖ドモ富士ノ形体ハ巨大ナルヲ以テ俄カニ其勞役ノ結果ヲ視ル可カラザルナリ故ニ弱國ハ强國ノ凌轢ニ因ツテ日ニ衰頽ニ就クモ國家ノ形体ハ一家ノ見易キガ如クナラザルガ故ニ皮相者流ハ猶之ヲ目シテ平安無事ノ時ト爲スニ至ル然レハ國ヲ視ルノ道ハ外面ノ虐飾ニ依テ判ス可カラズ內國ノ經濟ト全國ノ實力ヲ詳察メ衆目ノ見難キヲ看破セハ國家ノ爲メニ寒心ス可キ所ノ者アルヲ覺知ス可キナリ

夫レ弱ナル者ノ强ナル者ノ爲メニ凌壓セラレテ遂ニ衰頽

ニ就クハ是レ自然ノ勢ヒナリト雖ドモ凡ソ生物ニシテ其ノ生命ヲ愛惜セザル者ナシ故ニ疾病難苦ヲ重ヲ復タ如何ソトモスル能ハザルノ日ニ至ルト雖ドモ猶ホ甘ンジテ死ニ就ク者アラズ然レハ生ヲ愛シ死ヲ避クルモ亦天理ノ自然ナルヲ見ル可キナリ抑モ生物ノ此ノ世ニ出ルヤ必ラズ其生ヲ遂ケシムルノ機關有リ鳥ハ空中ニ飛ヒ枝頭ニ棲ム者ナリ故ニ輕捷ナル羽翼ヲ備フ獸ハ深山廣野ヲ逸走スルヲ以テ職トナスガ故ニ蹄足アリ而シテ魚鼈ノ海水ニ在ルヤ鱗アリ尾アリ以テ勝手ニ遊動ス可シ人類ハ幸福自由ヲ受ケル爲メ此ノ世ニ棲息ス故ニ手足耳目ノ外ニ深遠ノ知識ヲ附與セラレタリ然レハ若シ人類ニシテ自ラ生活ヲ保存ス能ハズ弱肉强食ト爲ルガ如キアラハ是レ禽獸ニタモ若

カザルナリ蓋シ限リ有ルノ土地物産ニシテ限リ無キノ人類ヲ養フ可カラズト雖モ今日弱國ノ衰頽亡滅ニ歸セントスル者ハ食物需用ノ盡キタルガ爲メニ然ルニ非ズ唯ダ强國ニ接スルノ其ノ道ヲ失フヿヲ以テスレハナリ然レハ之ヲ如何シテ可ナランヤ曰ク都テ世界ノ弱國ハ一團ノ結合ヲ爲シ互ニ相救援シ心力ヲ盡シテ疆國ノ權力ニ抵抗スルニ在ルナリ或ハ曰ク然レハ疆國モ亦惕力シテ弱國ヲ削奪セントノミト我輩ハ謂フ然ラズ今日强國ハ寡メ弱國ハ多シ多キヲ以テ寡キニ向フ何ソ其ノ敗ヲ取ルヲ憂ヘンヤ止ダ其ノ結合ノ輙ク其ノ道ヲ得サルヲ憾ムルノミ

英政府印度ノ政畧　第一稿　柴田德講述

余ハ今回ヲ始トシ以後數回ヲ連テ印度國人ガ自治獨立ノ

精神ヲ持セス奢侈ニ流レ私慾私怨ノ爲メニ兄弟相殺戮シ遂ニ內訌ヲ生シ外國人其隙ニ乘シテ印度ノ政權ヲ奪ヒ殘酷ナル壓制ノ政策ヲ以テ其ノ國人ヲ凌轢シ其國土ヲ己ガ領屬トシ印度帝國ヲ亞細亞洲ノ地面上ヨリ消滅セシメタル概略ヲ講述シテ之ヲ諸君ノ參考ニ供セントス

一千七百年代ノ中頃ニ當テ印度帝國ニ王位繼統ノ亂起リ王族ノ諸公子ハ互ニ爭フテ其位ニ卽カントヽ欲シ戰鬪四出シ殆ント倫理ヲ滅却シ人民生ヲ聊セズ遂ニ政府ノ中ニ於テ甲乙兩派ニ分裂シ以テ相殘害スルニ至レリ然ルニ此ノ二派ノ强弱ハ畧ホ相伯仲シ互ニ其慾ヲ逞フスル能ハザルヲ以テ甲黨ハ佛國政府ニ依賴シテ其ノ保護ヲ仰キ其兵力ヲ以テ乙黨ヲ征服セントヽ企テタリ是ヨリ先キ印度政府ハ

常ニ大ニ佛國政府ヲ尊信シ佛人ヲ以テ政治ノ顧問ト爲シ百般ノ事項ヲ咨詢セリ故ニ佛人ノ言フ所ハ一トシテ印度政府ニ用ヒラレザルヿ無シ是ヲ以テ英國政府ハ大ニ佛國政府ガ印度ノ政事ニ權力ヲ持スルヿヲ妨嫉シ好機會アラハ其ノ權勢ヲ剝奪シテ自ラ印度ノ政權ヲ掌握セント志シ常ニ其ノ釁隙ヲ窺ヒ居タリ然ルニ適マ此ノ爭亂ノ起ルニ遭遇セルヲ以テ大ニ其ノ機會ヲ得タルヲ喜ビ佛國ガ未ダ乙黨ヲ滅スノ方略ヲ施サヽルニ先タチ自カラ使者ヲ乙黨ニ馳セ彼等ト相約シ內外ノ勢力ヲ以テ甲黨ヲ攻擊シ遂ニ之レヲ珍滅セリ是ニ於テ佛國政府モ亦勢力ヲ印度ニ失ヒ英國政府ヲシテ其ノ壟斷ヲ肆マヽニセシムルニ至レリ英國政府ハ曾テ企望セルガ如ク印度ノ政權ヲ掌握セシ後

ハ前日ノ盟約ヲ敗リ乙黨ノ輔翼トナラズ只ニ己ノ貪慾ヲ逞フセントト欲シテ大ニ壓制ノ手段ヲ行ヒ其ノ政略ハ印度人民ガ思想ノ外ニ出テタリ是ニ於テ人民ハ全ク英政府ノ術中ニ陷リタルヿヲ覺リ所々ニ蜂起シ以テ英國政府ニ抵抗シ其ノ政權ヲ恢復セント決心セシモ英國政府ノ兵隊ハ恰モ虎狼ノ如キ猛勢ヲ以テ一躍シテ羊豚ト一般ニ柔弱ナル印度人ヲ蹂躪シ之ヲ奴隸使スルニ至リ遂ニ東洋印度會社ノ役員ナルワーレン、ヘイスチングヲ扳擢シテ「ベンゲール」英政府ノ太守ト爲シテ益々壓制ノ政畧ヲ擅ニシ東洋ノ一大騷亂ヲ引起セリ抑モ此ノヘイスチングハ英國貴顯ノ遠裔ニシテ一千七百三十二年ヲ以テ「ディルスホード」ト云フ小村ニ生ル幼ニシテ父母ヲ失ナヒ伯父ノ扶助ニ賴テ纔

カニ僻村ノ學校ニ於テ教育ヲ受クルヿヲ得タリ其ノ性質個儻ニシテ大志アリ齡未ダ十歲ニ充タザル時ニ於テ通常ノ兒童ノ如ク遊戲ニ時間ヲ費スヿヲナサズ常ニ心ヲ學業ニ潛メ晝夜机上ニ倚テ手ニ書籍ヲ離サス然ルニ不幸ニシテ慈愛ナル伯父ヲモ失ヒ疎遠ノ親族ニ寄食セリ此ノ親族ハ極メテ鄙吝ニシテ之ヲ教育スルノ學資ヲ出スヿヲ欲セズ勉メテヘイスチングヲ追ヒ出ス策ヲ企テタリシカ遇マ東洋印度會社ガ英人ヲ雇ヒ入ルヿヲ聞キ其役員ニ依賴シヘイスチングヲ以テ該會社ノ雇人ト爲セリ於是ヘイスチングハ年齡纔ニ十七歲ニシテ單身ヲ以テ萬里ノ波濤ヲ越ヘ印度ノ「カルカタ」ニ寄寓セリ時ニ一千七百五十年ナリ東洋印度會社ノ事務ニ勉勵シ傍ラ印度ノ風俗ヲ觀察スルニ

當リ王位繼統ノ騷亂起リ百般ノ商業甚タ衰靡シ東洋印度會社ノ如キモ殆ント瓦解ノ形狀ヲ顯ハシ社員皆ナ憂悶セリ然ルニヘイスチングハ少シモ屈撓セス拮据經營シ遂ニ其ノ頽勢ヲ挽回シテ再ヒ該會社ヲ堅固ナル地位ニ置キ其商業ヲ再興セシメタリ爾來ヘイスチングハ大ニ衆社員ノ信服スル所ト爲リ且ツ印度在留ノ英國人民モ亦之ニ信服シヘイスチングヲ稱シテ俊傑ノ志士ト云フニ至ル故ニ英國政府ガ印度ノ政府ヲ奪取シテ其政權ヲ專ニスルニ及ヒヘイスチングヲ扳擢シテ「ベンゴール」政府ノ太守ト爲セリ抑モ此ノ「ベンゴール」政府ハ固ヨリ國憲ノ其政權ヲ制限スルヿアル無ク行政司法立法ノ三大權ハ皆ナ其帝王ノ專斷スル所ニシテ仁政ヲ布イテ蒼生ヲ恤ムモ又暴政ヲ行フテ

黎庶ヲ虐クルモ皆ナ其帝王ノ胸中ニ在リ然ルニ「ベンゴール」帝王ハ彼ノ姦譎ナル英國政府ニ欺カレ其政權ヲ英政府ノ掌中ニ附シ其帝王タル實力ヲ英國政府ニ讓與セシヨリ其身ハ徒ニ「ベンゴール」帝王ノ虛名ヲ有スルノミニシテ萬機盡ク英國政府ノ制裁ヲ仰キ恰モ木偶人ノ王位ニ坐スルカ如キ憐ムヘキ景況ト爲レリ於レ是「ベンゴール」政府ノ太守タルヘイスチングハ其名ハ「ベンゴール」帝王ヲ輔佐スル官位ニ居ルト雖モ隱然トシテ政權ヲ掌握シ其ノ爲サント欲スル所ハ一トシテ行ハレザルヿ無シ是時ニ當リ本國政府及ヒ本國ニ在ル東洋印度會社本店ハ財政ノ困難ニ苦ミ之ヲ救助スルノ策ニ窮セリヘイスチングハ斷然ト其救助ノ方法ヲ企テ毫モ其方法ノ是非曲直ヲ論セズ只管ラニ印度

人民ノ膏血ヲ絞リ本國ニ金銀ヲ輸送センヿノミニ盡力セリ而シテ東洋印度會社ノ本店ニ於テハ止ダ印度ヨリ金銀ヲ受取ルヿヲ悅ビ益々ヘイスチングヲ信用セリ吁嘆印度人民ノ不幸ハ何ソ此ノ極ニ至ルヤ然レモヘイスチングガ斯ク忍テ殘酷ノ政策ヲ行フハ決シテ自ラ其本心ニ快シトスルニ非ズ全ク已レノ位地ヲ護スルガ爲メニ己ムヲ得ザルニ出ルナリ何トナレハ本國政府ハ財政ノ困難ニ際スルガ故ニ種々ノ難題ヲ以テヘイスチングニ金銀ヲ輸送スルヿヲ命令シ而メ之ヲ促スヤ甚タ嚴刻ナリ故ニヘイスチングハ已レ永ク長官ノ職位ニ居テ印度ヲ經緯セントト欲セハ勢ヒ斯ノ如キ殘暴ナル政略ヲ忍ハザルヲ得ズ今其一二ノ例ヲ擧クレハ本國ヨリヘイスチングニ送リシ命令ニ曰ク

印度人ヲ支配スルニハ務メテ仁慈ノ精神ヲ以テセヨ然レ
ドモ金銀ヲ本國ニ送ルハ成ル丈ケ多分ナランコトヲ要スト又
曰ク公明正大ヲ以テ行政ノ主義トシ金銀ヲ送ルハ必ス前
年度ヨリ多額ナランコトヲ欲スト又曰ク仁慈ノ君ト爲リテ
人民ヲ愛育シ壓制ノ吏トナリテ租稅ヲ厚クシ以テ金銀ヲ
本國ニ送レト此ノ如キ前後矛盾セル無道ノ命令ナリト雖
ドモ之ヲ促カスノ極メテ嚴重ナルニ因リ遂ニ已ヲ得ズシテ
苛刻ノ政治ヲ施スニ至レリ故ニヘイスチングハ最始ヨリ
シテ壓制ヲ好ミシニ非ズ嘗ニ之ヲ好マザルノミナラズ之
ガ爲メニ已レノ企圖スル事業ヲ成スニ大妨害ナルコトヲ知
ルト雖ドモ如何セン本國政府ノ命ニ從ハザレハ已レ「ベンゴ
ール」政府ノ長官ヲ辭セザル可カラズ若シ其職ヲ辭スルトキ

ハ其嘗テ企圖セル志ヲ達シ異日東洋ニ一大帝國ヲ建テ己
レガ欲スル所ノ政畧ヲ以テ之ヲ支配セントスルノ大望モ
其「ベンゴール」政府長官ノ職ト共ニ放棄セザルヲ得ス故ニ
寧ロ壓制ノ長官タルヲ忍ンテ他日ノ成功ニ便ナラシメン
ト決心シ其好機會ヲ窺ヒ居タリ
爾來ヘイスチングハ專ラ收歛ヲ勉メ遂ニ殘酷ナル處分ヲ
以テ「モーガル」帝國ノ領地中ノ二州ヲ奪掠シ其後其近隣ナ
ル「チウード」國王ストヂヤー、ダウラーガ常ニ英政府ノ鼻息
ヲ窺ヒ之ニ面謁スルヲ以テ此ノ二州ヲ賣却シ大ニ「モーガ
ル」國民ノ怨怒ヲ招クニ至レリストーヂヤー、ダウラーハ此二
州ヲ得テヨリ驕傲ノ志益々熾ニシテ遂ニ「ロヒラカ」人民ヲ
勦劫シテ其地ヲ略取セントス企テタリ抑モ此土地タルヤ平

坦膏腴ニシテ耕作ニ宜シク有名ナル豐饒ノ土地ナリ且ツ山川ノ天險ニ乏シキガ故ニ其人種ハ常ニ外患ニ防禦スルノ策ヲ研究シテ最モ慓悍ナリ決シテ「ナウード」國兵隊ノ能ク征服スル所ニ非ス唯ダ彼ニ打チ勝ツ可キ者ハ「ベンゴール」在留ノ英兵アルノミ故ニスーヂヤー、ダウラーハ其ノ兵力ヲ籍リテ以テ己レカ情慾ヲ遂ケント欲シ之ヲヘイスチングニ請ヒ戰爭間ノ費用ハ一切「ナウード」國ヨリ之ヲ支辨シ兵隊ヲ繰出ス以前ニヘイスチングニ二百万弗ヲ與ヘ苟モ其兵力ニ籍ツテ「ロヒラス」ヲ攻略セハ更ニ贈ルニ莫大ナル金銀ヲ以テス可キヿヲ約セリ是ニ於テヘイスチングハ大ニ喜ヒ立トコロニ之ヲ領承セリ吁嘆疾ム可キ哉ヘイスチングノ殘忍ナルヤ嗚吁痛マシイ哉「ロヒラス」人民ノ不幸

ナルヤ抑モ「ロヒラス」國ハ其國政ヲ治ムルニ當テ未ダ曾テ一ノ惡政ヲ行ヒシヿアラズ且ツ未ダ曾テ英人ヲ殺害シ英政府ニ向テ一ノ損害ヲ與ヘシヿアラザリキ然ルニヘイスチングハ反テ其人民ヲ殺戮シ無道暴虐ナルスーヂヤー、ダウラーヲシテ其ノ土地ヲ奪掠セシメ以テ其國古來ノ法律ヲ破壞シ其人民ノ思想ニ違背シ隣國ノ暴君ヲシテ苛刻ノ壓制ヲ擅ニセシムルノ慘狀ニ陷ラシメタリ加之スーヂヤー、ダウラーハ素ヨリ殘酷暴戾ヲ以テ有名ナル國王ナレハ其「ロヒラス」人民ヲ屠殺スルヤ必ズ老幼男女ヲ別タズ其殘酷ヲ肆マヽニスルヿハヘイスチングノ万々熟知スル所ナリ然ルニヘイスチングハ自己ノ利欲ノ爲メニ昏迷サレ毫モ彼ガ殺傷度ナク濫リニ暴戾ヲ恣マヽニスルヿヲ豫防セ

ス直チニ之ニ英兵ヲ貸與セシハ實ニ歎息ノ至リナラズヤ

左レハスーヂヤー、ダウラーハ意氣揚々トシテ其猛獰ナル

ヿ獅虎ノ如キ英兵ヲ引率シ戎衣ヲ熱帶ノ日光ニ輝カシ旗

幟ヲ曠原ノ烈風ニ飜ヘシ其勢ヒ恰モ破竹ノ如シ彼ノ田野

ニ耒耜ヲ負ヒ牛馬ニ鞭テ農業ニ勉強スル「ロヒラス」人民ノ

不意ヲ襲ヒ其國土ヲ刼掠シテ其國人ヲ已ガ奴隷ト爲サン

ト勇ミ進ンテ其ノ國境ヲ超ヘテ「ロヒラス」ノ邦内ヘ侵入シ

タリ

東京本所區横網町二丁目二番地
東京府平民
編輯主任　吉田次郎

同日本橋區元柳町十四番地寄留
青森縣士族
持主兼印刷　根津親德

東京々橋區新肴町十壹番地
假本局　求友社

弊社雜誌ノ儀ハ代價並ニ遞送税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヽル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價五錢　五冊前金二十二錢五厘　十冊前金四十三錢　二十冊前金八十錢

但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同日本橋區元大坂町　法木德兵衛
同淺草區元鳥越町廿一番地　共致社
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同麹町區三番地　杉田秀之助
同牛込神樂坂壹丁目十番地　積善堂
同表神保町九番地　大黑屋金之助
同赤坂裏壹丁目十六番地　赤川五平
同本郷區本郷四丁目十番地　高橋屋
同淺草並木町二十六番地　湊屋小兵衛
同日本橋區室町三丁目　秋山茂左衛門
同兩國吉川町二番地　大黑屋平吉
同神田區雉子町三十二番地　巖々堂
同虎ノ門外琴平町　靜霞堂
同芝區三田同朋町　靜海堂
同芝源助町　春陽堂
横濱野毛町二丁目　鈴木糸吉
石川縣金澤尾張町　牧野作平
大坂堂島中壹丁目　靜雲堂
岐阜大田町　春陽舍
信州松本南深志町　窪田重平
大坂本町四丁目　岡島眞七
相州横須賀旭町　大塚靜喜
西京新京極蛸藥師下ル　太田權七
下總千葉　内國通運會社

東京兩國吉川町二番地　大黒屋平吉
同美土代町一丁目七番地　關久
同牛込肴町　深野彌兵衛
同西久保櫻川町　明華堂
同芝柴井町　文明舍
同神田錦町一丁目十番地　中島幸太郎
同表神保町　兒玉直次郎
同今川小路　大坂屋善兵衛
同南傳馬町二丁目　伊勢屋善三郎
同新シ橋通琴平町二番地　永盛堂
同飯倉三丁目　駿河屋
同淺草寺內　長尾
同並木町二十一番地　西村安次郎
同諏訪町壹番地　瀨山佐吉
同瓦町二番地　森本順三郎

靜岡池川町　杉木
西京寺町御池下ル　伊藤久兵衛
名古屋本町二丁目　吉田道雄
下總水海道驛　新々
神戸長狹通七丁目　弘讀社
水戸下市根積町　勸興社
勢州津東町　淺野東助
大坂南清水上ノ町　總捕社
尾州知多郡半田　小栗太郎兵衛
勢州山田一志町　加藤長平
播州姬路俵町　吾車堂
江州彥根旗手町　新々
紀州和歌山本町二丁目　平井文助堂
群馬縣前橋　博文堂
淡路洲本內通リ町　坂本文忠堂
函館地藏町　脩平
小樽港新地町　堀井音二郎

定時刊行

明治十三年第十二月八日刊行

○輿論トハ如何ナル者ゾ　末廣重恭

○政府カ國會開設ヲ拒ムノ口實ハ果シテ歐米諸邦ニ向テ條約改正ヲ請求スルノ障礙タラザル乎　野村元之助

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯

嚶鳴雜誌

第廿五號

嚶鳴雜誌　第廿五號

末廣重恭演說

○輿論トハ如何ナル者ゾ

諸君ヨ諸君ハ口ヲ開ク毎トニ輿論ノ勢力ハ此ノ如ク輿論ノ功用ハ如何ント稱道セリ然レトモ諸君ハ果シテ輿論ト云フ文字ノ意味ヲ解釋シ得ルカ輿論ノ意味ヲ簡單ニ說キ明カセハ國民ノ多數ノ意見ヨリ成立スル議論ト云フヿナリ今日我ガ國民ハ三千五百萬人ノ多キニ上ホレリ然レハ貧富ヲ分タズ賢愚ヲ論セズ三千五百萬人ノ同意ヲ得タルモノヲ指シテ輿論ト言フカ如何ナル議論ト雖トモ全國ヲ擧ケ之ガ一致ヲ求ムルハ輒ク望ム可カラザルノヿタリ余ハ輿論ノ必ラズ此ノ如キ者ニ非ザルヲ知ルナリ然レハ國民ガ過半數以上ノ同意ヲ得タル時ニ於テ之ニ下タスニ輿論ノ

名ヲ以テスベキカ是レ亦必ラズシモ然ラサルナリ然レハ十人以上百人以上將タ萬人以上ノ同意ヲ得タレハ輿論ト言フ可キカ是レ亦必ラズシモ然ラザルナリ故ニ此ノ如ク上ヨリ說キ下ヨリ說クモ輿論ナル者ハ遂ニ其ノ性質ノ在ル所ヲ辨知スル能ハズ其ノ性質スラ之ヲ辨知セズ何ゾ其ノ勢力ト功用ノ如何ヲ論スルニ暇アランヤ余ハ一國ノ輿論ナル者ヲ說明スルカ爲メ先ツ一家ノ「ニ就イテ之テ比喩セン

諸君ヨ諸君ニシテ久濶ニ朋友ノ許ヲ訪ヒタル時ニハ必ラズ左ノ如トキ挨拶ヲ受クルナラン「御家內中ハ誰殿樣も御機嫌よろしう御坐りますか」ト然ル時ニ諸君ハ謝シテ曰ハン「難」有御坐ります家內中孰れも堅勝よ御座りまする」ト然

ルニ傍人ヨリ君ノ子供ハ現ニ大病ニ罹レリ何ヲ以テ家內ニ事故ナキト言フヤト詰ラレタランニ彼レハ一年ニモ滿タザル小兒ナレハ之ヲ家內ノ部分ニ入レズト謂ハシムレハ誰カ之ヲ以テ適當ナル言語ナリト爲スモノ有ランヤ何トナレハ此ノ塲合ニ於テ家內ト言フハ老人ト無ク小兒ト無シ一家ヲ組織スル者ヲ擧クルノ辭ナレハナリ然レ𪜈家內ナル文字ハ時ニ因テ其ノ示ス所ヲ異ニセリ試ミニ思ヘ諸君ハ己レノ子息ノ爲メニ新婦ヲ娶ランガ爲メニ媒妁ニ托シテ之ヲ其ノ父母ニ申込ミ其ノ父母ヨリ「御家內中御一同よ娘の不束なる事を御承知の上ならバ差上ましやう」ト返答アリ諸君ハ「篤と家內中へも相談を致しましたが孰れも申分ハ御座りません」ト言ハンニ前ノ論理ヲ推シテ之ヲ

詰ルモノ有リ君ハ家内中ニ意見ナキト謂フ然レハ中風ニ罹ツテ心經ヲ失ヒタル老婆モ昨年生レタル赤ン坊ニモ一々相談ヲ爲セシカト問ハシムレハ諸君ハ之ヲ以テ牽强不當ノ言語ナリト思惟スルニ相違ナシ何トナレハ此ノ場合ニ於テ家内ト言フハ一家ノ智識アリ分別アル者ヲ指スノ言語ナレハナリ然レハ同ク國民ノ文字ニテモ時アツテ普ク一國人民ノ全數ヲ指シ時アツテ單ニ其ノ智識アリ分別アル者ノミヲ示ス事アルヲ知ル可キナリ

故ニ余ハ試ミニ諸君ニ向フテ英國人民ハ如何ナル地位ニ在ルヤヲ問ヘハ諸君ハ必ラズ曰ハントス智識ニ長シ商賈ニ巧ミナル人民ナリト然レトモ倫敦橋畔ノ乞食ノ如キ「ウエールス」ノ石炭山ニ勞作スル坑夫ノ如キ何ゾ之ヲ稱シテ智

識アルノ人民ナリト謂フヲ得ンヤ然レハ通例ニ英國人ト言ヘハ專ラ其ノ中等社會ヲ指スニ在ルヲ知ル可シ故ニ之ニ準シテ英國人民ノ意即チ輿論ナル者ハ其ノ智識アリ財産アル中等社會ヨリ成立スルヲ斷言ス可キナリ今日我ガ邦人ハ朝鮮人ヲ目メ頑愚ナリ固陋ナリト云フト雖モ現ニ今年我ガ邦ニ來朝セシ通信使ノ一行ノ如キ其ノ智識ナリ學問ナリ英國ノ石炭坑ニ勞役スル人夫ニ勝ルヤ萬々ナリ然ルニ朝鮮國民ガ未開ノ名ヲ受クル者ハ其ノ中等社會ヲ槩メ未タ開明ノ風潮ニ漫漸セザル爲メニ出ルニ非ズヤ夫レ然リ英國ニ貧民多ク愚人多キニモセヨ文明國タルヲ失ハズ朝鮮ニ學者アリ識者アルモ之ヲ稱メ開化ノ國土ト謂フ可カラズ然レバ其ノ國民ノ名稱ヲ領受シ國論ノ實形ヲ

組織スル者ハ專ラ中等社會ニ在ルヤ斷々乎トシテ疑ヲ容レザルナリ現ニ我ガ邦ニ於テモ開進ヲ喜ヒ歐米ノ智識ヲ採取スル者ハ僅カニ國民ノ一小部分ニ止マレリ夫ノ車ヲ挽キ薪ヲ負フノ勞役者ト糞桶ヲ擔フテ田疇ニ耕作スル水呑ミ百姓ノ談スル所ヲ聞ケ彼レ今日ニ於テ常ニ封建ノ舊時ヲ慕ヒ開進ノ政治ヲ敵視スルニ非ズヤ然ルニ論者ハ維新以來政府ガ開進ヲ誘導スル政治ヲ以テ必ラズシモ輿論ニ背馳スルト爲サズ下等人民ノ意見ニ從フテ政治ノ方向ヲ左右スルヿヲ冀望セザル者ハ即チ下等社會ハ一國ノ政治ニ與カルヲ得ズシテ公議輿論ハ中等社會ヨリ成立シ人民ノ多數ヲ以テ之ヲ決定ス可カラズト爲スニ因レハナリ余ハ是ニ至リテ輿論ナル者ノ性質區域ハ已ニ明々白々ナ

リト信スルナリ

○政府カ國會開設ヲ拒ムノ口實ハ果シテ歐米諸邦ニ向テ條約改正ヲ請求スルノ障礙タラザル乎

野村本之助

回顧スレハ今ヲ去ル數年前某々參議等征韓ノ說當時ノ廟議ト相合ハザルヨリ斷然意ヲ決シテ冠ヲ掛ケ社會ノ風潮人心ノ歸嚮ヲ觀察シ明治首年ノ聖誓ニ基キ萬機ヲ公論ニ決セザルベカラザルノ氣運ニ達シタルヲ悟リ乃チ之ヲ實行スル公塲タル民選議院ヲ創立センヿヲ政府ニ建言シタリ爾來天下ノ公論翕然トシテ此一點ニ傾キ苟シクモ心ヲ國事ニ注クノ士ハ皆ナ此議ヲ贊成シ一日モ早ク之レガ實設ノ日ニ達センヿヲ期望シテ止マズ其勢滔々乎トシテ恰

モ水ノ低キニ就クガ如クナリシト雖モ當時廟堂ノ諸公ハ人智未タ開ラケス國會尙早シト云フヲ以テ容易ニ此建策ヲ採用セラレザリキ於此乎余輩謂ラク天下國會ヲ希望スルモノ或ハ落膽失望シ爲メニ幾分カ輿論ノ勢焰ヲ減殺セント然リ而シテ慮ラスモ天下ノ人心ハ政府ノ拒絕ニ遭遇シテ却ツテ反動ヲ生出シタルモノヽ如ク國會ヲ希望スルノ熱心ハ遙カニ前日ニ倍蓰セリ唯タニ倍蓰シタルノミナラズ愈ヨ更ニ前進スルノ勢アルニ至レリ殊ニ我ガ聖明ナル天皇陛下ハ辱クモ民心ノ向フ所ヲ叡察アラセラレ明治八年四月十四日ヲ以テ更ニ明治首年ノ聖誓ヲ擴充シテ立憲政体云々ノ勅詔ヲ降シ給ヒタリ爾來民權論者ハ一層ノ勢力ヲ得テ演說ニ新聞ニ物ニ觸レ事ニ當リ國會ノ開設ヲ

促サヾルハナク其誠情ノ凝固スル所遂ニ請願書トナリ建白書トナリ昨年以來各地有志ノ徒相團結シ相連署シ以テ之ヲ政府ニ捧呈シタルモノ既ニ數十通ノ多キニ及ベリ於此乎余輩謂ラク我ガ政府ハ前年有志ノ徒ガ國會開設ヲ願望シタルノ際人智未ダ開ケズ國會尙早ト云フヲ以テ斷然之ヲ拒絕シタリト雖モ既ニ今日ニ至リテハ人智大ニ開ケ世運大ニ進ミ天下ノ人民咸ク國會ヲ熱望スル啻ニ大旱ノ雲霓ノミナラサルヲ以テ政府如何ニ斯民ヲ視ルノ至ラザル所アルモ復タ前日ノ口實ヲ以テ之ヲ拒絕スルヿ能ハザルベシ故ニ國會ノ實設ヲ目擊スルノ佳期ニ達スル將サニ近キニアルベシト余輩ノ歡喜實ニ云フベカラズ唯タ指ヲ屈シテ此期ノ到ルヲ佇望スルヿ此ニ數月ナリ然ルニ政府

尙ホ開設ノ令ヲ發セズ於此乎余輩少シク疑フ所アリ今ヤ人智大ニ開ケ世運大ニ進ミ人民擧ツテ國會ヲ熱望スルノ時ニ際會シ政府ハ何ノ顧慮スル所アリテカ國會ノ開設ヲ躊躇スル乎ト既ニ之ヲ聞ク政府ノ因ツテ以テ國會ノ開設ヲ拒絕スルノ口實ハ依然前日ト異ナル所ナリ人智未ダ開ケズ國會尙ホ早シト云フニ在リト余輩ノ之ヲ聞クヤ曩キノ歡喜ハ忽チ變シテ悲嘆ノ涕トナリ殆ント愴然自失セリ若シ余輩ノ聞ク所ヲシテ果シテ太過ナカラシメバ是レ唯リ人民ノ不幸ノミナラズ併セテ政府ガ久シク計畫盡力スル彼ノ條約改正ヲ實行スルハ一大障礙ナリト云フベキナリ

我ガ大日本帝國ハ萬國交際上ニ於テ果シテ堂々タル獨立

國ノ体面ヲ有スル乎法權未ダ我ニ恢復スル能ハズ稅權尙ホ彼レガ掌裡ニ在リ故ニ外人ノ我國內ニ在ツテ跋扈橫行日ニ甚シキヲ加フルモ我之ヲ制スル能ハズ收稅ノ方法我ニ不便不利ヲ告クルモ我之ヲ脩正スル能ハズ其レ然リ則チ未ダ我帝國ニ冠スルニ堂々タル獨立國ノ榮稱ヲ以テスルヿ能ハザルノ事情アルハ多辨ヲ要セスシテ知ル可キナリ日本人民タルモノ之ヲシテ忍ブ可クンバ孰ヲカ忍ブ可カラザランヤ是レ蓋シ我ガ政府ガ夙ニ條約改正ノ考案ヲ起シ拮据黽勉メ公使若クハ公書ヲ以テ外國政府ト商議ヲ開キ一日モ早ク之ヲ實行セントスル所以ナリ然ルニ外國政府ハ概テ此請求ヲ許諾セズ而シテ其許諾セザルノ口實ヲ聞クニ一トシテ日本ハ人智未ダ開ケズ其國尙ホ幼稚ナ

リ故ニ今日ニ於テ條約ヲ改正シ法税ノ兩權ヲ日本ニ全與セバ日本ニ在留セル外商外客ハ其生命財産ノ果シテ如何ナル危險ニ遭遇センモ亦未ダ知ルベカラズト云フニアラザルハナシト蓋シ二十年前歐米諸國ガ初メテ公使ヲ我國ニ派遣シテ頻リニ修交通商ノ條約ヲ締盟セントヲ要請スルノ時ニ當リテヤ我ガ國未ダ開ケズ人民尚ホ幼稚ニシテ宇内ノ大勢ヲ知ラズ頻リニ攘夷ノ説ヲ主唱シ痛ク外交ヲ排斥セシト雖モ時運ノ向フ所復タ如何トモスル能ハズ遂ニ廣ク外國ト交際ヲ結ビ貿易ヲ行フヿトナレリ爾來僅々十余年間ニシテ政法ニ兵制ニ文學ニ技藝ニ農商ニ各々非常ノ進歩ヲ現ハシ人民ノ智愚國家ノ進歩之ヲ二十年即チ外交締盟ノ初年ニ比スレバ啻ニ霄壤ノ差ノミナラズ殆ン

ド東洋ニ別天地ヲ生シタリト云フモ敢テ不當ノ浮評ニアラザルベシ世人ハ往々米國ノ進歩ヲ稱シテ未曾有ノ速進ナリト云フモ之ヲ我邦二十年來ノ進歩ニ比スレバ蓋シ目シテ牛行駑歩ト稱スルモ決シテ過稱ニ非ルベシ然リ而シテ條約改正ノ一事ニ至リテハ外國政府尚ホ我國ヲ未開ナリ幼稚ナリト蔑視シ去リ飽迄モ之レガ實行ノ期ヲ遷延シ二十年前我ガ國民ノ未ダ外交ノ事ニ練熟セザルノ時ニ當リ其ノ脅迫ヲ以テ締盟シタル不適當不權理ノ條約ヲ以テ永ク我ガ國權ヲ羈絆セントス是レ全ク利己主義ヲ以テ宇内ノ正道ヲ破ラントスルモノナリ彼レガ暴慢無禮ナル亦タ甚ダシト云フベシ我政府ハ此拒絶ニ逢ヒ此無禮ヲ受ケ中心果シテ如何ナル感覺ヲ抱クヤ又タ果シテ如何ナル手

段ヲ以テ之ニ應ゼントスルヤ將タ外人ノ剛復堅吝ニシテ我ガ請求スル所ノ權利ヲ讓與セザルヲ見テ今日ノ勢復タ如何トモスル能ハズト爲シ腰ヲ折リ頭ヲ低レ泣ヲ呑テ彼レガ云フ所ニ曲從シ條約改正ノ事ヲ中止セントスル乎我ガ政府ハ何ゾ始ニ勇ニシテ終ニ怯ナルヤ若シ我政府ニシテ此事アラシメバ寧ロ初メヨリ之ヲ企圖セザルノ勝レルニ如カザルナリ何ントナレバ外國政府ハ愈ヨ兇威ヲ逞フシテ我政府ヲ凌侮シ我ガ人民ヲ蔑視スル殆ンド至ラザル所ナク我國ハ復タ堂々タル獨立帝國ヲ以テ萬國ノ間ニ立ツヿヲ得サルノ勢ニ至ルヤ必セルヲ以テナリ果シテ斯ノ如キヿアラバ廟堂ノ諸公ハ何ヲ以テ上天皇陛下ニ奉對シ下人民ニ對シテ其ノ國權ヲ墜シ國体ヲ辱シメタルノ罪ヲ

謝スルヲ得ンヤ然レトモ我廟堂ニ其人ナシトセズ豈ニ外人ノ脅嚇ニ畏懼シ其亡狀ニ曲從スルガ如キ卑怯ナル擧動アルベケンヤ是レ余輩ノ固ク信シテ疑ハザル所ナリ蓋シ廟堂ノ諸公ハ設ヒ外人ノ如何ニ之ヲ拒ムモノアルモ其ノ一タビ發言シタル條約改正ノ一事ニ至リテハ斷然之ヲ決行スルノ目的ナル可シ然トモ兵ハ兇器ニシテ戰ハ危事ナリ其ノ及フ可キ丈ケ商議談判ヲ以テ事ヲ尊俎ノ間ニ成スハ我ガ廟堂諸公ノ欲スル所ナルベシ果シテ然ラバ先ヅ商議談判ノ間ニ彼ガ條約改正ヲ拒ムノ口實トスル所ヲ說破セザルベカラズ而シテ彼レガ口實トスル所ノモノ果シテ如何ナル點ニカ在ルト思考シ來レバ即チ日本ハ人智未ダ開ケズ國尙ホ幼稚ナリ今ニシテ條約改正ヲ許諾セバ日本ニ來

住セル外商外客ハ如何ナル危險ニ遭遇センモ未ダ知ルベカラズト云フニアリ故ニ條約ノ改正ヲ實行セントスルバ須ラク善良ナル法律ヲ設ケ自由ノ政令ヲ布キ以テ其ノ進度ヲ彼ニ明示スベシ然ルニ今ヤ人民ガ明治首年ノ聖誓及ビ八年ノ詔勅ニ基キ國會ノ開設ヲ請願スルモノ陸續絶ヘザルニモ拘ハラズ政府ハ乃チ人民ハ尚ホ幼稚ナリ未ダ參政ノ權利ヲ與フルヿ能ハズト云フヲ以テ常ニ其ノ請願ヲ拒絶セリ政府ノ前後ヲ顧慮セザル何ゾ一ニ此ノ如キニ至レルヤ蓋シ彼ノ穎敏怜利機智ニ長シタル外人ハ必ズ將サニ云ハントス日本政府ハ其人民ノ國會開設ヲ請願スル者ニ告クルニ人智未ダ開ケズ國會尚ホ早シト云フヲ以テシ以テ斷然之ヲ拒絶シタリ既ニ自ラ人智未ダ開ケズト云フ

誰カ斯ノ如キ人民斯ノ如キノ邦國ニ向フテ法稅ノ兩權ヲ全委スルヲ好ムモノアランヤ是レ余輩ガ條約ノ改正ヲ拒ム所以ナリト外人果シテ口ヲ此ニ籍キ以テ條約改正ヲ拒絶スルアラバ我ガ政府ハ何ヲ以テ之ニ應セントスル乎是レ余輩ガ我ガ政府ノ國會開設ヲ拒絶スルノ口實ハ即チ條約ヲ改正スルノ障礙タラザルカト云フ所以ナリ故ニ余輩ハ切ニ廟堂ノ諸公ニ向フテ忠告スル所アラントス曰ク現行ノ條約ハ我ガ邦ノ獨立國タル体面ヲ汚ス者ナリ我ガ邦ノ獨立國タル權理ヲ損スルモノナリ故ニ現行條約ノ改正ハ今日我ガ國ノ最モ急務トスル所ナリ諸公ハ夙トニ此ニ見ル所アリ日夜孜々トシテ此事ニ鞠躬ス余輩人民タルモノ焉ゾ國家ノ爲メニ其ノ勞ニ謝セズシテ可ナランヤ而シ

テ余輩ハ切ニ諸公ガ日夜孜々トシテ鞠躬スル所ノ者ノ全ク徒勞無効ニ属セントスルヲ恐ルヽナリ何トナレハ諸公ハ國會開設ヲ拒絶スルニ於テ單ニ人智未ダ開ケズト云ヘヲ以テスルハ是レ外人ニ條約改正ヲ拒ムノ好辭柄ヲ與フルナリ自ラ人智未ダ開ケズト揚言シ而シテ條約改正ノ實行ヲ望ムハ猶ホ消極ト積極トヲ置テ電氣ノ發動ヲ望ムガ如シ其ノ望ヲ達スル能ハザルヤ瞭々乎トシテ其レ明カナリ廟堂諸公ヨ政權ヲ壟斷ニスルヿ無ク速カニ人民ノ請願ヲ聽ルシテ國會ヲ開設シ以テ我國開明ノ進度ヲ外人ニ明示スベシ然ラバ則チ如何ニ機智ニ富ミ權利ヲ讓ルニ吝ナル外人ト雖モ亦タ條約改正ヲ拒ムノ口實ヲ得ルヿ能ハズ是ニ於テ我ガ國始メテ堂々タル獨立國ヲ以テ萬國ノ間ニ

立ツヲ得ン苟シクモ廟堂ノ諸公ニシテ此ニ見ル所ナク徒ラニ一日ノ安ヲ偷マンガ爲メ人智未ダ開ケズト稱シテ國會ノ開設ヲ遷延セバ内ハ人民ノ怨望ヲ來タシ外ハ條約ノ改正ヲ實行スル能ハズシテ國威日ニ衰頽シ永ク外國ノ凌侮ニ逢フモ未ダ知ルベカラザルナリ諸公若シ國ニ尽スノ誠忠アラバ請フ少シク自ラ猛省スル所アレ

東京本所區横網町二丁目二番地　東京府平民　青森縣士族　持主兼印刷　根津親德

同日本橋區元柳町十四番地寄留　東京府平民　編輯主任　吉田次郎

東京々橋區新肴町十壹番地　求友社　假本局

弊社雜誌ノ儀ハ代價並ニ遞送税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價五錢　五冊前金二十二錢五厘　十冊前金四十三錢　二十冊前金八十錢

但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同日本橋區元大坂町　法木德兵衛
同淺草區元鳥越町廿一番地　共致社
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同麹町區三番町　杉田秀之助
同牛込神樂坂壹丁目十番地　積善堂
同表神保町九番地　大黑屋金之助
同赤坂裏壹丁目十六番地　赤川五平
同本郷區本郷四丁目十番地　高橋屋
同淺草並木町二十六番地　湊屋小兵衛
同日本橋區室町三丁目　秋山茂左衛門
同兩國吉川町二番地　大黑屋平吉
同神田區雉子町三十二番地　嚴々堂
同虎ノ門外琴平町　靜霞堂
同芝區三田同朋町　靜海堂
同芝源助町　春陽堂
横濱野毛町二丁目　鈴木条吉
石川縣金澤尾張町　牧野作平
大坂堂島中壹丁目　靜雲堂
岐阜大田町　春陽舍
信州松本南深志町　篷田重平
大坂本町四丁目　岡島眞七
相州横須賀地町　大塚靜喜
西京新京極藥師下ル　太田權七
下總千葉　内國通運會社

定時刊行

下茂

明治十三年第十二月廿五日刊行

○輿論トハ如何ナル者ゾ（前號ノ續キ）　末廣重恭

○外交論　馬場辰猪

嚶鳴雜誌　第廿六號

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯

輿論トハ如何ナルモノヅ

（前號ノ續キ）

末廣重恭演說

然レハ今日我ガ邦ニ於テ輿論ハ如何ナル點ニ傾向スルヤ諸君ノ知ラルヽガ如ク本年二三月以來各地方ニ於テ多キハ數万少キハ數百人ノ結合ヲ爲シテ國會ノ設立ヲ政府ニ請願シ又ハ献言スルモノ續々相接スルニ至レリ而シテ此ノ國會黨ハ槩テ財產アリ教育アル中等社會ヨリ成立セリ前段ノ論理法ヲ推シテ之ヲ究ムルニ國會ノ開設ハ眞成ナル我ガ邦ノ輿論ニ非ズシテ何ゾヤ然ルニ茲ニ奇怪ナル官權論者アリ曰ク今日國會ノ設立ヲ政府ニ請願シ献言スル者ハ誠ニ夥多ナリ然レ𪜈其ノ總計ヲ擧クレハ十万乃至二

十万人ニシテ全國人口百分ノ一ニタモ及ハズ何ソ之ヲ認メテ國民ノ意見ナリト斷言ス可ケンヤト嗚呼此ノ人ヤ何ゾ其ノ國民ノ名目ニ拘泥シテ國民ノ性質ヲ辨セザル此ノ如クナルヤ苟モ此人ニ向ヒ今日我ガ國民ノ過半ハ皆ナ封建ノ舊時ヲ慕ヒ開進ノ主義ニ服セズ何ゾ輿論ニ從フテ政治ノ方向ヲ變セザルト問ハシムレハ彼レ必ラズ曰ハント ス財産ナク教育ナキ下等人民ノ意見ハ社會ノ輿論ニ與カルヲ得ザルナリト彼レ一方ニ於テハ人民ノ多數ヲ以テ輿論ノ區域ヲ定ムルヲ嫌ヒナカラ一方ニ於テハ其ノ少數ヲ口實トシ中等社會ヨリ生出スル意見ヲ擯斥セントス此ノ如クナレハ孰レノ邦國ニテモ孰レノ時世ニテモ遂ニ公議輿論ナルモノヲ見ル能ハザラントスルナリ然レヒ余ハ姑

ク一歩ヲ此ノ官權論者ニ讓リ國會ヲ請願シ献言スル者ハ少數人民ヨリ出ルヲ以テ眞成ノ輿論ニ非ザルト爲サンニ今日輿論ヲ代理シ輿論ノ反照トモ稱ス可キ新聞紙演説會等ハ如何ナル有樣ヲ爲スヤ我ガ東京府下ヲ始メ各地方ニ至ルマテ新聞紙ノ數ハ百ヲ以テ數ヘ演説討論ノ會ヲ開クモノ所トシテ有ラザル無シ然ルニ甲モ曰ク國會開ク可シ乙モ曰ク國會開ク可シト異口同音ニ國會開設ヲ主張シ而シテ世人ハ國會論ニ非ザレハ其ノ新聞ヲ讀マズ國會論ニ非ザレハ其ノ演説ヲ聞カザルニ至レリ以テ社會輿論ノ歸着スル所ヲ知ル可キニ非ズヤ然レヒ官權論者ハ亦曰ハントス新聞記者ナリ演説者ナリ皆ナ世間ノ流行ヲ趣フテ利益ヲ營ミ喝采ヲ求ムルニ過キズ何ゾ之ヲ以テ輿論ト爲ス

ニ足ランヤト余ハ斷シテ今日ノ記者演說者ハ己レニ定見ナク流行ニ從フテ自ラ變移スルモノニ非ザルヲ知ルナリ然レドモ一歩ヲ讓リ此ノ論者ノ言ヲシテ其ノ當ヲ得セシムレハ益ス社會輿論ノ歸着スル所アルヲ見ル可キナリ夫レ流行トハ即チ世間ノ之ヲ好向シテ相競ヒ相求ムルノ謂ヒナリ風月堂ノ繁昌スルハ世ニ西洋菓子ヲ嗜ムモノ多キニ因リおんら舞ノ四海波ノ行ハルヽハ銘酒ヲ好ムモノヽ增加セシヲ徵スルニ足レリ故ニ記者演說者ニシテ利益ヲ營ミ喝采ヲ得ルガ爲メニ國會論ヲ主張スルヿト爲リシハ世人ガ國會ニ熱心スル實證ニ非スシテ何ゾヤ故ニ茲ニ狂妄ノ記者アリ其ノ紙上ニ於テ非國會論ヲ揭ケシムレハ直チニ得意ノ減スルヿ數百ノ多キニ及ヒ一月ヲ出テズシテ其ノ

社ノ分散ヲ見ルニ相違ナシ而シテ余ヲシテ此ノ演說堂ニ立チ國會論ヲ排斥スルノ言語ヲ發セシムレハ諸君ノ過半ハ席ヲ蹴ツテ立チ去リ一堂ノ寂寥ト爲ルハ毫モ疑ヲ容レザル所ナリ何人ト雖トモ社會ノ風潮ニ背馳シテ世人ノ贊成ヲ得ベケンヤ諸君ヨ諸君ヨ耳ヲ側タテヽ之ヲ聞ケ新聞社ニ於テ曉ニ徹シテ器械ノ軋ルハ輿論ノ響キナリ此ノ堂上ノ喝采ハ輿論ノ聲ナリ而シテ井生村樓ノ門內門外ニ印スル履痕ハ輿論ノ足跡ナリト謂フモ亦何ゾ不可ナカラン余ハ十分ニ輿論ノ性質ト今日輿論ノ歸着スル所トヲ指示セシト信スルニ因リ一ノ疑問ヲ擧ゲテ此ノ演說ヲ終ラントス曰ク施政ノ方向ハ輿論ニ從フテ變移ス可キモノカ將タ然ラザルカ諸君請フ自ラ之ヲ判決セヨ

左ノ一文ハ馬場辰猪君ガ政談討論會場ニ於テ演説セラレシヲ筆記セシモノナリ

外交論

余ガ聽衆諸君ニ向テ意見ヲ陳述セントト欲スル所ノ論題ハ極メテ重大ナル事項ニシテ苟モ日本人民タル者ハ之ガ爲メニ苦心焦慮セザル可カラサル要件ナリ然ルニ此事タル彼ノ紙幣下落若クハ徵兵令等ノ如ク人々其關係ノ直接ナラサルヨリ常ニ居ヲ各地方ニ占ムル人ノ如キハ或ハ之ガ爲メニ感覺ヲ引起サヽル者往々之レアリ豈ニ自國ノ休戚ヲ以テ毫モ意ニ介セサルモノナリト言ハザル可ケンヤ吾輩ノ之ヲ憂フルハ實ニ久シ故ニ今地球上外交ノ大別小別ヲ示シ從テ我邦今日ノ外交ハ何レノ地位ニアルヤヲ論シ

又更ニ一歩ヲ進メテ我邦向來ノ外交ハ斯ノ如ク爲サヽル可カラズト云フヿ迄ニ論究セントス

抑モ世界萬國ノ交際ハ之ヲ大別シテ二ト爲ス可シ即チ歐洲ノ交際東洋ノ交際是レナリ而シテ又更ニ歐洲ノ交際ヲ小別シテ三ト爲ス曰ク野蠻ノ交際(第一)曰ク政府ト政府トノ交際(第二)曰ク人民ト人民トノ交際(第三)即チ是ナリ」蓋シ此ノ第一ノ如キハ單ニ一國若シクハ一部落ノ交際ニ止マリ其外邦人ノ如キハ之ヲ敵視スルヿ極メテ甚シ故ニ往昔ノ法律中ニ於テ決シテ外人ヲ保護スルヿナシ是レ萬國公法又ハ人種學(アセノロジー)ヲ講究セルモノヽ明知スル所ニシテ即チ野蠻ノ交際ナル者略ホ斯ノ如シ第二ハ既ニ外國ト交際ヲ爲ニ至ルモ其ノ國々人民ノ間ハ甚タ疎遠ニシテ之ヲ要スル

ニ其帝王ノ交際タルニ過キズ左ンハ一朝兩國帝王ノ間ニ紛議ヲ生スルヿアレハ直ニ兵ヲ舉テ相戰鬪ス是レ人民各自ノ間ト毫モ交際ヲ爲サヽルノ証ナリ又更ニ一層進歩シテ第三ニ至テハ其帝王各自ノ間ニ或ハ小紛議ヲ生スルヿアルモ人民ノ輿論ニ背馳スルヒハ決シテ戰端ヲ開ク能ハス豈啻ニ戰爭ノミナラン其他皆然リ即チ現時英米普佛等ノ諸國是ナリ今其適例ヲ擧ケン彼ノ著明ナル魯土葛藤ノ時ニ當テ土國ハ其嘗テ英國ト盟約アルヲ以テ英政府ノ宰相タルヂスレリーニ請フニ土國ヲ援ケンヿヲ以テセリ然ルニ時ノ外務卿ロードダーベー氏之ニ答テ曰ク政府ニ於テハ固ヨリ前約ヲ蹈マント欲スレヒ如何セン當今人民ノ輿論昔年ト同シカラザルガ故ニ之ヲ援クル能ハズト遂ニ

援兵ヲ出ダサヽリキ是ニ由テ之ヲ觀レハ該國交際ノ基礎ハ其人民ニ在ルヲ知ルニ足ル可シ今ヲ距ル三年前ニ當リ今ノ宰相タルグラドストンノ言ヘルヿアリ土國政府ハ仮令ヒ魯國ノ爲メニ如何ナル殘害ヲ被フルトモ固ヨリ問ハサルニ置ク可シ憐ム可キハ其人民ナリ故ニ人民ノ慘毒ニ陷ルヿアラハ之ヲ救援セザル可カラスト蓋シ諸君ハ之ヲ聞テ何故ニ公明正大ナルグラドストン其人ニシテ斯ノ如キ語ヲ發スルカト怪マン然レヒ細カニ之ヲ思考セヨ夫ノ土國政府ハ常ニ壓制手段ヲ用ヒテ人民ヲ束縛シ新聞演説集會ニ至ルマテ一モ其ノ自由ヲ得ルモノ有ル無シ自由ヲ貴重スル英國人民ハ何ゾ土國政府ヲ保持スルノ義務アランヤ止タ其ノ人民交互ノ間ニ於テハ同情相憐ミ之ガ困難

ヲ傍觀スルニ忍ヒザルト謂フノミ以テ今日歐洲ノ交際ハ人民ト人民トノ間ニ在ルヲ證明ス可シ

東洋ノ交際ノ如キハ前ニ述フル第一第二ニ止マリ第三即チ人民ト人民トノ交際ノ如キハ毫モ未ダ之レ有ルヲ見ズ歐洲現時ノ交際ハ全ク相異ナリ現ニ歐洲ニ於テモ東洋ノ交際ト歐洲ノ交際トヲ以テ別種ト爲スモ亦此ノ事情ニ基ケリ今我邦外交ノ事ハ暫クヽ之ヲ後ニ讓リ印度國ノ未タ其獨立ヲ失ハサリシ時若クハ清國現時ノ實況ニ就テ之レヲ考フルニ概シテ其外交ハ第二ノ點ニ止マリテ其人民之カ爲メニ極メテ不幸ナル位置ニ立チタリ而シテ此原因タルヽアリ即チ東洋政府ノ愚鈍(甲)ナルト歐人ノ狡黠(乙)ナルトニ職由セサルハナシ例ヘハ彼ノ清國ノ亞片烟ノ爲メニ

常ニ巨害ヲ被フルヲノ如キモ若シ清政府ノ官吏ヲシテ輿論ノ果シテ貴重ナルヲ曉知シ全國人民ノ意見ヲ口實トシテ之ヲ英政府ニ乞ハシメハ夫ノ有名ナル自由黨ノ一人タル英相グラドストンニシテ何ソ之ヲ拒ム可ケンヤ而シテ英國人民ニ於テモ何ソ之ヲ憐マサルアランヤ然ルニ計此ニ出テズ百方策略ヲ施スト雖モ到底此弊害ヲ矯ムルヲ能ハズ是レ其政府カ愚ニシテ人民ノ尊ム可キヲ知ラサルニ由レリ又歐人中往々狡黠ナル者アリ例ヘハ我邦在留ノ或ル公使ノ如キハ其權利ヲ枉屈セラルヽ所ノ國ニ於テ其人民ノ輿論ハ實ニ之ヲ矯正セントスルノ點ニ熱心スルモ決シテ之ヲ自國ノ人民ニ知ラシメス若シ之ヲ知ラシメハ其人民間ノ交際ニ於テ其不幸ヲ憐ミ之ヲ改正セハ此國ニ居

留スル自國ノ姦商ナシテ其壟斷ヲ私セシムルヿ能ハサラソヲ畏ルレハナリ左レハ東洋諸國ノ交際ノ進歩セザルハ即チ東洋政府ノ愚ナルト歐人ノ狡黠ナルトニ基ケリ

噫々我邦ノ外交ハ如何ナル位置ニアルヤ抑モ我邦當今ノ外務卿タル井上君ハ嘗テ久シク歐洲ニ留學セラレシ人ナレハ必スヤ其人民輿論ノ貴重ナルヲ知リ又彼ノグラドストン氏ノ公明正大ナルヿヲ知ラルヽナラン然ラハ則チ外交ノ針路ハ決シテ政府ト政府トノ交際ニ止マル可カラスシテ宜シク人民ト人民トノ交際ニ進ム可キハ亦其明知セラルヽ處タルヤ疑ヲ容レス然ルニ若シ井上君ニシテ政府間ノ交際ヲ以テ外交ノ針路トセラルヽカ如キヿアラハ實ニ我邦人民ノ不幸ハ言フニ忍ヒザルナリ然リ而シテ今我

邦ノ如キ決シテ土國ノ如キ壓制ナル政府ニ非スト雖モ仮令ヒグラドストンニシテ如何ニ之ヲ保庇セントヽ欲スルモ英國人民ノ輿論ノ許可ヲ得ザレハ治外法權及ヒ海關稅權等ノ如キモ決シテ之ヲ變更スルヿヲ旨セザル可シ左レハ如何ニシテ英國人民ノ輿論ヲ動カスヲ得可キヤ他ナシ我邦人民ノ輿論即チ是ナリ然リト雖モ唯單ニ輿論ノ貴重ナルヿヲ說クモ之レカ証左ヲ擧ケザレハ未タ其說ヲ確實ナラシムルヿ能ハス故ニ今吾輩ノ曾テ親シク經驗セル所ノモノヲ擧ケテ之ヲ諸君ニ示サン

今ヲ距ルヿ七年前即チ明治五六年ノ頃吾輩嘗テ英國ニ留學シ親シク其實況ヲ見ルニ彼レハ我邦ノ法律ヲ以テ之ヲ罰スルヲ得サルモ我ハ彼ノ法律ニ遵ハサルヲ得ス是ニ於

テ大ニ感激スル所アリ因テ其權利ノ枉屈ヲ慨嘆シ之カ矯正ヲ熱望スル趣意ノ小冊子ヲ著ハシ之ヲ英國人ナル朋友等ニ贈リ之ヲ我邦ニモ遞送シタリキ聞ク我邦ニ送リタルモノハ報知新聞ニ於テ既ニ之ヲ掲載セリト故ニ諸君中或ハ之ヲ閲讀セシモノモアラン然ルニ英人ナル朋友等ハ吾輩カ言ニ依テ初メテ英人等カ日本ニ於テ壟斷ヲ專恣スルヲ曉知シ痛ク我日本人民ノ不幸ヲ憐ミ乃チ曰ク子ハ是レ日本政府ノ官吏ニ非ス純然タル日本ノ一人民ニシテ英國ニ留學セルモノナリ然ラハ則チ此言ヤ決シテ自國政府ノ囑託ヲ受テ之ヲ爲スニ非ス日本人民ノ地位ヨリシテ之ヲ論スルモノタルヤ明白ナリ是ヲ以ヲ知ル日本人民ハ智識ノ進歩セルヿ決シテ十有余年前ノ比ニ非サルヲ然レハ吾

人ハ何ソ同等ノ權利ヲ有セシムルヲ拒ムノ理由アランヤト後又條約論ヲ著ハシ議院ノ代議士及ヒ友人等ニ贈リシ時ノ如キモ或ハ書ヲ以テ之ヲ慰メ或ハ口ツカラ之ヲ吊スルヿ亦前ト同シ嗚呼諸君ハ此言ヲ聞ヲ如何ナル感覺ヲ引起セシヤ無望賤劣ナル一馬塲辰猪ノ私言スラモ尚ホ能ク彼等ヲシテ爲ニ感動セシムルヿ斯ノ如シ況ンヤ全國人民ノ輿論ニ於テオヤ

斯ク說キ來ルモ凡庸ノ俗吏輩ハ未タ自ラ其非ヲ曉ラス或ハ種々ノ非難ヲ爲ス可シト雖モ之ヲ要スルニ彼等ノ腦裏ニ二個ノ大誤謬アリテ如何ナル批難モ總テ此ノ二點ヨリ生スルニヨリ今ヤ其根原ヲ駁シ一擊以テ之ヲ粉碎シ向來其惑ナカラシメントス然リ而メ其所謂誤謬トハ即チ一ハ

輿論ノ大切ナルヲ知ラス二ハ百事策略ニ依テ左右セラル、モノナリト妄想スル是ナリ而シテ第一惑ノ如キハ從來我邦ハ未タ英佛等ノ如ク人民ノ輿論ノ爲ニ劇烈ナル反動ヲ被リタルコト無キニ因レリ第二惑ニ至テハ事ノ公私ヲ別タザル故ナリ何トナレハ我邦現時ノ習慣タル公事ヲ左右セントスルニ私ノ請託ヲ以テス而シテ此事多クハ効驗アリ例ヘハ前宵ニ於テ一酒樓ノ饗應ハ能ク長官ノ心ヲ和ケ明朝ノ出頭九時ヲ過キ若クハ十一時ニ至ルモ決シテ其咎ヲ受ルヿ無キカ如キ即チ其類ナリ歐米人ノ如キハ則チ然ラス公私ノ區別極メテ判然タリ故ニ横濱在留ノ外國商人ノ如キモ仮令ヒ前宵ニ如何ナル饗應請託ヲ爲スモ翌日商業上ノ談判ニ至テハ寸歩モ之ヲ枉ケズ然ルニ方今我

邦ニ於テハ毫モ此等ノ事ヲ辨知セサルカ如ク或ハ歐米諸國ノ顯官ヲ饗應シ此ノ懼心ニ因テ條約改正ヲ實施セントスルカ如キ景況ナキニ非ス豈誤レルノ太甚シキモノト云ハサル可ケンヤ噫若シ政府ニシテ外交ノ針路果シテ此ノ如クナラハ吾輩人民ノ不幸實ニ云フニ忍ヒザルナリ然リト雖モ知識アリ經驗アル井上外務卿ニシテ豈ニ斯ノ如キ拙策ニ出テンヤ必ズ人民ノ輿論ヲ以テ之ヲ請求シ人民ノ交際上ノ信義ヲ以テ之ヲ改良セシメントセラルヽヤ明々白々タリ

其レ然リ然ラハ則チ人民ノ輿論ヲ以テ之ヲ請ハント欲スルニハ果シテ如何ナル方法ニ依ル可キヤ既ニ前ニモ述フルカ如ク馬場辰猪一個ノ私言スラ能ク彼等ヲ感動セシム

ルニ足ル左レハ此席ニ來會ノ諸君一名若クハ數名連署シテナリトモ書面ヲ以テ彼ノ英國議院ニ向テ其不幸ヲ訴ヘハ辰猪カ一個ノ私言ニ勝ルヤ万々ナリ然レトモ數人ノ連合未タ以テ充分ナリトスルニ足ラス宜シク全國人民ノ輿論ヲ以テス可シ而シテ其輿論ヲ以テスルノ方法ニ至テハ他ナシ即チ國會ヲ開設シ全國人民ノ代議士タル所ノモノヽ決議ヲ以テ之ヲ請求ス可キナリ果シテ能ク此ノ如クナラハ何ソ治外法權ノ破棄シ難キヲ憂ンヤ何ソ條約改正ノ困難ナルヲ憂ヘンヤ

東京本所區横網町二丁目二番地
東京府平民
青森縣士族
編輯主任　吉田次郎
持主兼印刷　根津親德
東京々橋區新肴町十壹番地
假本局
求友社

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社
同日本橋區元大坂町　法木德兵衛
同淺草區元鳥越町廿一番地　共致社
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同麹町區三番町　杉田秀之助
同牛込神樂町壹丁目十番地　積善堂
同表神保町九番地　大黑屋金之助
同赤坂裏壹丁目十六番地　赤川五平
同本郷區本郷四丁目十番地　高橋屋
同淺草並木町二十六番地　湊屋小兵衛
同日本橋區室町三丁目　秋山茂左衛門
同兩國吉川町二番地　大黑屋平吉
同神田區雉子町三十二番地　巖々堂
同虎ノ門外琴平町　靜霞堂
同芝區三田同朋町　靜海堂
同芝源助町　春陽堂

横濱野毛町二丁目　鈴木彖吉
石川縣金澤尾張町　牧野作平
大坂堂島中壹丁目　靜雲堂
岐阜大田町　春陽舍
信州松本南深志町　篠田重平
大坂本町四丁目　岡島眞七
相州横須賀旭町　大塚靜喜
西京新京極蛸藥師下ル　太田權七
下総千葉　内國通運會社

定時刊行

明治十四年第三月二十七日發兌

○革命ノ大源因ヲ論ス　堀口昇

○干戈ヲ動カス可キノ時機　淺野乾

○東洋諸國ノ振ハサル源因ヲ論ス　西村玄道

末廣重恭校閲
吉田次郎編輯

嚶鳴雜誌

第廿七號

嚶鳴雜誌第廿七號

革命ノ大源因ヲ論ス

堀口昇演說

革命ニ平和アリ激烈アリ其類殆ント一ナラスト雖モ其ノ之ヲ致ス所以ノ者ハ蓋シ其起ルノ日ニ起ズシテ必ス由テ兆ス所ノ者アリ予輩ハ先ツ宇内革命ノ最モ著大ニシテ記臆シ易キ者ヲ擧ンニ夫ノ千六百四十二年査理斯一世ノ變亂ノ如キ千六百八十八年セームス二世ノ顚覆ノ如キ及ヒ千七百九十三年路易十六世革命ノ如キハ衆人ノ成ヲ能ク知ラル、所ナリ然リ而シテ之カ大源因ヲ討索スルニ果シテ暴君虐主ガ設リニ威福ニ誇リ權柄ヲ弄シ鴟梟ノ慾ヲ逞フシ虎狼ノ貪ヲ饕カシメント欲シ數万ノ生靈ヲ驅ツテ戰場ノ幽鬼ト爲シ兄弟妻子ヲシテ離散スル如キ不幸ニ陷ラ

シメタルヲ以テ人民之ニ耐ル能ハズ遂ニ反旗ヲ翻スニ至リシカ是レ或ハ然ラン然レトモ未タ俄カニ之ヲ認メテ革命ノ一大源因ト爲ス可ラザルナリ何ヲ以テ之ヲ言フ余輩顧フニ若シ果メ前論ノ如クナラシメハ奈破崙一世ノ時ニ當リ何ソ顚覆ノアラザリシヤ路易十四世ノ時ニ當リ何ソ革命ノ起ラサリシヤ夫レ奈破崙ハ獷悍ノ猾賊ニシテ向フ所敵ナク連戰連勝勢ヒ破竹ノ如ク歐州諸國ヲ蹂躪シ攻伐征討日トシテ止マス是ヲ以テ竟ニ國帑空竭ヲ告ケ人民尸ヲ原野ニ暴スノ慘虐ヲ佛國社會ニ演シタリト雖モ其人民ハ曾テ怒氣ヲ含マス怨意ヲ懷カス却テ自ラ兵士トナリ之カ使役ニ服サンコトヲ樂シムニ非ラスヤ路易十四世ノ性タル亦タ攻戰ヲ好ムノ惡僻アリ設リニ各國ノ釁隙ヲ窺ヒ其虛

ニ乘シテ無名ノ戰端ヲ開キ勝敗ヲ干戈ノ間ニ決セントト計リ壤國ト相續ヲ西班牙ニ爭ヒ荷蘭陀ト宗教ヲ競ヒシカ如キ兵亂常ニ已ム時ナシト雖モ人民ノ叛旗ヲ翻シ乱戈ヲ擁シタルコトアルヲ聞カザルナリ又タ「ジョルジ」二世ノ時英佛二國戟ヲ歐洲ニ交ユルニ當リ英國政府ハ痛痒更ニ相關セサル亞米利加殖民ヲ驅テ之ヲ鋒鏑ニ委セシト雖モ殖民ハ戰場ニ趨ンヲ以テ無上ノ榮譽トナシ欣然トメ戰袍ヲ穿チタルヲ以テ之ヲ視レハ暴君虐主ノ設リニ戰端ヲ開テ蒼生ヲ塗炭ニ因シメタルヲ以テ革命ノ大源因ト爲スニ足テザルヤ夫レ明カナリ然ラハ則チ言論ノ自由ヲ束縛シ志士論客ノ正論讜議ヲ箝制シタルヲ以テ之カ大源因ナリト言ハンヤ是レ亦其ノ遠因ニシテ未タ直接ノ大源因トナスニ足

ラザルナリ觀ヨ查理斯一世ノ時ニ當リフライン氏ト云フ論士アリテ少シク政法ヲ是非シタルヲ以テ烙印ヲ額上ニ捺シテ之ヲ懲罰シ其他弁士ノ舌ヲ抜キ論客ノ耳ヲ截ルガ如キ殘忍酷薄到ラザル所ナシト雖ヒ未タ人心ノ離反シテ一撥叛乱ヲ慫起スノ機變ニ至ラス又タ路易十四世ノ時ニ於テ己カ德行ヲ稱揚シテ觀崇欣慕スル者アルトキハ之ニ高爵ヲ與ヘ之ヲ高位ニ置イテ之ヲ優待シ若シ己ヲ誹謗譏毀シテ憤怨ヲ政治上ニ懷ク者アルトキハ之ニ加フルニ嚴刑酷律ヲ以テシタリ又印度政府カ論者ノ鼻ヲ殺キ弁客ノ耳ニ油セシカ如キハ「メノー」律ヲ讀ミシ諸君ノ能ク熟知スル所ナリ然ルニ此等殘忍酷薄ノ施政アルニモ拘ハラス人民ハ之ニ服從シタルニ非ヤ故ニ吾輩ハ政府カ正論讜議ノ士ヲ

嚴刑酷律ニ處シタルヲ以テ革命ノ大源因トナス能ハサルナリ然ラハ何事ヲ以テ其大源因トナスカ他ナシ繽稜ノ口實ヲ以テ苛租ヲ賦課スル是ナリ蓋シ之ヲ古今ノ歷史ニ考フルモ壓制束縛ヲ施シ人民ヲ困踣シタル者一ニシテ足ラスト雖ヒ其ノ感觸ヲ人民ニ與ヘ怨恨ヲ釀シタル者ハ重稅ヲ加ヘテ其支出ヲ知ラシメサルヨリ切ナルハ無シ看ヨヤ千七百七十六年ノ亞米利加革命ハ如何ナル源因ニ由來セルカ是レ其ノ代議士ヲ出サシメスシテ租稅ヲ重課シ剩ヘ輸入品ニ課スルニ苛稅ヲ以テシ更ニ其支出ノ道ヲ明ニセサルヨリ忽チ人民ノ怨叢トナリ遂ニ革命ヲ起シタリ而シテ查理斯一世ノ時ニ當リ西班牙ト戰端ヲ開キ耻辱ヲ自國ノ人民ニ加ヘタリト雖ヒ未タ革命ノ變ヲ生スルニ至ラス

然ルニ其ノ久シク廢絶シタル「トンチージ」「パウンデージ」及ヒ「シップマニー」ノ諸稅ヲ再課シタルニ及ンテ「ハンプテン」「ピム」「ニリナット」「ムユントウタイス」等ノ諸士陸續輩出シ其賦課セラレタル稅額ハ寔ニ些少ナリト雖ヒ之ヲ出スノ理由ナキヲ爭論シタルヲ以テ忽チ中外ノ輿論トナリ其ノ嚣々ノ聲ハ山岳モ爲メニ動キ江海モ爲メニ湧クニ至リ遂ニ言フ可カラサル慘毒ヲ社會ニ流出セリ其他佛國ノ革命ノ如キモ亦タ僧侶貴族等ニ租稅ヲ賦課セスシテ獨リ平民ニ負荷セシメシガ如キ財政上ノ曖昧ナルニ基原セリ玆ニ人アリ路傍ヲ徜徉スルニ當リ突然懷中ニ手ヲ入レ其金錢ヲ奪ヒ去ル者アレハ誰カ之ヲ認メテ不正ノ所業トナシテ之ニ抵抗セサランヤ而シテ政府ノ故ナク租稅ヲ重課シ其支

出ノ道ヲ明ニセザルモ亦タ何ソ之ト異ナル所アラン故ニ是ニ因ツテ之ヲ觀レハ革命ノ大源因ハ財政上ノ曖昧ニ出ルヤ敢テ疑ヲ容レザルナリ然リト雖ヒ以上論述スル所ノ者ハ皆ナ外國ノ政跡ニシテ予輩ニ於テ更ニ痛痒利害ノ相關セザル所ノ者ナレハ務メテ之ヲ並列シタルニ非ス唯タ一事ノ以テ之ニ徵シテ云々スル所アラントスルナリ

干戈ヲ動カス可キノ時機

淺野乾濱說

夫レ干戈ヲ動カス可キノ時機ハ果シテ如何ナル時ナルカ將タ如何ナル場合ニ際會シテ始メテ戰爭ヲ開クベキカ吾儕今試ミニ其ノ時機ト場合トヲ講究セン然レヒ吾儕ハ之ヲ論ズルノ前ニ於テ先ヅ兵ノ効用ト戰ノ目的ヲ究知セサ

ル可カラザルヲ知ル然レドモ夫ノ兵ヤ戰ヤ固ヨリ强剛ノ者タリ何ゾ小刀若シハ「メス」ヲ以テ能ク之ヲ分拆解剖シ得ル所ナランヤ故ニ吾儕ハ此ニ一挺ノ出刀庖丁ト一本ノ菜切リ庖丁ヲ擔ギ出シテ以テ兵ト戰ノ性質ヲ解剖セントス否此ノ二箇ノ庖丁ヲ以テ他ノ的ノ倚ニ供セザル可カラサル也」

此ニ一人ノ盜賊アリ黑キ頭巾ニテ其ノ面ヲ覆ヒ手ニ「カントウ」提灯ヲ持テ土藏ノ前ニ佇立シ四邊ヲ注視スル「數回ナリ」其アツテ其ノ腰ニ挾ミタル出刀庖丁ヲ把リ出タシテ嚴重ナル土藏ノ扉ヲ切破リマンマト首尾善ク庫中ノ財物ヲ盜ミ得テ仕合ハセ好シト打笑ミ身ヲ一躍シテ見越ノ松ニ攀登リ遂ニ跡白浪ト遁ケ失セタリト假想セヨ嗚呼彼盜賊ノ財物ヲ奪ヒ得タルハ全ク出刀庖丁アルガ爲メニ非ズヤ

然ラバ則チ出刀庖丁ハ物ヲ盜ムカ爲メニ人ノ倉庫ヲ切破ルノ道具ナルカ又熊公八公ノ社會ニ於テハ動モスレバ夫婦喧嘩ノ際ニ於テ臺所ノ出刀庖丁ヲ取來ツテ以テ山ノ神ノ頭ヲ傷ツクルヿアリ之ヲ以テ出刀庖丁ハ人ヲ傷クルカ爲メニ作リタル者ナリトスベキカ吾儕ハ諸君ガ必ズ此ノ二說ヲ贊成セザルヲ信ズル也諸君又試ミニ一人ノ御姫樣アリト思考セヨ年紀稍ヤク十三四許リ其ノ髮ハ則チおちごニシテ銀ノビラ〳〵シタル櫻ノ簪ヲ差其衣ハ則チ裾擦樣ノ振袖ニシテ赤キ鷄ヲ縫ヒタリ而シテ此ノ御姫樣ハ益モナク臺所ヘ出掛ケテ徒ラヲ爲シ不幸ニモ誤ツテ其ノ小指ヲ傷ツケタリ依テ彼ノ意苦地ナキ御姫樣ハ泣キ聲ヲ出シテ乳母ヲ呼ンテ乳母ヤ大變ダワタシハ指ヲ切ツタヨ

ホンニ菜ツ切庖丁ハ悪ルイ物ダテート曰ハシムレハ諸君ハ之ヲ聞テ果メ菜ツ切ノ悪キ者ナルヲ信シ以テ御姫様ニ左袒セラルヽカ吾儕ハ決メ諸君ガ「ヒヤ々々」ト言ハレザルヲ信スル也然ラハ則チ出刀庖丁ノ功用ハ果メ何ソヤ魚ヲ切リ鳥ヲ料理シテ御馳走ヲ拵ヘルニ在リ而メ菜ツ切庖丁ヲ人家ニ備フルノ目的ハ亦大根胡羅匐ヲ切テ総菜ヲ作ルニ外ナラサルナリ然ルニ之レヲ目シテ物ヲ盗ミ人ヲ傷ツクル道具ナリトシ將タ指ヲ切ル所ノ悪イ物ナリト謂フハ之カ効用目的ヲ辨ゼザルノ太甚シキ者ニ非スメ何ソヤ諸君耳ヲ欹テヽ今ノ好戰論者ノ言フ所ヲ聽ケ彼レ論者ハ設ニ兵ヲ以テ他ヲ壓倒スルノ器械ト爲シ戰ヲ以テ他ヲ侵畧スルノ目的ナリトスルニ非ヤ又世ノ非戰論者ノ説ク所

ヲ見ヨ彼レ論者ハ戰ヲ以テ國ヲ害スル悪物ナリト爲シ兵兵ヲ以テ乘庶ノ不幸ヲ來スノ器械トスルニ非ズヤ抑モ此ノ二論者ハ豈ニ夫ノ盗賊ト御姫様ガ出刀庖丁ト菜ツ切庖丁ニ於ケルニ異ナル無カランカ夫レ兵ヲ養フハ實ニ我レニ抗スル者ヲ殺スニ在リテ戰ヲ開クハ我不利不幸ヲ避ンルニ在リ而メ殺ス可キ人ヲ殺スト殺ス可カラザル人ヲ殺ストハ唯タ之ヲ用ユルノ人ニアリテ兵ノ關知スル所ニ非ザルナリ然ルニ開戰論者ハ兵ヲ以テ腕力ニ大關係アル者ト思惟スルニ因リ他ノ強弱ヲ量ツテ若シ其ノ威力ノ薄弱ナルヲ視察センカ其ノ如何ナル時機ト如何ナル場合トヲ問ハズ妄リニ兵ヲ起セ戰ヲ開ケト言ヒ腕力ハ道理ヲ造ルト云フ暴言ヲ尊奉メ動モスレバ腕力々々ト叫ヒ條理如何

ンヲ捨テヽ省リミズ又他ノ腕力大ニ我ニ過クルアレバ徒ラニ悸〻トメ爲メニ道理ヲ妨害スルヲ省リミス是レ豈ニ兵ノ性質ト戰ノ目的トヲ誤ル者ニ非スノ何ゾヤ而ノ非戰論者ハ不幸ニモ世界諸國ニ腕力論者ノ多キヲ視テ痛歎スルノ餘リ識ラズ知ラズ併セテ兵ヲ疾ミ戰ヲ嫌フニ至レリ吾儕豈ニ兵ト戰トノ爲メニ其ノ寃罪ヲ訴ヘザルヲ得ンヤ」

嗚呼出刄庖丁ノ功用ト菜切リ庖丁ノ本分ヲ誤ル者ハ夫ノ盜賊ト御姫樣ナリ兵ノ性質ト戰ノ目的ヲ誤ル者ハ今ノ好戰論者ト非戰論者ナリ論者知ラズヤ戰ハ無キ道理ヲ造ルニ非ズシテ有ル道理ヲ妨害スル無法ノ國ヲ伐ツ者ナリ兵ハ國ノ幸福ヲ害スル兇器ニ非ズシテ邦ノ不幸不利ヲ免カルヽノ良器ナリ若シ夫レ戰ハ無キ道理ヲ造ルノ器械ナリ

ト謂ハンカ然ラバ則チ出刄庖丁ハ無キ財產ヲ造ルノ器械ナリト謂フモ亦不可ナル無キナリ又兵ハ兇器ナリトノ言ヲ以テ適當トセンカ然レハ則菜切リ庖丁ハ指切道具ナリト言フモ亦不當ニ非ザル可キナリ

夫レ兵ノ性質ハ單ニ人ヲ殺スニ在リ而シテ之ヲ適當ナル所ニ用ユルト否トハ實ニ人ニ在リ嗚呼夫ノ兵ハ殺ス可キ人ヲ殺ス爲メナルカ將タ殺ス可カラザル人ヲ殺ス爲メナルカ凡ソ人間世界ニ於テ物ヲ作ルノ目的ハ全ク人ノ便利幸福ヲ計ルカ爲メニ外ナラザレバ其ノ殺ス可カラサル無辜ノ民ヲ殺スニ非ズシテ殺ス可キ無法ノ國民ヲ殺スニ在ルヤ知ルヘキノミ而シテ其ノ殺ス可キト否トヲ判スルハ亦道理ノ處分ニ依ルニ在ルノミ然ラバ則チ道理ノ許サヽ

ル場合ニ於テ始メテ戰ヲ開キ他ノ强テ我ガ道理ヲ妨害セントスルノ時機ニ於テ正ニ干戈ヲ動カサバ庶幾クハ兵ノ性質本分ヲ誤ルヿナカランカ

今回琉球論ノ再燃ニ際シ或ハ曰ク失敬ナルヲヤン〳〵坊主ヨ速ニ腕力ヲ奮ツテ之カ膽玉ヲ押潰ス可シト或ハ曰ク終始剛果ヲ以テ嚴談シ彼レ若シ充分ニ我カ言ヲ聽カズンバ兵力ヲ以テ之ニ迫レト而シテ或ル論者ハ意氣凛然大聲疾呼シテ曰ク我レヲ以テ支那ニ較ブルニ戰艦陸兵大ニ勝ル所アリ斷然戰ヲ開ヒテ以テ之ヲ伐ツ可シ獨リ此レノミナラズ魯西亞ニシテ朝鮮ヲ占據セントセハ亦直チニ兵ヲ擧テ之ヲ追拂フ可シト是レ國是ヲ以テ政畧ト同一視シ東洋平和亞細亞一致ノ政畧ヲ忘レ東洋ノ風説ヲ傳聞シテ直

チニ眼ヲ瞋ラシタル者ナリ夫レ我邦ノ政畧ハ成ル可ク支那ト和親シ英魯ニ逆ハザルヲ目的トシ百方紛糾ヲ解テ平和一致ヲ求ム可キ今日ニ於テ驟ニ開戰々々ト唱フルハ政畧ト國是ヲ混雜シタル者ニシテ吾儕謹ンテ之ニ呈スルニ空威張論者ノ尊稱ヲ以テセザル可カラズ是レ他ナシ彼レガ兵ノ性質効用ヲ察セザルニ座スルノミニ試ミニ思ヘ今日ハ未タ清魯ヨリ全ク我カ國ノ道理ヲ妨害シタルニ非サル也即チ今日ハ干戈ヲ動カスノ時機ニ非ザル也又他ノ論者ハ兵ヲ忌ミ戰ヲ惡ムヤ甚シク假令ヒ大ニ琉球ヲ割與スルモ支那ト戈干ヲ交ユ可カラスト爲シ又萬一魯國ニシレザレフ港ヲ占有スルモ我邦ノ兵ハ迚モ魯ニ敵ス可カラス止タ傍觀坐視スヘシト云フ噫此ノ論者ハ我邦政畧ノ在ル所

ナ識ツテ而シテ國是ノ如何ンヲ知ラサルカ一日明ラカニ我版圖ト信シテ已ニ廢藩置縣ヲ行ヒタル琉球ヲ以テ故ナク他ニ割與スルハ是レ我邦ノ体面ヲ汚シ我カ國ノ權利ヲ害スルノ甚タシキ者ナリ已ニ我邦ノ体面ヲ汚ス我邦ノ最大ノ不幸ニ非スト爲ヘキカ已ニ我カ國權ヲ害ス我カ邦ノ最大ノ不利ニ非スト謂フ可カラサルナリ苟モ他ノ怨ヲ畏レテ我カ領地ヲ割與スルカ如キハ我邦ノ最大不幸最大不利ナリ若シ夫レ此ノ場合ニ至レハ已ニ政略ノ區域ヲ離レテ國是ヲ斷行セサル可カラサルノ時機ナリ此ニ至ツテ兵ヲ起スハ是此ノ最大不幸ト不利トヲ免カルヽカ爲メナリ是時ニ當リ之ヲ用ユルノ兵ヲ以テ兇器ト爲シ之カ爲メニ開クノ戰ヲ以テ忌嫌ス可キ者トセバ國權モ放棄ス可ク國

利モ進捗セズシテ可ナラン是レ略ヲ以テ國是ヲ混雜シタル者ニテ止タ歩兵ノ性質本分ヲ識ラザルニ至スルノミ而シテ魯國ト朝鮮トノ關係ノ如キハ實ニ我邦將來ノ發達ヲ害シ將タ幾ンド獨立ヲ失フニ至ルノ憂ヲ生スル者ナルカ故ニ之ニ逆ハザルノ政略ヲ守ル場合ニ非ズヤ道理ノ許サヽル時機ニ至ラハ止ムヲ得ズ干戈ヲ動カシテ國利民福即チ我カ大日本帝國ノ獨立繁榮ヲ永久ニ維持スルカ爲メニ吾人ノ性命ヲ犧牲ニ供スルハ即チ當然ノ事ナリトスヘキノミ何ソ傍觀踟躕ス可ケンヤ故ニ吾儕ハ非戰論者其人ヲ目シテ失敬ナカラ臆病論者ナリト斷言セサルヲ得ザルナリ嗚呼支那ニ對シテハ成ル可ク之ト親和シテ東洋ノ一致聯合ヲ求ムルノ政略ヲ固守シ魯國ニ向ツテハ百方之ニ逆

ハサルヲ務メ其ノ呑噬ヲ免カルヽノ政略ヲ固守セサル可カラズ而カモ政略固守ノ極點ニ達シ己ニ國是ノ分界ニ迫ラバ斷ジテ開戰ノ國是ヲ定ムル可ナリ是レ則チ干戈ヲ動カスノ時機ナリ若シ此際ニ當リ猶躊躇スルハ怯者ナリ宜シク其ノ睾丸ヲ切ル可シ國ニシテ因循スル者アラバ弱國ナリ寧ロ初メヨリ兵ヲ養ハザルニ若カザルナリ吾儕ノ所論斯クノ如シ試ミニ意見ヲ述ヘテ之ヲ諸君ニ質ス

東洋諸國ノ振ハサル源因ヲ論ス　西村玄道演說

論者或ハ說ヲ作シテ曰ク東洋諸國ノ振ハサル是レ職トメ耶蘇教ノ流行セザルニ是レ由ル試ニ思ヘ今日文明ヲ以テ鳴リ開化ヲ以テ誇リタル佛蘭西ハ舊教ヲ奉シ米國ハ新教ヲ信シ而シテ西洋各國到ル所トシテ耶蘇教ニ歸依セザル

ハ無ク土民齊トシク之カ爲メニ薰陶化育セラレ遂ニ今日ノ現況ニ至リタル者ナリ然ルニ首ヲ回ラシテ吾東洋諸國ヲ觀ルニ皆ナ神儒道及ヒ佛道波羅門教等ヲ信向シテ更ニ耶蘇教ヲ顧ミサルノ狀アルヲ以テ遂ニ今日ノ如ク却歩シテ復タ進ムノ形アラサルヲ致タセリト嗚呼此說ヤ偏見邪說ニ流レタルヲ以テ余輩ハ寧ロ此論ヲ評シテ其一ヲ知テ未タ其二ヲ知ラス其堂ニ上リテ未タ其室ニ入ラサル者ナリト謂サル可ラス夫レ印度ハ地球上最古ノ國ニシテ人文大ニ開ケ智識大ニ進ミタリ是ヲ以テ其法律ハ傳テ羅馬ニ及ヒ羅馬ハ之ヲ承テ英佛諸國ニ施セリ蓋シ法律ノ起因スル所印度ヲ除テ亦タ他ニ之ヲ求ム可ラサルナリ支那亦タ一ノ古國ニシテ五帝三王ノ道ヲ施シテヨリ以來禮樂刑政

夙トニ其實美ヲ備ヘ各々條理アリ且ツ夫レ古ヨリ天產ニ富ミ工作ニ明ニシテ我國ニ輸入シタルノ物品モ亦タ鮮ナカラス蓋シ道德ノ進ミ工作ノ開ケタルヿ蓋シ支那ヨリ隆ンナルハアラザルナリ日本國モ亦古國ニシテ固有ノ神道ヲ宗トシ之ニ錯ユルニ儒佛二道ヲ以テ之ヲ補翼シ互ニ相鼎立シテ孝悌忠信ノ道ヲ敎ヘ日本元氣ノ精神ヲ暎發シタルヲ以テ人文ノ開ケ志氣ノ鋭キヿ遙ニ支那印度ノ右ニ出ル者アリ由是觀之ハ此諸國ハ咸ナ歐米ノ剖判セサルノ前ニ開化シタル者ニシテ而シテ其敎育ヲ施シタル決シテ耶蘇敎ノ力ヲ藉ラサルヲ以テ之ヲ觀レハ論者ノ國ヲ開クハ耶蘇敎ノ流行スルト否ラサルトニ由ルノ說ハ之ヲ証スルニ足ラサルナリ論者又タ說ヲ作シテ曰ク西洋ノ東西ニ於

テ今日斯ノ如キ差違アル者ハ全ク氣候ノ異ナルニ因ル者ナリ夫レ吾人カ勉强ヲ爲スヲ得ルハ炎威赫鑠金鉄ヲ溶スノ時ニ非スシテ寒風凛烈河水ヲ結フノ時ニ在ルニアラスヤ西洋ハ氣候常ニ寒冱ニシテ其刺激ヲ與フル大ナルヲ以テ人心自ラ活發鋭敏ナリト雖モ東洋諸國ハ之ニ反シ率ネ暖帶ノ地ニ位スルヲ以テ精神常ニ倦ミ身体多ク疲レ事業ヲ振張スル能ハスト嗚呼此說ヤ妄論モ亦タ極ルト謂ツベシ若シ夫レ果シテ論者ノ說ノ如クナレハ東洋諸國ノ古ニ開ケタル時ハ氣候果シテ冱寒酷烈シ古ニ寒帶ニシテ今日ニ暖帶ナルヿハ未タ嘗テ之アラサルナリ然ラハ則チ其ノ源因果シテ如何ンソヤ夫レ印度ノ萎薙振ハザルモノハ全ク政府ノ壓制ト敎育偏頗ノ二源因ニ外ナラサルナリ敎育

偏頗ナリ故ニ貴族僧侶ノミ學ニ從事シテ平民ハ之ニ與ラズ政治壓制ナリ故ニ元氣衰エ精神卑屈ト爲リ遂ニ英國ノ爲メニ占領セラルヽニ至ル而シテ支那ハ政府ノ道德法律ヲ混殺シタルト人民共足ルヲ知ルトノ二源因ヨリシテ今日アルヲ致タセリ春秋ノ世孔子出テ先王ノ遺訓ト傳來ノ習慣ヲ恪守シテコレカ教ヲ立テ復タ進ムヲ知ラシメス是ヲ以テ之カ言ニ曰ク知足者雖貧而富不知足者雖富而貧ト其進路ヲ絶チ其運動ヲ遮リタル如斯ク其レ大ナルト政府ノ道德法律ヲ混殺シテ其臣民ヲ御スルヤ往々脅迫束縛ニ流レタルトノ二源因ニ由テ人民遂ニ小成ニ安ンシテ大成ヲ希ハス卑屈ニ流レテ進取ノ氣象ヲ失ヒタルナリ日本ハ幕府壓制ノ久シキニ忸レ人民卑屈偷安ニ流レタリト雖ヒ

幸ニ維新ノ時ニ際シ幕府政權ヲ奉還シタルヨリ以來日月ノ推移ト與ニ文明ニ趣キ開化ニ進ミタリト雖ヒ新聞ニ集會ニ條例ヲ設ケ政事ニ關シテ請願頒布アリテヨリ以來自由ハ之カ爲ニ却歩シ殆ト復古ニ傾向スルノ狀アルニ至レリ豈ニ痛歎ノ至リナラスヤ嗚呼諸君ヨ諸君ハ此現況アルヲ以テ如何ノ感想ヲ懷起セラレタル乎予輩ハ論シテ茲ニ至レハ潸然悲到リ鬱然胸塞リテ殆ント血涙ノ袂ニ沾フヲ覺エサルナリ嗚呼諸君ヨ諸君ニシテ苟モ國ヲ憂フルノ精神アラハ何ソ奮然蹶起以テ之ヲ救フノ道ヲ講セサルヲ然リト雖ヒ既往ハ之ヲ咎ムルモ亦タ益ナシ深ク將來ヲ戒メ他日ヲ愼ミ互ニ之ヲ救フノ道ヲ講セザル可ラス余ハ此ノ演說ヲ終ルニ臨ンテ一言ノ諸君ニ乞フ可キ者アリ他

ナシ諸君ハ常ニ其膽力ヲ養ヒ其志氣ヲ鋭フメ護模玉ノ如クナラレンヿヲ夫レ護模玉ハ其質極テ軟柔ナル者ナリト雖ヒ手ヲ下シテ之ヲ壓搾スレハ忽チ伸張シテ其故ニ復スル者ナリ之ヲ壓スル强ケレハ强シ之ニ應シ之ヲ壓スル弱ナレハ弱ク之ニ應ス西洋諸國ノ今日アルヲ致セシハ職トシテ玆ニ出ルナリ現今我カ邦ニ於テ決シテ壓搾ノヿアラズト雖ヒ余ハ諸君ノ常ニ之ニ注意スル所アランヲ希望スルナリ

東京本所區横網町二丁目二番地
東京府平民
編輯主任　吉田次郎
同芝區中門前町二丁目八番地寄留
福島縣士族
印刷人　原捷家
東京々橋區曲雲町四番地
同淺草區瓦町二十八番地
青森縣士族
社主　根津親德

求友社

本局

弊社雜誌ノ儀ハ代價並ニ遞送費トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヽル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價五錢　五冊前金二十二錢五厘　十冊前金四十三錢　二十冊前金八十錢

但シ府外ノ分ハ別ニ郵税中受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同同區元大坂町　法木徳兵衛
同神田區雉子町　巖々堂

東京銀座四丁目　博聞社
同牛込神樂坂一丁目　積善堂
同神田表神保町　大黒屋惣次郎
同赤坂裏壹丁目　赤川五平
同日本橋區久松町　大津屋善兵衛
同日本橋通一丁目　伊勢屋金次郎
同神田今川小路　大坂屋彦兵衛
同日本橋新和泉町　文園堂
同淺草元鳥越町　共致社
同神田美土代町　關玉屋
同神田表神保町　兒直次郎
同芝區飯倉三丁目　駿河屋
同神田錦町一丁目　中嶋幸太郎
同神田神保町　有則軒
同本郷湯嶋天神町　文友堂
同淺草寺內　長尾
同淺草並木町　西村安次郎
同南傳馬町二丁目　伊勢屋喜三郎

取次所

同芝區琴平町　春陽舍
同同區三田同朋町　窪田重平
同同區新櫻田町　杉本平七
横濱太田町二丁目　藤井三代治
伊勢屋梅藏　新々堂
静霞堂　岡田眞七
静海堂　十一屋半四郎
春陽堂　吉田道雄
日静堂　澤田正助
青井三十郎　修文堂
川又銀藏　雲館
阪井万吉　日静堂
平井文助　新館
吾妻堂　青井三十郎
竹裏堂　川又銀藏
青雲堂　阪井万吉
平井文助

定時刊行

明治十四年八月二十六日發兌

○政權ノ分配　沼間守一

○維新論　丸山名政

○政權論第一　青木匡

嚶鳴雜誌

第貳拾八號

政權ノ分配

沼間守一演說

人類ノ最モ重シ最モ貴ブ所ノ者ハ生命ナル乎將タ財產ナル乎曰ク生命ノ最モ貴ブベク財產ノ最モ重ズベキモ他ニ又之ヲ保庇スル所ノ者ナカリセバ兩者共ニ其貴キヲ失ヒ其重キヲ缺クベキナリ然ラハ則チ何者カ最モ貴重ナルヤ曰ク權理是ナリ今夫レ道ヲ行クニ當リ强壯ノ士アリト雖モ猥ニ力壓ヲ吾ニ加ヘサルハ唯人類固有權利ノ犯ス可カラサル者アルヲ以テナリ又勇壯ナル兵士ガ熟醉ノ餘時トシテ刀劍ヲ揮ヒ道路ヲ橫行スルアルモ吾人ハ敢テ一擊ノ下ニ倒サヽルノ患ナキハ特ム所唯權理ノ城壁アルヲ以テナリ其他財產ノ安全身体ノ自由等一トヽ權理ノ城壁ニ依

ラサル者ハアラス嗚呼權理ノ關係スル所亦大ナル哉其レ然リ權理ハ吾人ノ生命及ヒ財産ヲ護ルニ缺ク可カラサルノ城壁ナリ故ニ人アリ忽チ來テ衣服ヲ掠メントスルトキハ諸君ハ目ヲ瞋ラシ臂ヲ攘テ之ニ抗セラルヽナラン又人アリ倏カニ來テ生命ヲ奪ハントスルトキハ眉ヲ張リ髮ヲ怒ラシテ之ヲ拒ガルヽナラン諸君ガ身体財産ノ權理ヲ貴重セラルヽヤ既ニ斯ノ如ク其レ切ナリ然ルニ惟リ政事上ノ權理ニ至テハ之ヲ度外ニ置テ顧ミサルハ何ソ其事ノ偏重偏輕ナルヤ請フ是ヨリ政權ハ一人若クハ二三ノ人ノミニ委ス可カラサルノ理由ヲ示サン

諸君試ニ亞細亞ノ歴史ヲ繙テ看一看セヨ暴君虐主威ヲ挾ミ勢ヲ擅ニシテ人民ヲ虐ケ社稷ヲ傾クル時ニ當リ或ハ凡

庸君主ノ日々酒色ニ耽リ淫佚ニ流レ其身ハ全ク政事部内ノ人ニ非サル如キノ振舞ヲ爲スニ當リ姦佞ノ徒漫ニ私恩ヲ賣リ人望ヲ維キ機ニ乘シテ一ヒ天下ヲ覆シ以テ政治ノ面目ヲ一變セント計ル是ヲ以テ若シ其隙アルヲ察セハ此時乘スベシ此機失ス可カラストナシ徒ニ言ヲ放テ曰ク彼取リテ代ルベキナリト其ノ天下ヲ取ルニ當テハ初メハ仁政ノ名ヲ假リ德政ノ面ヲ被リテ之カ治術ヲ施スト雖モ少シク時日ヲ歴人心畧ホ定マルヲ見ルトキハ忽チ其眞面目ヲ現ハシ其臣ヲ使フヤ塵芥ノ如ク其民ヲ視ルヤ牛馬ノ如ク殘虐無道至ラサル所ナク其初メ生民ヲ塗炭ニ救ヒ焚溺ニ助クルノ言ハ適マ政權ヲ掌握スルノ術策ニ過キサルノ例ハ比々トシテ見ル所ナリ然ラハ則チ政事上ノ革命ナル

者ハ所謂ル河内ノ粟ヲ河東ニ移スノ類ニシテ唯世ヲ異ニシ君ヲ代ヘタルノミ其虐政ニ至テハ依然トシテ動カサルノ場合全ク之レナキニ非ラス然ルヲ革命ノ目的ヲ達シタルノ輩ガ我カ天下ヲ取ルヤ一朝一夕ノ事ニ非ラス層ニ臥シ膽ヲ嘗メ艱苦經營漸ク之ヲ得福ヲ張リ權柄ヲ擅ニスルハ正サニ然ルベキ所ナリト言ハ、諸君ハ如何ナル感情ヲ生スルカ蓋シ其言ノ不條理ナル固ヨリ辨ヲ待タザルベシ

一人若クハ數人ヲシテ政權ヲ專有セシムルトキハ其政權ハ常ニ數人ノ爭フ所トナリ國家治安ヲ保ツノ時アルヿナシ然ラハ則チ政事上ノ權理ハ勉メテ之ヲ平等ニ分配セサル、ヘカラス、然ルニ此政權ノ分配ヲ妨碍スル者世間亦少カラ

サルニ至テハ豈ニ怪マサルヲ得ンヤ若シ其レ細人事理ヲ知ラサル者ノ之ヲ爲スハ强テ咎ムルニ足ラスト雖モ苟モ事理ヲ知リ道理ニ明カナル人ニシテ此事ヲ爲ス余輩豈ニ胞腹絶倒セサル可ケンヤ夫レ英國ハ文明ヲ以テ世界ニ鳴リ開化ヲ以テ坤輿ニ轟クノ國ナリ而シテ今ヲ距ル纔ニ數十年前不動產ナキ者ハ代議士タルノ資格ヲ有セサルカ如キ自由ノ眞理ニ協ハサルノ法アリ且ツ法律家ヲ以テ自ラ任スルノ輩ニシテ常ニ揚言シテ曰ク刑罰ヲ赦シ罪人ヲ放ツハ帝王ノ特權タラサル可カラス是レ數多罪人ノ中其情實ノ大ニ憐ムヘキ者アレハナリト嗚呼是レ誠ニ然テズ抑モ英國ノ帝王ハ造化ト明ヲ同フシ鬼神ト德ヲ均スル乎否ナ君主ト雖モ均シク人類ナリ焉ソ常ニ公明正大ナル處置ヲ

施スヿヲ得ンヤ況ンヤ世襲君主ハ率ヲ暗愚者ナルニ於テオヤ之ヲ是レ顧ミスシテ帝王一人ニ特權ヲ與ヘ人民ナシテ毫モ之ニ與カルヿヲ得セシメサルハ誠ニ危險ノ狀ナキ能ハス罪人ヲ特赦スルノ權スラ既ニ斯ノ如シ吾人豈ニ帝王ヲシテ政事上一般ノ權理ヲ專有セシムルヿヲ不可トセサルヲ得ンヤ

我朝古代ノ習慣ノ然ラシムル所ナルカ一事トシテ政府ノ許可ヲ歷ルニ非サルヨリハ其行爲ヲ自由ニ任セサルカ如キノ狀アリ豈ニ不便ノ甚シキ者ナラスヤ今其レ旅行ヲ爲スモ官許ヲ歷サル可ラス牛肉店ヲ開クモ亦官許ナカル可カラス甚シキニ至テハ婦人ノ藝妓タランヿヲスルモ區役所ニ屆ケサル可カラス嗚呼區役所ハ藝妓ノ專賣所ナル乎何

ソ其レ如斯ク干渉ノ周密ナルヤ然ト雖ヒ是レ唯目前ニ彰ハル、所ノ近例ニ過キス其目前ニ彰ハレサル所ノ者ニシテ民生ニ不便ナル者其幾何アルヲ知ラサルナリ夫レ斯ノ如キ狀勢ナルモ諸君ハ敢テ之ヲ不問ニ措キ以テ自ラ政權ヲ分有スルヿヲ欲セサルカ其無氣力モ亦甚シト言フベシ諸君ヨ諸君ハ春暖漸ク回リ墨堤ノ櫻花正サニ蕾ヲ放チ笑ヲ含ムノ節至ラハ各々瓢ヲ携ヘ妓ヲ聘シテ遊覽セラルヽナラン又春過キ納涼ノ節至リ兩國ノ煙火正サニ電光ヲ飛ヽスヿハ各々舟ヲ浮ヘ酒ヲ呼テ之ヲ觀賞セラルヽナラン然ルニ何ソ惟リ人智漸ク開ケ人文大ニ進ミタルノ好時節至ルニ際シ共ニ與ニ相呼テ政權分配ノ策ヲ講セサルヤ

一葉ノ扁舟ニ乘ジ渺茫タル大洋ノ中ニ在テ水天ノ髣髴タルヲ見レバ坐ロニ大洋ノ大ナルヲ覺ユ然レドモ大洋ノ大ダ爰ニ止マラザルナリ仰デ日月星辰ノ散羅碁布セルヲ望メバ頻リニ宇宙ノ廣キヲ覺ユ然レドモ宇宙ノ廣キ未ダ爰ニ止マラサルナリ寸ヲ以テ尺ニ比セバ寸ハ尺ヨリ短シト雖モ尺未ダ必シモ長シト云フベカラズ丈ヲ以テ尺ニ比セバ丈ハ尺ヨリ長シト雖モ尺未ダ必シモ短シト云フベカラズ何ゾヤ物ノ大小長短ハ其見ル所ニヨリテ程度ヲ異ニスレバナリ小ヲ以テ大ニ比シ大ヲ以テ更ニ大ナルモノニ比シ比シテ數千萬ノ數ニ至レバ未ダ知ラズ孰レカ大ニシテ孰レカ小ナルヲ北冥ニ有レ魚。其名ヲ爲レ鯤ト。鯤之大不レ知二其幾千里一也。化而爲レ鳥。其名ヲ爲レ鵬ト。鵬之背不レ知二其幾千里一也。怒而飛。其翼若二垂天

之雲一。鵬之徙二南冥一也水擊三千里。摶二扶搖一而上者九萬里。去テ以二六月一息フ者也。蜩與二鷽鳩一笑レ之曰。我決起而飛。搶二榆枋一。時則不レ至。而控二於地一而已矣。奚ソ以二之ノ九萬里而南一爲（スルコトヲナセン）（莊子）ト蓋シ蜩ト鳩トノ眼ヲ以テ鵬ヲ測ル何ゾ水擊三千里飛翔九萬里ノ大ナルヲ知ランヤ豆大ノ眼ヲ以テ水天ノ髣髴タルヲ見ル其大ヤ則チ大ナリト雖モ之レ地球ノ一部分ノミ地上ニ立テ天象ノ范々タルヲ望ム其廣ヤ則チ廣ナリト雖モ特ニ知ラズ宇宙ノ外又別ニ宇宙アルヲ朝菌ハ晦朔ヲ知ラズ蟪蛄ハ春秋ヲ知ラズ小ヲ以テ大ヲ測リ大既ニ盡キタリトナス是レ小人ノ常情ニシテ敢テ怪ムニ足ラスト雖モ亦憫笑ニ堪ヘザルナリ

物理既ニ然リ事理豈ニ然ラサルヲ得ン余輩カ大小ニ窮極

ナキノ理ヲ引キ來ル所以ノモノハ決シテ無用ノ言ヲナスニアラス新舊ノ理モ亦之レト同ジケレバナリ夫レ事ニ新舊ノ別アレヒ之レ比較上ノ語ノミ事自ラニ就テ云フニアラズ事ヲ指シテ之レ新ナリト謂フ其事ノ新ナルニアラズ舊事ニ比シテ新ナルノミ物ヲ指シテ舊ナリト謂フ其物ノ舊ナルニアラズ新物ニ比シテ舊ナルノミ事物既ニ新舊ノ定度ナシ然ラバ則チ孰レヲ新トシ孰レヲ舊トセンカ余輩得テ其窮極スル所ヲ知ラザルナリ

羅馬帝ジヤスチニヤンガ編制シタル「コード」ハ後世法律家ノ依テ以テ摸範トナス所ノモノナリ然レヒ是レ舊來ノ法律ニ照シテ聊カ新面目ヲ顯ハシタルノミ未ダ後世學者ノ論議ヲ免レサルナリ天智天皇ガ蘇我入鹿ヲ誅シテ政治ヲ

一新シタルハ舊政ヲ改メタルマデニシテ稱シテ善政良治トナス能ハサルナリ蓋シ政治法律ハ人文ト共ニ改進スルモノナリ故ニ人文ニシテ一歩進メバ政治法律モ亦一歩進マザルベカラス而シテ人文ノ開化ニ極度ナキ以上ハ政治法律ノ改進ニモ亦極度ナカルベシ世ノ凡庸政治家カ舊政ニ比較シテ新政ノ稍ヤ善良ナルヲ説キ人文ノ既ニ改進シテ人民復タ吳下ノ舊阿蒙ニアラサルヲ知ラザルハ蓋シ政治人文ノ二者ハ相密着シテ離レサルノ理ヲ知ラサルニ因ルカ果シテ然ラバ愚人ナリ政治人文相待ツノ理ヲ知ルモ情慾ノ爲メニ支配サレ政治ヲ改良スル能ハサルニ依ルカ果シテ然ラバ奸吏ナリ愚ト奸トハ尋常ノ人ニ於テスルモ尙ホ且ツ忌ム所ナリ況ンヤ政治ヲ行フ所ノモノニ於テオ

ヤ眼ヲ開テ世界古今ノ大勢ヲ見ヨ物理ナリ經濟ナリ政治ナリ法律ナリ之ヲ數十百年以前ニ比シテ一モ改進セザルモノアルカ新事物ノ發明ハ舊事物ヲ壓シ日ニ月ニ改進ニ赴クノ風潮ハ其底止スル所ヲ知ラザルニアラズヤ余輩己ニ數千百年來ノ經驗ニヨリテ社會ニ改進ノ性質アルヲ知ルト亦爾來億萬年間改進發達スルノ理ヲ覺ラサルベカラズ社會既ニ活動物ナリ豈ニ變動ナカランヤ既ニ變動アリ豈ニ改進セサランヤ事物ノ改進シテ極リナキハ社會固有ノ性質ニシテ得テ左右シ得ベキニアラズ蓋シ事物ハ平均セントスルノ性質ヲ有スルモノナリ消極積極ノ電氣ハ互ニ平均セントスルトシテ轟然タル雷聲ヲ發シ急湍激流ハ平均セントスルトシテ滔々白珠ヲ飛バス人文ト政治トハ相

待テ進歩スルモノナリ一旦其權衡ヲ失フニ及デヤ常ニ相平均セントシ其極ヤ宙ニ落落雷洪水ノ災害ノミナラズ流血柝ヲ漂ハシ伏屍丘ヲナシ國國民ノ肝腦ヲ擧ゲテ自由ノ犧牲ニ供スルニ至ル戒愼セザルベケンヤ

世人我國戊辰ノ革命ヲ呼テ維新ト云フ寔ニ當ヲ得タリト云フベシ何トナレバ戊辰前後ノ事物ヲ取テ之ヲ比照スレバ新舊ノ差實ニ霄壤ナレバナリ其政体ヲ較ベンカ戊辰以前ハ封建制度ニシテ戊辰以後ハ郡縣ナリ其執政者ヲ比ベンカ戊辰以前ハ德川將軍ニシテ其以後ハ天皇ノ親政ナリ其他一般ノ法律ヨリ飲食衣服ノ瑣事ニ至ルマデ盡ク其面目ヲ改メサルナシ維新ノ名實ニ空シカラス然ラバ則チ我國ノ大政維新ハ戊辰ノ時ヲ以テ既ニ其極點ニ達シタリト

ナスカ何ゾ其レ然ラン余輩ハ益々奮テ第二回第三回ノ維新ヲ求メサルベカラズ我國現今ノ政治ヲ以テ之ヲ戊辰以前ニ比セバ其改進ノ度ハ驚クベキガ如クナレ𪜈更ニ之ヲ歐米諸國ニ比スレバ其下ルヿ雷壤モ啻ナラズ我々人民タルモノ豈コ十五年以前ノ一維新ニ滿足シテ進取ノ氣象ヲ挫クベケンヤ戊辰ノ維新タル新ハ則チ新ナリト雖𪜈今日ヨリ之ヲ見レバ啻ニ維新ト名クベカラサルノミナラズ之ヲ陳腐ノ甚キモノト謂ハサルベカラズ日本社會ノ人民若シ木偶人タラバイザ知ラズ苟モ人類タル以上ハ豈ニ一日片時モ改進ノ方向ニ進動セザルモノアランヤ人文ノ改進既ニ十五年ノ久シキニ及ブモ我政府ハ尚ホ十五年以前ノ舊組織ヲ墨守シ世ノ風潮ニ逆行セントスルカ嗟乎我々人

民タルモノ奮勵努力以テ第二回維新ノ期ヲ促サヾルヲ得ンヤ然リト雖𪜈余輩ガ望ム所ノ維新ハ兵力以テ之ヲ得ントスルニアラズ演說ニ文章ニ建白ニ請願ニ正理ノアル所ニ依リテ明治政府ノ政体ヲ改良セントスルノミ政治ニ新ナシ唯人民改進ノ度ニ適スルヲ以テ維新トス今ノ時豈ニ寡人政治ヲ以テ民ヲ御スルノ日ナランヤ君主獨裁ヲ以テ國ヲ治ムルノ世ナランヤ

左ノ篇ハ余ガ曾テ信濃ニ在リシ時草セシ所ニ係ル然レ𪜈不幸ニシテ僅ニ二三篇ヲ以テ一時其論ヲ中止セシノミナラス之ヲ閲讀シタル人モ甚タ僅數ナルベケレバ今此ニ之ヲ掲錄シ第二第三第四第五篇ヲモ亦續々掲出シテ汎ク江湖君子ノ高評ヲ乞ハントス

政權論　第一篇　青木匡稿

因アレハ必ス果アリ果アレバ必ス因アルハ自然ノ定理ナリ一國政權ノ一人若クハ數人ノ手ニ歸スルヤ亦必ス其原因ノ依テ然ラシムル者ナキヿ能ハス之ヲ再言スレバ一人若クハ數人ニシテ政權ヲ掌握スルノ結果ハ其一人若クハ數人ガ此結果ヲ生セシムル所ノ原因ヲ各自ニ備保スルノ致ス所ニアラサルハナシ抑モ政權ヲ掌握スルノ原因トナル者ハ其數固ヨリ尠カラサルベシト雖ヒ今其最モ著シキ者ヲ擧クレバ則チ凡ソ五アリ曰ク騙欺曰ク腕力曰ク財産曰ク智識曰ク政論ノ主義是ナリ若シ夫レ此五原因中往時ニ於テハ政權ヲ保握スルノ原因タリシ者モ今時ハ決シテ然ラサル者アリ又今時ハ政權ヲ掌握スルノ原因タル者モ

往時ハ未タ其原因タルヿヲ得サリシ者等ノ區別アルノミナラズ其現ニ政權ヲ保有スルノ原因タル者ト雖ヒ爾來文化益ス進歩スルニ從ヒ其原因タルヿ能ハサル者ナキニアラス是レ時勢ノ變遷人情ノ轉化ニ由テ然ラシムル者ト雖ヒ亦大ニ人爲ノ助ニ因ラサルハアラス請フ是ヨリ篇ヲ追フテ古代ヨリ中古ニ至ル迄政權ノ原因タリシ者ハ首トシテ騙欺及ヒ腕力ノ二者ニシテ近世ニ至テハ財産智識及ヒ政論ノ主義ナル三者ガ即チ政權ヲ掌握スルノ本タルヿヲ辨明セン

騙欺ハ政權ヲ掌握スルノ原因タリシヿアリト言ハヾ世人ハ必ス疑ヲ起シテ曰ハン社會ハ人類ノ相集合シテ成ル者ナリ政府ハ社會ノ上ニ立テ弱肉强食ノ弊其他人類生活ノ

妨害トナル者ハ事ノ大小ニ拘ハラス形ノ有無ニ關セスシテ之レカ跡ヲ社會ニ絕チ以テ其平安ヲ保チ靜謐ヲ護ルノ職ヲ有スル者ナリ之ヲ約言スレハ政府ハ公平正直ノ良民チシテ各々其所ニ安セシメ不正不義ノ民チシテ私慾ヲ社會ニ逞フセシメサラントスルヲ以テ其職務ノ一部ト爲ス者ナリ果シテ然ラハ主治者者ガ自ラ騙欺ヲ用ヒ一國人民ヲ瞞着シナガラ已レハ恰モ公平無慾ナル者ノ如ク社會ノ人民ヲ保護スルノ大任ニ當ルハ實際爲シ得ベキニアラス否適マ騙欺ヲ用ヒテ一國ノ政權ヲ保握セント欲スル者アルモ人誰レカ其術中ニ陷ル者アランヤト是レ其一ヲ知テ其二ヲ識ラザルノ說ト言フベキナリ試ニ思ヘ今人ト古人トハ其智識ノ度ヲ同フスル乎今人ガ認メテ虛說ト傚シ妄言

ト信スル所ノ者ト雖モ古人アラスヤ又今人ガ木石ト同之ヲ神佛トシテ尊崇スル者ヲ以テ古人ノ事ヲ考ヘ今人ハ實ニ吾人ヲシテ疑訝ニ堪ヘサラシムル所ノ者許多アリ即チ古代ニ於テ騙欺ハ政權ノ原因タリシモ今人ヨリシテ之ヲ考ルトキハ甚タ怪ムベキノ事ナリト雖モ古代ニ於テハ眞ニ騙欺ヲ用ヒテ政權ヲ占有シタル者往々之レアリ見ヨ夫ノ古國ヲ以テ天下ニ稱セラルヽ所ノ希臘國ノ歷史ヲ見ヨ曾テ某々兩神各々刀ヲ以テ天空ニ鬪ヒ流血地上ニ落チ凝テ人トナリ後チ其人漸ク國王ノ位ヲ占ムルニ至リタリトアリ又亞細亞ノ西方ニ位スル所ノ諸國ノ歷史ヲ閱スル

ニ國王ノ祖先ハ天使ナリト言フニ非ラサレバ即チ天孫ナリト言フテ國王ノ系統ヲ天天神ニ繫カサルハナシ是レ後世ノ歴史家ガ王統ノ尊嚴ヲ示サンガ爲メ勉メテ此言ヲ吏乘ニ掲ケタル者ナルベシト雖モ(我邦御皇統ノ事ハ論題ノ外ナリ)亦自ラ稱シテ天使ナリト言ヒ以テ一世ノ人民ヲ瞞着シタル者之レナキニアラス即チ夫ノ回々教ノ開祖タルマホメットノ如キ是ナリマホメットハ西暦五百七十一年即チ我欽明天皇即位ノ後三十二年亞刺比亞國メッカノ地ニ生レ三十有餘歳ニ至リ近隣ノ岩窟ノ中ニ隱遁シテ毫モ其形ヲ現ハサス三年ヲ經ルニ及ンテ復タメッカノ地ニ來リ我ハ天使ト與ニ天ニ登昇シ天帝ヨリ直ニ布教ノ命令ヲ受ケテ再ヒ此ニ降下セリ云々ト陳フルモ其初一人ノ之ヲ信

スル者ナカリシガ爾後其說ヲ信スル者一人ヨリ十人ニ十人ヨリ百人ニ及ヒ遂ニ全國人民ヲ擧テ其說ヲ信スルニ至リ今日ニ於テ回々教ノ最モ盛ナルハ亞刺比亞國ヲ以テ第一トス其レ斯ノ如クマホメットハ宗教上ニ權勢ヲ得ルニ從ヒ人民ノ彼ヲ信スルヿ益ス厚ク遂ニ又同國ノ政權ヲ擧テマホメットニ委スルニ至リタリ蓋シ亞刺比亞砂漠ノ一牧夫タルマホメットニシテ遂ニ政事及ヒ宗教上ノ權勢ヲ一手ニ掌握シタル者ハ腕力ノ助ニ因テ然ラシムル所ナキニアラスト雖モ要スルニ彼レカ天使ト與ニ天ニ登昇シ天帝ノ直命ヲ受ケタルヿヲ陳言シタルノ致ス所ナリト言ハサル可カラス惟フニ斯ノ如ク騙欺ヲ用ヒテ政權ヲ掌握スル如キハ古代ノ人民ガ其騙欺タルヲ看破スルノ力ニ乏キ

ニ依ル者ナルヘシ去レハ今時ニ至テハ人智大ニ開闡シテ人各々事物ノ道理ヲ解スルニ因リ夫ノ惡ムヘク卑ムヘキ騙欺ヲ以テ政權ヲ占有スルノ器具ト爲ス者ハ決シテ見サル所ナリ

社告

本誌ハ是迄京橋區出雲町四番地求友社ニテ發兌致來候處今般都合ニ據リ社名ヲ嚶鳴雜誌社ト改メ本局ヲ同區元數寄屋町貳丁目拾番地ヘ移シ從前ノ通每月二回ツヽ發兌候間江湖ノ諸君不相變御愛讀アランコトヲ乞フ

本局

東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾番地

嚶鳴雜誌社

本郷區本郷貳丁目四拾番地

編輯兼印刷　青木匡

本誌ノ儀ハ代價幷ニ遞送稅トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヽル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢

貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵稅申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目	朝野新聞社
同日本橋區藥研堀	報知社支店
同同區元大坂町	法木徳兵衛
同神田區雉子町	巖々堂
東京銀座四丁目	博聞社
同牛込神樂坂一丁目	積善堂
同神田表神保町	大黒屋惣次郎
同赤坂裏壹丁目	赤川五平
同日本橋區久松町	大津屋善兵衛
同日本橋通一丁目	伊勢屋金次郎
同神田今川小路	大坂屋彦兵衛
同日本橋新和泉町	文圃堂
同淺草元鳥越町	共致社
同神田美土代町	關久
同神田表神保町	兒玉直次郎
同芝區飯倉三丁目	駿河屋
同神田錦町一丁目	中嶋幸太郎
同神田神保町	有則軒
同本郷湯嶋天神町	文友堂
同淺草地内	長尾
同淺草並木町	西村安次郎
同南傳馬町二丁目	伊勢屋喜三郎
同芝區琴平町	靜霞堂
同同區三田同朋町	靜海堂
同同區新櫻田町	春陽堂
横濱太田町二丁目	伊勢屋梅藏
美濃岐阜太田町	春陽舍
信州松本南深志町	寺田重平
駿州靜岡江川町	杉本平七
鹿兒嶋朝日通り	藤井三代治
江州彦根旗手町	新々堂
信州飯田二番町	十一屋半四郎
大坂本町四丁目	岡嶋眞七
奥州盛岡本町	澤田正助
尾州名古屋本町	吉田道雄
箱館地藏町六丁目	篠文堂
大坂堂嶋中一丁目	靜雲館
讃州丸亀通町	日新堂
神戸長狹通七丁目	青井三十郎
水戸上市泉町	川又銀藏
阿波德島中通	阪井萬吉
紀州和歌山本町	平井文助
播州姫路俵町	吾車屋
信州松本中町	竹裏青雲堂

定時刊行

明治十四年九月七日發兌

○誰カ民間ニ人ナシト謂フヤ　沼間守一

○地方自治ノ制度ヲ論ス　大石正巳

○北米政治家ノ腐敗　高梨哲四郎

嚶鳴雜誌

第貳拾九號

誰カ民間ニ人ナシト謂フヤ

東京政談演說會ニ於テ　沼間守一演說

凡ソ一國ノ政治ナルモノハ僅々二三ノ有司ヲシテ隨意ニ施行セシムベキモノナルカ決シテ然ラザルナリ政權ニシテ若シ拙劣淺陋ナル政治家ノ掌握スル所トナリ政治ニシテ若シ其宜キヲ得ザレバ其災害ノ及ブ所ハ啻ニ政治家一身ノミナラズ施テ國民ノ頭上ニ及ビ流離困頓其生ヲ聊ンゼザラシムルニ至ルベシ彼ノ角觝ガ場中ニ力ノ强弱ヲ爭ヒ俳優ガ勾欄ニ技ノ優劣ヲ競フガ如キ其勝敗優劣ハ其人一身ノ毀譽榮辱ニ關スルノミニシテ敢テ他ニ痛痒ヲ及ボサヾルナリ政治家ニ至テハ然ラズ其人ノ愚ハ直ニ天下ノ害トナリ其人ノ賢ハ直ニ國家ノ益トナル更ニ之ヲ再言ス

レハ凡庸政治家アリ政治壇上ニ立テ拙劣ナル技ヲ演シ未熟ナル藝ヲ試ムルアラバ其害ヲ蒙ルモノハ何人ヴヤ乃チ我々三千五百萬ノ兄弟ニアラズヤ我々ガ生命ノ安否ハ政治ノ巧拙如何ニアリ我々ガ財産ノ安否モ亦官吏其任ニ勝フルト然ラサルトニアリ是レ余ガ僅少ノ人ヲシテ政治ヲ左右セシムルハ世ヲ毒シ民ヲ災スルモノナリト斷言スル所以ナリ

方今歐米各國ノ政府ハ概ネ社會ノ害惡ヲ豫防シ人民ノ幸福ヲ保護スルヲ以テ政治ノ主眼トナサヽルナシ今夫レ我國人民政治上ノ思想ハ之ヲ歐洲人民ニ比セバ或ハ一歩ヲ讓ルナキヲ保ツベカラズト雖モ二三年來ノ實況ニ依リテ考フレバ我國人民ノ政治思想ハ業既ニ發達シテ政權ヲ掌

握スルニ足ルノ地位ニ進ミタリト云ハザルヲ得ズ見ヨ彼ノ國會論ノ如キ甲唱ヘ乙和シ蕩々乎トシテ世論ヲ風靡スルノ勢ハ敢テ當ル能ハザリシニアラズヤ然ルニ一種不可思議ノ說ヲナスモノアリ曰ク「我國民ガ政治ヲ論ズルハ概テ空理空論ノミ政治ヲ負擔スルノ實力ヲ有スル者ニ非ラサルナリ斯ノ如キ人民ヲシテ政治ニ參與セシメバ其害ノ及ブ所豈鮮少ナラザランヤ夫レ國ヲ治ムルハ猶ホ病ヲ療スルガ如シ若シ庸醫ヲシテ之ヲ診セシメバ啻ニ全愈ヲ致ス能ハザルノミナラズ却テ其命ヲ絶ツニ至ルベシ無智ノ人民ヲシテ政治ニ參與セシムルハ猶ホ庸醫ノ病ヲ治スルガ如ク其絶命若患ニ陷ラザルモノハ蓋シ稀ナリ我國ノ民智豈ニ名醫ノ地位ニ至レリト云フヲ得ンヤ」ト余ハ是等ノ

妄言ニ答フルハ太ダ容易ナリト信ズ蓋シ彼レガ人民幼稚ニシテ未ダ政治ニ參與スル能ハズト云フヲ以テ見レバ則チ我國ノ執政者コソ實ニ英明俊秀ニシテ能ク政治ヲ左右スルニ足ルノ才力アリト信ズルナラン然ルニ此ノ英明俊秀ナリト稱スル所ノモノニシテ若シ前ニ謂フ所ノ庸醫一般ニシテ嘗テ民間ノ人ト大徑庭ナキノミナラス却テ人民ニ劣ルヿアラバ諸君ハ之ヲ何トカ思フ蓋シ少數ノ官吏ガ治ヲ爲スヲ以テ名譽ナリト云フ能ハズ衆多ノ人ガ政權ヲ握レリトテ庸醫ナリト爲ス能ハザルノ理ハ炳然トシテ蔽フ可ラサルニアラズヤ

近時官權保守ノ說ヲ以テ有名ナル明治日報記者ノ如キモ亦右ニ類スルノ說ヲナシタリ其言ニ曰ク「我國人民ノ智識

ハ未ダ政治ニ參與スルニ足ラザルナリ近ク府縣會議員ガ議事堂ニ立テ如何ナル言語舉動ヲナスヤヲ見レバ人民ガ政治ヲ負擔スルノ腦力ニ乏キヲ証スルニ足レリ府縣會議員既ニ斯ノ如シ斯民ニシテ國會ヲ起サンカ國會ハ國ヲ害スルノ兇器トナラン」ト此ノ論者ノ如キハ社會ノ情勢法律ノ定度如何ヲ解セザルモノナリ思フニ日本ノ人民三千五百萬ノ中或ハ暗愚者モアルベク又ハ英才俊傑モアルベシト雖モ人員既ニ多ケレバ暗愚者其多キニ居ルハ事物ノ定理ナリ又何ゾ怪シムニ足ランヤ我政府ノ諸君子ハ蓋シ拔群絕類ノ人ナルベシト雖モ我々ノ眼ヲ以テ之ヲ見レバ敢テ敬服スベキ人ナリトモ云フベカラズ誰レカ民間ニ人ナシト云フカ彼ノ府縣會議員中其人ナキノ憾アル所以ノモ

ハ、ハ、民、間、實、ニ、人、ナ、キ、ニ、アラ、ラ、ズ、民、間、ノ、人、才、ヲ、拒、絶、スル、ニ、屈、
強、ナ、ル、府、縣、會、規、則、中、地、租、十、十、圓、以、上、云、々、ノ、數、項、アル、ヲ、以、テ、
ナ、リ、若、シ、夫、レ、官、權、論、者、ニ、シ、テ、民、間、最、下、ノ、人、物、ヲ、尺、度、トシ、
テ、民、間、ニ、人、才、ナ、シ、ト、云、ハ、バ、余、モ、亦、政、府、中、最、下、等、ナル、等、外、
官、吏、ノ、人、才、ニ、乏、シ、キ、ヲ、引、証、シ、テ、政、府、ニ、人、ナ、シ、ト、云、ハ、ン、ノ、
ミ、

然リト雖ヒ余ハ斯ノ如キ言語ヲ以テ彼レヲ困頓セシムル
ヲ止メ更ニ進ンデ民間果シテ人ナキヤ否ヤヲ論斷セン諸
君ヨ人民果シテ幼稚ニシテ政府果シテ長者ナルヤ否ヤヲ
知ラントセバ先ヅ從來民間論者ガ論述シタル所ノモノト
政府官吏ガ實行シタル所ノモノトヲ比較セバ孰レカ智孰
レカ愚ナル知ルヲニ足ラン請フ之ヲ論ゼン

數年以前ヨリ紙幣下落ノ兆候漸ク顯ハレ其勢將ニ甚シキ
ニ至ラントスルヤ民間ノ論者ハ曰ク紙幣下落ノ源因ハ紙
幣ノ增發ニアリ金貨ト雖ヒ之ヲ增發シテ其定度ヲ超過ス
レバ其害云フベカラズ況ンヤ實價ヲ有セザル紙幣ニ於テ
オヤ之ヲ治スルノ方ハ唯其病源ニ溯テ之レガ手術ヲ施ス
ニアルノミト然ルニ我政府ハ以爲ク紙幣ノ下落ハ輸出入
ノ不平均ニ基ケリ之ヲ救フノ策ハ工業物產ヲ保護シテ以
テ外品ヲ擯斥スルニアリト人民ノ輿論果ヲ是ナルカ政府
ノ考案果ヲ理ナルカハ未タ容易ニ知リ得ベカラサルニ似タ
リト雖ヒ我、政、府、ガ、昨、年、ノ、末、ニ、至、リ、俄、カ、ニ、紙、幣、銷、却、法、ヲ、發、
シ、テ、年、々、二、三、百、萬、圓、ヲ、減、却、セ、ン、ト、ノ、目、的、ヲ、立、テ、ラ、レ、タ、ル、
ニ、依、テ、見、レ、バ、數、年、以、前、官、海、ニ、行、ハ、レ、タ、ル、議、論、ハ、今、日、ニ、至、

り始メテ民間ノ輿論ニ降服ヲ告ゲタリト云ハザルベカラズ

又數年以前我政府ハ頻リニ民間ノ事業ニ保護金ヲ與ヘシコアリ而ノ其之ヲ與フルノ說ニ曰ク何某ニ何十萬圓ヲ貸與スレバ靑藍製造ヲ盛ニスルノ益アリ何會社ヲ保護スレバ支那貿易ヲ盛ニスルノ利アリト此時ニ方リ人民ノ輿論ハ曰ク斯ノ如キハ政府タルモノヽ決シテ爲スベキコニアラズ一人一個ノ事業ヲ保護スルガタメニ一國ノ租稅ヲ消費スルハ政府ノ職分ニ背ケルモノナリト異口同音ニ其舉ノ不可ナルヲ論ジタリ然ルニ今年大隈伊藤兩參議ノ農商務省設置ノ奏議ナルモノヲ見ルニ曰ク民間ノ事業ハ政府ノ干涉スベキモノニアラズ政府ハ只間接ニ民間ノ事業ヲ

保護シ其他ハ人民ノ自由ニ放任セザルベカラズト是レ實ニ民間論者ガ數年以前ニ論述シタル所ノモノナリ亦我政府ガ民間ノ輿論ニ一歩ヲ讓リタル明證ニアラズヤ

又去歲銀貨ノ頻リニ騰貴スルニ際シ横濱取引所ノ相場ハ實ニ非常ノ動搖ヲナシ爲メニ仲買商ノ破産スルモノ勝テ數フベカラズ然ルニ我政府ハ數十萬圓ノ銀貨ヲ賣出シテ騰貴ノ勢ヲ減殺セント試ミラレタリ此時ニ方リ余ハ以爲ク斯ノ如キ姑息手段ハ銀貨ヲ下落セシムルノ良策ニアラズト之ヲ某所ニ演說シタルコアリ然ルニ今年ニ至テハ此ノ賣出策畧モ亦烟消霧散シテ痕跡ヲ止メザルニ至レリ是レ亦民間ノ輿論ガ一歩ノ勝ヲ我政府ニ制シタル明證ニアラズヤ

又近時輿論ノ一大問題タル條約改正ノ一部分ナル治外法權ヲ破リ我ガ國權ヲ回復セントスルニハ內國ノ法律ヲ改良セサルベカラズトハ民間ノ輿論ナリ然ルニ我政府ハ昨年ニ至リ初メテ刑法治罪法ヲ制定頒布セラレタリ而シテ此新法タルヤ條章秩然數百條ノ多キニ至リ實ニ本邦未曾有ノ良法律ニシテ佛國ノ法律ニ優ルアルモ劣ラザル所ノモノナリ然レモ法律ハ之ヲ編制スル敢テ難キニ非ズ要スルニ文字ノ横ナルモノヲ直譯シテ之ヲ堅トスルモ可ナリ法官ニ至テハ數月ノ間俄然之ヲ製造シ得ベキニアラザルナリ然ルニ我國法官タルモノハ如何ナル人ヲ昨日ハ武官ニシテ今日ハ法廷ニ臨ム者亦少シトセズ其レ如斯ニシテ果シテ能ク改正ノ新法ヲ施行シ得ヘキヤ嗚呼此法ヲ以テ斯ノ官

吏ニ使用セシム余ハ恐ル之ヲ使用スルノ間或ハ其活用ヲ誤ルノ弊アルヲ而シテ政府ガ此新法ヲ編制シタルハ人民ノ輿論ニ從フタルモノナレドモ內地ノ情況法官ノ學識如何ヲ計ラスシテ忽チ之レヲ發布シタルハ蓋シ治外法權ヲ買ヲガタメナルベシ左レバコソ頒布後一年ニシテ始メテ之レヲ實施セントスルニアラズヤ我政府ノ爲ス往々斯ノ如シ誰レカ民間ニ人ナシト云フヤ政府豈人アリトナスベケンヤ我々人民ノ智識ハ業既ニ進歩シテ政治ヲ負擔スルニ足ルノ名譽タリシハ昭々乎トシテ明カナリ嗚呼誰レカ政府ニ人アリト云フヤ民間豈其人ニ乏シカランヤ

地方自治ノ制度ヲ論ス　大石正巳

ミル氏曰ク「凡ソ政治上ノ事務ニシテ中央政府ノ便利ニ施

行スルヿヲ得ヘキ者ハ眞トニ僅少ナリ唯能ク數多公共ノ政務ヲ取テ適當ニ之ヲ實施スル者ハ即チ地方政府ナリ」ト夫レ然リ政務ノ多端ニシテ其利害ノ直接ニ人民ニ關スル者ハ地方ノ施政ヨリ大ナルハアラザル也今日我國ノ如キ其政度ハ中央集權ニシテ地方政務ノ樞要ハ悉ク大政府ノ指揮ヲ待ツノ社會ニ在テハ敢テ地方政治ノ緊要ナルヲ感ゼザルモ苟クモ一旦自由ノ制度ヲ立テ地方分權ノ政ヲ行フニ及デハ中央政府ト地方政府ノ權限ヲ明ニ定メサルヘカラス而シテ之ヲ定ムルヤ地方政務ノ及フ所其利害ハ實ニ重且大ナラサルヲ得ス宜シク之ヲ適當ニ施行シ宜シク之レガ失政ヲ免カル可キノ方法ヲ設ケサルヘカラス蓋シ之レカ目的ヲ達スル者ハ則チ地方自治ノ政度ニ外ナラザル

ルナリ

何ヲカ地方自治ノ政度ト云フカ曰ク地方人民ヲシテ議員及ヒ知事縣令ヲ公選セシメ地方ノ公議ニ從テ其地方ヲ治ムル是レナリ抑モ自治ノ政度ハ人民ガ自主自由ノ主義ト竝立スル所ノ者ニシテ苟クモ人民ヲシテ自主獨立ノ人タラシメントセバ必ズ地方ノ自治ヲ行ハサルヘカラス若シ地方ニシテ自治ノ政度ナクンハ其人民ハ自主獨立ナキ者ト言ヘシ何トナレバ一府一縣ハ即チ集合ノ一体ニシテ其地方ノ人民ハ互ニ利害ヲ同フスルモ他府縣ノ人ト利害ヲ異ニセサルヲ得サル恰カモ一國ノ人民ハ互ニ利害ヲ同フシテ外國人ト利害ヲ異ニスルカ如ク亦之ヲ小ニシテハ我一家中互ニ利害ヲ同フスルモ他人ト利害ヲ異ニスル所ア

ルガ如シ其レ然リ若シ一家ノ事務ニシテ之ヲ一家ノ自由ニ委セス只他人ノ評決指揮ヲ仰ギ亦一國ノ政務ニシテ內國ノ人民自ラ之ヲ施行スルヲ得ス只外人ノ指圖ニ從フ如キコアレハ之ヲ屬國ト云ヒ亦他人ノ後見ヲ受ケタル家ト言ハサルヲ得ズ斯ノ如キハ決シテ獨立ノ國ニ非ルナリ獨立ノ家ニ非ザルナリ苟クモ自主自由ノ人間タリ獨立ノ國家タル者ハ必ズ其身ヲ治メ其國ヲ治ムルニ於テ他人ノ命令ヲ待タザルナリ府縣ニ於テモ亦此ノ如シ其府縣ハ自由ヲ尊ビ獨立ヲ得セシメント欲セバ宜シク自治ノ政度ヲ用ヒザルベカラザルナリ

地方自治ノ制度ヲ行ヒ地方ノ立法者及行政者ハ其地方人民ノ公撰スル所トナレバ其當撰者ハ能ク地方ノ人情ニ通

シ地方人民ノ常ニ望ヲ屬スルノ人ナルベク又其當撰者ハ地方ニ在テ彼ヲ知リ己ヲ知ラルヽノ人ニシテ其地方ニ親切アルノミナラス必ズ衆人ニ超越シタルノ人物ナル可シ斯ノ如キ人物ニシテ其地方ノ政務ヲ爲ス時ハ必ズ經濟ハ節儉ヲ守リテ無用ノ土木ヲ起スカ如キ危險ノ事業ヲ企ツルカ如キ無益ノ消費ヲ嵩ムル如キコナク亦其屬官ヲ擧用スルヤ必ズ地方ノ人物ヲ用ヒ且ツ無用ノ官吏ヲ使用スルコナカルベシ且夫地方行政官悉ク地方人民ノ撰擧スル所トナレハ人民ニ對スルノ責任甚ダ重クシテ大政府ニ詔從シ地方ノ利害ヲ後ヲニスルカ如キ弊害ナク地方政務ノ一事一擧ハ地方公衆ノ注目スル所トナルカ故ニ賄賂情實ノ弊害モ亦地方ニ跡ヲ絕ツニ至ラン

且ヤ地方人民ヲシテ其地方ノ利害ヲ擔當セシメ其地方公共ノ事業ニ盡力セシムルニハ亦必ズ自治ノ政度ニ由ラサルヲ得サルナリ例ハ家主タル者已レ自ラ其家政ヲ執テ妻子ニハ一家ノ出入財産ヲ知ラシメサル時ハ則其妻ハ節儉ヲ勤メス其子ハ懶惰放逸ニ流ルヽ者多シト雖モ妻子ヲメ家政ニ與カラシムル時ハ今日ノ浪費者タル者モ忽チ謹直節儉ノ主義ヲ唱フルニ至ル此レ何故ソヤ唯其家政ヲ與ニスルトセサルトニ因ルナリ要スルニ人情其事業ヲ與ニスレハ亦其利害ヲ與ニセサルハナシ故ニ人民ヲシテ公共ノ心ヲ勃起セシムルハ地方ノ政務ヲ擔當セシムルニ如カサルナリ｜ミル氏云ヘルアリ勞働ハ感情ノ食物ナリト誠ニ人民ヲシテ其地方ノ政務ニ參與セシメサレハ其地方ノ利害

ヲ感シ其地方ノ爲メニ盡力スルヿ無キニ至ラン人民ヲシテ能ク是ノ公共ノ感覺ヲ惹起セシムルハ地方自治ノ政度ニ過クル者アラザルナリ加之自治ノ政度ニ從ヘハ地方官ハ其地方ノ人ナラザル可カラサルカ故ニ地方人民ヲシテ知識ヲ耕サヽレバ地方政務ニ預カルヿヲ得ザルベシトノ感覺ヲ起サシメ是ヨリ一層教育ノ道地方ニ盛ナルヲ得人民一般ノ知識ヲ發達スルヲ得ベシ且亦一方ヨリ自治ノ利益ヲ述フレハ地方官若シ人民ノ公撰スル所トナル時ハ其進退官撰ノ如ク容易ナラスシテ轉任變官ノ繁劇アラサルナリ從テ其屬官モ免職ノ憂ヒ旦夕ニ在ラズシテ其職ニ在ヿ久シク職務上ノ熟練ヲ得ル極メテ大ナルヲ得ベシ（未完）

北米政治家ノ腐敗　東京政談演說會ニ於テ　高梨哲四郎演說

季節八朔ヲ過キ日脚既ニ斜ニ時辰儀四時ヲ報ズト雖モ炎威猶燃ルガ如ク吾人共ニ苦熱ノ間ニ消息ス而シテ此炎熱ヲ冒シテ諸君ト演説壇上ニ相見ル者ハ抑モ何ゾヤ曰ク先輩福地沼間肥塚益田諸君及ヒ不肖哲四郎ガ諸君ニ向ヒ自己ノ考按ヲ吐露シテ僅ニ一場ノ快ヲ買フ者ニ非ズ又虚榮ヲ得ントスル者ニモ非ラズ其ノ演スル所ノ論説中各寓意ノ存スル者アレバナリ夫レ然リ若シ諸君ニシテ其寓意ノ有ル所ヲ察セズンバ余輩ノ考按モ一朝水泡ニ歸スルノ憾ナキニアラズ是レ余ガ本論ニ先チ爰ニ一言スル所以ナリ

内外新聞紙ヲ讀ム者ハ必ズ知ルナラン頃日米國元老議院ニコンクリン、ブレインノ兩氏アリ共ニ「レパブリカン」黨中ニ名望アルノ士ナリ前大統領ヘース氏期滿チ職ヲ退クニ

當リ各自カラ大統領タランヲ熱望セリ然レドモコンクリン派ハブレインノ統領タルヲ喜バズブレイン派ハコンクリンノ統領タルヲ望マズ暗ニ兩派相軋ルノ勢ナリシガ其極終ニ大統領ノ權ハ「レパブリカン」黨中ニ歸セズシテ却テ其反對黨タル「デモクラチック」黨ノ掌中ニ落チントスル情勢アリ於是乎ブレインハガーフヒルド氏ヲ擧テ大統領ト爲サントト決心シ私ニコンクリンニ謀リタルニ氏ハ之ニ答フルニ已レノ朋友アーサー氏ヲ副統領ト爲サバ敢テ異議ナシトノ言ヲ以テシ遂ニガーフヒルド氏ハ大統領ニアーサー氏ハ副統領ニ撰擧セラレタリ而シテガーフヒルド氏ノ其職ニ就クヤ氏ノ故舊朋友タル・ヲ名トシテ官ヲ求ムル者日ニ百人若クハ二百人ノ多キニ及ベリト」諸君ニシテ若シ

此新報ヲ聞知シタランニハ應ニ予ノ言ヲ俟ズシテ北米政治家ノ腐敗シタルニ驚クナルベシ

夫レ北米合衆國ガ國ヲ創慘苦界ノ中ニ立テシ以來始祖華盛頓ヲ始メアダムス、ゼッフエルソン等賢明政治家ノ輩出セシニモ拘ハラズ今ヤ國强大ニ商業繁昌ニ實ニ世界無比ノ富强歡樂ノ境ニ達スルニ迄ンデ斯ノ如ク政治家ノ腐敗ヲ致セシ者ハ抑モ何ゾヤ蓋シ必ズシモ其原因トナル者アルナランヽ然ト雖モ余ハ北米合衆國人民ニアラズ又合衆國政府ニ利害ヲ有スル者ニ非ザルナリ焉ゾ腐敗ノ事實ヲ正シ已ノ說ヲ演ベテ已マント欲スル者ナランヤ只事ノ大ニ我國現況ニ似タル者アレバ聊カ此ニ見解ヲ下サントス既ニ似タリ矣彼ガ腐敗ヲ執ッテ我藥名ト爲シ以テ之ガ傳

染ヲ豫防スルニ注意セズシテ可ナラン乎熟ラ北米政治家ノ腐敗スル所因ヲ檢覈スルニ蓋シ二アリ見ニ合衆國ハ北米ノ中央ニ位シ東西海ニ枕シ南北强敵ヲ見ズ其墨斯哥英領加奈他若クハ白露智里ノ如キ國ヲ爲ス者多シト雖モ皆合衆國ノ敵ヒニ非ラズ天然ノ地勢斯ノ如シ豈ニ萬里ノ長城ニ限ル支那ノ比ナランヤ敵國外患ナシ政治家ノ腐敗セル固ヨリ其所ナリ又二十年前ニ溯リ彼ノ南北戰爭ヲ見ニ當時勝利ヲ得タル北軍ハレパブリカン黨最モ多ク敗ヲ取リシ南軍ハ「デモクラチック」黨多シ而シテ此勝敗ヨリ生ズル政事上ノ結果ハ「レパブリカン」黨ニ於テ恰モ大統領ノ權ヲ專有シタルガ如ク其職ニ就ク者常ニ其黨ヨリ出ヅ內外ノ形狀既ニ斯ノ如シ政治家ノ思想ニシテ腐敗セザランヽ

スルモ得ベカラン

眼ヲ轉シテ歐州諸國ヲ見ヨ土壤相接近シ均勢論ノ盛ナル
ニ當リ苟モ政治家ニ〆寸間眼ヲ外ニスルアラバ忽地利害
ヲ國ニ及ボシ亦北米政治家ガ苦心ナキノ類ニ非ラス就中
英國ノ如キハ內政黨ノ爭アリ外、大陸ノ勢ニ制セラレテ頗ル
活潑ナリ而〆舉ラレテ大宰相タル者亦遠識ノ士北米政治
家ガ大統領吾黨ノ人ナレハ可ナリト云フノ比ニ非ルナリ
斯ク論ヲ去レバ腐敗ノ原由ハ既ニ盡セリ是ヨリ我國ニ論
及セントス諸君請フ前言ヲ記憶アレ夫レ我國ハ環海子立
ヲ以テ成ル而シテ國民ノ眼中既ニ支那ナシ朝鮮ナシ偶々
魯國ヲ目シテ大敵ト爲ス者アルモ予ガ見ル所ヲ以テスレ
バ亦恐ルヽニ足ラザル者ノ如シ何トナレバ彼レ百萬ノ兵

ヲ舉ケン歟陸ニ百里ノ沙漠ヲ越ヘザルヲ得ス海ニ千里ノ
波濤ヲ凌カザルヲ得ス且シ果シテ來寇スルトスルモ其內
勢ヲ察スレバ虛無黨國內ニ充塞シ未ダ兵ヲ舉ゲザルニ夙
ニ動搖ノ兆アリ其既ニ舉グルヤ未ダ國境ヲ出デザルニ首
府聖彼得堡ニ他ノ旗章ヲ飜スニ至ルヤ必セリ事情斯ノ如
シ其形ニ出ツルモ決ノ實ニ出ヅル能ハザルベシ然バ則チ
我國四鄰ニ勁敵ナシト云フモ敢テ誣言ニ非ザルナリ又見
ヨ維新ノ兵亂ヲ干戈一タヒ治マルノ日ニ當リ薩、長、土、肥、ハ
名、起、リ、苟、モ、四、藩、ノ、人、士、ニ、ア、ラ、ザ、ル、ヨ、リ、ハ、敢、治、上、樞、要、ハ、地、
位、ニ、立、ツ、ヲ、得、ザ、ル、ガ、如、シ、否、敢、治、上、樞、要、ハ、地、位、ハ四藩人士
ノ株ダルノ勢アリ我國內外ノ形勢既ニ北米合衆國ト酷ダ
相肖タルモ幸ナル哉內閣諸公ノ賢明ナル彼ノブレインコ

ンクリン其人ノ如ク私利ヲ是レ謀ルヿナキ然リト雖モ人ハ神聖ニ非ラス輓近ノ炎熱ニ遇ハヾ焉ゾ其腐敗セザルヲ保センヤ既ニ世間ニ通用スル事々物々ヲ見來レバ亦諸君ノ注意ヲ促ス者ナカラン乎聊カ感ズル所アリ此説ヲ演ス

社告

本紙ノ儀是迄**求友社**ニテ發兌致來候處今般協議ノ上**嚶鳴雜誌社**ヘ讓受候約束相整ヒ既ニ其筋ヘ讓受願書差出置候ニ付不日許可可相成ト存候就テハ求友社ニテ發兌ノ雜誌即チ第二十七號迄ノ代價滯ノ分ハ嚶鳴雜誌社ヨリ受取人差出又同社ヘ向ケ二十八號ヨリ後ノ分前金御掛込ノ方ヘハ同ジ嚶鳴雜誌社ヨリ遞送候間看客諸君ニ於テ右御承知被下度奉願候也

主幹　青木匡
編輯兼印刷　鈴木五郎
東京々橋區元數寄屋町弐丁目拾番地
嚶鳴雜誌社

本局

本誌ノ儀　代價幷ニ遞送税ヿモ前金ニ御遣ン無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵税中受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同同區元大坂町　法木徳兵衛
同神田區雉子町　撮々堂

東京銀座四丁目　取次所
同牛込神樂坂一丁目　博聞社
同神田表神保町　積善堂
同赤坂裏壹丁目　大黒屋惣次郎
同日本橋區久松町　赤川五平
同日本橋通一丁目　大津屋善兵衛
同神田今川小路　伊勢屋金次郎
同日本橋新和泉町　大坂屋彦兵衛
同淺草元鳥越町　文國堂
同神田美土代町　共益社
同神田表神保町　關玉屋久
同芝區飯倉三丁目　駿河屋直次郎
同神田錦町一丁目　中嶋幸太郎
同神田神保町　有則軒
同本郷湯嶋天神町　文友堂
同淺草地内　長村安次郎
同淺草並木町　西尾伊勢屋喜三郎
同南傳馬町二丁目

同芝區琴平町　美濃岐阜太田町
同同區三田同朋町　信州松本南深志町
同同區新櫻田町　信州飯田二番町
横濱太田町二丁目　竜兒嶋朝日通り
駿州靜岡江川町
江州彦根旗手町
大坂本町四丁目
奥州盛岡本町
尾州名古屋本町
箱館地藏町六丁目
大坂堂嶋中一丁目
黄州丸亀通町
神戸長狹通七丁目
水戸上市泉町
阿波徳島中通
紀州和歌山本町
播州姫路俵町
信州松本中町

靜霞堂　春陽會
靜海堂　田重平
春陽堂　杉本平七
伊勢屋梅藏　藤井三代治
新々堂
十一屋半四郎
岡嶋眞七
田嶋正助
吉澤道雄
日文堂
靜雲館
新
青井三十郎
川井文銀藏
阪高吉
平井文助
吾車屋
竹裏青雲堂

定時刊行

明治十四年九月二十九日發兌

青木匡
大石正巳
丸山名政

○責メ何人ニカ歸ス

○地方自治ノ制度ヲ論ス（前號ノ續）

○國事探偵ノ弊害

嚶鳴雜誌

第三拾號

東京政談演説會ニ於テ　青木匡演説

責メ何人ニカ歸ス

政府ト云ヒ人民ト云フ果シテ是レ何物ソヤ曰ク治者ト被治者トノ別ヲ示ス所ノ名稱ノミ今更ニ之ヲ再言スレハ政府ヲ組織スル大臣參議以下諸官衙ノ官吏ハ生ナカラニシテ治者タルベキノ資格ヲ備フルニアラス人民モ亦常ニ被治者ノ地位ノミヲ占メ敢テ治者ノ列ニ加ハルヿヲ得ザルニアラズ唯當時治者ノ地位ニ在ル者ヲ總稱シテ政府ト云ヒ被治者ノ地位ニ在ル者ヲ稱シテ人民ト云フベキナリ其レ果シテ然ランカ治者及ヒ被治者ハ共ニ皆同一ノ人類ナリ既ニ同一ノ人類タランカ治者タル者豈ニ亦時ニ過ナシトセンヤ既ニ又過アリトセンカ其過ノ道德部内ニ屬セサ

ル以上ハ亦必ズ配下ノ人民ニ對シテ其責ヲ負擔セサル可カラサルハ理ノ最モ觀易キモノナリ

然ラバ則チ一國政治上ノ過ハ其國ノ頭長タル君主帝王ヲシテ自ラ其責ニ任ゼシムルヿ彼ノ共和政治ノ大統領ノ如クナルヲ可トスルカ將タ國王ハ神聖ニシテ侵ス可カラス又政治上責任ヲ有セサル者トシ專ラ大臣宰相ヲシテ其責ニ任セシムルヿ英吉利西班牙其他諸國ノ帝王ノ如クナルヲ可トスルカ此一問題ニ關シテハ歐米諸國學者社會ニ於テ既ニ定論ノ在ルアリテ共和政治ノ大統領ハ固ト一般人民ノ公撰シテ一國ノ政權ヲ委任シタル者ナルノミナラス其ノ撰レテ大統領トナル所ノ者ハ立君政治國ノ君主帝王ト異ナリテ幾分カ智識モアルベク幾分カ名望モアルベク

又幾分カ能力モアルベケレバ此人ニシテ一朝政事上ノ過失アルトキハ敢テ自ラ其責ニ任スルハ蓋シ最モ適當ヲ得タル者ナリ之ニ反シテ立君政治國ノ君主ハ概ヲ皆其位ヲ世襲スル者ニシテ或ハ一國ノ政治ヲ負擔スルニ堪ヘサル者モアラン或ハ政治上ノ思想ハ毫厘ダモ有セサル者モアラン又或ハ其智識纔ニ一省一局ノ屬吏ニ及バザル者モアラン既ニ斯ノ如キ人物ヲシテ一國ノ君主タリ帝王タルヿヲ許ス以上ハ國王ヲシテ政事上ノ責ヲ負擔セシメザルハ又自然ノ順序ナリ若シ其レ國王ヲシテ强テ共和政治ノ大統領ニ同ク政事上ノ責ヲ負擔セシムルトセハ遂ニ進テ其國王タル所ノ者ヲ公撰セサル可ラサルノ結局ニ至ラントスルナリ

論シテ此ニ至レバ到底共和政治ト立君政治トノ利害得失ヲ判タサル可ラサルノ場合ナルガ此事固ヨリ本論ノ目的トスル所ニ非サルヲ以テ今姑ク之ヲ措キ我邦現時ノ狀態ニ就テ觀察ヲ下スニ天皇陛下ハ親ラ萬機ヲ裁決セラルヽトノコナレ𪜈既ニ全國一般ニ施行スル所ノ法律條例ハ太政大臣ノ名ヲ以テ之ヲ布告シ其他內務大藏文部等皆主務ノ長官自ラ署名シテ事ヲ行ヘリ乃チ大臣參議及ビ諸省ノ長官各々政事上ノ責ヲ負擔シテ天皇陛下ハ更ニ其責ヲ負擔セラレサルノ實アリ然ラハ則今日我邦政事上ノ過失ハ其全体ノ政治ニ關スルト一局部ノ政治ニ關スルトノ別ニ依リ太政大臣若クハ主務ノ長官自ラ其責ニ任セラルヽハ固ヨリ論ヲ要セサルナリ

回顧スレハ去ヌル七月ノ末開拓使官有物拂下ノ說一タビ出テヽヨリ新聞記者及ヒ演說論ジ恰モ此一事ハ民間ノ自由論者ヲシテ一齊ニ政府ヲ抗擊スルノ相圖カト疑ハシムルノ勢アリシ爾來殆ト二月ヲ經過スルモ政府ヨリハ一篇ノ取消令ダニ下ラザルヲ以テ考レバ其事或ハ虛說ニ非サルモノヽ如シ既ニ虛說ニ非ストセンカ開拓長官黑田氏ガ大隈參議ニ云々ノ書翰ヲ送リシコノ如キ或ハ三條相國ニ迫リ遂ニ千住御小休所ニ於テ天皇陛下ニ對シ拂下ノ許可ヲ請ハシメタルコノ如キハ所謂ル一定ノ公賣順序ニ依ラズシテ天下共有ノ財產ヲ僅々數人ノ手ニ拂下ルノ目的ヲ達セントノ手段ナレバ其所爲タルヤ嚮キニ第二回內國勸業博覽會開場ノ前即チ一般公

衆ノ來觀ヲ許ルサヽルニ先チテ審査官其他掛官吏ガ恣マヽニ出品者ト賣買約定ヲ爲シ他人ヲシテ其物品ヲ購求セシメサリシト一般甚ダ惡ムヘキヿタルハ蓋シ亦余ノ喋々ヲ須ヒスシテ明ナリ

然ト雖ヒ此拂下一條タルヤ固ヨリ黒田氏ノ專斷ヲ以テ行フヿヲ得ベキニ非ラス苟モ政府ノ許可ヲ得サル可ラサル者トセンカ太政大臣及ヒ諸參議ニシテ若シ其事ノ非ナルヲ知ラハ敢テ之ヲ拒否シ且ツ己レノ進退ヲ決シテ天皇陛下ノ之ヲ許可セラレサランヿヲ奏上セザル可カラサルハ理ノ當然ナリ然ルヲ事此ニ出デズシテ太政大臣ハ天皇陛下ノ御跡ヲ追ヒ奉リ千住御小休所ニ於テ拂下ノ許可ヲ請ルヽ如キニ至テハ縱令其許可ハ天皇陛下ノ御親決ニ出ツ

ルモ其事若シ法律ニ背キ條理ニ反スルトセバ其責ハ即チ天皇陛下ニ代テ政柄ヲ執ル所ノ太政大臣自ラ之ヲ負擔セサル可ラス要スルニ開拓長官ノ所爲ハ惡ムベキハ惡ムベシト雖ヒ既ニ專斷ヲ以テ拂下ノ擧ヲ實行スル能ハザルニ於テハ則チ其罪尚ホ恕スベシ獨リ其責ニ任スル所ノ者ハ太政大臣ニ外ナラサルナリ

歐洲文明ノ國ニ於テハ國會ノ下院彈劾ノ權ヲ保有シ大臣參議及ビ其他貴權ノ人ニシテ若シ政事上ノ過アルトキハ其罪ヲ上院ニ鳴告シ上院ハ之ヲ糺彈シテ至當ノ處分ヲ行フノ法アリ故ニ我邦今回ノ拂下事件ニ類スル如キヿアラバ下院ハ直ニ其所置ノ法律ニ背キ或ハ條理ニ反スルヿヲ訴ヘテ責ヲ大臣ニ歸シ大臣ハ斯ル場合ニ臨ンデ永ク其職ヲ

保ツ能ハズ遂ニ其身ヲ退キ從テ内閣ノ組織ヲ一變スルニ至ルヲ例トス今ヤ我邦ノ大臣ハ天皇陛下ノ自ラ任免サルヽ所ノ者ニシテ人民ハ敢テ之ニ關スルヿ能ハス仮令大臣ニ罪過アルモ天皇陛下之ヲ懲罰セラレザレバ永ク其職ヲ保ツヿヲ得ルノ法タリ知ルベシ速ニ國會ヲ開設シテ之ニ大臣參議ヲ彈劾スルノ權ヲ與ヘ全國人民共同ノ力ヲ以テ大臣ニ責ヲ負擔セシムルノ時ニ達スルノ甚ダ必要ナルヿヲ

地方自治ノ制度ヲ論ズ（前號ノ續）

大石正巳稿

今日我國ニ於テ地方自治ノ政度ハ果シテ行フベカラザルカ我輩ハ決シテ否ラザルヲ信ズルナリ試ニ思ヘ今日我國ニ於テハ地方ニ其地方ヲ治ムルノ人物ナキニアラズ又地

方ノ人民決シテ政治上ノ思想ニ乏シカラザルニアラズヤ何ヲ以テ之ヲ知ル公撰府縣會議員ニ由テ之ヲ知ルナリ蓋シ一地方ニシテ數十人ノ議政者スラ早ク已ニ之ヲ得タリ僅カニ一二ノ行政官ヲ撰ムニ於テ何ノ難キヿカ之レアランヤ且又一國ニ府縣アルハ猶ホ各府縣ニ町村アルガゴトシ町村ニシテ戸長アルハ猶ホ各府縣ニ知事縣令アルガゴトシ町村已ニ適當ノ戸長ヲ得府縣何ゾ亦適當ノ知事縣令ヲ公撰シ得ザルノ理アランヤ要スルニ町村ハ其町村ノ人ニ依テ之ヲ治メ一國ハ其一國中ノ人ニ依テ之ヲ治ムルノ今日ニ在テハ假令府縣ニ絶群ノ人物ヲ得ル能ハザルモ之ヲ治ムルニハ必ズ其府縣ノ人ニ依ラサルベカラザルナリ若シ其レ徒ラニ人物ヲ求メテ他府縣人ニ依賴スベシト謂

ハ一國ヲ治ムルモ亦外國ノ人物ニ依ラサルベカラザルノ道理ナリ外國人ニ國政ヲ依頼スル既ニ不可ナリトセバ地方モ亦何ゾ此ニ異ナルベケンヤ故ニ地方ハ其地方ノ人ヲ以テ之ヲ治ムベクシテ亦他ニ依頼スヘカラザルナリ況ンヤ今日我國地方ニ於テハ其地方ヲ治ムルニ適當ナル人物ニ乏シカラザルオヤ

然ルニ現今ノ如ク地方人民ヲシテ地方官ヲ公撰セシメズ所謂ル人民自ラ地方ヲ治ムルヿ能ハザルニ於テハ其弊タルヤ極メテ大ナルヲ見ル蓋シ其弊ヤ決シテ僅數ニ止マラサルベシト雖モ今其一二ヲ舉グレバ地方官ガ徒ニ中央政府ノ鼻息ヲ窺フテ地方人民ノ自由ヲ妨グルヿアリ例ヘハ集會條例ノ如キ中央政府ノ未ダ禁ゼザル範圍ニ侵入シテ

地方人民集會ノ自由ヲ蠶食シ政談演說ノ如キ政府ハ之ヲ明許スルモ地方官ハ時トシテ之ヲ障碍シ或ハ國會願望ノ如キハ政府敢テ之ヲ止メザルモ地方官ハ百方說諭シテ之ヲ止メントスルアリ且夫レ官撰ノ地方官ハ土地ノ人情ニ暗ク地方ノ慣習ニ通ゼザルヨリ改革其當ヲ得ズ施政宜キヲ失フノ憂ナキ能ハズ是レ之ヲ任スルニ方テ或ハ朋友親戚ノ情實ヨリシ或ハ其技量ノ能ク其任ニ勝ルヤ否ヲ察セズシテ之ヲ用ユルコトアルニ由テナリ加之今日ノ人民ハ未ダ封建ノ惡習ヲ脫セス政府ト人民ノ關係ヲ誤想シ猥リニ政府ヲ畏懼シ官吏ヲ妄信スルノ狀アリテ知事縣令ヲ見ルヿ恰モ封建時代ノ諸侯ヲ見ルガ如ク府縣廳ヲ以テ神社佛閣視スル者猶ホ寡ナカラザルナリ是時ニ當テ官吏ハ大政

府之ヲ命シ政令ハ政府之ヲ發シ所謂ル官吏中ニ殿樣氣取ヲ以テ田舍ノ戸長頑民等ニ接スル者アルニ於テハ愈ヨ人民ニ卑屈ノ心ヲ生シ到底獨立ノ元氣ヲ發達スルヿ克ハザルナリ故ニ地方官ヲ官撰ニ委スルハ其適當ノ人ヲ得ザルノ恐アルノミナラズ尙ホ地方開進ノ道ヲ碍クル者ト言フベシ

然ルニ地方自治ノ政度ヲ立ツル時ハ地方ノ經濟ヲ整ヘ地方ノ知識ヲ進メ地方人民ヲシテ公共ノ心ヲ興サシム可ク亦官吏ハ官撰ニアラザルガ故ニ屢々更迭シテ政務ノ舉カラサルガ如キ弊ヲ受ケザルナリ政令中央ヨリ出テサルガ故ニ慣習ニ適セスシテ管內人民不平騷擾スルカ如キ弊ヲ受ケサルナリ且亦地方官ノ黜陟ハ中央政府ノ權內ニアラ

サルガ故ニ地方人民ノ自由ヲ剝奪シテ中央政府ニ媚從スルカ如キ弊害ヲ受ケサルナリ地方自治ノ制度速ニ行ハサル可カラズ

（畢）

國事探偵ノ弊害

東京政談演說會ニ於テ　丸山名政演說

凡ソ蟲ノ生スル所以ノモノハ必ス之ヲ生ゼシムルノ原因アルナリ其原因トハ何ゾヤ曰ク不潔是レナリ虱ノ人体ニ生ジ蚊ノ溝中ニ生ズルハ皆其不潔ナルガ爲メナリ若シ夫レ日々入浴シテ其垢ヲ洗淨シ常ニ清潔ナル衣服ヲ着スルアラバ虱何ニ因テカ生ゼン惡水ヲ疎通シ汚泥ヲ浚除シ溝中ヲシテ常ニ清潔ナラシメバ蚊何ニ因テカ生ゼン國事犯ノ壓制政府ニ生ズルハ猶ホ蚊虱ノ不潔ニ生ズルガ如キカ蓋シ政治法律能ク其度ヲ得不當ノ所置其間ニ行ハルヽナ

ク熙々雍々人民皆自由ノ樂土ニ逍遙スルヿヲ得ルニ於テハ決シテ國事犯ノ生ズル恐レナシ良シヤ一旦生ズルヿアルモ瞬間ニシテ消滅シ毫モ政治ノ妨碍ヲ爲スヿ能ハサルナリ之ニ反シテ君主宰相常ニ威力ヲ擅ニシ峻法酷律ヲ以テ自家ノ私慾ヲ逞フスル器具トナスガ如キ國ニ在テハ國事犯ノ生ゼザランヿヲ欲スルモ得ベカラサルナリ嗚呼國政ノ惡ハ國事犯ヲ製造スルノ因トナリ國政ノ美ハ之ヲ消滅スルノ源トナル世ノ政治家タルモノ亦安ゾ反省セザルベケンヤ

蓋シ國事犯ナルモノハ輿論ノ勢力ト社會ノ風潮ト共ニ其勢ヲ逞フスルモノナルニヨリ之ヲ防禦センニハ先ヅ輿論ノ勢力ト社會ノ風潮トヲ挫折スルニアラサレバ決シテ其

功ヲ奏セザルナリ然リ而シテ輿論ノ勢力社會ノ風潮ハ人力ノ之ヲ左右スル能ハサル所ナルヘケレバ國事犯ヲ防グノ策ハ唯政治法律ヲ改良シテ古來ノ惡習ヲ一洗スルニアルノミ既ニ自ラ之ヲ發生セシメ又隨テ之ヲ勦滅セントス若カズ初メヨリ其本ヲ清フシ其源ヲ潔シテ罪犯發生ノ途ヲ拒絶センニハ

夫レ國事犯ナルモノハ既ニ壓制政府ニ生ズルノ蟲ナリトセンカ此ノ蟲ヲ搜索スルヿヲ職トスル探偵人ハ實ニ害惡ノ性質ヲ帶ブルモノナリト謂ハサルヲ得ズ或ハ曰ク國事探偵人ノ性質ハ縱令害惡ナルニモセヨ壓制政府ノ爲メニ計ルヿハ實ニ必要ノ具ト云ハザルベカラズ若シ夫レ壓制政府ニシテ探偵人ナカリセバ變亂百出朝夕ヲ計ル能ハズ

其顚覆ハ期シテ待ツベキナリト是レ一隅ヲ見テ未タ全局ヲ知ラサルノ言ナリ何ゾヤ曰ク國事探偵人ナシテ國事犯人ヲ搜索セシムルモ到底革命ノ變亂ヲ免ルヽ能ハザレバナリ既ニ論ズル如ク壓制政府ノ下ニ國事犯罪人ノ生ズルハ自然ノ理ニシテ復タ抑制シ得ベキモノニアラズ今日一人ヲ縛スレバ明日ハ二人ノ國事犯ヲ生シ明日十人ヲ刑スレバ從テ又數百人ノ國事犯ヲ生シ遂ニ全國人民ヲシテ悉ク國事犯人タラシムルニ至ルハ必然ノ理追ルベカラサルノ勢ナリ大勢既ニ茲ニ至ラバ百萬貔貅ノ兵士ヲ以テ之ヲ防グモ尙ホ且ツ能ハザラントス況ンヤ二三ノ探偵吏ニ於テオヤ數月以前東京横濱每日新聞ノ報スル所ニ據ルニ曰ク「英國ニ於テ虛無黨說ヲ主張スル某新聞紙ニ兎角魯國內

閣機密ノ漏ルヽヿ速カナルニ付魯國ノ貴官某ハ或ル書生ニ陷ハシムルニ巨利ヲ以テシ英國ニ到リ該新聞社ノ內情ヲ探偵センヿヲ委托シタリ某ハ直ニ英國ニ到リ該新聞社ニ入社センヿヲ依賴セシニ社長某ハ直ニ面會シ且言テ曰ク足下我新聞社ニ入ラントスル其志ヤ善シ然レモ決シテ志士ノ擧動ヲ探偵シテ政府ノ惡ヲ助クルガ如キ卑劣手段ヲ爲ス勿レト云ヒ懷中ヨリ一箇ノ寫眞ヲ取出シテ書生ニ示セシカバ書生ハ直ニ取テ之ヲ見レバ豈計ラン自已ノ寫眞ニシテ其裏面ニ今般此者儀貴社ノ內情探偵トシテ罷越候間御注意可有之候ト認メアリシニゾ書生ハ吃驚ノ餘リ一言半句ノ言葉モナク逃グルガ如ク立去レリ」ト蓋シ魯國ノ如ク壓制ヲ極ムル國ニ於テ內閣ニテ一人ノ探偵人ヲ民

間ニ放テバ其事已ニ志士ノ前知スル所トナル所以ノ者ハ思フニ民間ノ志士モ亦政府ノ内事ヲ探偵スルヿヲ怠タラサルニ由ルナルベシ其レ斯ノ如ク國事探偵人ガ國事犯ヲ探ラントスルノ日ハ既ニ國事犯者ガ政府ノ内情ヲ探偵スルノ日ナリ嗚呼泰山ヲ狹テ北海ヲ越ユルハ縱令爲シ得ベキノ日アリトスルモ國事探偵人ヲシテ禍亂ヲ未發ニ防カシムルハ決シテ能ハザル所ナリト云ハサルベカラズ

國事探偵人ノ用ヲナサヽル其レ斯ノ如シ然ラバ則チ國事探偵人ナルモノハ如何ナル政体ヲ問ハズ有害無益ノ長物ナリト云ハサルヲ得ズ或ハ曰ク自由ノ極點ニ達シタル國ニ於テハ固ヨリ國事探偵人ヲ必要トセズ又壓制ノ極點ニ達シタル國ニ於テハ到底其効ヲナサズト雖モ然レモ其變

爾ヲ減少シ又ハ稍ヤ遲緩ナラシムルヲ得且我日本ノ如キ半開ノ國ニ於テハ大ニ探偵ノ益アリ其故何如トナレバ文化未ダ國中ニ洽カラズ政治法律未ダ全ク改良セズ民智開進ノ度數等ニ分ルヽヲ以テ中下等ノ人尙ホ其政体ヲ以テ善良ノモノトナスモ上等人民ハ既ニ其政体ヲ嫌ヒ急激ノ改革ヲ行フテ一蹴以テ肩ヲ歐米各國ニ比セント希望スルモノアリ故ニ此等ノ人ハ全國ノ狀態如何ヲ問ハズ唯其政府ヲ變壞スルヲ以テ最上ノ目的トスルモノナリ斯ノ如キ邦國ニアリテハ國事探偵人ハ實ニ必要ノ具ナリト云ハザルベカラズト嗚呼是レ何ノ言ヅヤ余輩先ヅ國事探偵人ハ彼ノ壓制政府ニ必要ナリト云フニ對シテ駁擊ヲ試ミ次テ我國ニ之ヲ設クルハ有害無益ナル所以ヲ陳ベン

論者ハ壓制政府ノ國事探偵人ハ其變亂ヲ減少シ且之ヲ遲延ナラシムルノ益アリト云ヘリ何ゾ其言ノ誤レルヤ夫レ壓制政府ナルモノハ人民ノ安寧幸福ヲ殘ヒ之ヲシテ溝壑ノ苦境ニ陷ラシムル者ニシテ啻ニ人民ノ之ヲ怨望スルノミナラズ天地鬼神モ亦嚴責スル所ナリ斯ク惡ムベキ政府ノ器具トナリテ國事犯者ノ行爲ヲ探偵スルガ如キ卑劣ナル徒ニシテ果メ能ク其隱事ヲ摘發シ其證據ヲ擧ルヲ得カ古人曰ク燕雀何ゾ鴻鵠ノ志ヲ知ラント彼ノ一國ノ爲メニ身命ヲ拋チ政体ノ改良ヲ計ルガ如キ英傑ハ是レ鴻鵠ノ志アルモノナリ利ヲ見テ義ヲ忘レ壓制政府ノ器具トナリテ人民ノ幸福ヲ殘害スル人非人ノ燕雀輩ニシテ何ゾ彼ノ英傑ノ隱事ヲ摘發スルヲ得ンヤ之レ余ガ無益ナリトスル

所ナリ而シテ偵吏ノ所業只無益ノ點ニ止マラバ尙ホ可ナレモ其害タルヤ實ニ甚シキモノアリ壓制政府ノ探偵吏ハ巨多ノ金額ヲ啗マシムルニアラザレバ使用スルヲ得ス何トナレバ人民ノ政府ヲ怨望スル甚シキニ當リ其人民ノ行爲ヲ探ルハ甚ダ危險ナルノ恐アリ且偵吏タルモノモ幾分カ名譽ヲ重ンズルガ故ニ大金ヲ得ルニアラザレバ此ノ破廉耻ノ所業ヲナスヲ屑トセザルレバナリ是ヲ一害トス既ニ利ニ依テ探偵ヲ業トスルモノナリ故ニ民間ニ於テ之ニ啗マシムルニ政府ヨリモ更ニ許多ノ利ヲ以テセバ一朝志ヲ變ジテ却テ人民ノ爲メニ政府ノ内事ヲ探偵スルニ至ル是ヲ二害トス探偵密ナラザレバ直ニ政府ノ嚴責ヲ受ルノミナラズ我職業ヲ失フノ恐アルヲ以テ無形ノ事ヲ構造

シテ人民ヲ無辜ニ陷ルヽコトアルヲ以テ益々人民ノ激怒ヲ來シ却テ革命ノ氣運ヲ促スニ至ル是ヲ三害トス既ニ此三害アリ加フルニ其實用ヲ爲サヾルハ本年三月十三日魯國皇帝歷山第二世陛下ガ兇徒ノ爲メニ非業ノ死ヲ遂ケラレタルニ魯國數百人ノ國事探偵人ハ豫メ之ヲ探知スル能ハザリシヲ以テ知ルベシコレ余ガ國事探偵人ハ有害無益ナリトスル所以ナリ

論者ハ又我國現今ノ景況ニ於テ國事探偵人ヲ必要トスル所以ヲ陳ベタリ然レトモ余ハ亦之ニ答ヘテ有害無益ノ一語ヲ以テセントス抑モ我國ノ今日ハ是レ如何ナル時ゾ聖君上ニ在マシ賢宰相之ヲ輔佐シ奉リ政治法律日ニ月ニ自由ノ美域ニ進行スルノ日ニアラズヤ如何デカ國事犯ヲ企テ

我政府ヲ顚覆セントスルガ如キ非望ヲ懷クモノヽアルベキヅ是レ余カ國事探偵人ヲ無益トスル所以ナリ良シヤ前ノ如キ逆賊アリトスルモ國事探偵ノ利ハ其害ニ若カサルナリ何ヲ以テ之ヲ云フ曰ク之ヲ空理ニ談ゼンヨリ寧ロ既往ノ事跡ニ就テ之ヲ論スルノ愈レルニ若カズ彼ノ西鄕桐野篠原ヲ始メ鹿兒島人士ガ明治十年ノ春ニ當リ朝威ヲモ憚ラズ猥リニ兵器ヲ弄シタルノ罪ハ天神地祇ノ容レザル大惡無道タルハ今更喋々ヲ要セズシテ可ナリ然レトモ余ノ聞ク所ニ依レバ我政府ハ戰戰亂ニ先ツヿ數月警視局ニ職ヲ奉ズル鹿兒島人某々等數人ニ命シ歸鄕シテ陰ニ西鄕等ノ所業ヲ探偵セシメタリト又聞ク彼ノ鹿兒島壯士ガ陰謀ヲ蓄ヘシハ固ヨリ一朝ノヿニアラズト雖モ彼ノ磯ノ彈藥奪

掠ノ一擧ヲ激成セシメシハ蓋シ彼ノ探偵人等ガ之ヲ致シタルナリト此風説タルヤ齊東野人ノ言ニシテ固ヨリ信ズルニ足ラズト雖モ假リニ之レヲ信ナリトセバ實ニ西南ノ戰亂ヲ引キ起セシハ職トシテ國事探偵ノ過ニ之レ由ラサルハナシ説者ノ言ノ如ク鹿兒島人ガ陰謀ヲ蓄ヘシハ一朝一夕ノコニアラザレモ若シ我政府ニシテ之ヲ處スル其宜ヲ得セシメバ或ハ禍亂ヲ未發ニ防ギ得シモ知ルベカラズ計茲ニ出デスシテ却テ彼ニ出デ遂ニ鹿兒島ノ壯士ヲシテ怨望ニ怨望ヲ重ヲシム是レ則チ國事探偵ノ弊害ニアラズシテ何ゾヤ又明治十一年ノ五月十四日故ノ參議兼内務卿大久保公ノ暗殺セラルヽヤ一人トシテ之ヲ預知シタルモノナカリシニアラズヤ數百人ノ探偵人ヲ使用スル我警視

廳ニ於テ大臣ノ白晝ニ殺サルヽヲ預知スル能ハサルハ即チ國事探偵人ノ無用ナル明証ニアラズシテ何ゾヤ斯ク考ヘ來ルトキハ時ノ古今ヲ問ハズ海ノ内外ヲ論ゼス國事探偵人ハ有害無益ノ長物ナリト云ハサルベカラズ世ノ政治家タルモノ能ク社會ノ大勢ニ注目シ其之ヲ生セシメザルノ策ヲ講セサルベカラズ

社告

本誌ノ儀是迄**求友社**ニテ發兌致來候處先般協議ノ上**嚶鳴雜誌社**ヘ讓受ノ約束相整ヒ既ニ其筋ヘ讓受願書差出置候ニ付不日許可可相成ト存候就テハ求友社ニテ發兌ノ雜誌即チ第廿七號迄ノ代價滯ノ分ハ本社ヨリ受取人差出又同社ヘ向ケ廿八號ヨリ後ノ分前金御拂込ノ方ヘハ同ク本社ヨリ雜誌遞送致候間此段廣告候也

本局　東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾番地

主幹　青木匡

編輯兼印刷　鈴木五郎

嚶鳴雜誌社

壹冊定價　五　錢　　五冊前金貳拾貳錢五厘　　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　　但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

東京銀座四丁目	大賣捌所	同芝區琴平町
同日本橋區藥研堀	朝野新聞社	同同區三田同朋町
同同區元大坂町	報知社支店	同同區新櫻田町
同神田區雉子町	法木徳兵衛堂	横濱太田町二丁目
東京銀座四丁目	取次所	静霞堂
同牛込神樂坂一丁目	博聞社	静海堂
同神田表神保町	積善堂	春陽堂
同赤坂裏壹丁目	大黒屋惣次郎	伊勢屋梅藏
同日本橋區久松町	赤川五平	美濃岐阜太田町
同日本橋通一丁目	大津屋善兵衛	信州松本南深志町
同神田今川小路	伊勢屋金次郎	信州飯田二番町
同日本橋新和泉町	大坂屋彦兵衛	甲兒嶋朝日通り
同浅草元鳥越町	文圓堂	駿州静岡江川町
同神田美土代町	共致社	江州彦根旗手町
同神田表神保町	關兒玉直次郎	大坂本町四丁目
同芝區飯倉三丁目	駿河屋	奥州盛岡本町
同神田錦町一丁目	中嶋幸太郎	尾州名古屋本町
同神田神保町	有則軒	箱館地藏町六丁目
同本郷湯嶋天神町	文友堂	大坂堂嶋中一丁目
同浅草地内	長尾	讃州丸龜通町
同浅草並木町	西村安次郎	神戸長狹通七丁目
同南傳馬町二丁目	伊勢屋喜三郎	水戸上市泉町
		阿波徳島中通
		紀州和歌山本町
		播州姫路俵町
		信州松本中町
		春陽舍
		蓬田重平
		杉本平七
		藤井三代治
		新々堂
		十一屋半四郎
		岡嶋眞七
		澤田正助
		吉田道雄
		備文堂
		静雲堂
		日新館
		青井三十郎
		川又銀藏
		阪井萬吉
		平井文助
		吾車屋
		竹裏青雲堂

定時刊行

明治十四年十月十三日發兌

○開拓使存置延期ノ風説
○主治者眼ヲ世勢ニ閉ツルハ國ノ凶兆ナリ　高橋達郎
○開拓使官有物擅下處分ハ果シテ有効乎　堀口昇
○政權論第二編　青木匡

嚶鳴雜誌　第三拾壹號

嚶鳴雜誌第三十一號

開拓使存置延期ノ風說

凡爲政者ノ政ヲ施シ事ヲ行フヤ先ツ其目的ヲ定メテ而シテ後チ之ニ從フノ處分アリ方法アリ目的ハ主眼ナリ方法處分ハ其目的ヲ達スルノ順序ナリ豈ニ其處分ノ時ニ宜キヲ失ヒ公平ヲ得ザルヿアルヲ以テ中途ニシテ之ヲ廢スルト同時ニ併セテ其目的ヲモ放棄スベキノ理アランヤ況ンヤ其處分ハ唯二三有司ノ計畫ニノミ止マッテ未ダ實地ニ施行セザルニ於テヲヤ

回顧スレハ去ヌル七月ノ頃開拓使官有物拂下ノ說一タビ出テヽヨリ天下ノ志士各々其非ヲ論シ其不當ヲ鳴シ全國到ル處トシテ之ヲ非難スルノ聲ヲ聞カザルハナシ蓋シ今

回開拓使ヲシテ制規ノ順序ニ依リ一定ノ方法ヲ以テ民間有志ノ者ニ官有物ヲ拂下ケシメナバ人誰カ其非ヲ尤ムル者アランヤ又何ソ其不當ヲ鳴ラス者アランヤ只其レ然ラスシテ嘖々嗷々其非ヲ責ムル所以ノ者ハ開拓使官有物ヲ拂下クルヿヲ不可トスルニ非ラスシテ其之ヲ拂下クルノ方法順序未ダ適當ヲ得ザル者アルヲ以テナリ若シ夫レ此拂下方法ノ適當ヲ得ザルヿノゴトキハ既ニ公議輿論ノ在ルアリ故ニ今此ニ其當否ヲ論スルハ姑ク之ヲ措キ更ニ一歩ヲ進メテ政府ガ今回其所有物ヲ拂下クルノ根元ヲ繹ヌルニ開拓使ハ本年ヲ以テ委任滿期ヲ告グルガ故斷然之ヲ廢止シ而シテ仝使ガ今日ニ至ル迄特ニ鉅萬ノ金員ヲ擲テ拮据計營シタル所ノ諸製造所及ビ其他ノ物品ヲ預メ民間

ノ有志者ニ拂下ケ向後開拓使ニ續テ北地ノ政務ヲ執ル所ノ官衙ヲシテ徒ニ政事ノ區域ヲ超脫シテ民間ノ事業ヲ妨害スル如キヿナカラシメント欲シタルニ出ツルヤ敢テ疑ヲ容ル可カラサルナリ更ニ之テ再言スレハ今回政府ガ開拓使ヲ廢スルハ吾輩ガ前ニ所謂ル政務上ノ目的ニシテ同使所有ノ物品ヲ拂下クルハ即チ其目的ニ從フノ處分ニ外ナラザルナリ

且夫レ政府ガ本年ヲ以テ斷然開拓使ヲ廢セント決定セラレタルヤ必ズ其廢ス可キノ理由アルニ因ルナラン否、開拓使ヲ廢シテ縣ヲ置クノ大ニ得策タルヲ認知セラレタルニ歸スルナラン然ルニ此頃世上ニ流言スル所ニ據レハ官有物拂下處分ニ關シ江湖ノ論者口ヲ極メテ其非ヲ論シ其不

當ヲ鳴ラシ世論ノ囂々タル其勢實ニ當ル可カラザルモノアルヲ以テ此際輿論ノ反對ヲモ顧ミスシテ敢テ拂下處分ヲ實行セバ他日如何ナル變動ヲ社會ニ生出スルモ謀ル可カラス若カズ寧ロ拂下處分ヲ中止シテ開拓使委任ノ時限ヲ延期センニハト廟堂有司ノ中頗ニ廢使置縣ヲ拒ムノ人アリト鳴呼是レ何等ノ怪說ヲヤ蓋シ一定ノ條則ニ依ラス又一定ノ順序ニ基カスシテ開拓使官有物ヲ二三ノ寵商ニ拂下クルハ其事固ヨリ非當ナルヲ以テ政府ガ輿論ノ囂々ヲ恐レテ之ヲ中止スルハ吾人ノ甚ダ嘉ミスル所ナリト雖モ而カモ之ヲ中止スルト同時ニ廢使置縣ノ目的ヲモ併セテ放棄セントスルニ至テハ所謂ル本幹ト枝葉トヲ混合シ又ハ本末始終ヲ知ラザルノ措置ト言ハザル可カラス若シ

其レ今回ノ官有物拂下處分ハ世人ノ既ニ論スル如ク其適當ヲ得タル者ニ非ラサルニ於テハ政府ハ盡ク其本ニ反ツテ一定ノ順序ヲ蹈ミ一定ノ條則ニ依テ之ヲ一般人民ニ公賣スルヿヲ爲サヾルヤ然ルヲ事此ニ出デズシテ官有物拂下處分ヲ中止スルト同時ニ廢使置縣ノ目的ヲ放棄スルヲ以テ之ヲ考レハ政府ガ初メ本年限リ開拓使ヲ廢スルヲ適當ト認メタルハ虛ナリ妄ナリ決シテ確乎タル目的ヲ定メテ而シテ此擧ヲ企テントセラレタルニ非ラズト言フ者アルモ吾輩ハ之ニ答フルノ言ナキニ苦ムナリ吁嗟一國政治ノ弊害ハ爲政者タルモノ常ニ其目的ヲ定メズ人民ヲシテ其向フ所ニ迷ハシムルヨリ甚シキハナシ廳堂ノ君子少シク此ニ注意シテ開拓使官有物拂下處分ナル枝葉ノ事業ヲ

中止スルト與ニ廢使置縣ノ目的ヲモ放棄スル如キ拙策ニ出ツルヿナカレ

主治者眼ヲ世勢ニ閉ツルハ國ノ凶兆ナリ

高橋達郎稿

希臘ノ大賢アリストートル氏嘗テ同國人民ノ往々實驗シ追憶シテ共ニ戰慄忌嫌セル暴虐政治ノ事ヲ論スルノ際其綱領ヲ擧ケテ曰ク暴君汚吏ノ目的トスル所三アリ一ニ曰ク人民ノ氣力ヲ壓撓シテ之ヲ卑屈ニ陷ラシムルヿ二ニ曰ク民間互ニ嫌疑不信ノ心ヲ懷カシメ以テ團合固結スルノ日ナカラシムルヿ三ニ曰ク人民ヲシテ終始貧窶ノ態ヲ免レサラシムルヿ即チ是ナリト蓋シ此三項ノ旨趣タル往昔朦昧ノ世ニ在テハ充分ノ効力アル政畧タリシヿ疑ヲ容レスト雖モ今ヤ漸ク開明ノ道ニ進脚ヲ擧クルノ時ニ在テハ

如何ナル權勢ヲ有スルノ主治者タルモ故ラニ此三項ノ事ヲ行ハントスル時ハ啻ニ其爲シ得ベカラザルノミナラズ反動ノ勢却テ己レノ刀刃ヲ以テ自ラ傷クルニ至ルハ勢ノ皆易キ所ナリ是ヲ以テ活眼アル政事家ハ終始刮目シテ社會ノ情勢ヲ視察シ苟モ民力ノ進勢既ニ制御シ得ベキノ度ニアラザルヲ知ラバ則チ之ニ應ズルノ施設ヲ以テ國政ノ安寧ヲ獻リ昔日ニハ仮令牛羊視シタル人民タルモ勢已ニ此ニ至レバ則チ迎ヘテ之ヲ政府ニ容ルヽヿヲ勉メスンバアラザルナリ然ルニ古今主治者ノ通弊トシテ人民尚ホ主治者ニ盲從スルノ日ニ在テハ或ハ稍々之ニ率先シテ開進ノ方畧ヲ施スナキニ非ザルモ人民漸ク智識ニ富ミ才畧ニ長シ眼ヲ國政ノ如何ニ着ケ政府ノ一擧一動以テ痛痒相

感ズルニ至レバ則チ却テ昔日盲從ノ俗ヲ追慕シ往々右三項ニ類スルノ方畧ヲ以テ人民ヲ待タンヿヲ之レ勉メ民勢益々進歩スルヲ視レハ益々頑然トシテ舊制ヲ固執シ甚シキハ一タビ措置ノ當ヲ失シ世論囂々タルニ會セバ故ラニ回避シテ手ニ一葉ノ新聞紙ヲ觸レズ耳ニ一齣ノ演説ヲ容レズ專ラ眼ヲ世勢ニ閉ヂテ盲進ヲ之レ勉ムルニ至ルハ蓋シ免レサルノ轍タルガ如シ斯ノ如クナレハ假令三軍ヲ叱咤スルノ猛將ニ富ミ千軍萬馬ノ唱嗟ニ役ス可キアルモ奈何ゾ永ク世ノ潰裂ヲ防グ可ケンヤ是即チ吾人ガ本題ニ掲ゲテ國ノ凶兆ト爲ス所以ナリ何ヲカ國ノ凶兆ト謂フ請フ先ヅ英國ノ史乘ニ就テ之ヲ徵セン抑々英國「スチユワート」朝ニ在テハ世々人民ノ勢力及奉教心ノ益ス上達スルヲ認ル

ヲ爲サズ政治宗教孰レニ在テモ共ニ專制主義ヲ固執シテ離レズ歷代中最モ卓出セル當時ニ在テ毫モ世事ノ變遷ニ着眼セズ全ク政治上ニ失明セルヨリ竟ニチヤーレフ第一世ハ爲メニ其命ヲ落シゼームス第二世ハ其位ヲ失フニ至レリ又轉シテ佛國ノ史乘ニ之ヲ徵センニ同國「ボルボン」朝ニ在テモ當時駸々乎タル世勢ニ由リ日ニ月ニ發進セル民力ヲ見ルニ晦キヿ猶英國「スチユワート」朝ニ於ルト異ナラズ各般ノ事物ハ大ニ昔日ト體面ヲ改メ社會ハ正ニ維新ノ形狀ヲ現出シテ新論新說續々排起シ當時其情勢ノ實ニ危殆ニシテ大ニ精思熟慮ヲ要スル者アルモ時已ニ後ルヽニ至ルマデ此ニ察スル所ナク千七百年代ニ行ヘル治道ハ猶ホ千六百年代ニ行ヘル所ト異ナラズ依然專制施治ノ尊大

ヲ張リ貴族ノ特權ヲ維持シ强イテ眠ヲ民力ノ進歩ニ閉ヂテ顧ミズルイ第十六世ニ至テ始メテ日ニ民情ノ逼迫シ財政ノ困難ヲ告グニ眠ヲ着ケ千歲ノ迷夢此ニ驚醒セラレテ周章狼狽ノ餘遽ニ經驗モナク先見モナク又政界ノ頼ム可キ所モナクシテ全國ノ大會議ヲ召集シ其大會議ノ爲メニ却テ專政施治ノ百弊ヲ摘發セラレ遂ニ大革命ノ不幸ニ陷ルニ及ベリ蓋シ其不幸ト爲ス者啻ニ主治者止マルノミナラズ國民爲メニ一時政府ノ慘狀ニ陷リシニ非スヤ

若シ夫レ佛國ボルボン朝チシテ夙ニ活眼ヲ有セシメ其ルニ在ラシメ遍ク人民ヲシテ政權ニ參セシムルノ卓見アラシメシハ吾人豈能ク此悲慘ノ演劇ヲ佛國ノ史乘ニ觀ルヲ

第十六世ノ日ニ開クノ大會議ヲシテ是ヨリ數十年ノ前

得ベケンヤ然ラバ則チ金玉啻ナラザルノ國會モ其當ニ起スベキノ期ニ起サヾレバ何ゾ其功ヲ觀ルアラン何ゾ此禍ヲ避クルヲ得ベケンヤ故ニ曰ク主治者眠テ世勢ニ閉ツルハ國ノ凶兆ナリ

開拓使官有物拂下處分ハ果シテ有効乎

東京政談演說會ニ於テ　堀口昇演說

余ハ先ニ開拓長官黑田清隆氏ガ太政大臣三條實美公ニ追リ官有物拂下ノ許可ヲ天皇陛下ニ請ハシメタリトノ風說ヲ聞キ熟慮深考スルニ暇ナク直ニ强迫ニ因テ得タル承諾ハ決シテ其効力ナキ者ナリト云ヘル論題ヲ揭ゲ之ヲ一論セントスルニ今日ニ至リ該該事件ハ決シテ强迫ノ一事ニ止マラザルヿヲ發見シタレバ余ハ今稍々論據ヲ擴充シ

テ之ヲ極論シ以テ諸君ノ高評ヲ仰ガント欲ス

英儒ベンザム氏曰契約ヲシテ無効ナラシムル原因九箇アリ一ヲ隱匿ト云ヒ二ヲ詐僞ト云ヒ三ヲ强迫ト云ヒ四ヲ誘惑ト云ヒ五ヲ義務ノ誤謬ト云ヒ六ヲ價直ノ誤認ト云ヒ七ヲ不能力ト云ヒ八ヲ公益損害ト云ヒ九ヲ契約者ノ無權理ト云ヘリ而シテ隱匿トハ契約ヲ締結セントスル甲者ガ乙者ニ向テ通報スベキ事件ヲ通報セザルヲ云ヒ詐僞トハ一方ガ他ノ一方ヲ欺カントスル故ラニ事實ヲ隱蔽シテ之ニ虛妄ヲ通知スルヲ云ヒ强迫トハ威力若クハ腕力ヲ以テ一方ヲ恐嚇シ敢テ承諾ヲナサシムルヲ云ヒ誘惑トハ己レト不同意ナル者ニ唆ハスニ利ヲ以テシ巧ニ同意ヲ表セシムルヲ云ヒ義務ノ誤謬トハ一方ニ於テ契約ヲ結ブベキ義

務ナキニ誤テ其義務アリトナシ自ラ之ヲ締結シタルヲ云ヒ價直ノ誤認トハ譬ヘハ三百萬圓ノ實價アルモノヲ誤テ三十萬圓ニテ賣拂フガ如キヲ云ヒ不能力トハ財產ハ己レ之ヲ所有スト雖モ法律ノ爲メニ之ヲ使用スルノ道ヲ限ラレ隨意ニ之ヲ處分スルヲ禁ゼラレタルヲ云ヒ公益損害トハ甲乙契約ヲ締結スルガ爲メニ社會一般非常ノ損失ヲ蒙ラシムルヲ云ヒ賣主ノ無權理トハ契約ヲ締結シ物品ヲ賣ラントスル者ガ其物品ノ所有權理ヲ保有セザルヲ云フナリ此九箇ノ原因ニシテ若シ茲ニ一アラバ即チ以テ契約ヲ無効ナラシムルニ足レリトベルザム氏ノ言既ニ此ノ如シ然ラバ則チ當今世上ニ囂々タル彼ノ開拓使官有物拂下處分ノ件ニシテ若シベンザム氏ノ所謂契約ヲ無効ナラシム

ル九箇原因ノ一ダモ含有スルヿアラバ該件ノ無効タル余輩ノ辨論ヲ俟ズシテ知ルベキナリ況ンヤ其九箇ノ原因ヲ盡ク含有スルニ於テナヤ

聞ク嚮キニ我廟堂ニ於テハ開拓使滿期廢止ノ後ハ北海道ニ向テ如何ナル處分ヲ施スベキヤノ評議アリシ時其議論ハ畧ボ廢使置縣ノ方向ニ傾ケリト此時ニ方テ黑田氏ハ開拓長官タルノ地位ニ在ルノ人ナレバ須ラク民間ノ學士論客カ痛論スル如ク開拓使ヲ存置シテ每年百有餘萬圓ノ租稅ヲ糜費スルハ全ク益國ノ良圖ニ非ザルヿヲ主張シ速ニ廢使置縣ノ策ヲ斷行スベシト建議セザルベカラズ然ルニ黑田氏ハ之ヲ政府ニ建議セザルノミナラズ恰モ開拓使アルガ爲メニ北海道十一ケ國ハ不毛ノ土地ヲ開キ不興ノ產

物ヲ起シ工業技藝ヲモ亦盛ニ行ハルヽガ如クニ上申シテ開拓使ヲ存置セントシ又其實ハ吾人ノ敢テ明言ス可カラサルノ事情アリテ彼官有物ノ拂下ヲ請願シナガラ其表面ニ於テハ已レハ毫モ之ニ干預セズ只從來全使ニ奉職シタル官吏ノ數輩カ免職後路頭ニ迷フヲ救濟スルガ爲メニ此拂下ヲ懇請スル如キ虛飾ヲナスハ是レ即チ事實ヲ隱匿シテ政府ニ告ルニ詐僞ヲ以テスルニ非ズシテ何ゾヤ

又聞ク所ニ據レバ七月廿八日內閣ニ於テ會議ヲ開カレタル節左大臣有栖川及ビ參議大隈ノ兩公ハ斷然拂下ノ議ニ反對シテ其非ナルヿヲ辨ゼラレタリ然ルニ其他ノ諸參議ハ所謂ル沈默ノ自由ヲ固守セラレ黑田氏獨リ拂下說ヲ主張シ遂ニ議論一決セザリシカバ翌廿九日ヲ以テ三條太政太

臣ハ前日ノ議事概畧ヲ陛下ニ奏聞セラレタルニ我 敵聖
文武皇帝ニハ該拂下事件ハ容易ナラザル事ナルヲ以テ匆
卒ニ可否スベカラズ余ガ還幸ノ後マデ清隆ヲシテ差扣サ
スベシトノ勅命ヲ下シ給ヒタレバ太政太臣ハ寺嶋參議ヲ
以テ之ヲ黒田氏ニ傳達セシメラレタリ然ルニ黒田氏ハ已
レノ反對者ナル左大臣及ヒ大隈公ガ 陛下ニ扈從シテ北
海ニ赴カル、ニ因リ還幸ノ後迄之ヲ猶豫スル時ハ如何ナ
ル決果ニ至ルモ知ル可カラズ若カズ太政大臣ニ迫テ速ニ
承諾ヲ得ンニハト同日三條公ヲ訪ヒ談話數刻ノ後遂ニ公
ヲシテ 陛下ノ御跡ヲ追フテ千住行在所マデ行カシメ遂
ニ拂下ノ許可ヲ得セシメタリト又左大臣及ビ大隈公ヲ除
キ其他ノ諸參議ニ向テハ事若シ成就セバ利益ハ諸君ト共

ニ分配センナヅト說キ附ケテ廿八日ノ會議ノ時敢テ反對
說ヲ發議セザラシメタルナリト云フ然ラバ則チ強迫及ビ
誘惑ノ實況其間ニ備ハルト云フト雖ヒ決シテ過言ニ非サ
ルベシ

或曰我廟堂有司中ニハ往々今回ノ事件ニ均シキ措置ヲナ
シタルモノナキニ非ラズ政府既ニ先例ヲ示シ今回ノ事件
ニ限リ之ヲ拒ムハ無理モ亦甚シ政府ハ必ズ之ニ從フベキ
ノ義務アリテ存スト是レ亦大ナル誤ナリ凡ソ政府ト人民
トニ係ハラス曾テ行フタル惡事ハ敢テ先例トナスベキモ
ノニ非ズシテ却テ匡正ヲ要スル所ノ弊害ナリ政府ハ何ゾ
先キニ其適例アルヲ口實トシテ今回ノ拂下事件ヲ許可ス
ルノ義務アリト云フヲ得ンヤ又價直ノ誤認ノ如キハ余輩

ノ言テ俟タズシテ諸君ノ既ニ知ル所ナレバ姑ク之ヲ措カン唯此拂下事件ノ中ニハ義務ノ誤謬幷ニ價直ノ誤認ヲ備フルト云フノ一言ヲ以テ足レルナリ又我政府ハ先ニ既ニ無用ノ官有物ヲ拂下ルノ手續ヲ制定セリ即チ官有物拂下規則是ナリ既ニ此規則アリ我政府ハ私ニ二三人士ノ利益ノ爲メニ官有物ヲ拂下ルコト能ハザル不能力者ノ位地ニ在ルハ固ヨリ論ヲ要セス又今般ノ事件カ大ニ公益ヲ損害スルハ既ニ諸論者ノ喋々スル所ナレバ余輩亦之ヲ畧セン而シテ政府ハ三千五百萬人民ノ膏血ヲ以テ建設シタル工場官舍及ヒ諸物品ハ之ヲ人民ノ公益トナルベキ道ニ用フルノ權アリト雖ヒ僅々二三ノ威力者ヲ利益スルガ爲メニ使用スルノ權理アルコトナシ

其レ斯ノ如シ開拓使官有物拂下事件ハベンザム氏ノ所謂奥約ヲ無効ナラシムル九箇ノ原因ヲ具有スルモノナリ假令一時拂下ノ許容アリタリトスルモ決シテ其効驗アルヿナシ我 敞聖文武皇帝陛下北巡ヲ終ツテ還御マシマサバ必ズヤ其拂下處分ヲ中止スルノ御英斷アラン余輩耳ヲ浚ツテ聖音德聲ノ耳孔ニ達スルヲ俟ツベキナリ

政權論　第二編

青木匡稿

文運益ス進歩シ社會愈ニ開明ニ赴クニ從テ人各々腕力ヲ戰ハスノ風漸ク跡ヲ社會ニ絶チテ智力ヲ爭ヒ才識ヲ競フノ美風應ニ盛ニ行ハルヽニ至ルベシ然ト雖ヒ今日ハ即チ腕力ヲ戰ハスノ時ヨリ漸ク進テ智力ヲ戰ハスノ時ニ移ラントスルノ際ナルニ因リ主治者ガ腕力ニ依テ以テ其政權

ヲ保庇シ社會ガ腕力ヲ以テ其國權ヲ支持スル等ノ事アリテ未ダ毫モ腕力ヲ使用スルヿヲ要セザルノ時ニ至ラズ是レ即チ現時ノ狀勢ナリ顧ミテ往時ノ事績ヲ觀察スルニ腕力ナル者ハ一國ノ主治者ガ既ニ掌握シタル政權ヲ維支スルノ器用タルノミナラズ本論第一編ニ所謂騙欺ト共ニ政權ヲ掌握スルノ器具トナリタルヿ屢々之レアリ然ト雖ヒ吾輩ハ今進テ之ヲ辨明スルニ先チ讀者ニ向テ豫メ注意ヲ要スルヿアリ曰ク腕力ナル者ハ古來屢々政權ヲ掌握スルノ器具トナリタルヿアリシモ決シテ單ニ腕力ニノミ依テ之ヲ掌握シタリト言フニ非ラズ或ハ腕力ト智力トヲ兼子有スル者アリ或ハ騙欺ト腕力トヲ併セ用フル者アルハ固ヨリ疑ヲ入ルベカラス吾輩ノ所謂ル彼ハ腕力ニ依テ政權

ヲ掌握シ此ハ騙欺ヲ用テ治權ヲ占有シタリト言フハ唯之ヲ占有スルニ當テ主トシテ使用シタル所ノ者ヲ指名スルニ過ギズ讀者幸ニ此意ヲ誤ルヿナカレ

太古ハ邈トシテ史乘ノ據ルベキモノナシ然レヒモ今世ニ及ンテ尚ホ野蠻未開ヲ以テ稱セラルヽ彼ノ南洋諸島人民ノ狀勢ヲ推シテ古昔ノ狀勢ヲ察スルニ其初メ社會人類ノ間ニ於テ治者被治者ノ別アルナク所謂ル弱肉强食ノ弊盛ニ行ハレテ强者ハ益ス其威ヲ逞フシ弱者ハ愈ヨ其威ニ壓セラレ其間知ラズ識ラズ治者ト被治者トノ別ヲ生セシナラン蓋シ政府ト人民ノ由テ起ルヤ決シテ此一原因ニ止ラザルベシト雖ヒモ概ヲ皆强者ガ已ノ腕力ニ依テ弱者ヲ壓伏シ遂ニ一蠻族又ハ一國ノ政權ヲ掌握スルヲ以テ政府ノ濫觴

トセザルハナシ尋テ中古ニ至リ腕力ヲ以テ政權ヲ掌握スル器具トナシタル証跡ヲ歐亞各國ノ歷史ニ繹ヌルニ其例殆ト枚擧スルニ遑アラズ今其最モ著シキ者ヲ擧グレバ一千六十六年ノ頃諸曼ウイルリヤムガ英國ノ政權ヲ掌握セシハ先王ハラルドノ嫡子タルヲ以テノ故ニアラズ又英國人民ガ初ヨリ彼ヲ慕フタルガ故ニアラズ唯腕力ノ助ニ依テ遂ニ王位ヲ占奪シタルニ過ギザルナリ然レモウイルリヤムハ固ヨリ一世ノ豪傑ナリ其初已レノ武勇ヲ賴ミ大兵ヲ率テ英國ニ入リハラルドト戰テ遂ニ之ヲ殺シ其後政權ヲ掌握スルニ及ンデハ啻ニ腕力ノミヲ以テ已レノ政權ヲ保持スルヿヲ爲サズ先王ノ制定シタル法憲ハ之ヲ用テ改メズ民ノ財産アル者ニハ又其自由ヲ與ヘ以テ大ニ民心ヲ

收攬シ爲メニ其政權ヲ安全ニ保持スルヿヲ得タリ蓋シ腕力ヲ以テ政權ヲ掌握スルノ器具トナシタル者ハ特リウイルリヤムニ限ルニアラズ支那歷朝ノ祖先ガ其初帝位ヲ占メシハ概ヲ皆腕力ノ助ニ依ラザルハナシ其レ斯ノ如シ今日ノ政治社會ニ於テ腕力ニ依テ政權ヲ僭奪シ人民ヲ抑壓スル如キハ固ヨリ好ムベキニ非ラスト雖モ古昔人智未ダ開ケズ道德未タ進マザルノ時ニ當テハ人各々政治ノ目的ヲ了知セズ政府ヲ以テ私慾ヲ逞フスルノ場所ト思惟シ政權ヲ以テ一身ノ慾望ヲ達スルノ器具ト誤認セルヨリ自然ニ此狀勢ニ立至リタルナリ故ニ人各々政事法律ノ目的及ビ君主ト人民トノ關係ノ何タルヲ了知セシ今日ニ於テハ徒ニ腕力ニ依賴シテ政權ヲ占奪スル如キヿヲ謀ル者ナク

又偶マ此ノ如キ狂暴ノ徒ノ出ルアルモ終ニ能ク其目的ヲ果スヿヲ得ズ要スルニ今日政權ヲ掌握スル者ハ必ス之ヲ掌握スルノ原理アリテ然ラザルハアラザルナリ

然ト雖モ余輩ガ既ニ上文ニ陳述シタル如ク今日ノ政治社會ニ於テハ決シテ腕力ヲ使用スルヿヲ要セザルニアラズ内ニ不廷ノ徒アリテ濫リニ政府ヲ顚覆シ政權ヲ占奪スルヿヲ企ツル者アレバ腕力ニ依テ政府ヲ保護シ政權ヲ維支シテ以テ其政權ノ狂暴者ノ手ニ轉移セザランヿヲ謀ラザル可カラズ又外ニ強大ノ國土アリ其威ヲ逞フシテ他國ノ權理ヲ毀損セントスル者アレバ亦腕力ヲ以テ之ヲ防禦セザル可カラズ近クハ彼ノ西鄕隆盛カ叛旗ヲ九州ノ一隅ニ揚グルヤ彼レト干戈ヲ交フルハ所謂兄弟墻ニ鬩ク者ニ

シテ憂國者ノ決シテ希フ所ニアラズト雖モ是レ亦彼レガ狂暴ヲ壓シテ我日本帝國ノ治安ヲ護リ政府ヲ保支スルニ於テ萬々止ム可ラザルノ措置ト謂フベシ又近時世人ヲシテ其結局如何ヲ憂慮セシメタル彼ノ魯清兩國ノ葛藤ノ如キ清國ハ一時其兵力ニ依テ以テ國ノ面目ヲ維支セザル可カラザルノ勢ニ立至リタルモ奈何セン其兵力ノ露國ニ及バザルト北京廟堂ノ議論一定セズシテ爲メニ戰端ヲ開クノ機ヲ失シタルトノ二原因ニ由リ遂ニ不滿足的ノ條約ニ調印セザル可カラザルヿトハナリタリ恩フニ若シ清國ヲシテ兵力ニ富マシムルアレバ恐クハ露國ノ爲メニ斯ル凌辱ヲ蒙ラサルヽヿナカルベキニ其兵力ノ彼レニ及バザルヨリシテ遂ニ此ニ至ル豈憐マザル可ケンヤ要スルニ腕力

ナル者ハ其使用ノ宜キヲ得ザルトキハ爲メニ非常ノ災害ヲ國家ニ及ボスコアリト雖モ苟モ其然ラザルニ於テハ政權ヲ保持シ國權ヲ維支スルニ於テ最モ缺ク可カラザル者ト謂フベキナリ

誌中起草者ノ名ヲ記サヾル者ハ悉ク編輯者ノ起稿ニ係ル讀者諒セヨ

本誌ノ儀ハ代價幷郵便税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文奉冀候也

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

主幹　青木匡
編輯兼印刷　鈴木五郎
本局　東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾番地
嚶鳴雜誌社

定時刊行

明治十四年十月廿五日發兌

○明治十四年十月十二日國會開設ノ勅諭

○政權論第三編　青木匡

○新聞記者及代言人諸氏ニ告グ　志摩萬二郎

嚶鳴雜誌

第三拾貳號

明治十四年十月十二日國會開設ノ勅諭

先哲曰ク勢ノ天下ニ於ケル其レ猶ホ水ノゴトキ歟水ノ趨テ而シテ流ヲ成ス遏ム可ラザルナリ然レトモ其趨ル所ニ因テ而シテ之ヲ利導セバ汩々然トシテ來ル其爲ス可ラサルヲ患ヘズ水ノ東セントスルニ當テ而シテ之ヲ西シ其ノ西セントスルニ當テ而シテ之ヲ東ス皆勢ノ爲ス可ラザル者ナリト宜哉言ヤ夫レ社會ハ活物ナリ人世ハ海路ノ如シ其形勢ノ變化シ人情ノ轉遷スルヤ人力ノ能ク制止シ得ベキ所ニアラズ故ニ爲政家タル者其治術ヲ施スニ當テハ常ニ國勢ノ如何ニ注意シ社會ヲシテ徒ニ顚覆潰決ノ災ヲ蒙ラシメザルヿヲ勉メズンバアラズ顧ミルニ我邦維新ノ

當時ニ於テ政府大ニ政治ノ方向ヲ一變シ其曾テ夷狄視シ禽獸視シタル所ノ歐米各國ニ對シテハ更ニ交誼ヲ厚フシ親睦ヲ密ニシテ上ハ制度法律ヨリ下ハ學術技藝ニ至ル迄彼ノ長ヲ取テ我ノ短ヲ補ヒ其ノ規畫經營シタル事業中大ニ見ルベキ者尠ナシトセズ其レ斯ノ如ク彼我ノ往來交通益ス盛ナルニ從ヒ自由ノ空氣漸ク我邦ニ蔓延シ人民ノ智識日ニ益ス開發シテ明治七八年ノ日本人民ハ維新當時ノ人民ト同一視ス可ラザル者アリ否、從來ノ制度法律ヲ以テ之ヲ統御ス可ラザルノ勢アリシ試ニ思ヘ我邦國會論ノ初テ起リタルハ明治七年末ニシテ當時少シク政治ノ思想ヲ有スル者ハ萬口一音ニ民選議院ノ設立セザル可ラザルヲ論ジ世論ノ嗷々タル恰モ河水ノ奔注漱囓スルノ激シキ將

ニ潰決ノ災ヲ生ゼントスルノ狀勢アリ我明治天皇陛下ノ聰明叡智ナル晨ニ其勢ノ制ス可カラサルヲ察シ八年四月十四日ヲ以テ漸次ニ立憲ノ政体ヲ立ツルヿヲ詔シ給ヒ從テ一時潰決ノ災ヲ生ゼントスルノ人心モ稍ク平穩ニ歸シ衆庶皆聖意ノ厚キヲ感佩セザルハナカリシ爾來此ニ六年其間人智開達セル政治思想ノ煥發セル人民ハ昔日ノ如ク唯命是レ從フノ風ヲ蟬脫シ政府ノ一擧一動ニ向テ論議ヲ容レ以テ日ニ政治ノ改進ヲ謀ラントスル者ノ如シ勢斯ノ如シ此際ニ當テ政府ガ明治八年ノ聖詔ニ基キ斷然立憲ノ政体ヲ立テ人民ヲシテ國政ニ參與セシムルアレバ即チ所謂ル勢ニ因テ而シテ政策ヲ定ムル者ニシテ國家ノ治平無事ナル猶ホ順風ニ乘シテ船ヲ海ニ行ル如ク上下互ニ相疾

視スルノ患ヲ防グニ足ラン然ルヲ政府ハ何ノ見ル所アリシヤ先キニハ集會條例ヲ頒布シ後ニハ第五十三號ノ布告ヲ發シ其他彼レニ此レニ吾人ヨリ之ヲ見レバ其措置或ハ國勢ノ向フ所ニ背クガ如キモノナシトセズ是ニ於テ乎天下ノ志士論客ハ悉ク其政策ノ大ニ國勢ニ背馳スルヿヲ論ゼザルハナク直論讜議ノ盛ナル我邦未ダ曾テ聞カザル所ナリ故ニ政府若シ此際ニ當テ公議輿論ノ向フ所ニ從ヒ斷然從來ノ政策ヲ一變セザレバ如何ナル變動ヲ社會ニ現出スルモ測ル可ラザルノ勢アリキ抑モ時ニ應ジ機ニ乘ジテ政事ヲ改良シ政府前途ノ方向ヲ明示スルハ獨リ明君賢主ノ能ク爲ス所ニシテ凡庸君主ノ決シテ爲シ得ベキ所ニアラズ我明治天皇陛下ノ聰明ナル國勢ノ稍ク變進シ人民政

事思想ノ益ス煥發セル今日ニ於テ敢テ專制ノ政事ヲ以テ永ク一國ヲ統御スルヿ能ハザルヲ認知セラレ本月十二日ヲ以テ更ニ一篇ノ勅諭ヲ垂レ以テ明治八年四月十四日ノ聖詔ヲ斷然實地ニ行ハンヿヲ天下公衆ニ告ケ給ヒタリ其勅諭ニ曰ク

朕祖宗二千五百有餘年ノ鴻緒ヲ嗣キ中古紐ヲ解クノ乾綱ヲ振張シ太政ノ統一ヲ總攬シ又夙ニ立憲ノ政體ヲ建テ後世子孫繼グベキノ業ヲ爲サンコトヲ期ス嚮ニ明治八年ニ元老院ヲ設ケ十一年ニ府縣會ヲ開カシム此レ皆漸次基ヲ創メ序ニ循テ步ヲ進ムルノ道ニ由ルニ非ザルハ莫シ爾有衆亦朕ガ心ヲ諒トセン顧ミルニ立國ノ體、國各宜キヲ殊ニス非常ノ事業、實ニ輕

舉ニ便ナラズ我祖我宗照臨シテ上ニアリ遺烈ヲ揚ゲ洪模ヲ弘メ古今ヲ變通シ斷シテ之ヲ行フ責朕ガ躬ニ在リ將ニ明治二十三年ヲ期シ議員ヲ召シ國會ヲ開キ以テ朕カ初志ヲ成サントス今在廷臣僚ニ命シ假スニ時日ヲ以テシ經畫ノ責ニ當ラシム其組織權限ニ至テハ朕親ラ裒ヲ裁シ時ニ及ンデ公布スル所アラントス朕惟フニ人心進ムニ偏シテ時會速ナルヲ競フ浮言相動カシ竟ニ大計ヲ遺ル是レ宜シク今ニ及テ謨訓ヲ明徵シ以テ朝野臣民ニ公示スベシ若シ仍ホ故サラニ躁急ヲ爭ヒ事變ヲ煽シ國安ヲ害スル者アラバ處スルニ國典ヲ以テスベシ特ニ茲ニ明言シ爾有衆ニ諭ス

世人ハ此勅諭ヲ奉讀シテ如何ナル感覺ヲ起スヤ蓋シ我明

治天皇陛下ノ能ク社會ノ公論ニ依テ政策ヲ定メ給フ御心ノ厚キヲ感佩スル一段ニ至テハ都人士ト雖ヒ邊陬僻地ノ人ト雖ヒ孰レモ皆同一ナラザルハナカルベキナリ然リトト雖ヒ此勅諭ノ解釋法ニ至テハ志士論客ノ間ニ大ニ見ヲ殊ニスルアリ甲論者ハ曰ク今回ノ勅諭ニ據レバ吾人ノ旦夕ニ希望スル所ノ國會ハ來ル明治二十三年即チ今ヨリ十年ノ後ニ開設サルヽナリ云々ト乙論者ハ曰ク勅諭ノ明文ニ將ニ明治二十三年ヲ期シ議員ヲ召シ國會ヲ開キ云々トアリ是レ今年ヨリ明治二十三年迄ノ間ニ國會ヲ開設スルト解釋スベク決シテ論者ノ言ノ如ク二十三年ニ至テ初メテ國會ヲ開設スルト言フノ意ニ非ラザルベシ若シ其レ勅諭ノ明文ヲシテ明治二十三年ヲ以テ議員ヲ召シ國會ヲ開キ

云々トアラシメバ論者ノ説ノ如ク同年ニ至リ初メテ之ヲ開設スルノ主意タルヿ固ヨリ疑フ可カラズト雖モ既ニ勅諭ノ明文ニ明治二十三年ヲ期シトアルヲ以テ之ヲ觀レバ在廷ノ有司ニシテ其經畫ヲ速成セバ國會ハ明治二十三年ヲ待タズシテ明治十七年又ハ十八、十九年ニモ開設サルヽノ聖意ナラン苟モ此解釋ヲシテ聖意ノ在ル所ニ背クナカラシメン歟國會開設ノ期ヲシテ二十三年前ニ在ラシムルハ在廷ノ有司ガ其經畫ノ責ヲ速ニ盡スト否トニ在リ嗚呼在廷有司ノ天皇陛下ニ對シ又吾人々民ニ對スルノ責モ亦大ナル哉云々ト甲乙兩論者ノ勅諭解釋法ハ孰レカ其當ヲ得タル者ナルヤ吾輩ノ淺學無識ナル未ダ充分ニ之ヲ判定スルヿ能ハズト雖モ世間普通契約書ノ解釋法ニ據レバ何

年何月何日ヲ期シトアル片ハ其期日ハ義務者ガ或ル事ヲ行ヒ或ハ行ハザル時限ノ極度ヲ示ス者ニシテ該義務者ガ期日ノ前ニ於テ其義務ヲ行フハ固ヨリ其人ノ隨意タリ故ニ亦義務者ガ其期日ノ前ニ義務ヲ行ハザルモ權理者ニ於テ敢テ之ヲ督促スルヿヲ得ザルハ是レ普通ノ道理ナリ然ラバ則チ今回ノ勅諭ノ明文ニ明治二十三年ヲ期シ云々在廷臣僚ニ命シ假スニ時日ヲ以テシ經畫ノ責ニ當ラシム云々トアルヲ以テ觀レバ乙論者ノ説ノ如ク在廷有司ガ國會開設ノ經畫ヲ終ラバ明治二十三年ニ至ラザルモ直ニ之ヲ開設サルヽノ聖意ナラント云フモ決シテ不當ニ非ラザルベシ然レモ勅文既ニ二十三年ヲ期シ云々トアル以上ハ我政府ガ二十三年迄國會ヲ開設セザルモ臣民タル者敢テ之

テ督促スルヿナ得ザルハ固ヨリ論テ要セザルナリ嗚呼勅諭ノ意味ハ深遠ナリ吾輩淺學者ノ容易ニ解釋シ得ル所ニ非ラズ姑ラク記シテ世人ノ教テ待ツト云爾

第三篇　政權論

青木匡稿

吾輩曾テ之ヲヒルドレッス氏ニ聞ク政權ト財産トハ互ニ密接ノ關係ヲ有スル者ニシテ財産時トシテ政權ヲ掌握スルノ器トナリ政權亦時トシテ財産ヲ蓄積スルノ具トナルヿアリト其意以爲ク古ヘ朦昧ノ世ニ當テハ政權ト財産トハ互ニ器トナリ用トナリテ相離レサルノ狀勢アリト言フニアリテ數千萬世ノ後ニ至ル迄敢テ其狀勢ヲ變スルヿナシト言フニハアラザルベシ何トナレバ則チ吾輩ガ前篇ニ畧ホ辨明シタル如ク大古ヨリ中古ノ末ニ至ル迄ハ治者ト

被治者トノ關係未ダ明カナラズ政治法律ノ目的亦未ダ定マラズ衆庶各々政府ヲ以テ一身ノ私慾ヲ逞フスルノ場所ト思惟シ君主帝王ノ地位ヲ以テ一已ノ野心ヲ滿足スルノ地位ト誤認セリ其レ斯ノ如シ故ニ民ノ野心アル者ハ騙瞞詐僞或ハ腕力ヲ用テ主治者ノ地位ヲ僭奪シ以テ其配下ノ人民ガ保有セル財産貨寶ハ恰モ自家ノ所有物ノゴトク看做シ租稅、用金又ハ其他諸種ノ名義ヲ設ケテ濫ニ之ヲ掠取シ而シテ宮殿衣裳及ビ飲食ニ至ル迄悉ク重歛ノ結果ヲ顯ハサヽルハナシ是レ政權ヲ以テ財産ヲ蓄積シ富榮ヲ私スルノ器具ト爲ス者ナリ之ニ反シテ民ノ其初ヨリ財産ト野心トヲ併セ有スル者ハ一方ニ於テハ世人ノ喜ビヲ買ヒ信ヲ求メンガ爲メニ大ニ貨財ヲ抛テ人ノ危急ヲ救ヒ貧困ヲ

憐ミ他ノ一方ニ於テハ已レノ貨財ヲ用ヒテ其家屋及ビ衣裳ヲ飾リ所謂ル外觀ヲ粧フテ以テ愚民ヲ瞞着シ衆庶子ノ如ク服來スルヲ俟テ後ヲ稍ク自ラ治者ノ地位ヲ占領センコヲ企謀シ遂ニ其目的ヲ果ス者住々ニシテ之レアリ是レ即チヒルドレツス氏ガ所謂ル財産時トシテ政權ヲ掌握スルノ器具トナル者ニシテ吾輩ガ本論第一篇ニ財産ヲ以テ政權ヲ掌握スル數多原因ノ一ニ置キシモ亦此意ニ外ナラザルナリ然レ𪜈斯ハ是レ往古ノ狀勢ナリ近世ニ至テハ法律及ビ條例ニ依テ財産者ニ政權ヲ附與スルコアリコレ財産者ガ自ラ進ンテ貨財ヲ抛ツル如キハ絶ヘテ無クシテ稀ニ有ル所ナリ故ニヒルドレツス氏ノ意ヲシテ數千萬世ノ後ニ至ル迄財産ハ政權ヲ占

領スルノ器具タルコヲ誤マラズト言フノ意ナラシメバ即チ大ニ見解ヲ誤ル者ト謂ハザルヲ得ズ何ゾヤ曰ク今時ニ於テ政權ヲ有スル者ハ必ズ之ヲ有スルノ實因アルモノニシテ彼ノ財寶ヲ投シ貨産ヲ擲テ政權ヲ買得シタルニ非ラザルベケレバナリ

其レ然リ然ト雖𪜈上文既ニ端緒ヲ示シタル如ク政府ガ法律ニ依リ條例ニ由テ財産者ニ政權ヲ附與スルコハ今日ニ於テ盛ニ行ハルヽ所ナリ即チ我邦ニ於テ地租五圓又ハ拾圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選擧及ヒ被選擧人トナルコヲ得ルガ如キ或ハ歐洲諸國ニ於テ若干以上ノ恆産アル者ニ限リ國會ノ議員トナリ撰擧人トナルヲ得ルコノ如キ皆法律ニ依テ財産者ニ政權ヲ附與スル者ト謂フベキナ

リ今夫レ歐洲諸國ニ於テ人民ガ政權ニ參與スルヤ必ズ若干ノ財産ヲ有セザル可ラザルノ制ヲ設ケタルノ利害ハ姑ク措テ之ヲ論ゼズ今日我邦ニ於テ地租拾圓以上ヲ納ムル者ニ非ラザレバ地方ノ政權ニ參與スルヿヲ得ザルノ制アルハ果シテ歐洲諸國ノ政府ガ國會議員トナルニ財産ノ制限ヲ設ケタルガ如キ効用ヲ實際ニ奏スルアル歟此一事ニ就テハ吾輩稍ヤ疑惑ナキ能ハザルナリ思フニ財産ヲ重ンズルノ情ハ人々各々相殊ナルヿナク地租壹圓ヲ納ムル者ガ壹圓ヲ重ズルノ情ハ同拾圓ヲ納ムル者ガ其拾圓ヲ重ズルガ如キナリ加之何レノ邦國ニ於ケルモ財産アル者必ズシモ智識ヲ有シ德義ヲ備フルニ非ラズ又貧困ナル者必ズシモ愚鈍ニシテ且ツ不正ナリト言フ可ラズ殊ニ我邦ニ於

テハ貧者ノ間ニ智識多ク富者ノ間ニ智識乏シキノ實狀アリテ歐米諸國ノ人民ガ財産ト智識トヲ兼有スルガ如キ者ニアラザルナリ然ラバ則チ財産アル者ニ非ラザレバ政權ニ參與スルヿ能ハザルノ制ハ啻ニ理論上ニ於テ其正當ヲ得ザルノミナラズ實際上ニ於テモ亦此制限ヲ設ケタルノ効用ハ決シテ見ルヿ能ハズ且ツヤ政治法律ナル者ハ機ニ觸レ時ニ應ジテ變進更革セザル可ラザルノ要アルヲ以テ苟モ立法權若クハ行政權ヲ保握スル者ハ其機ヲ察シ時ヲ知ルノ力ナカル可ラズ而シテ此機ヲ察シ時ヲ知ルノ力ハ則チ財産ニアラズシテ智識ナリ故ニ立法者ヲ選ビ行政者ヲ舉クル皆財産ノ制限ニ依ラズシテ智識ヲ有シ各望ヲ備フル者ハ自由ニ政權ニ參與スルヿヲ得ルノ時ニ至レバ吾

人ハ初テ其幸福ヲ全フスルヿヲ得ベク一國若クハ一地方ノ政權ヲ財産者ニ委シ所謂財産ヲ以テ政權ヲ掌握スルノ器具ト爲スガ如キハ即チ開明世界ノ一大欠典ト謂ハザル可ラズ嗚呼吾人カ財産者ニ非ラサレバ政權ヲ保得スルヿ能ハザルノ制限ヲシテ全ク其跡ヲ社會ニ絶タシムルノ日ニ會フハ其レ何レノ時ニ在ル歟其レ何レノ時ニ在ル歟

新聞記者及代言人諸氏ニ告グ

東京政談演說會ニ於テ　志摩萬次郎演說

社會益ス開明ニ赴クヤ必ズ其原由ナカルベカラズ而シテ其原由タル固ヨリ僅數ニ止ラザルベシト雖モ今其最モ著シキ原由ヲ繹ヌレバ政府ナルヤ將タ農商ナルヤ若シ其レ農商ノゴトキハ其目的一個ノ福利ヲ求ムルニアリテ所謂ル私利ニ汲々タルモノナリ又政府ノ如キハ吾人々民ノ幸

福上ニ來ル所ノ害惡ヲ除去スルニ止ルモノナレバ政府若クハ農商ノミニ向テ社會ノ開明ヲ望ムモ決シテ得ベカラザルナリ然ラバ則チ何人カ能ク社會ノ開明ヲ進ムルモノナルヅ余ハ斷ジテ云ハントス新聞記者及代言人即チ其人ナリト諸君試ミニ新聞記者及代言人ニ向テ各自職業ノ目的ヲ問ヘ代言人ハ必ズ答ヘテ云ハントス我々ハ社會人民ノ權理ヲ伸張スルヿヲ目的トスルモノナリト新聞記者亦答ヘテ云ハントス我々ハ社會ノ耳目トナリ輿論ノ先導トナリテ以テ社會ノ幸福ヲ增進スルヿヲ計ルモノナリト去レバ新聞記者及代言人ハ其職既ニ公利公益ヲ目的トスルモノニ非ズヤ加之新聞記者代言人ノ位置ハ名譽ノ位置ナリ既ニ名譽ノ位置ヲ占ム新聞記者及ビ代言人タル者ノ社

會ニ對シテ尽スベキ責任ノ大ナルハ亦自然ニ免ル可ラザル所タリ且夫レ諸君ハ子弟養育ノ義務ヲ其父母ニ負擔セシムル所以ヲ知ルヤ父母ニ於テ其義務ヲ負擔スルモノハ父母其子ヲ設ケタルガ故ニ非ズシテ唯其子ヲ愛スルノ心アルガ爲メノミ是ニ由テ之ヲ觀レバ新聞記者代言人ノ如キハ其職既ニ公利公益ヲ目的トスルモノナレバ社會ヘ對スルノ情亦自ラ厚カルベキヲ以テ社會ノ改進ヲ謀ルノ責任ハ新聞記者代言人ヲシテ之ヲ負擔セシムルヲ可トス否、新聞記者代言人ハ自ラ進ンデ其責ニ當ラザルヲ得ズ嗚呼新聞記者代言人ハ任重フシテ道遠シト云フ者ニ非ラズシテ何ゾヤ

今ヤ新聞記者代言人ハ能ク其責任ヲ尽セリト云フベキカ

余ガ見ル所ヲ以テスレハ未ダ充分ノ責任ヲ尽サヾルモノト謂ハザルベカラス斯ノ如ク論斷セバ新聞記者或ハ云ハン我々ハ社會ニ對スル利害ハ細大漏サズ未ダ曾テ之ヲ公論シテ衆庶ニ報道セザルヿナシト其レ然リ然レモ其之ヲ公論スルヤ單ニ通常ノ義務ヲ盡スモノニ過ギズ何トナレバ則チ其價ヲ得ル所ノ新聞紙上ニ於テ之ヲ公論スルモノナレバナリ新聞記者又或ハ云ハントス我々ハ府下ニ地方ニ往々演説ヲナシ以テ人心ヲ鼓舞スト然レモ毎月一二回ノ演説ヲ以テ政事法律其他ノ事件ヲ論ズレバトテ決シテ重要ノ責任ヲ尽セシモノト云フ可カラズ新聞記者既ニ斯ノ如シ然ラバ代言人ハ如何ト云フニ是レ亦社會ニ於テ著シキ功績アルヿナク其胸中殆ンド政事思想ナキニ似タリ

吾人豈ニ慨嘆ニ堪ユベケンヤ抑モ我國今日ノ狀勢ハ流レニ隨テ船ヲ行ルガ如ク勞セズシテ駸々開明ニ進ムノ秋ナルカ諸君刮目シテ看ヨ官有物拂下處分ノ如キアリテ颶風北ニ逆起シ國會開設ノ聲ハ萬里ノ外ニ排斥セラレテ恰モ船舵將ニ破壞セントシ我々ハ大洋ニ漂泊セルモノヽ如シ豈袖手傍觀スベキノ秋ナランヤ(今回ノ勅諭及ビ布達ニ依リ國會ハ來ル二十三年ニ開設シ開拓使拂下ハ取消ニ附サレタレモ本論ノ如キ新聞記者及ヒ代言人ニ忠告スルヲ以テ精神トスレバ演說ノ儘此ニ筆記ス)然ラバ新聞記者代言人ハ如何ガ爲サバ可ナランヤ余ガ考フル所ニ依レバ三箇ノ要件アリ其一ハ天下ノ有志ヨリ出金セシメ以テ民權ノ基礎ヲ堅クス其二ハ學校ヲ設

立シ以テ政事家ヲ養成ス其三ハ各地ニ散在セル有志ヲ團結シテ以テ其力ヲ一ニスルヿ是ナリ蓋シ此ノ三件ノ緊要ナルハ別ニ說明ヲ加ヘザルモ諸君ノ能ク熟知セラル、所ナリト信ズルヲ以テ今姑ク之ヲ措キ此事果シテ今日ニ實行シ得ルヤ否ヲ畧述セントス諸君ハ知ラズヤ彼ノ交詢社ノ如キ其目的ハ實ニ漠然タルモ地方ノ社員ハ五十錢都下ノ社員ハ一圓ノ出金ヲナシ又斯文學會ノ如キハ唯漢學ヲ修ムルノ目的ナルモ社員ノ數ハ既ニ數千ノ多キニ至リ而シテ若干ノ出金ヲナスニアラズヤ且宗教ノ信徒ヲ看ヨ一朝ニシテ數千萬圓ノ出金ヲ爲スニ非ズヤ然ラバ此ノ最モ貴重ナル自由ヲ擴揮スルノ目的ヲ以テ醵金ヲ企ツレバ有志者豈ニ其募ニ應ゼザランヤ又學校ノ如キ今ヤ全國到ル

所トシテ政事學ニ熱心スル者多キヲ以テ其之ヲ設立スルヤ千里笈ヲ負フテ來ル者續々踵ヲ接スルニ至ルハ敢テ疑フ所ニ非ズ而シテ第三ノ事業タル團結ノ如キモ今日ノ人心ハ專ラ自由ヲ煩發シ國會ヲ開設スルノ一點ニ傾向スルモ所謂獨立ノ氣力ヲ帶ブル者ニ至テハ甚ダ勘ナク隨テ其據ル所ヲ求ムルカ如キ事情アレバ之レガ結合ヲ計ル豈難シトセンヤ斯ク論ジ來レバ此三件ハ決シテ爲シ能ハザル事柄ニ非ズ人アリ若シ此事實地ニ行ハレズト言フ者アラバ余ハ之ニ答テ言ハントス此事決シテ行ハレザルニ非ラズ行ハザルナリト且ツ看ヨ德川幕府ハ兵備今日ノ如ク精ナラズ其政畧モ亦今日ノ如ク密ナラズ其通信モ今日ノ如ク便ナラズ加之內既ニ朽腐シテ又救治スベカラザルノ事

情アリタルニ非ラズヤ然レトモ其政權ヲ奉還スルヿノ如キ百戰ノ後ニアリテ明治維新ノ事業ハ決シテ一朝ノ擧ニ出テタルモノニ非ザルナリ然ラバ則チ今日ノ有志者即チ新聞記者代言人ニシテ社會上流ノ人士タルノ責任ヲ盡シ我日本帝國ノ政治ヲシテ益ス改進セシメントナレバ豈ニ維新當時ノ勤王家ニ倍徙スルノ實力ヲ有セズシテ可ナランヤ新聞記者及ビ代言人豈ニ勉メザルベケンヤ

誌中起草者ノ名ヲ記サヾル者ハ悉ク編輯者ノ起稿ニ係ル讀者諒セヨ

社告

本誌ノ儀是迄求友社ニテ發兌致來候處先般協議ノ上櫻鳴雜誌社ヘ讓受ノ約束相整ヒ既ニ其筋ヘ讓受願書差出置候ニ付不日許可可相成ト存候就テハ求友社ニテ發兌ノ雜誌即チ第廿七號迄ノ代價滯ノ分ハ本社ヨリ受取人差出又同社ヘ向ケ廿八號ヨリ後ノ分前金御拂込ノ方ヘハ同ク本社ヨリ雜誌遞送致候間此段廣告候也

主幹　青木匡
編輯兼印刷　鈴木五郎

本局　東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾番地
櫻鳴雜誌社

本紙ノ儀ハ代價幷ニ郵便税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文ヲ冀フ但シ郵便切手ヲ以テ御拂込ハ御斷申上候

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵税申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同同區元大坂町　法木德兵衛堂
同神田區雉子町　巖々堂
東京銀座四丁目　博聞社
同牛込神樂坂一丁目　積善堂
同神田表神保町　大黑屋惣次郎

取次所

同芝區琴平町　靜霞堂
同同區三田同朋町　靜海堂
同同區新櫻田町　春陽堂
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏
美濃岐阜太田町　春陽舍
信州松本南深志町　羅田重平
信州飯田二番町　杉本平七

同赤坂裏壹丁目　赤川五平　鹿兒嶋朝日通り　藤井三代治
同日本橋區久松町　大津屋善兵衛　駿州靜岡江川町　新々堂
同日本橋通一丁目　伊勢屋金次郎　江州彦根旗手町　十一屋半四郎
同神田今川小路　大坂屋彦兵衛　大坂本町四丁目　岡嶋眞七
同日本橋新和泉町　文圃堂　奥州盛岡本町　澤田正助
同淺草元鳥越町　共致社　尾州名古屋本町　吉田道雄
同神田美土代町　關久　箱館地藏町六丁目　脩文堂
同神田表神保町　兒玉直次郎　大坂堂嶋中一丁目　靜雲堂
同芝區飯倉三丁目　駿河屋　讃州丸亀通町　日新館
同神田錦町一丁目　中嶋幸太郎　神戸長狹通七丁目　青井三十郎
同神田神保町　有則軒　水戸上市泉町　川又銀藏
同本郷湯嶋天神町　文友堂　阿波德島中通　阪井萬吉
同淺草地内　長尾　紀州和歌山本町　平井文助
同淺草並木町　西村安次郎　播州姫路俵町　吾車屋
同南傳馬町二丁目　伊勢屋喜三郎　信州松本中町　竹裏青雲堂

定時刊行

明治十四年十一月十五日發兌

○奢侈ノ説　高梨哲四郎演説

○佛國革命原因論　島田三郎講述

東京帝國大學圖書之印

嚶鳴雜誌　第三拾三號

嚶鳴雜誌第三拾三號

奢侈ノ說

東京政談演說會ニ於テ　高梨哲四郎演說

聽衆諸君、奢侈ハ人間歡樂中ノ最大歡樂ナリ身ニ錦繡綾羅ヲ纏ヒ口ニ山海ノ珍味ヲ食ミ居ルニ大厦高樓ヲ構ヘ優々以テ一世ヲ經過スル則チ是レ古來各國君王ノ奢侈ナリ苟モ耳目鼻口ヲ備ヘ五官ノ妙用ヲ有スルノ人誰レカ之ヲ嫌惡スルモノアランヤ又此歡樂ヲ取ル何ンノ弊害カ之レアランヤ然ルニ古代奢侈ヲ極メタル國君ニシテ一朝其政權ヲ失シ社稷ノ覆滅ヲ招クモノアレバ乃チ東方亞細亞人ノ陋見ナル其覆滅ニ至リタルモノハ皆國君ガ奢侈ヲ極メタルノ結果ナリ奢侈ハ一國ヲ禍スルノ凶兆ナリト論辨セサルハナシ其說ニ曰ク往昔支那ニ奢侈ヲ以テ著ハルヽ秦ノ

始皇隋ノ煬帝ガ遂ニ國家ノ滅亡ヲ來タセシハ皆奢侈ノ致ス所ナリ見ニ始皇在位ノ間實ニ八目ヲ驚カス如キ大觀ナル宮殿廊閣ヲ城キ此ニ畜フニ三千ノ宮女ヲ以テシ奢侈放縱至ラサル所ナカリシニ非ラスヤ若シ始皇ヲシテ斯ノ如ク奢侈ヲ極メサラシメバ假令其即位ノ初メ企圖セシ目的ヲ達スル能ハザルモ僅々三世ノ後空シク漢ノ爲メニ滅ボサルヽ如キ「ナカルベシ煬帝ニ於ルモ亦然リ酒池肉林ノ宴ヲ張ラズ長堤萬里綵花繡葉ノ遊ヲ爲サヾラシメバ焉ンゾ其邦土ヲ舉ゲテ唐ノ有ト爲ス如キ「アランヤ蓋シ我邦德川氏ノ覇業三百年ノ久シキヲ保チタルハ祖先家康自テ儉素ヲ旨トシ其子孫ヲシテ之ヲ墨守セシメタルニ因ルナリト此言果シテ其當ヲ得タル者ナルカ余ガ見ル所ヲ以テ

スレバ大ニ其然ラザルヲ知ルナリ

論者ノ説ノ如ク秦皇帝隋煬帝ノ滅亡セシハ專ラ奢侈ニ原因スルトセンカ何ニ故ニ彼ノ二帝ハ同房宮ヲ築キ象船ヲ造リタルト同時ニ滅亡セザリシヅヤ蓋シ是レ恐ラクハ秦帝ノ英武ナル假令奢侈ノ行爲アリシト雖ヒ未ダ他ニ秦國人民ノ欽望スル所アリシニ根根スルナラン煬帝庸主ナリト雖ヒ亦必ス然ラザルハナカルベシ其レ然リ秦ハ三世ニシテ亡ビ隋ハ煬帝崩御ノ後ニ滅ブルハ奢侈ノ行爲ニ根スルニ非ラズシテ其施政ノ際ニ方テ敢テ民心ヲ顧ミザルニ因ルナカランカ是レ奢侈ハ國家ヲ滅スノ原因ニ非ザルノ第一証ナリ且ツ余ハ一國ノ人心ヲ得テ百歳ノ後マデ能ク其業ヲ滅絶セザル英雄アルヲ聞ケヒ未ダ儉素ヲ主トシ諺ニ

所謂爪ニ火ヲ點シテ國家ヲ保存セシ君主アルヲ聞カザルナリ是レ又奢侈ハ國家ヲ滅スノ原因ニアラザルノ第二証ナリ

然ラバ則チ一國君主タルモノ奢侈ヲ以テ滅ビ儉素ヲ以テ存スルニアラズシテ其國人心ノ乖戻ト歸服トニ因テ社稷ノ覆滅ヲ招クハ余ノ喋々ヲ待タスシテ明ナリ余ハ今本論ノ旨趣ヲシテ益ス確固ナラシメンガ爲メ茲ニ我宮内省壹ケ年ノ定額ト英國宮内省壹ケ年ノ定額トヲ掲ゲ之ヲ對比シテ以テ英國王ノ華美ヲ極ムルヿヲ証セン

日本宮内省ノ總費額

明治十四年度　三十五萬四千圓（豫算）

英國ヒクトリヤ女王即位元年議院ニ於テ議定セシ宮内

省每年ノ總費額左ノ如シ

英貨三十八萬五千磅

之レヲ我通貨ニ算セバ百九十二萬五千圓ナリ

内譯

八十六萬二千五百圓	皇室費
六十五萬六千三百圓	給料
三十萬圓	御手元金
六萬六千圓	別途金
四萬二千圓	臨時費

此ノ表ニ由テ觀レバ英國王ハ每年我通貨百九十二萬五千圓ヲ供フルノ國王ナリコノ巨額ナル金員ヲ消費スルヲ以テ考フレハ其壯觀麗美ヲ極ムルハ決シテ疑ヲ容ルベキニ

アラザルナリ其レ斯ノ如ク英國王ハ平生奢侈ヲ極ムルニモ係ハラズ其國ハ駸々乎トシテ日ニ盛大ニ赴キ自ラ富强ヲ以テ宇内ニ誇稱シテ毫モ羞ル所ナキニ非ラスヤ而シテ其國人民ノ皇室ニ對シ巨額ノ費用ヲ支出シテ怪ム色ナキハ抑モ何ゾヤ他ナシ英國制度法律ノ善良ナルニ因レバナリ故ニ余ハ斷シテ言ハントス凡ソ一國ヲシテ滅亡セシムルモノハ其國君ノ奢侈儉素ノ如何ニ關セズシテ其國法ノ利害得失如何ニ關スルナリト斯ク論ジ來レバ始皇帝煬帝ノ滅亡セシハ奢侈ニアラズシテ其法度ノ善良ナラザルニ由ルヤ明カナリ若シ秦皇隋帝ヲシテ當時既ニ英國ノ如キ制度ヲ用ヒシメシナレバ縱令三千ノ宮女ヲ畜ヒ酒池肉林ノ宴遊ヲ爲スモ豈其邦國ヲシテ茶毒ヲ蒙ラシムル如キヿ

アランヤ否國民ヲシテ永ク其配下ニ在ラシムルニ於テ何ノ難キヿカ之レアランヤ故ニ曰ク奢侈ハ國家ノ滅亡ヲ招ク者ニ非ラスシテ其國ノ制度法律ノ善不善即チ一國人心ヲ得ルト否トハ國ノ覆滅ヲ致ス原因ナリ爲政者タル者豈察セザルベケンヤ恐レザルベケンヤ

佛國革命原因論ノ緒言　島田三郎稿

嗟夫慘ナルカナ佛國ノ革命ヤ國王ヲ戕ヒ貴族ヲ殲シ而シテ民黨互ニ相攻擊シテ以テ屠戮シ白骨ヲ巴理ノ府ニ堆カフシ般血ヲ清因ノ河ニ漲ラシ其禍全國ニ延テ生靈幾ンド子遺アルナシ前古絕無ノ至變ト謂ツベシ抑モ事變ノ生ズルヤ必ズ由テ來ル所ノモノアラン覃思精慮シテ以テ其源ヲ究ムレバ亦以テ後鑑ニ供スルニ足ルモノアルナリ史家

革命ノ變ヲ論シテ曰ク苛稅重歛ヲ以テ民心ヲ失フナリ曰ク擅制抑壓ハ以テ民怨ヲ買フナリ曰ク府庫ノ匱乏帑貲ノ不給以テ民信ヲ傷フナリ此ニ一アレバ皆以テ其國ヲ亡ボスニ足ル而シテ佛國ハ實ニ之レアリ諸家ノ論未タ必ズシモ當ヲ失フモノト爲サズ乃チ貌克爾氏ノ佛國革命原因論ノ一篇ニ至テハ則チ考據該博議論精確最モ其肯綮ヲ得タルモノナリ夫レ偉人志士ハ國民ノ具瞻スル所ロ蓋シ其氣魄以テ後世ヲ奮起スルニ足ル況ンヤ其時ヲ同フスル者オヤ其論辨以テ異邦ヲ風動スルニ足ル況ンヤ其國ヲ同フスル者オヤ然リ而シテ當時ノ政府ハ徒ニ逆用ノ害ヲ爲スヲ懼レテ而シテ順用ノ利ノ焉ヨリ大ナル者アルヲ察セズ乃チ視テ以テ豺狼ト爲シ虎豹ト爲シ驅テ而シテ諸ヲ陷穽ノ

中ニ投シ悲憤ノ氣ヲシテ發泄スル所無ラシム於是乎大聲疾呼シテ正理ノ堅城ニ據リ言論ノ利器ヲ弄シテ復抑壓箝制スベカラザルナリ之ヲ水ニ譬フルニ疏瀹シテ以テ導ケバ則チ灌漑ノ利天下ニ被ラン抑テ而シテ阻ムニ及テハ潰裂四出堰堤ヲ決シ城廓ヲ隳チ其禍屆ラザル所ナシ是レ豈ニ水ノ性ナランヤ抑モ水ヲ治ムル者ノ過ナリ書ニ曰ク懼ルヽ可キ民ニ非ズヤト然リト雖モ民ノ嚮背ハ則チ夫ノ偉人志士實ニ之レガ標準ヲ爲ス佛國ノ變方サニ其證ナリ是レ余ノ尤モ此篇ヲ信ジテ疑ハズ而シテ此ノ講述アル所以ナリ嗚呼佛國ノ事往キヌ後ノ佛國タルモノ其レ亦戒ムル所ロヲ知ラン哉

佛國革命原因論

佛王ルイ十四世剛毅ノ性ヲ負ヒ大權ヲ收攬シ一身ノ虛譽ヲ務メ國家ノ實利ヲ顧ミズ外、兵ヲ隣國ニ搆ヘテ內、財ヲ民力ニ耗シ威權ヲ束テ之ヲ朝廷ニ集メ抑壓至ラザルナク嘗テ自ラ言フ予ハ國家ナリト其剛愎自尊眼中人ナキノ狀以テ見ルベキナリ是ノ時ニ方リ政府有テ人民ナク王家有テ邦國ナシ而カモ其末路ニ及ビ兵威外ニ挫ケ財力內ニ盡キ漸クニ困頓ヲ致セリ其狀タル恰モ大厦ノ柱礎既ニ朽チ纔カニ外牆ノ觀ヲ粧フ如ク之ヲ望ムニ巍峩然タルモ風雨ノ一ビ至ル竟ニ之レガ崩頹ヲ免レザルナリ一千七百十五年ルイ殂ス國民王ノ屬纊ヲ聞クヤ讙呼抃舞措ク所ヲ知ラズ是ニ於テ壓抑ノ暴梏忽チ解ケ頓ニ反動ノ勢ヲ現ハセリ其猛烈ナルヿ蓋シ近世歷史ニ例シナキ景況ニ至レリ而シ

テ人民其嘗テ强テ邊幅ヲ飾レル制抑ノ勞ヲ償ハントト欲シ無賴放逸ノ念ヲ發シ風俗大ニ壞敗シ變ジテ放蕩世界トハナレリ然レ𪜈英邁ノ士其間ニ起ルアリ眼ヲ高尙ノ點ニ注ギ想ヲ自由ノ境ニ馳セ決シテ奕棋ノ室、狹斜ノ疆ニ遮隔セラレズ毅然トシテ國民ガ斷喪セラレタル言論ノ自由ヲ恢復スルノ志ヲ抱キシカバ勢其眼睛ヲ自由流行ノ國ニ注ガザルヲ得ズ此時ニ方リ宇內ニ於テ自由ノ存スル所ハ唯一ノ英國アルノミ而シテ佛人翹望ノ專心ハ即チ後來ニ國ノ智識相貫通スル所以ノ起原ニシテ之ヨリ生ズル所ノ結果甚ダ宏大ナルヲ見レバ此問題ハ十八世紀ノ歷史ニ於テ最大要點ト謂フ可キ者ナリ

抑モルイ十四世ノ代ニ方リテハ佛國人民本國ノ聲譽ヲ誇

負スルノ志氣頗ル盛ンニシテ英國ヲ蔑視シ其人民ガ國王ニ叛キ四十年間一王チヤールレス一世ヲ弑殺シ一王ジエームス二世ヲ廢置セシヲ惡クミ不開化ト呼ビ蠻風ト喚ビ輕躁浮薄開化人民ノ注意スベキノ要質ヲ有セズト喇リ英國ノ法律英國ノ文字英國ノ風習ハ全ク佛國ニ知ラレザリキ蓋シ十七世紀ノ末ニ方リ文藝科學ノ士ニシテ英語ニ通ズル者ハ國內僅カニ五人ニ過ギス而カモ亦秀特ノ士ニアラズ然ルニルイノ代久シク壓抑ノ下ニ立チ實驗スル所アッテ遂ニ疑ヲ自家ノ說ニ生ジ漸ク反省ノ念ヲ興サシム乃チ謂フ壓制ノ政ハ國ノ利ニアラジ貴族僧侶ノ集合スル政府ハ開化國ノ爲メニ必ズシモ良制ニアラジト是ニ於テカ眼ヲ轉ジテ英國ヲ顧望スルニ纔カニ一海峽ヲ隔テ而テ人民ハ全ク其有樣ヲ異

ニシ其暴主ヲ罪シ其自由ト繁榮トヲ世界未曾有ノ最高極點ニ進メリ初メハ則チ之ヲ喜ビ遂ニハ之ヲ敬フニ至レリ蓋シ此感覺ハ革命前ニ及ビ文學社會ノ全面ニ行ナハル當初ニ在テ特ニ才學ニ超越セル人ノミ此意想ヲ抱キシナリルイノ即世ト革命發端ノ間年代纔カニ二世一世ハ三十年ヲ經タルノミナルニ凡ソ佛國有名ノ士ハ足或ハ英國ノ地ヲ蹈ミ眼或ハ英國ノ文ヲ解シ而シテ之ヲ兼ヌル者多キニ居レリ彼ノラフエット、モンテスキユー、ミラボー、ローランド夫妻ヴオルテイル、等ノ如キ則チ其人ナリ此等ノ人大抵細心ニ英國ノ言語ヲ學ビ又文學ノ精神ヲ究メ就中ヴオルテールハ力チ文學ニ用ヒ多ク得ル所アリ後チ之ヲ佛國ニ布テ大ニ聲譽ヲ得タリニユートンノ理學ヲ傳ヘロックノ文

書ヲ賛シシエクスピーアノ詩調ヲ學ブ皆佛國學文ノ舊樣ヲ一變スルニ至レリモンテスキユーガ政學モ其理ヲ英國ニ得タリ其英語ヲ學ビ又英國ノ光景ニ服スル唯之ヲ其書ニ筆スルノミナラズ通常ノ語言モ之レヲ奬揚セザルナシ其他諸學士格物歴史理學修身經濟法律ノ學ヨリ歌章謠曲ノ細技ニ至ルマデ爭フテ之ヲ英國ニ取リ或ハ其説ヲ演ベ或ハ其書ヲ譯スル者陸續輩出セリ蓋シ十七世紀ノ末ニ方リ學殖富贍ノ佛人ニシテ其英學ニ兼通スルハ萬中一ヲ得ザリシニ十八世紀ニ及ンデハ凡ソ學士ニシテ英語ヲ修メザル者一人ヲ得ント欲シテ見ルベカラザルニ至レリルブラン十八世紀ノ中世ニ方リ書シテ曰ク吾人ハ英國ノ語ヲ以テ之レヲ雅語ノ列ニ置ケリ吾國ノ婦人之ヲ學ビ此理學

的人民ノ語ヲ修ムル爲メニ意太利語ヲ廢棄セリ我國人ニシテ英語ヲ好マザル者一人ヲ見ント欲スルモ得ザルナリト

夫レ數年前ニ在テ曾テ卑視セシ英語ニシテ今ノ之ヲ好ム斯クノ若ク甚シキ所以ノ者ハ何ゾヤ蓋シルイ十四世ノ死後ニ起リタル剛毅尋思ノ學士ヲ滿足セシム可キノ文學ハ嘗テ之ヲ佛國ニ見ルヲ得ズシテ其ノ之レアルハ唯英國ヲ然リトスレバナリ佛國ノ演曲歌章艶麗綺靡ニシテ能辨ノ巧ヲ盡ス者アリト雖モデカルトノ死後六十年間一人トシテ自カラ思考ヲ發揮セント勵精スルモノヲ見ズ法律修身歴史ノ諸學士モ亦悉ク汚世ノ奴隷臭氣ヲ被ラザルナカリシハ殊ニ痛嘆ニ勝ヘザルナリ

智識ノ擴張ハ學士ノ獨立ト相關シ學士能ク民智ヲ進メ民智能ク學士ヲ助ク夫レ人民學ヲ好メバ學士ハ必ズ奇古解シ難キ文ヲ棄テ平易讀ミ易キ者ヲ取リ務メテ智識ノ廣布ヲ要シ其文章ハ自ラ一變スベシ蓋シ文章ノ此變以テ絶大ノ功ヲ現スルニ足ル何ゾヤ學者ノ獨立心ト學問ノ膽氣ヲ盛壯ナラシムル是ナリ抑書籍ノ文脉難澁讀ムベカラザルカ又ハ人民智識ヲ磨クノ志氣ニ乏シキカ其孰レニ因由セルヲ問ハズ倘モ社會ニ讀書家寡キトキハ學士文人必ズ歐府豪富ノ二者ヲ以テ顧主トナサヾルヲ得ズ又其保護助力ニ依賴セザルヲ得ズシテ學士文人ハ已レヲ保護シ已レヲ助力スル者ニ媚ルノ氣ナキ能ハズ社會ノ此度ニ在ルヤ英國ノ碩學鴻儒モ猶ホ其才學ヲ曲

ケ保護助力家ノ過誤ヲ庇掩スルコト往々ニシテ免レザリキ其結果如何ヲ要スルニ即チ古代承襲ノ迷雲ヲ拂ヒテ新理尋究ノ志ヲ伸ル能ハズ甚シキハ其從屬ノ位置ヲ免レザル怯懦阿附ノ狀態ヲ文學上ニ露出スルニ至ル然ルニ人智開闢文章平易ナルニ及デハ大勢頓ニ變ジ夫ノ汚下惡ム可キノ阿附、陋劣賤ム可キノ怯懦、智力ニ依ラズ位階門閥ニ恭事スルノ俗、威力ヲ道理ト誤認スルノ風、一向ニ舊樣ヲ尙ンデ其弊ノ存スルヲ顧ミズ新奇ヲ惡ンテ其利ノ在ル所ヲ察セザル如キ諸ノ陋俗漸々除キ去リ文人學士ハ人民ノ保護ヲ仰グ(此ニ保護ト云フハ人民ノ讀書家ヲ以テ估客即チ得意先キト爲スノ謂ナリ)ヲ以テ之ガ權利ヲ主張シ其ノ膽氣モ亦頗ル盛ンナリトス是レ英

國十八世紀ノ風氣一變セル所以ノ原由ニシテ而カモ自然ノ進動ニ委セ政制宗教共ニ變換セルガ故ニ大ニ國運ヲ進メ平和ヲ保持セリ若シ夫レ佛國ハルイ十四世權ヲ一身ニ集メ眼中人民ナシ故ニ智識ノ運動ナク國家ノ精神衰頽極マレリ其死後ニ及ンデ諸學士英國ノ氣風ヲ取リ之ヲ內國ニ播キ人智擴張復タ前日ノ光景ニアラズ然ルニルイ十五世ノ昏愚ナル時機ノ既ニ變スルヲ覺ラズ徒ラニ古轍ヲ追ヒ壓抑ノ政ヲ施シ貴族ノ無智ナル僧侶ノ無學ナル同利同心以テ舊時ノ特權ヲ支持シテ以テ人民ノ進動ニ逆フ其ルイ十六世ノ代ニ及ンデ大變亂ヲ釀出シタルハ深ク怪ムニ足ルモノナシ加之ナラズ兩國ノ間今ニ餘響ヲ留メ英ハ常ニ平和ニシテ自由ナリ佛ハ幾

回ノ變亂ヲ經政体屢々改ルモ國遂ニ安寧ヲ得難キノ狀アリ君主擅權ノ害政府立威ノ弊毒ヲ後世ニ流ス嗚呼亦慘ナルカナ

二代ノ間三十年ヲ一代トス佛國中一人モ其政治宗教ニ向テ自由ニ立論スルヿヲ許サレザリキ之レヲ要スルニ人智ハ至狹ノ一隅ニ緊縮セラレ國ノ氣力ハ精神ト共ニ沮喪シ思考ノ題目養分共ニ全ク湮滅セルノ形狀アリ斯ノ如キ國體ナルヲ以テ十八世紀ノ卓識家ガ其國ニ於テ見ルベカラザル養分ヲ外邦ニ求メタルハ勢ノ然ラシムルモノニシテ亦怪ムニ足ラザル可シ佛人其國ヨリ眼ヲ轉ジテ英國ヲ視ルニ其人民巧妙ノ諸學ヲ考尋シ政治宗教ニ向テ毫モ畏懼スル所ナク天賦ノ思考力ヲ現ハシ或ハ國主ヲ殺シ或ハ僧徒ヲ制シ

又實歷ノ功業ヲ不朽ノ大文字ニ留メ因テ以テ遠人ノ智識ヲ開闡シ民種ヲ米州ニ印土ニ移殖シ世界兩裔ノ地ヲ開クアリ是ニ於テ且ツ驚キ且ツ感スルニ至ル實ニ佛國ガ此新奇ノ事業ニ感觸セル斯ク迄切實ニシテ且ツ以テ後代ノ鑒戒トナス可キモノハ古今ノ史乘罕レニ見ル所ナリ現ニ大革命ノ實行ニ從事セシ人モ亦此流行ノ精神ニ動カサレシナリカルラ、ヂユムーリエー、ラフエット、ランセアナ皆英語ニ通曉シカミーユ、デムーラン、モ亦同シク英學ヲ以テ其心ヲ開發シマラー、ハスコットランド及ビイングランドヲ經歷シ深ク英語ニ通ジ是レヲ用ヰテ書ヲ著ハスニ至レリ奴隷ノ鎖鋼ト題スルノ書ハ即チ其一ニシテ後チ之ヲ佛語ニ譯スミラボー、ガ學力モ其一方ハ細心ニ英國ノ憲法ヲ學ビタ

ルニ賴レリト確實ノ一文人言ヘリミラボー又ワツソンノ著書フヰリツプ二世ノ歷史及ビミルトン詞章ノ一部ヲ飜譯セリ之ヲ聞クミラボーノ國會ニ立ツヤボルクノ所說ヲ取テ自已ノ論ノ如ク演述セリトムーニエルハ能ク英語ニ通シ兼テ理論ト實行トニ於テ英國ノ制度ヲ了解シ一書ヲ著シテ上下兩院ノ設立ヲ唱ヘ以テ英國ノ制ニ倣ヒ國力平均ヲ保ソトセリ其書大ニ行ハル其他ルブラン、ブスソト、コンドルセツト皆英語ニ通シ英國ノ政治法律ヲ賛揚セリ婦人ローランドハ門地ト天才トニ因テ自ラ民權黨ノ魁首ニ列スル者ナリ亦熱心ニ英國人民ノ言語文章ヲ學ビ其討尋ノ天性ニ導カレ英國ニ歷遊ス上下トナク貴賤トナク皆此感染ヲ被ラザルナク人心ノ歸向斯ノ如ク滔々禦ク可ラザ

ルノ勢アリ現ニ王族タルオルレアン公モ英國ニ歴遊シ亦タ自然ノ結果ヲ生セルモノアリ有名ナル記者之レヲ謂フオルレアン公倫敦ノ社會ニ於テ自由ヲ悦ブノ念ヲ生シ人民ノ行動ヲ愛シ自己ノ位階ヲ賤ミ平民ト交ルノ情ヲ抱テ佛國ニ歸レリト

（以下次號）

主幹　青木匡
編輯兼印刷　鈴木五郎
東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾番地
櫻鳴雜誌社

本局

本紙ノ儀ハ代價幷ニ郵便税トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文ヲ冀フ但シ郵便切手ヲ以テ御拂込ハ御斷申上候

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵税中受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社　同芝區琴平町　靜霞堂
同日本橋區藥研堀　報知社支店　同同區三田同朋町　靜海堂
同同區元大坂町　法木德兵衛　同同區新櫻田町　春陽堂
同神田區雉子町　巖々堂　横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏

取次所

東京銀座四丁目　博聞社　美濃岐阜太田町　春陽舍
同牛込神樂坂一丁目　積善堂　信州松本南深志町　窪田重平
同神田表神保町　大黒屋惣次郎　信州飯田二番町　杉本平七

同赤坂裏壹丁目　赤川五平
同日本橋區久松町　大津屋善兵衛
同日本橋通一丁目　伊勢屋金次郎
同神田今川小路　大坂屋彦兵衛
同日本橋新和泉町　文圓堂
同淺草元鳥越町　共致社
同神田美土代町　關久
同神田表神保町　兒玉直次郎
同芝區飯倉三丁目　駿河屋
同神田錦町一丁目　中嶋幸太郎
同神田神保町　有則軒
同本郷湯嶋天神町　文友堂
同淺草地内　長尾
同淺草並木町　西村安次郎
同南傳馬町二丁目　伊勢屋喜三郎

鹿兒嶋朝日通り　藤井三代治
駿州靜岡江川町　新々堂
江州彦根旗手町　十一屋半四郎
大坂本町四丁目　岡嶋眞七
奥州盛岡本町　澤田正助
尾州名古屋本町　吉田道雄
箱館地藏町六丁目　脩文堂
大坂堂嶋中一丁目　靜雲堂
讃州丸龜通町　日新館
神戸長狹通七丁目　青井三十郎
水戸上市泉町　川又銀藏
阿波德島中通　阪井萬吉
紀州和歌山本町　平井文助
播州姫路俵町　吾車屋
信州松本中町　竹裏青雲堂

定時刊行

明治十四年十一月廿六日發兌

○國會ハ二局ヲ要セサルヲ論ズ上編　澁江保稿

○佛國革命原因論（前號ノ續）　島田三郎講述

嚶鳴雜誌　第三拾四號

嚶鳴雜誌第三拾四號

國會ハ二局ヲ要セザルヲ論ズ上編

澁江保稿

余輩曾テ之ヲ機械學士ニ聞ク凡ソ一箇ノ機械ヲ製造セント欲セバ成ベク其之ヲ組織スル部分ヲ減シテ磨擦ノ害ヲ禦クベシ機械ノ部分繁多ナレバ徒ニ磨擦力ヲ增加シ其運用ヲ妨害スト此言宜シク二局論者ノ針砭トナスベシ世ニ二局議院ノ利ヲ喋々スル者アリ然レドモ其口實トスル所概ヲ左ノ數項ニ過ギズ(甲)事ノ急卒ニ失スルヲ防グガ爲メニ二局ヲ要ス(乙)華族ハ一般人民ト自ラ利害習慣ヲ異ニス故ニ華族院ヲ設ケテ平民院ト相對シテ帝室ヲ輔翼セシムベシ(丙)代議政体ノ短所ハ代議士ト其代議士ヲ撿束スル輿論ノ未ダ充分ニ智力ニ富マザルニアリ故ニ代議院ノ外

別ニ元老院ナル者ヲ設ケ學識深廣世務ニ鍛練シ德望ヲ負フノ士ヲ擧ゲテ議員トナシ以テ民撰議士ノ急劇ニ流レ粗忽ニ失シ易キノ弊ヲ矯正スベシ(丁)一私人ト集會トヲ論セズ凡テ權柄ヲ掌握スル者ガ事ヲ謀ルハ唯自已ノミト思惟スルトハ其心ニ有害ナル結果ヲ生スルモノナリ故ニ國會ハ必ズ二局ヲ設ケテ互ニ相檢束シ相依賴セシメ以テ此弊ヲ消散スベシ(戊)二局ヲ設クルノ止ムベカラザルハ佛蘭西西班牙、葡萄牙、等ノ如キ嘗テ唯一局ヲ設ケシニ其結果ハ期望スル所ニ副ハザリシヲ以テ知ルベシ且ツ現時世界ヲ通覽スルニ國會ノ設ケアルノ國ハ多ク二局ヲ設クルヲ以テ一局ノ實際ニ行ハレ難キヲ証スルニ足ルベシト今上編ニハ(甲)(乙)兩説ヲ駁シ下編ニ至リテ丙丁戊ノ三説ニ向テ攻擊

ヲ試ミントス

若シ(甲)説ノ如ク徒ニ事ノ鄭重ヲ欲セバ數十百ノ議院ヲ設クルモ可ナリ何ゾ必シモ二局ノミニ止マランヤ凡ソ二局ヲ設クルノ害ハ無益ニ貴重ノ光陰ヲ浪費シ事務ノ澁滯ヲ生ズルニアリ一局ノ簡易ニシテ百事能ク流通スルニ如カザルナリ蓋シ二局ヲ主張スルノ論者ト雖モ二局同質ノモノヲ設クルノ拙ナルヿハ固ヨリ熟知スルナラン是レ碩儒ミル氏ノ代議政体論ニ詳論スル所ニシテ余ノ喋々ヲ待タザルベシ故ニ其主張スル所ノ二局ナル者ハ必ズ異質ヨリ組成スルナラン果シテ然ラバ一ハ平民ヨリ成リ一ハ華族ヨリ成ルカ若クハ元老ヨリ成ルカ又ハ華族元老ノ二種族ヨリ成ルモノニ外ナラザラン之ヲ再言スレバ一局ハ人民

ノ利害休戚ヲ表シ他局ハ反對ノ利害休戚ヲ表スルカ若ク
ハ所謂奴隷ナル者ノ類ヲ蒐集シ其説ヲシテ人民ノ輿論ト
匹敵セシムルモノニ外ナラザラン反對ノ利害ヲ表スルモ
ノト人民ノ利害ヲ表スルモノト對比セシメントスルノ愚
ナルハ後ニ詳論スベケレバ姑ラク論セズ奴隷者ノ説ト雖
モ之ヲシテ輿論ノ中ニ入リテ之ヲ誘掖セシムルハ可ナリ
反對ノ地位ニ立タシメントスルハ不可ナリ且ツ前ニ述ブ
ルガ如ク二局異質ノモノトセバ其所謂上院ナルモノハ議
員ノ性質如何ニ關セズ下院ノ議員ト異ナリタル風化ニ感
染セラルベキハ固ヨリ論ヲ待タズ下院ニ於テハ贊成ヲ得
ザルベキノ説モ上院ニテハ多數ノ贊成ヲ得終ニ該院ヲ通
過シ殆ンド下院ヲ壓倒セントスルノ傾向ナキヲ保セズ是

レ上院ノ勢力ヲ有セルヲ例ナリ之ニ反シテ若シ上院勢
力ヲ有セザルヲハ亦無用ノ長物タルヲ免レズ是レ則二局
共ニ人民ノ輿論ニ從テ事務ヲ辨理スル能ハザル原因ノ
一ナリ之ヲ英國ニ徵センニ彼ノウエルスリー氏ノ如キハ
文武兼備ヲ以テ一世ニ名アリ英國ノ寡兵ヲ帥ヒテ能ク拿
破侖ノ大軍ヲ破リ拿氏ヲセントヘレナ島ニ放竄シ英國ヲ
泰山ノ安ニ置キ官大將ニ至リ内閣ニ顧問タリ位ウエリン
トン公ノ上爵ニ列シ所謂功名萬世ヲ掩ヒ官位人臣ヲ極ム
ルモノニシテ氏ノ物故セル後モ英民其功績ヲ追懷シテ措
カズト云フ然ルニ氏ガ上院ニ出デヽ事ヲ議スルヲ見ルニ
其立論常ニ輿論ニ後ルヽ數歩下院ノ同意ヲ得タル改正
案ヲ阻遏シ之ヲシテ通過ニ艱マシメタル數次而シテ其

改正案ハ則チ今日ニ在リテ三尺ノ童子モ猶ホ其世運ヲ進ムルニ欠クベカラザルモノタルヲ知ル氏ノ才ニシテ猶ホ斯ノ如キハ實ニ惜ムベシト雖ドモ非才淺見氏ニ劣ルヿ遠キ人ノ立論ノ亦能ク議場ヲ通過シ輿論ヲ實施スルニ難カラシムルヲ考フレバ念ハズ滿身粟起セザルヲ得ズ蓋シ此說ニシテ上院ニ勢力ヲ有スルハ議員ノ碌々徒ニ舊慣ヲ墨守スルノ証ニアラズシテ何ゾヤ故ニ余ハ二局ヲ置クハ徒ニ貴重ノ時日ヲ浪費シ事務ノ澁滯ヲ生ジ一局ノ簡ニシテ能ク世運ヲ進ムベキノ議案ヲ通過スルニ如カズト云フナリ人若シ實際ニ之ヲ証セント欲セバ英國ノ議院分說錄ヲ見バ判然タラン

又論者ハ合衆國ノ如キ共和政治ノ國モ猶現ニ二局ヲ置ク

ヲ以テ二局ノ止ムベカラザルモノトシトツクエウイルノ說ヲ擧ゲテ「時ト經驗トガ二局ヲ設ケ立法權ヲ分離スベキノ必須ナルヿヲ米人ニ証明シタリ彼ノペンシルヴァニア州ノ如キハ嘗テ只一局ヲ設ケ有名ナルフランクリン氏モ亦一局論ヲ贊成シタリシモ暫時ニシテペンシルヴァニア州ハ一局ノ實際ニ適セザルヲ經驗シ遂ニ二局ヲ設クルニ至レリ斯ク立法分權ノ主義ハ到底確立セラルヽニ至レリ嗚呼立法分權ノ主義ハ古時ノ共和政治ノ夢見セザル所ニシテ最初ハ偶然世上ニ顯出シ衆人ノ爲メニ吹々其非ヲ罵詈セラレシモ結局現在ノ政事學上ノ一箇ノ定說トナルニ至レリ亦盛ナラズヤ」ト云ハンモ謀リ難ケレドモ余ハ直チニ之ニ答フルニ亦トツクエウイルノ言ヲ以テセントス抑モ

合衆國ハ建國ノ初ヨリ他ノ各國トハ大ニ其趣ヲ異ニスルヲ以テ特異ノ道理ヲ以テ之ニ適合スベキハ辨解ヲ要セズ且ツトックヱウイルノ謂フ如ク北米盟約政府ヲ設立スルニ際シ二種ノ相反シタル利害アリ此二種ノ利害ヨリシテ二個ノ說ヲ生シタリ甲ハ聯邦ヲ數箇ノ獨立州ノ一同盟ト、シ、數州ノ代議士ノ相會シテ一般ノ利害ニ關スル事項ヲ論議スル所ノ國會ノ種類トナスベシト云ヒ乙ハ亞米利加植民地ノ住民卽チ現時ノ合衆國ノ人民ヲ總合シテ一ノ國民トシ而シテ其總代トナリテ事ヲ辨理スベキ一ノ政府ヲ設立スベシト云ヒタリ以上二箇ノ說ヨリ生ズル所ノ實際上ノ成迹亦大ニ異ナリ何ゾヤ若シ數州ヲ總合シテ一國トシ之ヲ總裁スルノ政府ヲ設ケズシテ之ニ代フルニ一ノ同盟

ヲ立ツルトキハ聯邦ノ住民ノ多數ガ法ヲ制スルニハアラズシテ數州ノ多數ガ法ヲ制スルニ至ラン何トナレバ大小ニ拘ハラズ每州皆獨立シ充分同等ヲ基礎トシテ聯邦トナルベク之ニ反シテ合衆國ノ人民總合シテ一國ヲ組成スルモノトセバ聯邦人民ノ多數ガ自然ニ法ヲ制スベシ此二箇ノ說併合シテ治國ノ基礎トナリタリ蓋シ各州獨立ノ說行ハレテ上院ヲ組成シ一國主權ノ說行ハレテ下院ヲ組成ス卽チ甲ハ每州二名ノ代議士ヨリ成リ乙ハ每州人口ノ多寡ニ比例シテ撰舉セラレタル議員ヨリ成ル是故ニ新約克州ハ上院議員二名ト下院議員三十三名トヲ出シデラウヱア州ハ上院議員ハ二名ナレヒ下院議員ハ一名ニシテ實ニ上院議員ノ數ハ均シキモ下院議員ノ數ハ甲ハ乙ニ比フレバ三

十三倍ナリ」ト云フ說ヲ以テ之ニ答ヘ論者ヲシテ其趣旨ヲ味ハヽシメバ米國ノ倚外ナル「自ラ昭々タラン且ツバジオット氏ノ如キ二局論ノ主張者ナレモ猶議論ニ先チテ「下院ヲシテ完璧ニシテ簡然スル」ナカラシメバ上院ハ殆ンド無用ニ屬セン今若シ吾人ヲシテ想像中ニ完全ナル下院ヲ畫キ十分ニ國民ノ代議院タルニ背カズ常ニ能ク中行ヲ得テ之ニ與ミシ狂狷ニ失セズ且ツ代議士ハ皆事務ニ奔走セザル閑暇ノ人ニシテ愼密ニ諸事ヲ熟慮スルニ適スルガ爲メ徐々事ヲ議スルノ餘暇アラシメバ上院ハ殆ンド無用ノ長物タラン無用ノ長物ニシテ之ヲ存セバ害ニ益ナキノミナラズ反テ世ノ毒害トナルベシ」ト云ヘリ然ラバ則チ無過無疵ノ一院ヲシテ實際之アラシメバ其レ何ゾ他院ヲ要

センヤ蓋シ此議院ヲ作ルノ法亦難カラズ余ハ下編ニ於テ之ヲ辨ゼントス

又(乙)說ノ如ク華族ヲ以テ上院議員ノ職ヲ世襲セシムベシト云フガ如キハ二院論ノ最モ拙策ト謂フベキモノニシテ僅々數百ノ華族ノ利害ト三千五百萬ニ垂ントスル人民ノ利害ト鈞ヲ秉ラシメントスルガ如キハ不公不正ノ主義ニアラズヤ華族モ固ヨリ人民中ノ一部ナリ之ヲシテ一般人民ト均シク代議士タラシムルモ其害トスル所ハ華族ハ一般人民ト利害休戚ヲ異ニシ公衆ニ利ニシテ華族ニ害ナルモノアリ華族ニ利ニシテ公衆ニ害ナルモノアルガ故ニ若シ華族ノ發議ニシテ常ニ議場ヲ通過セシメバ恐クハ公衆ノ不幸ヲ釀成セント云フノ一點ニ止マルノミ此點ヤ至大

至重ニシテ一國ノ安危ニ關スト云フモ敢テ誣言ニアラザルベシト雖モ之ガ爲メニ一局論ヲ非トスルハ大ナル誤ト謂フベシ何トナレバ論者ノ說ノ如ク二局ヲ設ケテ華族院庶民院トナストキハ更ニ害ヲ增加スベケレバナリ蓋シ華族院ト庶民院トヲ相對峙セシムルトキハ即チ華族ノ利害ト庶民ノ利害ト鈞ヲ秉ラシムルモノニシテ若シ華族院ノ勢力實ニ庶民院ノ勢力ト伍スルモノトセバ庶民即チ公衆ノ利便ハ十中五六ハ華族ノ利便ノ爲メニ消滅セラルベシ寧ロ一局ニシテ華族庶民ヲ論セズ議員ハ總テ民撰ニナリ而シテ公衆ノ利便ヲ妨碍スベキノ華族ハ撰擧セラレザルニ如カザルナリ蓋シ我邦ニ於テ他日國會開設ノ時ニ至リ華族ノ議員ニ撰擧セラルベキハ現時既ニ東京府會ノ議員中ニ

華族ノ在ルヲ見テ知ルベシ且ツ華族ニシテ華族院ノ設ケナキガ爲メニ己ノ利害ヲ辨護スルノ議員ナキヲ憂ヘバ宜シク速ニ族稱ヲ棄テ、平民ニ列スベシ豈ニ何ゾ人爵スラ既ニ特恩ナルノ華族ニシテ又華族院ヲ有スルノ特恩ヲ重ヌルヿアランヤ論者ハブラックストーンノ英國ノ政体ハ王政、貴族政、民政ノ美質ヲ收拾スト云フノ語ニ心醉シ妄リニ英國ノ制度ニ則ランストスレヒ元來英國ノ上院ナル者ハ封建政度ノ遺物ニシテ蠻習ノ殘餘ト云フモ可ナリ古人西施ノ顰ニ傚フヲ不可トス焉ゾ白圭無缺我大日本帝國ヲシテ一朝醜婦ノ顰ニ傚ハシムルニ忍ビンヤ

佛國革命原因論（前號ノ續）

島田三郎講述

抑モ佛國ノ革命ハ政府保護掣肘ノ精神ニ激スルノ反動ナルニ過ギザルノミ而シテ其精神ハルイ十四世ノ代ニ當リ最極點ニ達セリトス然レドモ其由テ來ル所ヲ察スルニルイ十四世ノ時ヲ距ル數百年前ニ方リ既ニ國家ノ繁榮ニ逆ヒ甚ダ有害ナル勢力ヲ現セシモノアリ然リ而シテ從來英國ノ氣風ニ感ジ反動ノ勢更ニ激烈ヲ加ヘタルヤ明カナリ又英國ノ文章首トシテ佛國ニ政治ノ自由ヲ傳ヘ遂ニ之レヲ歐洲各國ニ布洽シタルモ亦明カナリ

斯ク有名ノ佛人ガ眼光ヲ英國ノ一方ニ注ギ其文章ニ於ケル社會ノ構成ニ於ケル凡ソ政体上ニ就テ咸ク其國ニアラザル所ノ特質ヲ發見セリ即チ歐洲ノ各地ニ嘗テ見ザル所ノ果敢ヲ以テ政治宗教ノ重大ナル爭論アルヲ聞キ異教人

英國普通ノ教ヲ奉ゼザル者僧侶ヤ民黨ヤ王黨ガ危險ノ論題ヲ持シ無限ノ自由ヲ以テ之ヲ論辨スルヲ聞キ又佛國ニ於テハ一人ノ敢テ論議スルヲ得ザル事件ニ關シテ公論ノ之ヲ是非スルヲ聞キ或ハ國家ノ機密宗教ノ秘奥モ之ヲ開示シテ毫モ顧慮スルナク悉ク人民ノ矚目ニ任スヲ見ルヲ得タリ且當時ノ佛人ヲシテ驚歎セシメタルハ唯公刋ノ自由ノミナラズ凡ソ議院ニ於テハ國王ノ施政ヲ排擊批斥スルモ譴責セラルヽ無ク又往々國王カ登用セル臣隷ヲ譏謗セリ其最モ驚ク可キノ一事ハ歳入ノ費用配分ニ至ルマデ指揮制裁スルヲ得ル是レナリ

ルイ十四世ノ後王等ハ此等ノ光景ヲ見毎ニ邦國ノ開明進歩スルニ隨ヒ貴族僧侶國王ノ權力減損スルヲ見テ爲メニ

驚駭ノ心ヲ動カサヽルヲ得ズヴオルテールヽ曰ク其王ニ抗シテ王權ヲ減ズルノ功ヲ奏セシハ地球上唯一ノ英國人民アルノミ嗚呼愛ス可キ哉英人ノ勇嗚呼愛ス可キ哉英人ノ思考ヲ說ク人」トルブランヽ曰ク英國人民ハ意ヲ曲ゲテ王ニ屈スルノ義務ヲ負ザル間ハ王ノ存センコヲ望ム者ナリ」トモンテスキユー曰ク英國政府ノ最大目的ハ政治ノ自由ニ在リ英人ノ自由ヲ有スルヤ或ル民政國ノ人民ニ過グ其政制ハ立憲王國ノ外形ヲ粧ヒタル民政國也」トグロスリー歎賞シテ曰ク英國ノ財產權ハ神聖侵サレザルモノナリ法律ハ之レガ爲メニ一切ノ侵犯ヲ防グ唯工師測地師等ニ對シテ之ヲ守ルノミナラズ實ニ國王ニ對シテ之ヲ守ル」トマブリーガ最モ有名ナル書ニ云フハノーブル人獨リ能ク英國

ノ王位ヲ踐ムニ堪ユ何トナレバ其人民自由ニシテ國王廢立ノ權ヲ有スト自信ズレバナリ若シスチユアルト族ノ如キ權利ヲ冀フノ王アリ或ハ王位ハ天命ニシテ已レニ歸セリト信ズルノ王アラバ王躬ラ其身ヲ罪スルモノナリ又其ノ自家ノ有ニ非ザル王位ヲ占ムルト揚言スル者ナリ」トヘルヴエチユス曰ク英國ニ於テ人民ハ恭敬ヲ受ケ各人皆國事ノ一部ニ參ス文藝ノ人ハ私利ヲ計テ以テ公益ヲ進ムルニ堪ヘタリト」ブリスソットハ特ニ英國ノ政制ニ注意スル者ナリ嘗テ歎シテ曰ク善イカナ英國ノ憲法ヤ制度ノ何物タルヲ知ラザル者若クハ奴隸風俗ノ箝制ヲ被ムル者ニアラザルヨリハ誰レカ能ク之ヲ蔑視セン」ト

以上皆當時有名ナル佛人ノ說ニ係ル羞シ是ノ類ノ言ヲ蒐

集セバ積デ卷帙ヲ成スモ亦難キニアラズ抑モ此ニ要スル所ノ者ハ往日太ダ輕ンズル處ノ英國ニシテ今日遽カニ之ヲ揚贊スル所以ノ一大結果果シテ如何ヲ示スニ有ルノミ其之レニ繼テ起レル事變實ニ重大ニシテ之ヲ明說セント欲スルモ殆ンド及ブ能ハザル也是レ其智者ト治者トノ間ニ起レル破裂ニシテ彼ノ革命ノ亂ハ唯其注脚トスルニ足ルノミ

十八世紀ノ佛國ノ偉人ハ英國ノ例ヲ以テ進歩ノ愛慕心ヲ激勵セラレタレバ其勢自ラ守舊精神ノ鞏固セル治者輩ト衝激抗抵セザルヲ得ズ而シテ此抵抗ヲ以テ夫ノルイ十四世ノ世ニ文藝ノ士ガ特ニ賤ムベキ屈從ヲ呈シタルヲ視レバ甚ダ稱贊スベキ反動ナリトス抑モ之ニ續テ起ル所ノ搶

攘ニシテ中庸ニ由リ行ハシメバ最後ノ結果ハ蓋シ至極ノ利益ヲ生ジタルナラン何トナレバ理論家ト實際家トノ間隔ハ開化ノ平均ヲ保チ且兩者ノ危險ニ傾クヲ妨グニ要ナルヲ以テナリ然ルニ不幸ニシテ貴族僧侶ハ久シク權勢ヲ襲受シ文學ノ大家ヲ無下ニ蔑視シ卑賤ノ者ト看做シテ曾テ其異說ニ耐ユル能ハズ是ヲ以テ此ノ年代ノ最大有名ノ佛人ガ曾テ英國ニ行ハレシ尋究ノ精神(インクワイヤスピリット)ヲ佛國ニ播布セント欲スルニ及ンデ治者ノ族類嫌惡忌怒ヲ發シテ一切ノ疆界ヲ破リ智識ニ逆フテ攻擊ヲ爲スニ至レリ此レ實ニ佛國革命ノ第二大原因ナリ

斯クテ文學ガ殘酷ナル苦楚ヲ被レルノ極度ハ十八世紀ノ佛國史ヲ玩讀セルモノ能ク之ヲ知得センノミ其苛酷ナル

コハ一二隱見シテ行レタル如キニ非ラズ苟モ諸般ノ尋究ヲ屈シ諸般ノ尋究者ヲ罰セントト欲シ深密苛察ノ方法ヲ用ヒタルナリ若シルイ十四世ガ死後七十年間著述ニ名アル諸文士ノ表ヲ作ラバ十中ノ九ハ皆政府ヨリ痛害ヲ受タル者ナルヲ驗得スベシ而シテ多クハ牢獄ニ繫囚セラレタルナリ是レ決シテ過大ノ言ニアラズ眞ニ其實事ヲ舉ルノミ何トナレバ凡ソ五十個ノ文士ガ一人ノ其罪ニ免ルヽ者アルヲ見ザレバナリ蓋シ之ヲ深究追記セント欲スルモ當時ノ事ハ精確ニ之ヲ知ルニ由ナシ然レ𪜈當時ノ著述ニシテ今日傳ハル所ノ者ニ就テ之ヲ推スニ其人大抵罪ヲ受ルノ列ニ在リ或ハ沒財ノ刑ニ罹リ或ハ牢獄ニ幽囚セラレ或ハ邦内ヲ追逐セラレ或ハ罰金ヲ受ケ或ハ著書ノ禁止ヲ被リ

或ハ既ニ記セル文章ヲ改削スルノ汚辱ヲ受クモンテスキユー、ルウソー、ヴオルテール、等ヲ初メトシテ許多ノ記者皆然ラザルナシ

ルイ十四世ノ死後幾時ナラズシテヴオルテール國君ヲ誹謗ストノ僞獄ニ罹リ此ノ想像ノ罪ノ爲メニ吟味ノ形モナク證據ノ影モナクシテバスチールノ土牢ニ投ゼラルヽ十二箇月放免セラルヽノ後更ニ甚キ屈辱ヲ受タリ即チシユリー公ノ醮會ニ陪シ傲慢放蕩ナル貴族某ニ面辱セラレタル是ナリ斯クシユリー公ハ其賓客トセシヴオルテールガ面前ニ侮辱セラルヽヲ見テ敢テ之レガ中裁ヲ爲サズ却テ貧賤ノ詩人ガ貴族ノ指摘ヲ受ルヲ以テ其榮タルベシトノ思想ヲナセシ者ノ如シ然ルニヴオルテールハ大ニ憤怒シ

激烈ノ語ヲ以テ直チニ之ヲ辨斥セリ貴族某僻屈シ更ニ怒テ之ヲ罰セントト計レリ其貴族某ノ性質及ビ一般貴族ノ性質如何ハ之ヲ以テ概見スニ足ラン

某乃チ人ヲシテヴオルテールヲ市間ニ拘〳〵面前ニ於テ之レヲ鞭セシムルヿ若干ヴオルテール此辱ヲ復スルガ爲メニ當時流行セル決死鬪ヲ爲サントスフ彼レ應ゼズシテ之ヲ回避スルノミナラズ實ニ王勅ヲ請得テヴオルテールヲ捕〳〵再ビパスチールノ牢獄ニ四スルヿ六月間放免ノ日遂ニ國ヲ去レト命ジタリ

（以下次號）

正誤

本誌第三十三號高梨哲四郎演說奢侈ノ說中英國王總費額ノ項六十五萬六千三百圓給料トアルハ給料幷ニ養老金六萬六千圓別途金ハ惠恤金四萬二千圓臨時費ハ四萬二百圓準備金ノ誤聞

主幹　青木匡
編輯兼印刷　鈴木五郎
東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾壹地
櫻鳴雜誌社

本局

本紙ノ儀ハ代價幷ニ郵便稅トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文ヲ賞フ但シ郵便切手ヲ以テ御拂込ハ御斷申上候

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵稅申受候

東京銀座四丁目　大賣捌所　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同同區元大坂町　法本德兵衛
同神田區雉子町　嚴々堂

東京銀座四丁目　取次所　博聞社
同牛込神樂坂一丁目　積善堂
同神田表神保町　大黑屋惣次郎
同赤坂裏壹丁目　赤川五平
同日本橋區久松町　大津屋善兵衛
同日本橋通一丁目　伊勢屋金次郎
同神田今川小路　大坂屋彦兵衛
同日本橋新和泉町　文圃堂
同淺草元鳥越町　共致社
同神田美土代町　關久
同神田表神保町　兒玉直次郎
同芝區飯倉三丁目　駿河屋
同神田錦町一丁目　中嶋幸太郎
同神田神保町　有則軒
同淺草地內　文友堂
同本郷湯嶋天神町　長尾
同南傳馬町二丁目　西村安次郎
同淺草並木町　伊勢屋喜三郎

同芝區琴平町　美濃岐阜太田町
同同區三田同朋町　信州松本南深志町
同同區新櫻田町　信州飯田二番町
横濱太田町二丁目　鹿兒嶋朝日通り
駿州靜岡江川町
江州彥根廣手町
大坂本町四丁目
奥州盛岡本町
尾州名古屋本町
箱館地藏町六丁目
大坂堂嶋中一丁目
讃州丸亀通町
神戸長狹通七丁目
水戸上市泉町
阿波德島中通
紀州和歌山本町
播州姬路俵町
信州松本中町

靜霞堂　春陽舍
春海堂　羅田重平
伊勢屋梅藏　杉本平七
藤井三代治
新々堂
十一屋半四郎
岡嶋眞七
澤田正助
吉田道雄
文修堂
靜雲館
日新館
青井三十郎
川又銀藏
阪井萬吉
平井文助
吾車屋
竹裏青雲堂

定時刊行

明治十四年十二月十一日發兌

○政論ノ主義
○明史ヲ讀デ感アリ
○佛國革命原因論　（前號ノ續）

嚶鳴雜誌　第三拾五號

青木匡演說
佐々木三郎稿
島田三郎講述

嚶鳴雜誌第三十五號

政論ノ主義

東京政談演說會ニ於テ　青木匡演說

社會ハ活機ナリ人類ハ死物ニ非ザルナリ故ニ其社會ノ主宰者ニシテ社會社員タル人民ヲ御スル恰モ生活ナキ物体ヲ御スルガ如ク專ラ已レノ意ノ如クナラシメン爲メ敢テ人心ノ向フ所ヲ察セスシテ專裁ノ政治ヲ施スヿアラバ人民ハ却テ益ス奮起激昂スベキナリ然レモ社會人民ニシテ若シ政事法律ノ目的ノ何タルヲ解セズ政府ハ恰モ神佛ヲ以テ組成セル者ノ如ク思考シ所謂ル政事上ノ思想ニ乏シキ塲合ニ方テハ假令社會ハ活機タルモ人類ハ死物ニ非ラザルモ主治者ハ之ヲ御スル恰モ死物ヲ御スルガ如ク妄ニ抑壓ノ措置ヲ施スヿナシトモ云フ可カラズ例ヘハ芋虫若

クハ蚯蚓ノ如シ彼等各々盡類ノ一種タリト雖モ共ニ其身体ヲ保護スルノ器具ヲ備ヘザルガ故ニ人容易ニ之レニ觸ルヽノミナラズ常ニ兒童ノ玩弄スル所トナレリ之ニ反シテ彼ノ螳螂ノ如キ蜂ノ如キ同ク是レ蟲類ノ一種ナリト雖モ彼等各々已レノ身体ヲ保護スルニ足ルベキ器具ヲ備ヘリ故ニ兒童ノ爲メニ玩弄セラレザルノミナラズ大人モ亦之ニ觸レ之ニ近クヲ恐ルヽニ非ラズヤ政事思想ニ乏シキ野蠻ノ人民ハ主治者モ之ヲ御スル唯已レノ意向ニ是レ從ヒ毫モ人心ノ向フ所ヲ察シテ政事ノ機軸ヲ運轉スルヿヲ爲サス然レモ人智漸ク開ケ人民益ス政事上ノ思想ニ富ムニ從テ主治者ガ其施政上ニ意ヲ用フルヿ益ス密ナラントスルナリ斯ノ如ク論ジ來レバ一國社會ヲ組成スル人民ハ

必ズ政事ノ思想ヲ備ヘザル可カラザルハ敢テ疑ヲ要セザル所ナリ

然レモ野蠻未開ノ人民ハ常ニ衣食住ノ便ヲ求ムルニ汲々トシテ其智ヲ研キ才ヲ養フヿノ如キハ敢テ自ラ從事スルニ暇アラズ故ニ政府ト人民ノ關係ノ何タルヲ知ラズ又政事法律ノ目的如何ヲモ解セズ所謂ル政事上ノ思想ニ至テハ毫モ之ヲ保有セザルニ因リ主治者ノ爲メニ常ニ牛馬ノ如ク取扱ハルヽハ勢ノ自然免レザル所ナリ之ヲ要スルニ一國人民ガ稍ク政事ノ思想ヲ懷クノ時ハ即チ其社會ガ野蠻ノ境域ヲ脫シテ開化ノ美域ニ進入シタルノ時ナリ今ヤ我邦人民ハ稍ク政事上ニ心ヲ用ヒ其政治論ノ盛ナル開國以來未ダ曾テ聞カザル如キノ勢アリテ今日ノ政府ガ政ヲ

施シ法ヲ立ツルハ維新以前ノ政府ガ政法ヲ施行スルガ如ク容易ナルモノニアラズ蓋シ斯ノ如ク人民既ニ政事上ノ思想ヲ有シ政府ノ事務ハ政府一個ノ爲メニ施行スル者ニ非ラズシテ人民各自ノ頭上ニ關係ヲ有スル者タルヿヲ知承セバ奈何ゾ更ニ一歩ヲ進メテ政論ノ主義ヲ確定セズシテ可ナランヤ

政論ノ主義トハ何ゾ曰ク一國ノ政事ヲ施行スルニ方リ或ハ自由改進ヲ目的トスベキ歟或ハ漸進保守ヲ主眼トスベキ歟兩者其一ヲ採テ以テ已レガ政論ノ主義トスル即チ是ナリ蓋シ一國人民ガ各々政論ノ主義ヲ定ムルハ所謂ル政黨ノ分立スル原因ニシテ是ヨリ政事上ニ好結果ヲ生スルヿハ海外諸國ニ例シテ誠ニ判然タレハ余ハ今日ノ日本人

民ガ漸ク政事ノ思想ニ富ミ今ヤ進ンデ政論ノ主義ヲ定メ政黨ヲ樹立セントスルノ勢アルヲ見甚ダ歡喜ニ堪ヘザル者アリ然レ𪜈政論ノ主義ナル者ハ所謂ル一國人民ガ政事上ノ思想ニ過ギザレバ彼ノ英國保守黨ノ一人ナルロルドデルベーガ一朝其説ヲ變ジテ自由黨ニ左袒スル如キノ類ナキニ非ザルベシト雖𪜈其政論ノ主義ヲ同フスル甲黨派ノ人ニシテ泛々不定容易ク其説ヲ變シテ乙反對黨ニ降服スル如キヿアラバ甲黨ノ勢力ハ從テ益ス微弱ニ赴クヿ必然ナリ然ラバ則チ其身社會ノ上流ニ地位ヲ占メ常ニ自由改進ノ主義ヲ主唱スルノ人ニシテ其野ニ在ル時ト官ニ在ル時トニ依テ已レガ政論ノ主義ヲ變更セザル可カラザル如キヿアラバ爲メニ人民ノ勢力ニ關繫ヲ及スヿ決シテ鮮

少ニアラザルナリ顧ミレハ去ル十月十二日國會開設ノ勅諭未ダ出デザルニ前チテ吾人ガ與ニ自由ヲ語ルベク與ニ政事ノ進路ヲ同フスベシト思惟シタルノ人ニシテ政府ガ政事ノ方向ヲ變セズ依然トシテ舊樣ヲ守ルニモ拘ハラズ已レガ平生ノ主義ヲ枉ゲテ之ニ奉職スルヿアリテ吾人ハ此等ノ人ノ爲メニ惜ミ且ツ我々自由主義ヲ取ル者ノ爲メニ悲ミシヿアリタリ然レトモ我政府ハ彼ノ勅諭ノ出テシト與ニ斷然漸進保守ノ主義ヲ採ルヿテ天下公衆ニ示サント希望セラレタルニヤ其官ニ在リテ尙ホ自由主義ヲ唱フル人ハ斷然之ヲ免黜セラレタレバ是ヨリ先キ我々ト與ニ自由ヲ語リ或ハ政事ノ方向ヲ同セントスルノ勢アリシ人ニシテ尙ホ今日ノ政府ニ職ヲ奉スル者アラバ此等ノ人ハ已

ヲ欺クカ若クハ人ヲ欺キタル者ナレバ或ハ我々一個ノ友人トシテハ交際スベク決シテ政事上ノ朋友ト爲ス可キ人ニ非ラスト思考セリ

其レ然リ然リト雖モ專裁制度ノ行ハルヽ邦國ニ於テハ萬機ノ政務悉ク君主ノ意ニ從テ左右スルニ過キザレバ職ヲ當時ノ政府ニ奉スル所ノ者ハ仮令自ラ一定ノ政論主義ヲ有スルモ敢テ其主義ニ依テ政治ヲ施行スルヿ能ハザルハ亦勢ノ免レザル所ナリ然レモ此事ヤ決シテ希フベキヿニアラズ蓋シ天下ノ人士ヲシテ野ニ在ル時ト官ニ在ル時トニ依テ政論ノ主義ヲ異ニセザル可カラザル如キノ弊ヲ防ガントセバ唯立憲政体ヲ立テ內閣ノ大臣參議ヲシテ輿論ノ變遷即チ政黨ノ勝敗ニ依テ其進退去就ヲ決セシムルノ

慣行ヲ養成スルノ一法アルノミ史ヲ按スルニ古ヨリ政權ヲ掌握スルニ或ハ騙瞞詐欺ヲ以テスル者アリ或ハ腕力ヲ以テスル者アリ或ハ財力ヲ似テスル者アリ或ハ智力ヲ以テスル者アリ蓋シ騙瞞詐僞腕力等ヲ用ヒテ以テ政權ヲ僭奪スルヿノ如キハ野蠻社會ニ於テ專ラ行ハルヽモノニシテ今日ノ文明世界ニ於テハ智力アル者ノミ多クハ政治ニ參與スルノ榮ヲ得ベキナリ然リト雖モ余ノ思考スル所ニ據レバ智力ノ多少ニ依テ政權ヲ掌握スルヿノ如キ未ダ決シテ完全ト言フ可ラズ何トナレバ則チ智力アル者ハ必ズシモ天下人民ノ意向ニ協フ所ノ政治ヲ行フト言フベカラズ却テ己レノ智能ニ依賴シテ擅制ノ政ヲ行フヿノ恐アリ故ニ政權ヲ保握スルト否トハ一ニ輿論ノ變遷即チ政黨ノ勝

敗ニ依テ決スルノ時ニ至ラザルベカラズ果シテ然ラハ一國ノ政事ハ政黨ノ勝敗アル毎ニ其主義ヲ異ニセザル可カラザルガ故ニ自由黨勝ヲ輿論ニ制スレバ自由黨ノ者出テヽ政治ニ參與シ保守黨勝ヲ輿論ニ制スレハ保守黨ノ者出テヽ政治ニ參與シ是ニ至テ初メテ野ニ在ル時ト官ニ在ル時トニ依テ政論ノ主義ヲ變セザル可カラザル如キヿナク誠ニ文明社會ノ美域ニ達シタリト言フテ可ナリ我邦ヲシテ此美域ニ達セシムルハ即チ明治二十三年國會開設ノ時ニ在リ然レトモ今日ハ尙ホ我々自由黨論者ト保守黨ナル反對論者ト勝敗ヲ爭フノ時ナレバ明治二十三年ニ至テ勝ヲ輿論ニ制スル所ノ政論主義ハ果シテ何ナルカ未ダ之ヲト知スルヿヲ得サルナリ

明史ヲ讀テ感アリ

佐々木三郎稿

熹宗ノ朝閹禍蔓延シテ私黨ヲ組成シ時ノ所謂ル正人君子ハ悉ク斬刈封屠セラレ四百餘州ハ私黨ノ支配スル所トナリ其黨ノ謂フ所ハ一世ノ刑賞是非ヲ顚倒スルモ難ラス若シ其黨ノ言ニ非レハ宗社磐石ノ策ト雖モ行ハレス怨言天ニ滔シ社稷將ニ傾ントスルノ際其黨ノ心ヲ原ヌレハ君父亡スヘシ國家覆スヘシ獨リ我黨ノ局破ルヘカラストテ益々其根底ヲ深フセリ其根底漸ク鞏固ナルニ及テ國政全ク陵夷シ李自成ノ輩釁ヲ一隅ニ啓キ私黨相倚リテ二百八十年ノ金甌ヲ破碎シ終ニ愛親覺羅氏ノ奄有スル所トナレリ余輩カ熹宗紀ヲ讀テ特ニ浩嘆ニ堪ヘザル所以ハ私黨ヲシテ國事ヲ斷弃セシメタルニ在リ夫レ官宦ニマレ藩閥ニマ

レ均ク是レ私情ヲ以テ組織セル一私黨ニ過キス斯私黨ヲシテ全社會ヲ支配セシムルハ政府既ニ政府タル威德ヲ失ツテ而メ其黨ハ公共ト主宰權ヲ把持スル者トヲ蔑如シ以テ其私意私權ヲ張ルモノナリ既ニ公共ヲ無ニシ又從テ國權ヲ誤用セシモノハ是ヲ通義ノ盜賊ト謂ハサルヲ得ス寡人政府ニアリテハ國會ノ以テ政權誤用ヲ制スルナケレハ其長上ニ立テ政治ノ鞭テ執ル者苟モ輿論ノ公道ニ遵ハサレハ勢ヒ奔逸ノ憂ヲ免レス既ニ奔逸シ去ラハ己モ亦安スル能ハサラン試ニ明代私黨ヲ團結セシ者ニ問ン乎私利ヲ營シ私權ヲ逞フセシハ何ノ爲メソヤ憶フニ一身ノ富厚利達或ハ子孫ノ光榮ヲ謀ルニ外ナラサルヘシ人間誰レカ六尺ノ形軀ヲ怨府トナシ不幸ヲ極メテ死セント願フ者ア

ランヤ然ラハ衆庶ノ言即チ輿論ヲ顧スシテ自己ノ私意ヲ貫カントスルハ己カ地位ヲ失フヲ恐ルヽナランヲ乎惑ヘルノ甚シキナリ唇亡フレハ齒モ亦寒キハ事理ノ當ニ然ルヘキ所ナリ其始メ自己ノ利ト豫想セシモノ反テ燒眉ノ禍ヲナスニ至ラハ其人ヤ自業自得ナレド其人民ノ不幸如何ソヤ西儒スペンセル氏政僻ヲ論シテ曰ク「政事家ハ只歳入ヲ得ルノ目的ヲ以テ官途ニ入リ以テ己ヲ利スルノ兵隊ヲ編制シ公衆ト利害ヲ同フセスシテ憲法ト相反スル官吏社會ヲ來タシ人類大切要ナル自由ヲ度外視シテ其方便ノミヲ尊信セハ常ニ必ス過失ヲ來タスヲ免レス」ト政治ヲ左右シ得ルノ人ニシテ私利私權ノミニ汲々トシ國民ノ自由ヲ度外ニ置ク時ハ廟堂ハ人民ノ恃テ安スル所ニ非スヽ情慾ヲ

煅煉スル工業場タルニ過キス果シテ然ラハ國民ハ其工場ニ使用セル無機物ト等クシテ木石金属ト奚ソ擇ハン私黨ヲ以テ私利ヲ營スル者ニ非ストセン乎縱令私利ヲ營セサルモ輿論ヲ捨テ一己ノ腦臆ノ働ク所ニ一偏スルハ即チ己レ自身ノ意匠ヲ以テ夏ニ輿論ヨリモ勝ルト思フナラン斯ク思ヘハコソ動モスレハ我ハ政治上ニ多年ノ經驗ヲ積メリ嘗テ該事業ニ熟練セリ我カ所爲ニ就テ吸々嚣々スル輩恰モ蚊蚋ノ如シ何ソ之ヲ心頭ニ懸ルニ足ント自ラ以テ萬能力ヲ備具セリト思ヒ國民ヲ見ル土芥ノ如クナレハ國民ハ土芥視セラルヽヲ以テ甘セス遂ニハ反動力ヲ生シテ李自成其人ノ如キ斗筲穿窬ノ小人ニテモ一臂ヲ振フ瞬間ニ猶ホ能ク竹鎗席旗ヲ全國ニ飜セシムルヲ得テ昨日百

官ノ鶏班ヲ趂フテ羅列セシ廊閣モ乍ニシテ肉山血河ト變シ億萬ノ生靈ヲシテ青燐ニ泣カシムルノ慘狀ヲ現出スルニ至ラン由是觀之ハ私利ヲ營スルモ否サルモ輿論ヲ採納スルニ吝ナレハ反動力ヲ激成セサルヲ保シ難シ一旦激動スルニ及テヤ信用ヲ恢復セントスルモ得ヘカラス瓜分ノ勢ヲ整頓セントスルモ亦得ヘカラス支那ノ政治家ハ常ニ以爲ク民ヲシテ之ニ由ラシムヘシ之ヲ知ラシムヘカラスト其人民ハ普天之下王土ニ非ルナシト上下交々暴言ト卑屈主義トヲ恪守スル人民ニテモ勢ヒ勝ヘサレハ必ス顚覆ノ憂ヲ免レス之ニ反シテ人民若シ本分ノ自由ト權理ノ性命ヨリ貴キヲ知ラハ明祚豈ニ二百餘年ノ久キヲ保ン哉世ノ主治者時ト勢トヲ熟察シ世進メハ益々輿論ト併行セサ

ルヲ得サルノ格言ヲ服膺シ一言口外ニ發セシ命令ハ是非トモ斷行セサルヘカラスト謂カ如キ武斷主義ニ依ラサレハ庶クハ禍害ヲ免ル、ニ幾ラン乎明史ヲ讀ミ時事ニ感アリ聊カ評ヲ付スル如此

佛國革命原因論（前號ノ續）

島田三郎講述

蓋シ已レガ記セザル誹謗ノ寃罪ヲ以テ投獄セラレ已レニ暴加スル不敬ヲ辨斥セシヲ以テ市街ニ鞭セラレ已レヲ鞭シタル者ノ威勢ニテ再回ノ投獄ニ罰セラレタルハヴオルテールヲ以テ首メトナス斯クテ出獄ノ後追放ノ刑ハ中止セシナランカ幾時ナラズシテヴオルテール佛國ニ在リ瑞典王チヤーレス十二世ノ記ヲ著ハス此ノ書固ヨリ毫モ耶蘇教ヲ擊チ專制政府ヲ駁シタルノ形蹟ナク佛國政府モ初

メ其刊行ヲ許可セリ(當時此許可ナクシテハ一書ヲ著スヲ得ズ)然ルニ既ニ之ヲ發行スルノ後其許可ヲ取消シ其發布ヲ止メタリヴオルテール後益々述作ヲ以テ自ラ任ゼシガ其事更ニ劇キ抗抵ヲ來セリ其嘗テ英國ニ在ルヤ尋究ノ心深ク英國ノ景狀已レガ素見ニ異ナル所アルニ感ジ其文學ヨリ得タル許多ノ重要ナル實説ヲ錄シテ之ヲ出版セリ其理學ノ文書ト題スル書ハ最モ江湖ノ賞贊ヲ得タリ然ルニヴオルテールノ爲メニ不幸トスベキハ生稟ノ意思經驗ニ反對セルモノ本然トニ反セルロックハ英國ノ有名ノ理學士ノ議論ヲ文中譯スベキ乎ニ採錄セリ當時佛國ノ人生稟ノ意思ダモ解セズ焉ゾ能クロックノ説ノ眞否ヲ辨ゼン而シテ其説ヲ以テ危險ナル者ト妄想シ或ハ奇異ナル論旨ナリト告グル者アリ乃チ政府

ハ此書ノ發布ヲ禁止スルヲ以テ自家ノ職分ト思考セリ而シテ其處分ハ極メテ簡短疎率ノ方法ニ出テ即チヴオルテールヲ拘ヘ再ビ之ヲ投獄シ卑賤ノ刑官ヲシテ其書ヲ焚カシメタリキ

ヴオルテール又ニユートンノ理學ヲ佛國ニ施サントト欲シ其苦學ノ狀ヲ記スル者アリ而シテ政府又其事ニ干渉シ此書ノ刊布ヲ禁ゼリ實ニ當時佛國ノ治者ハ自家ノ安全ハ唯人民ノ愚朦ニ在リト思考セシガ如ク乃チ智識ノ潮流ニ對シ頑然拒抗セシナリ去レバ當時ノ碩學大家ガ相集テ博物韻府ヲ編輯セントセシ時政府ハ此大益浩利ナル企テヲ支ヘ遂ニ全ク禁止シタリ其心ヲ置ク此ノ如シ故ニ時ニ甚ダ失笑スベキ事アリキ一千七百七十年イムヘルド英人クラ

ークノ是班牙説ヲ飜譯セシニ當時佛國ニ在リシ最好書也其世ニ出ルヤ直チニ禁止ヲ被ムレリ其故ハ他ニアラズ唯チヤールス三世是班牙王ガ田獵ニ荒ムヿヲ評論セシ文アルヲ以テ佛王ニ不恭不遜ナリト目セラル是レ時王ルイ十五世ガ遊獵ヲ好ミタレバナリ

ルーソーモ亦著書ノ故ヲ以テ禁獄ノ刑ニ罹ラントス因テ佛國ヲ逃レ去リ其書ハ之ヲ公街ニ焚カレタリ其他ノ文人學士概テ著書ノ爲メニ刑ヲ被ラザルモノナキニ至レリ此等ヲ見テ佛國ノ治者ガ愚カニモ當時ノ才人文士ヲシテ己等ノ私敵トナシ遂ニ全國ノ才智ヲ驅テ政府ニ反對セシメ大改革ヲ起サヾルヲ得ザルノ場合ニ陷ラシメタルヲ知ルニ足ラン且政府ガ貴族ノ放逸ヲ滿足セシムル爲メニ私

人ノ家事ニ干渉シ公然ト其私權ヲ侵犯セシヿ甚ダ多シ其一例ヲ擧ゲンニ十八世紀ノ中葉佛國ニ優娼チヤンチリーナル者アリ貴族サキスノモーリスヿ之ヲ愛慕ス然ルニチヤンチリーハ當時有名ナル演曲歌章ノ作者フワヴワルノ才ヲ慕ヒモーリースヲ拒ンテフワヴワルニ嫁スモーリースヲ其膽力ニ驚歎シ以爲ク王命ヲ請フテ助ケトスルニ如カズト乃チ之ヲ王ニ訴フ此訴タル既ニ奇怪ニ屬ス而テ其結果更ニ驚ク可キ者アリ實ニ東方專制國ニアラザルヨリハ嘗テ其比ヲ見ザルナリ佛國政府此訴ヲ聽斷シフワヴワルヲ强ヒ其妻ヲ出シ改メテ之ヲモーリースニ嫁セシムチヤンチリーハ己ムナクモ身ヲ此貴族ニ委ヲザルヲ得ザリケリ此等ノ事柄ヨリ國民ヲ激怒シ遂ニ其熱血ヲシテ血管中ニ

沸騰セシメタリ夫レ佛國人民ノ大氣高風ナルモ此事ヲ見テ政府ヲ仇視スルヤ何ソ以テ奇異トナスニ足ラン時ヲ殊ニシ國ヲ隔ル我輩スラ之ヲ記錄上ニ追觀スルモ尙ホ且ツ憤怒ニ耐ヘズ況ンヤ現ニ此事ヲ目擊セル人民ハ其感憤果シテ如何ゾヤ且ツ此酷虐ノ政治ヲ傍觀スルノ權官貴族ハ早晚其反動ヲ受ルヲ警ムベキニ恬然トシテ省セザルハ豈ニ治安ノ何物タルヲ知ラザルカ而シテ此暴虐ヲ行フモノハ毫モ才能ヲ有スルニ非ズ吾輩若シ此輩ガ不才ニシテ大罪ヲ行フヲ見テ其才ト罪トヲ對視センニハ國家ノ制度ヲ蕩掃セル大革命ノ起リシヲ怪マズシテ却テ其革命ヲ遷延セル佛國人民ノ忍耐力ニ驚ケリ蓋シ斯クノ如ク改革ノ延期シタルハ全ク人心舊制ニ慣習スルノ粘着力ニヨルナリ

當時佛國人民ハ無氣ノ奴隷トナリ貧困ニシテ資力ナク苛法ニ迫ラレ蠻風ニ壓セラレ責任ナキ至强ノ權ハ僧侶貴族國王ノ把持スル所ニシテ全國敢テ之ニ抗スル者ナシ人民ノ智識ハ殘酷ノ桎梏ニ逢ヒ其文章ハ禁止セラレ焚滅セラレ其記者ハ科金ヲ蒙リ禁獄ニ處セラル而シテ之ヲ正ニ反シ修良ニ復スルノ徵ニ至テハ一モ見ル可ラズ貴權ノ人ハ積年ノ富不貲ニシテ之ヲ一身ノ快樂ニ供シ嘗テ後日ヲ慮ルナク其直チニ經驗ス可キ後害ニハ毫モ注目スルヿナク其人民ハ革命ノ起ルニ至ルマデ全ク奴隷ノ狀態ヲ離レズ文學モ亦其僅ニ存スルノ自由ヲ日ニ剝奪セラルヽ勢ニ迫マレリ千七百六十四年ニ政府ノ事ヲ論セル書ハ一切之ヲ禁止スルノ令アリ千七百六十七年ニ人心ヲ動ス可キ書ヲ

記スル者ヲ大罪トシ又其宗教ヲ駁シ及ビ財政ヲ談ズルニ係ルハ罰スルニ死刑ヲ以テス其亡國ノ前ニ當リ布令セシ者ニ至テハ更ニ甚キ者アリ即チ革命ニ先ツ九年ニ及ビ滅亡ノ勢既ニ成リ天神ノ力ニアラズンバ復タ國制ヲ維持スル能ハザルノ時ナルニ官吏ハ無智ニシテ國事ノ如何ヲ知ラズ固有ノ壓制ハ猶ホ其激成セシ人心ヲ鎮壓スルニ足ルト自ラ信ジタリシハ笑フ可ク憫ム可シ王家ノ官吏乃チ議ヲ建テ曰ク書籍刊行者ヲ廢業セシメ行政官吏ヨリ出金シ命令シ指揮セラレタル出版ノ外ハ一切ノ刊行ヲ禁止スト此怪ム可ク驚ク可キノ議ヲシテ萬一實行スルニ至ラシメバ夫ノ文章ノ管治スル力ヲ以テ國王ノ管治ニ移セシヤ必セリ此時ニ方リテ偉人文士ヲシテ沈默セシムルカ若クハ

政府ノ利用スル所トナラシメハ唯此一事ヲ以テ國民ノ智識ヲ危センヿ恰モ上文列記セシ諸々ノ虐政其國民ノ自由ヲ危フセシガ如クニシテ佛國ノ滅亡ヲ完成スルニ至ラントス

文人學士ガ此間ノ進退ハ其關係スル所蓋シ細小ナラズ當時ノ佛國自由ノ潛所ハ唯タ文學アルノミ英國ニ於テ碩學文士ガ卑劣ノ說ヲ以テ其才學ヲ汚瀆スルトハ國ノ危嶮ナルヤ實ニ大ナリ何トナレバ社會ノ人之ガ感染ヲ逃レザレバナリ然レトモ之ヲ佛國ニ比スレバ稍可ナル者アリ此醜風傳播スルノ前ニ其進路ヲ止ムルノ時間ナキニ非ラズ英人ガ其自由ノ政制ヲ有スル間ハ其制度文章ヲ見テモ膽氣アル人民ノ雄大ナル想像ヲ攪起スルヤ易々タリ此政制ハ自

由ノ原因ニアラズ實ハ自由ノ結果ナリト雖モ再ビ自由ノ上ニ反照スルハ疑ナク好慣習ノ勢力ハ素ト其原ヲ起セシ自由ノ後ニ生存スル者ナリ蓋シ國家其政治ノ自由ヲ存スルノ間ハ假令人心汚下ニ沈ムモ此人心ヲ其最下ノ逆流ヨリ喚起スルニ足ルノ風習ヲ存留スル者ナリ然ルニ佛國ニハ嘗テ此好氣風ナカリキ當時佛國ハ諸事唯治者ノ爲メニ存シ一物モ被治者ノ爲メニ存セズ自由ノ刊行ナク自由ノ議院ナク自由ノ演說會ナク自由ノ集會ナク人民ノ投票撰權ナク人身保護律ナク陪審官ナク斯ク國中ニ通シテ自由ノ跡全ク絕ヘタル時ニハ唯偉人文士ガ其著書ヲ以テ人民ニ抵抗力ヲ附與スルノ叫喚ニ由リ纔カニ自由ノ聲ヲ聽クヲ得ルノ一方アルノミ以上述ブル所妄リニ古代ノ制度ヲ

覆倒セシ如ク往々非難セラルヽ佛國人民ノ爲メニ書シテ以テ其因由ナキニ非ラザルヲ示サヾル可ラズ此レ等ノ文人ヲ初メ一般人民ハ王及ビ貴族僧侶ノ酷烈ナル壓制ヲ蒙リタレバ其害ヲ避ントト欲シ畢生ノ才智ヲ振ヒタル者ニシテ是レ蓋シ其不幸ヲ轉ジテ才人ノ爲メニ一大進路ヲ開カシムルニ至レルナリ之ヲ總ブルニ謀叛ハ壓制ニ對スル極所ノ療法ニシテ壓制ノ法度ハ謀叛ノ氣象ヲ帶タル文章ニ遭遇セザル可ラザルヤ疑ヲ容レズ夫レ貴顯ノ人々ガ先ヅ自ラ非ヲ爲シ以テ人ヲ苦シムルハ是レ實ニ非難スベシ而シテ偉人文士ハ暴制ヲ防ガントト欲シ不知不識彼ノ暴制政府ヲ倒スヲ遂ゲダルナリ豈ニ毫モ非難スベキモノナランヤ

（以下次號）

主幹　青木匡
編輯兼印刷　鈴木五郎

東京々橋區元數寄屋町貳丁目拾番地

本局　嚶鳴雜誌社

本紙ノ儀ハ代價幷ニ郵便稅トモ前金ニ御遣シ無之候テハ遞送致サヾル社則ニ有之候間何部分ニテモ御見込次第前金ヲ以テ御注文ヲ冀フ但シ郵便切手ヲ以テ御拂込ハ御斷中上候

壹冊定價　五錢　五冊前金貳拾貳錢五厘　十冊前金四拾三錢
貳十冊前金八拾錢　但シ府外ノ分ハ別ニ郵稅申受候

大賣捌所

東京銀座四丁目　朝野新聞社
同日本橋區藥研堀　報知社支店
同同區元大坂町　法木德兵衞
同神田區雉子町　巖々堂
同芝區琴平町　靜霞堂
同同區三田同朋町　靜海堂
同同區新櫻田町　春陽堂
横濱太田町二丁目　伊勢屋梅藏

取次所

東京銀座四丁目　博聞社
同牛込神樂坂一丁目　積善堂
同神田表神保町　大黑屋惣次郎
同赤坂裏壹丁目　赤川五平
同日本橋區久松町　大津屋善兵衞
同日本橋通一丁目　伊勢屋金次郎
同神田今川小路　大坂屋彦兵衞
同日本橋新和泉町　文園堂
同淺草元鳥越町　共致社
同神田美土代町　關久
美濃岐阜太田町　春陽舍
信州松本南深志町　篷田重平
信州飯田二番町　杉本平七
鹿兒嶋朝日通り　藤井三代治
駿州靜岡江川町　新々堂
江州彦根旗手町　十一屋半四郎
大坂本町四丁目　岡嶋眞七
奥州盛岡本町　澤田正助
尾州名古屋本町　吉田道雄
箱館地藏町六丁目　脩文堂

同神田表神保町　兒玉直次郎
同芝區飯倉三丁目　駿河屋
同神田錦町一丁目　中嶋幸太郎
同神田神保町　有則軒
同本郷湯嶋天神町　文友堂
同淺草地内　長尾
同淺草並木町　西村安次郎
同南傳馬町二丁目　伊勢屋喜三郎

大坂堂嶋中一丁目　靜雲堂
讃州丸龜通町　日新館
神戸長狹通七丁目　青井三十郎
水戸上市泉町　川又銀藏
阿波德島中通　阪井萬吉
紀州和歌山本町　平井文助
播州姫路俵町　吾車屋
信州松本中町　竹裏青雲堂

東京市京橋區尾張町
新地拾七番地
近藤新藏堂
堂主近藤久吉